

(受学管7-10)

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) 建築工事

図面リスト								
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A - 0 0	共通特記仕様書		A - 4 9	[新館棟] [改修] 1階相談室生徒会室		A - 9 8	[プレハブ棟] [現況・撤去][改修]断面詳細図	1/30
A - 0 1	建築改修工事特記仕様書 1	——	A - 5 0	[新館棟] [現況・撤去] 2階 第3理科室・準備室 平面詳細図		A - 9 9	[プレハブ棟] [現況・撤去]平面詳細図	1/30
A - 0 2	建築改修工事特記仕様書 2	——	A - 5 1	[新館棟] [現況・撤去] 2階 第3理科室・準備室 展開図		A - 1 0 0	[プレハブ棟] [改修]平面詳細図	1/30
A - 0 3	建築改修工事特記仕様書 3	——	A - 5 2	[新館棟] [改修] 2階 視聴覚室・準備室 平面詳細図		A - 1 0 1	[プレハブ棟] 建具表	1/100
A - 0 4	建築改修工事特記仕様書 4	——	A - 5 3	[新館棟] [改修] 2階 視聴覚室・準備室 展開図		A - 1 0 2	[渡り廊下棟] [現況・撤去]平面図	1/100
A - 0 5	建築改修工事特記仕様書 5	——	A - 5 4	[新館棟] [現況・撤去] 2階 第2音楽室・準備室 平面詳細図		A - 1 0 3	[渡り廊下棟] [改修]詳細図	1/30、1/200
A - 0 6	建築改修工事特記仕様書 6	——	A - 5 5	[新館棟] [現況・撤去] 2階 第2音楽室・準備室 展開図		A - 1 0 4	[渡り廊下棟] [改修]平面図	1/100
A - 0 7	建築改修工事特記仕様書 7	——	A - 5 6	[新館棟] [改修] 2階 第2音楽室・準備室 平面詳細図		A - 1 0 5	[渡り廊下棟] [改修]屋根伏図	1/100、1/300
A - 0 8	建築改修工事特記仕様書 8	——	A - 5 7	[新館棟] [改修] 2階 第2音楽室・準備室 展開図		A - 1 0 6	[渡り廊下棟] [改修]立面図(1)	1/50
A - 0 9	建築改修工事特記仕様書 9	——	A - 5 8	[新館棟] [現況・撤去] 3階 コンピュータ室 平面詳細図		A - 1 0 7	[渡り廊下棟] [改修]立面図(2)	1/50
A - 1 0	建築改修工事特記仕様書 10	——	A - 5 9	[新館棟] [現況・撤去] 3階 コンピュータ室 展開図	1/50	A - 1 0 8	[渡り廊下棟] [現況・撤去][改修]舗装範囲図	1/300
A - 1 1	建築改修工事特記仕様書 11	——	A - 6 0	[新館棟] [改修] 3階 マルチルーム室 平面詳細図	1/50	A - 1 0 9	[渡り廊下棟] [改修]部分詳細図(1)	1/20、1/30、1/50
A - 1 2	アスベスト対策工事特記仕様書	——	A - 6 1	[新館棟] [改修] 3階 マルチルーム室 展開図	1/50	A - 1 1 0	[渡り廊下棟] [改修]部分詳細図(2)	1/20、1/30、1/50
A - 1 3	付近見取図、配置図、仮設計画図	1/500	A - 6 2	[新館棟] [現況・撤去] 3階 普通教室(25)(26) 平面詳細図・展開図	1/50	A - 1 1 1	[旧館棟] [改修] 2階、3階平面図	1/20、1/100
A - 1 4	仮設計画施工ステップ図(参考図)	1/600	A - 6 3	[新館棟] [改修] 3階 普通教室(25)(26) 平面詳細図・展開図	1/50	A - 1 1 2	[旧館棟] [解体・撤去]渡り廊下伏図・軸組図	1/150
A - 1 5	[新館棟] 外部仕上表	——	A - 6 4	[新館棟] 建具工事特記仕様書	——	A - 1 1 3	[旧館棟] [解体・撤去]渡り廊下部材リスト・架構詳細図	1/50
A - 1 6	[新館棟] 内部仕上表(1)	——	A - 6 5	[新館棟] 建具リスト(1)	1/100	A - 1 1 4	[旧館棟] [解体・撤去]渡り廊下平面詳細図・立面図	1/150
A - 1 7	[新館棟] 内部仕上表(2)	——	A - 6 6	[新館棟] 建具リスト(2)	1/100	A - 1 1 5	[旧館棟] [解体・撤去]渡り廊下断面詳細図	1/50
A - 1 8	[新館棟] 1階平面図	1/200	A - 6 7	[新館棟] 建具リスト(3)	1/100	A - 1 1 6	既設建築物撤去リスト・スケッチ・詳細図・新設分電盤基礎 詳細図	1/20、1/50
A - 1 9	[新館棟] 2階平面図	1/200	A - 6 8	[新館棟] 建具リスト(4)	1/100			
A - 2 0	[新館棟] 3階平面図	1/200	A - 6 9	[新館棟] 建具リスト(5)	1/100			
A - 2 1	[新館棟] R階平面図	1/200	A - 7 0	[新館棟] 建具リスト(6)	1/100	M - 0 1	機械設備工事特記仕様書(1)	
A - 2 2	[新館棟] [現況・撤去]立面図(1)	1/200	A - 7 1	[新館棟] 建具リスト(7)	1/100	M - 0 2	機械設備工事特記仕様書(2)	
A - 2 3	[新館棟] [改修]立面図(1)	1/200	A - 7 2	[新館棟] 建具リスト(8)	1/100	M - 0 3	[新館棟] (現況・改修) 給排水衛生ガス設備 1階平面図	1/200
A - 2 4	[新館棟] [現況・撤去]立面図(2)	1/200	A - 7 3	[新館棟] 建具リスト(9)	1/100	M - 0 4	[新館棟] (現況・改修) 給排水衛生ガス設備 2階平面図	1/200
A - 2 5	[新館棟] [改修]立面図(2)	1/200	A - 7 4	[新館棟] 建具リスト(10)	1/100	M - 0 5	[新館棟] (現況・改修) 給排水衛生ガス設備 3階平面図	1/200
A - 2 6	[新館棟] (外壁劣化部)立面図(1)	1/150	A - 7 5	[新館棟] 建具リスト(11)	1/100	M - 0 6	[新館棟] (現況・改修) 給排水衛生ガス設備 R階平面図	1/200
A - 2 7	[新館棟] (外壁劣化部)立面図(2)	1/150	A - 7 6	[新館棟] 建具リスト(12)	1/100	M - 0 7	[新館棟] (改修) 給排水衛生設備 衛生器具リスト	——
A - 2 8	[新館棟] (外壁劣化部)立面図(3)	1/150	A - 7 7	[新館棟] 建具詳細図	1/20	M - 0 8	[新館棟] (改修) 給排水衛生設備 1階 昇降口2 相談室 生徒会室 平面詳細図	1/50
A - 2 9	[新館棟] (外壁劣化部)立面図(4)	1/150	A - 7 8	[新館棟] 部分詳細図(1)	1/10	M - 0 9	[新館棟] (現況・撤去) 給排水衛生設備 1階 準備室 第2技術室詳細図	1/50
A - 3 0	[新館棟] 1階天井伏図	1/200	A - 7 9	[新館棟] 部分詳細図(2)	1/10	M - 1 0	[新館棟] (現況・撤去) 給排水衛生設備 2階 第3理科室・準備室 平面詳細図	1/50
A - 3 1	[新館棟] 2階天井伏図	1/200	A - 8 0	[新館棟] 部分詳細図(3)	1/10	M - 1 1	[新館棟] (現況・改修) 給排水衛生設備 1～3階 廊下手洗い 平面詳細図 1	1/50
A - 3 2	[新館棟] 3階天井伏図	1/200	A - 8 1	[新館棟] 部分詳細図(4)	1/10	M - 1 2	[新館棟] (現況・改修) 給排水衛生設備 1～3階 廊下手洗い 平面詳細図 2	1/50
A - 3 3	[新館棟] (軒天劣化部) 1階天井伏図	1/150	A - 8 2	[新館棟] 家具詳細図(1)	1/30	M - 1 3	[新館棟] (現況・改修) 給排水衛生設備 3階 廊下手洗い 平面詳細図 3	1/50
A - 3 4	[新館棟] (軒天劣化部) 2階天井伏図	1/150	A - 8 3	[新館棟] 撤去家具リスト(1)	1/200	M - 1 4	[新館棟] 空調・換気設備 機器リスト	——
A - 3 5	[新館棟] (軒天劣化部) 3階天井伏図	1/150	A - 8 4	[新館棟] 撤去家具リスト(2)	1/200	M - 1 5	[新館棟] 空調機器 撤去リスト	——
A - 3 6	[新館棟] 矩計図(1)	1/50	A - 8 5	[新館棟] 撤去家具リスト(3)	1/200	M - 1 6	[新館棟] (現況・改修) 空調設備 1階平面図	1/200
A - 3 7	[新館棟] 矩計図(2)	1/50	A - 8 6	[新館棟] 黒板類詳細図	1/200	M - 1 7	[新館棟] (現況・改修) 空調設備 2階平面図	1/200
A - 3 8	[新館棟] 矩計図(3)	1/50	A - 8 7	[本館棟] 内部仕上表	——	M - 1 8	[新館棟] (現況・改修) 空調設備 3階平面図	1/200
A - 3 9	[新館棟] 階段 A 詳細図	1/50	A - 8 8	[本館棟] 1階平面図	1/200	M - 1 9	[新館棟] (現況・改修) 換気・計装設備 1階平面図	1/200
A - 4 0	[新館棟] 階段 B 詳細図	1/50	A - 8 9	[本館棟] [現況・撤去] 1階 相談室 平面詳細図	1/50	M - 2 0	[新館棟] (現況・改修) 換気・計装設備 2階平面図	1/200
A - 4 1	[新館棟] [現況・撤去] 2,3階 普通教室(21)(22)(23)(24)平面詳細図・展開図	1/50	A - 9 0	[本館棟] [現況・撤去] 1階 相談室 展開図	1/50	M - 2 1	[新館棟] (現況・改修) 換気・計装設備 3階平面図	1/200
A - 4 2	[新館棟] [改修] 2,3階 普通教室(21)(22)(23)(24)平面詳細図・展開図	1/50	A - 9 1	[本館棟] [改修] 1階 相談室 平面詳細図	1/50	M - 2 2	[プレハブ棟] (現況・改修) 給排水衛生ガス設備 1階平面図	1/100
A - 4 3	[新館棟] [現況・撤去] 1階 普通教室(20) 平面詳細図・展開図	1/50	A - 9 2	[本館棟] [改修] 1階 相談室 展開図	1/50	M - 2 3	[プレハブ棟] (現況・改修) 空調・換気設備 1階平面図	1/100
A - 4 4	[新館棟] [改修] 1階 昇降口 平面詳細図・展開図	1/50	A - 9 3	[本館棟] [現況・撤去][改修] 1階 天井伏図	1/50	M - 2 4	[渡り廊下棟] (現況・撤去)排水設備 平面図	1/200
A - 4 5	[新館棟] [現況・撤去] 1階 第2技術室・準備室 平面詳細図	1/50	A - 9 4	[本館棟] 建具表	1/100	M - 2 5	[本館棟] (改修) 空調・換気設備 1階相談室平面図	1/50
A - 4 6	[新館棟] [現況・撤去] 1階 第2技術室・準備室 展開図	1/50	A - 9 5	[本館棟] 部分詳細図	1/5、1/10、1/20			
A - 4 7	[新館棟] [改修] 1階 昇降口・相談室・生徒会室 平面詳細図	1/50	A - 9 6	[プレハブ棟] 内部仕上表	——			
A - 4 8	[新館棟] [改修] 1階 第2技術室・準備室 展開図	1/50	A - 9 7	[プレハブ棟] [現況・撤去][改修] 1階平面図	1/100			

A 工事概要

1 工事名称	(受学管7-10)東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)建築工事
2 工事場所	宇治市五ヶ庄池ノ浦36番地の1
3 工事期間	入札通知書による。
4 規模構造	鉄筋コンクリート造4階建て
5 建築面積	5,341.43㎡
6 延床面積	10,014.15㎡
7 工事範囲	・長寿命化改修工事 一式 外壁改修工事 防水改修工事 内装改修工事 建具改修工事 塗装改修工事 ・配膳室設置工事 一式 ・上記に伴う機械設備工事 一式 ・上記に伴う撤去・処分 一式

B 特記仕様書

1 共通事項	a 施工基準	本工事は契約書及び 質疑回答書 現場説明書 特記仕様書 設計図 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・機械設備工事編・電気設備工事編)及び公共建築工事標準仕様書(建築工事編 機械設備工事編・電気設備工事編)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版)により施工する。なお、設計図書間に相違がある場合の優先順位は上記記載の順とする。
	b 監理基準	本工事は建築改修工事監理指針及び建築・機械設備・電気設備・各工事監理指針(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修令和4年版)により監理する。
	c 提出書類等	契約書及び設計図書に定められた提出書類等を監督職員の指示により、定められた期日までに提出する。受注者は、下請契約を締結する場合には、下請金額に関わらず、施工体制台帳を提出する。また、施工体系図においては、すべての下請負人及び警備業者を記載する。 なお、施工体制台帳には監督職員が指示する書類を添付して提出する。
	d 建設業退職金共済制度	受注者は建設業退職金共済制度(建退共)に加入の上、掛金収納書を提出する。工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」を掲示し、工事完成時には「建退共通営実績報告書」、「労働者の就労日報」及び「共済証紙受払簿」を提出する。また、下請負人に対しても同共済制度加入を奨励する。
	e 工事実績情報	受注者は受注時、変更時及び完成時の各時点において、あらかじめ登録内容について監督職員の確認を受けた上で、それぞれ10日以内に(一財)日本建築情報総合センターへ工事実績情報サービス入カシステム(CORINS)の登録申請を行う。 また、登録後、直ちに登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する(作成、登録等に伴う費用は受注者の負担とする)。
	f 建設工事保険等	受注者は、工事目的物・工事材料等を建設工事保険等(第三者保険を含み、火災による損害が見込まれる場合は火災保険を含む)に付し、その保険証書の写し又はこれに代わるものを提出する。なお、その保険の加入期間は、工事着工の時から、工事完成期日後14日迄とする。
	g 労災補償に必要な法定外の保険契約について	受注者は、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」(令和元年法律第35号)に基づき、公共工事等に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険(法定外の労災保険)に付する。
	h 工事写真・完成写真	工事写真撮影ガイドブック(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版)を参考に、着工前・工事中の各段階の工程の内容が充分把握できるよう撮影する。工事完成時には、完成写真を撮影し、着工前・工事中と共に工事用アルバムに整理の上1部提出する(データ共)。 なお、着工前・完成写真は、着工前・完成を一对(左右または前後)として整理すること。
	i 不正軽油使用防止の徹底	受注者は建設機械等の燃料としての軽油はJIS規格軽油以外のものを使用してはならない。 また、下請負人等に対しても不正軽油使用防止の指導・監視を徹底する。受注者は、京都府税務調査員による燃料検査に協力しなければならない。
	j 一般事項	・ 軽微な変更については、請負金額の増減は行わない。 ・ 工事現場には、仮囲いを行い同現場の安全に十分配慮する。特に、工事車両の出入り及び時間等については、当該施設運営管理者等と十分打合せを行い交通安全管理に配慮する。 ・ 騒音・臭気等が発生する工事については、作業時間・日時について当該施設運営管理者と協議し、施設の運営管理等に支障をきたさぬよう配慮する。 ・ 既存部分については、受注者において汚染・損傷の無いよう十分な養生を行う。万一損傷等が発生した場合は、監督職員に報告の上受注者の責任において、現状復旧する。 ・ 使用材料は、設計図書に記載されたもの又は同等品とする。同等品とする場合は、事前に監督職員にカタログ等資料を提出し、承認を受ける。 ・ 工事完成時には、社内検査を実施する。 ・ 本工事は市の行う完成検査に合格し、工事目的物引渡書の提出をもって完了とする。 ・ 使用機器については、環境負荷の軽減に努めるものとし、排出ガス対策型機器・低騒音型機器 低振動型機器・低燃費型機器の使用を促進する。また、電動工具類は、整備された工具を使用し、安全性に責任を持ち管理する。
	k その他	・ 交通誘導警備員は、現場説明書による。 ・ 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めに従って、各下請負人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げ、所定の様式により監督職員に提出する。 ・ 受注者は、宇治市が指名停止処置を行っている第三者に対して宇治市の契約についての全て、若しくは一部を下請、受託させてはならない。

l 過積載防止	受注者は本工事における材料等の搬出入に伴う、工事車両の過積載防止について、十分注意を払うと共に、下請負人への指導を徹底する。
m 官公庁その他への手続き	工事の施工に必要な官公庁その他への手続きは、受注者の責任において速やかに行うものとする。なお、これに要する費用は受注者の負担とする。
n 技術者及び現場代理人	受注者は、主任技術者及び監理技術者並びに現場代理人について、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者から選任し、配置しなければならない。
o 工事完了時の整地	受注者は工事完了時に、工事敷地内及び車両通行部分は、必要に応じ砂を搬入し、整地を行う。既設コンクリート舗装、アスファルト舗装等の損傷箇所については、原状復旧する。
p 建設発生土の処分	・ 建設発生土を搬出する場合は「残土処理計画書(報告書)」を提出する。同計画書には処理場所の位置図及び経路図、受入承諾書を添付する。同報告書には処分したことが判明する資料(受入証明書)及び写真等を添付する。 ・ その他の建設発生土の取扱いについては、現場説明書による。
q 解体等工事の事前調査	・ 受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第1項・第4項に基づき、改修工事対象となる全ての部材について、特定建築材料の使用の有無について調査し、その結果を発注者に説明する。 また、第18条の15第3項・第4項に基づき、事前調査結果の記録を作成し、保存しなければならない。 調査方法は、分析による調査、目視、設計図書等による。 ・ 受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第5項に基づき、事前調査結果を公衆の見やすい場所に掲示する。

2 発生材等処分	工事に伴う撤去材	・ 撤去材・発生材は、場外搬出し関係法令を遵守し処理するものとし、「廃棄物処理計画書(報告書)」を適時提出する。同計画書には、当該廃棄物の処分業の許可証の写し、受注者と処分業者の契約書の写しに加えて、処分地の位置図及び経路図を添付する。また廃棄物を委託して運搬する場合は、該当する収集運搬業の許可証(搬出地と搬入地)の写しと受注者と運搬業者との契約書の写しを添付する。同報告書には処分したことが判明する資料として、運搬管理表(又はマニフェストの写し)及び写真等を添付する。 ・ 本工事の施工により発生するアスファルト塊、コンクリート塊及び木材は再資源化施設に搬出する。 ・ その他の建築副産物の取扱いについては、現場説明書による。 ・ 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」による産業廃棄物の収集運搬車に係る表示及び書面添え付けを行う。 ・ 工事完了時に産業廃棄物の収集運搬車両への表示状況を確認できる写真を提出する。
	産業廃棄物税	「京都府産業廃棄物税条例」に基づき導入される産業廃棄物税(以下「産廃税」という)は京都府内の最終処分施設に搬入される産業廃棄物について課税されるものである。また、中間処理施設に搬入された産業廃棄物においてモリサイクル後の処理残渣(ザンサイ)等が最終処分場に搬入される場合は、最終処分場に搬入される量に対して課税される。 なお、本工事においても、産廃税相当額を見込んでいる。(産廃税も本工事に含む)

3 仮設工事	工事電力・工用用水 工用電力設備 の保安責任者 設置・維持管理 仮囲い 内外足場・養生等	現場説明書による。 工用電力設備の保安責任者を定め報告する。当該施設に電気主任技術者が専任されている場合はその指示を仰ぐ。持込電動機器は整備された機器以外は持込させてはならない。また、仮設分電盤内に漏電遮断器を取り付け事故の防止に努める。 現場説明書による。 施工範囲・資材置場等に対するの侵入防止策を講じる。(フェンスバリケード(シート貼り共)等) 詳細については仮設計画図による。 足場等は、労働安全衛生法・建築基準法・建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い適切な材料および構造のものとし、適切な保守管理を行う。高所作業車使用時含む。また、仮設計画を作成し監督職員と協議を行う。 近接する他の部材や工作物の部分を損傷しないようにメッシュシート又は工用シート等で養生を行う。外部足場については、手摺先行型枠組本足場(W=900以上)とする。足場の設置に関しては、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 平成15年4月制定・平成21年6月1日改正)」に基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、または改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保する。また、外部足場には昇降足場を設置する。 受注者は、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則等の改正(平成31年2月)に伴い、高所作業を行う場合には、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に基づき、墜落、転落による労働災害の防止に努める。
--------	---	---

4 その他	ホルムアルデヒド等の 放散量測定について	「学校環境衛生基準」により、工事着工前及び工事完成時において、当該居室における空間のホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレンの濃度を測定し分析結果を監督職員に提出する(検査方法・判定基準とも「学校環境衛生基準」(平成21年4月1日施行)による) 分析機関・測定器具については、国土交通省住宅局「ホルムアルデヒド、トルエン、パラジクロロベンゼン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレン用バツプ採取機器(サンプラー)一覧表(学校用)」による。(平成21年4月1日改訂版) 測定場所：新館棟 各教室、本館棟 相談室、プレハブ棟 配膳室 工事着工に際し、事前に必要な機器(照明機器・放送設備・空調機器・受信設備等)器具の機能確認を行い、その結果を書面にて監督職員に報告する。
5 完成図書	完成に際しては以下の図書を提出する。	

名称	内容	サイズ	部数
完成図(青張り製本)	特記仕様書・完成図・施工図	A3版	1部
完成図書	機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類(写)	A4版	2部
諸官庁提出書類	副本		一式
完成図データ	CADデータ(ファイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したものを添付する)、PDF	C D - R	2部

建築改修工事特記仕様書

【1】 工事概要

- 1. 工事場所
2. 敷地面積
3. 建築物概要
4. その他

【2】 適用範囲

現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。
すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。

【3】 工事区分

設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】 工事仕様

- 1,設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標仕」のほか別記の適用基準による。
2,項目は、番号に 印の付いたものを適用する。
3,特記事項は、印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。
印と 印の付いた場合は、共に適用する。印が抹消された場合は、印のみ適用する。
4,項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「改修標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

Table with 2 columns: 章 項目, 特 記 事 項. Contains detailed specifications for construction standards, materials, and safety measures.

Table with 2 columns: 章 項目, 特 記 事 項. Contains detailed specifications for special materials, wind/snow resistance, modern agents, and construction reports.

Table with 2 columns: 章 項目, 特 記 事 項. Contains detailed specifications for asbestos removal, investigation, and repair methods.

Table with 2 columns: 章 項目, 特 記 事 項. Contains detailed specifications for construction inspection, chemical substance concentration measurement, and safety measures.

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
2 仮設工事	5 工事用水 6 工事用電力 7 仮囲い等 8 設計 G L	(2) 土・鉄筋・コンクリート工事	構造体強度補正值 (6.3.2) 気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2) 予想平均気温 () 補正值 普通 早強 (S) 期 間 (打設日) 8以上 5以上 3 3/6 ~ 6/30 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 N/mm2 9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31 0以上 0以上 6 11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10 8未満 5未満 N/mm2 南部地域 (京都市 (一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)	3 防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____ 絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤークロス (70g/m ² 程度) 立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上がり部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 窯業系パネル 類 (一般地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5) 脱気装置 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m ²) 伸縮目地 成形伸縮目地材 _____ 成形緩衝材 l-フック 類製造所の指定品 _____ 屋上排水溝 図示による _____	3 防水改修工事	接着工法の場合で、P Cコンクリート部下地の場合 目地処理 図示による _____ 入隅部の増張り (S-F 1、S I-F 1の場合) 図示による _____ 絶縁用シート及び可塑性移行防止用シート 発泡ポリエチレンシート _____ 仕上げ塗料 珪酸 _____ 脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m ²) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鋼板、スチール鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの
(2) 土・鉄筋・コンクリート工事	埋め戻し及び盛土 (3.2.3) 建設発生土の処理 (3.2.5) 鉄筋の種類 (5.2.1) 溶接金網 (5.2.2) コンクリートの種類 (6.2.1) コンクリートの強度 (6.2.4) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1) セメントの種類 (6.3.1) 骨材 (6.3.1) 混和材料 (6.3.1)	12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3) 寒中コンクリート (6.11.1) 暑中コンクリート (6.12.2) コンクリートにサ-車の過積載防止対策等 (表5.2.1) 3 防水改修工事 3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)	フレッシュコンクリートの試験 省略する 常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種類 1種 2種 施工箇所 _____ 気乾単位容積質量 _____ t/m ³ 予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節 (寒中コンクリート) による。 暑中における構造体強度補正值 (S) 地 域 日平均気温が25度を超える期間 (打設日) 補 正 値 北 部 地 域 7月11日 ~ 8月31日 6 N/mm2 中 部 地 域 7月21日 ~ 8月31日 3 N/mm2 南 部 地 域 7月 1日 ~ 9月10日 受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5) 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 行う (M4AS M4AS1 M4C M4D1 L4X) 行わない 既存下地の処理 (3.2.6) 屋根保護防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 P 1 B 工法 B-1 B-2 表3.3.3 P 1 B I 工法 BI-1 BI-2 表3.3.4 P 2 A I 工法 AI-1 AI-2 表3.3.5 AI-3 P 2 A 工法 A-1 A-2 表3.3.6 A-3 屋根露出防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 仕 上 塗 料 種類 使用量 M 4 C 工法 C-1 C-2 表3.3.7 C-3 C-4 M 3 D 工法 D-1 D-2 表3.3.8 P 0 D 工法 屋根露出防水絶縁断熱工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 仕 上 塗 料 種類 使用量 P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 M 4 D I 工法 屋内防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 P 1 E 工法 E-1 E-2 表3.3.10 P 2 E 工法	4 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4) 合成高分子系 l-フックシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4) S-F1、S-M1、S-M2の仕様 非歩行仕様 軽歩行仕様 断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 硬質ウレタンフォーム絶縁シート機能付 接着工法の場合 _____ S I - M 1 及び S I - M 2 の場合の防湿用フィルム 設置する	塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3) 漏水試験 保証書 施工標識 シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8) とい(雨水) (3.8.2) (3.8.3)	表3.6.1 表3.6.2 表3.6.3 脱気装置 (X-1) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m ²) 保護層 設ける 設けない 水張り試験を行う (屋内 屋外) (ただし、ドレン廻りの水まき試験程度とする) 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事事目的物引渡しより10年間以上とする。) 工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 真鍮製エッチング仕上 150×100 設置数量 (2) 箇所 シーリング材の種類 改修標仕 表3.7.1による シーリング改修工法及び施工箇所 改 修 工 法 の 種 別 施 工 箇 所 シーリング充填工法 図示 シーリング再充填工法 図示 拡幅シーリング再充填工法 ブリッジ工法 仕上げを行わない施工箇所 (図示による) _____ 目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びびびり割れ誘発目地 幅20mm以上、深さ10mm以上 _____ ガラス回りの目地 幅5mm以上、深さ5mm以上 _____ その他の目地 幅10mm以上、深さ10mm以上 _____ シーリングの試験 簡易接着性試験 (部位 _____ 種別ごと) 引張接着性試験 (部位 _____) 外とい (外気に接するとい) ルーフトレン ルーフドレン (JCW 301) 改修用ルーフトレン 取付け 水はけ良く、床面より 下げ、周囲の隙間に モルタルを充填する 軒どい 硬質塩化ビニル製 (角形) (前高)巾120mm 鋼管 (カラー)巾150mm 谷どい 硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー)径 75mm とい受け金物、足金物 改修標仕 表 3.8.2 により溶融 垂鉛めっきを行ったもの 多雪地域の軒といの 取付間隔 0.5m 以下 ステンレス製	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																							
3	防水改修工事	内とい(V.P管は使用しない)	4	外壁改修工事	(4.1.4) モルタル塗り仕上げ (4.3.5) 樹脂注入方法 ~ (4.3.8)	4	外壁改修工事	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書表4.4.2による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない	4	外壁改修工事	アンカーピン ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの																																																																							
		<table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>たてとい及び横走り管 SGP</td> <td>径 75mm</td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物 改修標仕様 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの</td> <td>多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下</td> </tr> <tr> <td>防露巻き 改修標仕様3.8.3による</td> <td>F</td> </tr> </table> <p>掃除口を設ける(開放性のある自転車置き場のといを除く) 養生鉄管を設ける(径 125 厚さ 4.5 長さ 2000) 既存といの撤去及び養生 () 鋼管製といの防露巻 (改修標仕様3.8.4による) たてとい受金物(ステンレス製)</p> <p>(表3.9.1)(表5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>幅</th> <th>板厚(mm)</th> <th colspan="2">表面処理</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>250 形</td> <td>250</td> <td>1.6</td> <td>AB-1種</td> <td>AB-2種</td> <td>隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>300 形</td> <td>300</td> <td>1.8</td> <td>AC-1種</td> <td>AC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>350 形</td> <td>350</td> <td>2.0</td> <td>BA-1種</td> <td>BA-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>BB-1種</td> <td>BB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>曲げ材</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>BC-1種</td> <td>BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オープン形式</td> <td></td> <td></td> <td>C種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>シール形式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>既存笠木等の撤去 行う (範囲 図示) 行わない</p> <p>下地補修の工法 図示 板材折曲げ形の笠木取付方法 図示 建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 図示による</p>			材 質						そ の 他	たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm	とい受け金物、足金物 改修標仕様 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの	多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下	防露巻き 改修標仕様3.8.3による	F	種 類	幅	板厚(mm)	表面処理		備 考	250 形	250	1.6	AB-1種	AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。	300 形	300	1.8	AC-1種	AC-2種		350 形	350	2.0	BA-1種	BA-2種					BB-1種	BB-2種		曲げ材		2.0	BC-1種	BC-2種		オープン形式			C種			シール形式						<table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>1箇所 の面積 (㎡)</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>0.25未満</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td>張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書4.5.1による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない</p> <p>抜取り部の補修方法 図示 セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法(4.3.10(3)による) ○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコーン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル</p>	工 法	1箇所 の面積 (㎡)	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)		タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)					
材 質	そ の 他																																																																																	
たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm																																																																																	
とい受け金物、足金物 改修標仕様 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの	多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下																																																																																	
防露巻き 改修標仕様3.8.3による	F																																																																																	
種 類	幅	板厚(mm)	表面処理		備 考																																																																													
250 形	250	1.6	AB-1種	AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。																																																																													
300 形	300	1.8	AC-1種	AC-2種																																																																														
350 形	350	2.0	BA-1種	BA-2種																																																																														
			BB-1種	BB-2種																																																																														
曲げ材		2.0	BC-1種	BC-2種																																																																														
オープン形式			C種																																																																															
シール形式																																																																																		
工 法	1箇所 の面積 (㎡)	材 料	施 工 箇 所																																																																															
タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)																																																																																
タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)																																																																																
4	外壁改修工事	施工数量調査 (1.6.2)	4	外壁改修工事	(4.1.4) タイル張り仕上げ (4.4.5) 樹脂注入方法 ~ (4.4.6)	4	外壁改修工事	浮き部改修工法 (4.1.4) (4.3.11) ~ (4.3.16)	5	目地改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.16)	目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 位置 改修標仕様4.4.2による 図示による 寸法(幅×深さ) リカー打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 20mm以上×10mm以上 その他 10mm以上×10mm以上																																																																							
		<p>調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 調査報告書の部数 2部 施工に先立ち、建築士診断技術者(BELCA)による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p> <p>コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 変成シリコーン樹脂 ウレタン樹脂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>手動式I[※] 樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 40 機械式I[※] 樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 70 0.5以上1.0未満 150~250 130</p> <p>欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>モルタル塗り仕上げ (4.1.4) (4.3.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ (4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~ (4.4.15)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ (4.1.4) (4.3.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>モルタル塗り仕上げ</td> <td>改修標仕様4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</td> </tr> </table> <p>タイル張り仕上げ (4.1.4) (4.4.5) (4.4.7) ~ (4.4.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td>張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table>			工 法						材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコーン樹脂 ウレタン樹脂		タイル張替え工法			工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	モルタル塗り仕上げ	改修標仕様4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示	工 法	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)		タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)		<p>モルタル塗り仕上げ (4.1.4) (4.3.11) ~ (4.3.16)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂</td> <td></td> </tr> </table> <p>シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜取り検査 抜取り個数 長さ500mmごと及びその端数につき1個 抜取り部の補修方法 図示</p> <p>タイル撤去後の補修</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 変成シリコーン樹脂 ウレタン樹脂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリート打放し仕上げ (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ (4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~ (4.4.15)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ (4.1.4) (4.3.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>モルタル塗り仕上げ</td> <td>改修標仕様4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</td> </tr> </table> <p>タイル張り仕上げ (4.1.4) (4.4.5) (4.4.7) ~ (4.4.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>モルタル塗り仕上げ</td> <td>改修標仕様4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</td> </tr> </table> <p>タイル張り仕上げ (4.1.4) (4.4.5) (4.4.7) ~ (4.4.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>モルタル塗り仕上げ</td> <td>改修標仕様4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</td> </tr> </table>	工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂		工 法	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコーン樹脂 ウレタン樹脂		タイル張替え工法			工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	モルタル塗り仕上げ	改修標仕様4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示	工 法	材 料	施 工 箇 所
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコーン樹脂 ウレタン樹脂																																																																																	
タイル張替え工法																																																																																		
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
モルタル塗り仕上げ	改修標仕様4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示																																																																																
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)																																																																																	
タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形成シリコン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコーン樹脂 ウレタン樹脂																																																																																	
タイル張替え工法																																																																																		
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
モルタル塗り仕上げ	改修標仕様4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示																																																																																
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
モルタル塗り仕上げ	改修標仕様4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示																																																																																
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
モルタル塗り仕上げ	改修標仕様4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示																																																																																
4	外壁改修工事	ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~ (4.2.7)	4	外壁改修工事	(4.1.4) コア抜取り検査 行う 行わない (注入状況確認方法) (4.4.9) 抜取り個数 長さ500mmごと及びその端数につき1個 抜取り部の補修方法 図示 Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂	4	外壁改修工事	5	目地改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.16)	目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 位置 改修標仕様4.4.2による 図示による 寸法(幅×深さ) リカー打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 20mm以上×10mm以上 その他 10mm以上×10mm以上																																																																								
		<p>調査報告書の部数 2部 施工に先立ち、建築士診断技術者(BELCA)による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p> <p>コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 変成シリコーン樹脂 ウレタン樹脂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>手動式I[※] 樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 40 機械式I[※] 樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 70 0.5以上1.0未満 150~250 130</p> <p>欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>モルタル塗り仕上げ (4.1.4) (4.3.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ (4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~ (4.4.15)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ (4.1.4) (4.3.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>モルタル塗り仕上げ</td> <td>改修標仕様4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</td> </tr> </table> <p>タイル張り仕上げ (4.1.4) (4.4.5) (4.4.7) ~ (4.4.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>モルタル塗り仕上げ</td> <td>改修標仕様4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</td> </tr> </table> <p>タイル張り仕上げ (4.1.4) (4.4.5) (4.4.7) ~ (4.4.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>モルタル塗り仕上げ</td> <td>改修標仕様4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</td> </tr> </table>			工 法					材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコーン樹脂 ウレタン樹脂		タイル張替え工法			工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	モルタル塗り仕上げ	改修標仕様4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示	工 法	材 料	施 工 箇 所	モルタル塗り仕上げ	改修標仕様4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示	工 法	材 料	施 工 箇 所	モルタル塗り仕上げ	改修標仕様4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示	<p>アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒</p> <p>注入工法(4.3.5)</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度</p> <p>モルタル塗り仕上げ (4.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>モルタル塗り仕上げ</td> <td>現場調査材料 既調査材料() 既製目地材 使用する(形状)</td> <td></td> </tr> </table>	工 法	材 料	施 工 箇 所	モルタル塗り仕上げ	現場調査材料 既調査材料() 既製目地材 使用する(形状)																													
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコーン樹脂 ウレタン樹脂																																																																																	
タイル張替え工法																																																																																		
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
モルタル塗り仕上げ	改修標仕様4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示																																																																																
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
モルタル塗り仕上げ	改修標仕様4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示																																																																																
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
モルタル塗り仕上げ	改修標仕様4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示																																																																																
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																
モルタル塗り仕上げ	現場調査材料 既調査材料() 既製目地材 使用する(形状)																																																																																	
訂正事項											株式会社 水原建築設計事務所 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一級建築士登録 第219285号 北 村 通 彦 根 市 長 豊 根 南 町 4 4 3 番 地 TEL 0749-22-1679	東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY DATE SCALE A2: - A3: -	建築改修工事特記仕様書(3)	SHEET NO. A - 03																																																																				
											2023-1																																																																							

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																					
4 外壁改修工事	11 タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) ~ (4.4.8)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所及びタイルの種別</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>工法その他</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td></td> <td>磁器 せつ器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>既調合モルタル () タイルの試験張り 行わない 行う (施工箇所) タイルの見本張 行わない 行う (範囲、仕様は図示による) 施工後の確認及び試験 (タイル部分張替え工法を除く) 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による接着力試験を行う 行わない</p>	施工箇所及びタイルの種別	形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	工法その他	図示		磁器 せつ器 陶器	無釉 施釉	有り 無し	標準 特注	有り 無し			4	15 マスチック塗材塗り (4.1.5) (4.6.2)	種別 A種 B種 (表4.6.1)	5	8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)	防虫網 網の種別 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス製 (SUS316) 形式 外部可動式 固定式 線径、網目 0.25mm以上、16-18メッシュ 防鳥網 設置する	5	建具改修工事	建具用金物 (5.8.2) ~ (5.8.4)	マスターキーの製作 作成する (グループ、各グループ 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 鍵の制作本数 3本1組 (室名札付き) 鍵箱 無 有																																																														
	施工箇所及びタイルの種別	形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	工法その他																																																																																			
	図示		磁器 せつ器 陶器	無釉 施釉	有り 無し	標準 特注	有り 無し																																																																																					
	12 窓下人研面台の補修	タイル張替え工法の伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地位置 改修仕様表4.4.2による 図示による	外壁用塗膜防水材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)	外壁用塗膜防水塗り 仕上げの形状 ゆず肌状 工法 ローラー 外壁用仕上げ塗材の耐候性 10年保証 下地挙動緩衝材の適用 適用する 適用しない 吹付け工法の模様材の種類 所要量 (kg/m ²) 外壁用仕上げ塗材の種類 アクリル樹脂系塗料 所要量 0.25x2回 (kg/m ²)	5	9 樹脂製建具 (5.3.2) ~ (5.3.5)	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)</th> </tr> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="3">A - 4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>枠見込み(mm)</td> <td colspan="3">図示</td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-4 H-5 H-6 H-7 H-8)</p> <p>ガラス 複層ガラス 単板ガラス 三重ガラス 表面色 標準色 特注色 水切り、ぜん板等 図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL</p>	外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)				性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 4			水密性	W - 4	W - 5		枠見込み(mm)	図示			5	建具改修工事	開き戸 (表5.8.1)	<table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>シリンドラ錠</td> <td>握り玉: ステンレス レバー・ハンドル: アルミニウム合金、 (ステンレス、黄銅)</td> <td>取付位置 () 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード</td> </tr> <tr> <td>本締り錠</td> <td>シリンドラ錠: ステンレス</td> <td>実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード</td> </tr> <tr> <td>空錠</td> <td>握り玉: ステンレス レバー・ハンドル: アルミニウム合金、 (ステンレス、黄銅)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>グレモン錠</td> <td>レバー・ハンドル: 亜鉛合金、 (ステンレス)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>ケースハンドル錠</td> <td>ステンレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検口錠</td> <td>亜鉛合金程度、 (ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>丁番</td> <td>ステンレス、 (黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピボットヒンジ</td> <td>加一部: ステンレス、 (亜鉛合金)</td> <td>亜鉛合金は木製建具用のみ</td> </tr> <tr> <td>点検口軸吊りヒンジ</td> <td>建具製作所の仕様による</td> <td>自閉装置付き</td> </tr> <tr> <td>フロアヒンジ</td> <td>加一部: ステンレス、 (本体は鋼)</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ加部(丁番型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td>遅延閉り機能付き</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ加部(ビレット型)</td> <td>加一部: ステンレス、 (本体は鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドアクローザー</td> <td>本体: アルミニウム合金 アーム部: 鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖傾位調整器</td> <td>ステンレス、 (鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>押棒・押板</td> <td>(ステンレス、黄銅、合成樹脂)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>上げ落とし (フランス落とし)</td> <td>亜鉛合金程度、 (ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アームカバー</td> <td>鋼 (加めつき)、 (ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>亜鉛合金程度、 (ステンレス、黄銅)</td> <td>あおり止め付き</td> </tr> </table>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	シリンドラ錠	握り玉: ステンレス レバー・ハンドル: アルミニウム合金、 (ステンレス、黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード	本締り錠	シリンドラ錠: ステンレス	実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード	空錠	握り玉: ステンレス レバー・ハンドル: アルミニウム合金、 (ステンレス、黄銅)	取付位置 ()	グレモン錠	レバー・ハンドル: 亜鉛合金、 (ステンレス)	取付位置 ()	ケースハンドル錠	ステンレス		点検口錠	亜鉛合金程度、 (ステンレス)		丁番	ステンレス、 (黄銅)		ピボットヒンジ	加一部: ステンレス、 (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ	点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き	フロアヒンジ	加一部: ステンレス、 (本体は鋼)	ドアクローザー	ヒンジ加部(丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き	ヒンジ加部(ビレット型)	加一部: ステンレス、 (本体は鋼)		ドアクローザー	本体: アルミニウム合金 アーム部: 鋼 (焼付け塗装)		閉鎖傾位調整器	ステンレス、 (鋼)		押棒・押板	(ステンレス、黄銅、合成樹脂)	取付位置 ()	上げ落とし (フランス落とし)	亜鉛合金程度、 (ステンレス)		アームカバー	鋼 (加めつき)、 (ステンレス)		戸当り	亜鉛合金程度、 (ステンレス、黄銅)	あおり止め付き
	外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)																																																																																											
	性能等級	A種	B種	C種																																																																																								
	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																								
	気密性	A - 4																																																																																										
	水密性	W - 4	W - 5																																																																																									
	枠見込み(mm)	図示																																																																																										
	金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																									
シリンドラ錠	握り玉: ステンレス レバー・ハンドル: アルミニウム合金、 (ステンレス、黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード																																																																																										
本締り錠	シリンドラ錠: ステンレス	実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード																																																																																										
空錠	握り玉: ステンレス レバー・ハンドル: アルミニウム合金、 (ステンレス、黄銅)	取付位置 ()																																																																																										
グレモン錠	レバー・ハンドル: 亜鉛合金、 (ステンレス)	取付位置 ()																																																																																										
ケースハンドル錠	ステンレス																																																																																											
点検口錠	亜鉛合金程度、 (ステンレス)																																																																																											
丁番	ステンレス、 (黄銅)																																																																																											
ピボットヒンジ	加一部: ステンレス、 (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ																																																																																										
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き																																																																																										
フロアヒンジ	加一部: ステンレス、 (本体は鋼)	ドアクローザー																																																																																										
ヒンジ加部(丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き																																																																																										
ヒンジ加部(ビレット型)	加一部: ステンレス、 (本体は鋼)																																																																																											
ドアクローザー	本体: アルミニウム合金 アーム部: 鋼 (焼付け塗装)																																																																																											
閉鎖傾位調整器	ステンレス、 (鋼)																																																																																											
押棒・押板	(ステンレス、黄銅、合成樹脂)	取付位置 ()																																																																																										
上げ落とし (フランス落とし)	亜鉛合金程度、 (ステンレス)																																																																																											
アームカバー	鋼 (加めつき)、 (ステンレス)																																																																																											
戸当り	亜鉛合金程度、 (ステンレス、黄銅)	あおり止め付き																																																																																										
仕上塗材 (4.1.5) (4.5.2) (4.5.6)	薄付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	性能	「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。	5	10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) ~ (5.4.4)	JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修仕様による) 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ 表5.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型鋼製建具の形式及び寸法 建具表による	14 自動ドア開閉装置 (5.9.2) ~ (5.9.3)	駆動装置及び検出装置の性能 引き戸用駆動装置性能値 改修仕様表5.9.1による (SSLD-1 SSLD-2 DSLD-1 DSLD-2) <table border="1"> <tr> <th>種類・開閉方式</th> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 車椅子使用者用扉出入口引き戸用駆動装置性能値 改修仕様表5.9.2による <table border="1"> <tr> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源							耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																			
種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																							
耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																								
	厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	改修工法 (5.1.3)	既存建具を新規建具に改修する場合 かぶせ工法 (カバー工法 持出し工法 ノンシール工法) 撤去工法 (はつり工法 引き抜き工法) 新規建具を設置する場合 新規建具を設ける壁の開口方法 図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示による	5	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) ~ (5.6.5)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)																																																																																						
	裏面仕上げ塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	4 防火戸 (5.1.4)	図示による 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動動作させる (建具表による) 連動させない	5	鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.5.2) ~ (5.5.4)	鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 建具表による																																																																																						
	裏面仕上げ塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6)	建具見本の製作 行う (建具番号) 特殊な建具の仮組 行う (建具番号) ブラインドボックス等の再使用 ()	6	防犯建物部品 (5.1.7)	開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ ドア 適用箇所 () ・ サッシ 適用箇所 () ・ シャッター 適用箇所 ()																																																																																						
	可とう形改修用仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	アルミニウム製建具 (5.2.2) ~ (5.2.5)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)	6	防犯建物部品 (5.1.7)	開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ ドア 適用箇所 () ・ サッシ 適用箇所 () ・ シャッター 適用箇所 ()																																																																																						
	可とう形改修用仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う (参考工法: 製造所:) 行わない	表面処理 (表5.2.2)																																																																																									
	可とう形改修用仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック	表面処理 (表5.2.2)																																																																																									
	可とう形改修用仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	既存塗膜の除去方法 試験施工実施 サンダー工法 高圧水洗工法 (試験施工実施) (加圧力 30Mpa) 塗膜はく離剥工法 (製造所:) 水洗い工法 (高圧水噴射機 10-15pa) 既存塗膜の除去範囲 既存仕上げ面全体 既存壁面の (%) 別図に示す範囲																																																																																									

章	項目	特記事項																									
5	5 建具改修工事	引き戸用検出装置性能値 改修標仕 表5.9.3による <table border="1"> <tr> <th>放射無線周波数電磁界耐性</th> <th>耐電圧</th> <th>防錆</th> <th>防滴</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	放射無線周波数電磁界耐性	耐電圧	防錆	防滴	電源																				
		放射無線周波数電磁界耐性	耐電圧	防錆	防滴	電源																					
		戸の開閉方式 引き戸検出装置の種類 タッチスイッチの種類 車椅子使用者用便房 凍結防止措置	建具表による 表 5.9.4 () による 建具表による 無線式タッチスイッチ 光線式タッチスイッチ 大形押しボタンスイッチ 非接触スイッチ 行う																								
		15 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)	性能値等の区分 (表5.10.1) <table border="1"> <tr> <th>適用戸の総質量(kg)</th> <th>40以下</th> <th>40を越えるもの</th> </tr> <tr> <th>手動開き力(N)</th> <th>15以下</th> <th>20以下</th> </tr> <tr> <th>手動閉じ力(N)</th> <th>15以下</th> <th>20以下</th> </tr> </table> 性能等 _____ 品質・規格 _____	適用戸の総質量(kg)	40以下	40を越えるもの	手動開き力(N)	15以下	20以下	手動閉じ力(N)	15以下	20以下															
適用戸の総質量(kg)	40以下	40を越えるもの																									
手動開き力(N)	15以下	20以下																									
手動閉じ力(N)	15以下	20以下																									
16 重量シャッター (5.11.2) ~ (5.11.4)	種類 管理用シャッター(シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 () 外壁用防火シャッター(シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 () 屋内用防火シャッター(シャッターケース 設ける) 屋内用防煙シャッター(シャッターケース 設ける) 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 _____ Pa 開閉方式 電動式(手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による _____ スラット及びシャッターケース用鋼板 <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>めっきの付着量</th> </tr> <tr> <td>JIS G 3302</td> <td>Z12又はF12を満足するもの</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3312</td> <td>Z12又はF12を満足するもの</td> </tr> </table>	材質	めっきの付着量	JIS G 3302	Z12又はF12を満足するもの	JIS G 3312	Z12又はF12を満足するもの																				
材質	めっきの付着量																										
JIS G 3302	Z12又はF12を満足するもの																										
JIS G 3312	Z12又はF12を満足するもの																										
軽量シャッター (5.12.2) ~ (5.12.4)	開閉方式 電動式(手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による _____ 耐風圧強度 _____ Pa スラット <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>めっきの付着量</th> <th>形状</th> </tr> <tr> <td>JIS G 3312</td> <td>Z06又はF06を満足するもの</td> <td rowspan="2">インターロック形 オーバーラッピング形</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3322</td> <td>AZ90を満足するもの</td> </tr> </table>	材質	めっきの付着量	形状	JIS G 3312	Z06又はF06を満足するもの	インターロック形 オーバーラッピング形	JIS G 3322	AZ90を満足するもの																		
材質	めっきの付着量	形状																									
JIS G 3312	Z06又はF06を満足するもの	インターロック形 オーバーラッピング形																									
JIS G 3322	AZ90を満足するもの																										
18 オーバーヘッドドア (5.13.2) ~ (5.13.4)	セクション材 スチールタイプ アルミニウムタイプ アルミ/ガラス 耐風圧性能 _____ Pa 開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による _____ 収納形式 スタンダード形 ローヘッド形 ハイリフト形 パーチカル形 ガイドレール等 溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板																										
ガラス (5.14.2) ~ (5.14.4)	ガラス	材料 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>種類等</th> <th>種別</th> <th>種類等</th> </tr> <tr> <td>強化ガラス</td> <td>強化ガラス</td> <td>磨き、型板</td> <td>磨き、型板</td> </tr> <tr> <td>型板ガラス</td> <td>熱線吸収ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>網入板ガラス</td> <td>磨き</td> <td>複層ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>線入板ガラス</td> <td>熱線反射ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合わせガラス</td> <td>倍強度ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	種類等	種別	種類等	強化ガラス	強化ガラス	磨き、型板	磨き、型板	型板ガラス	熱線吸収ガラス			網入板ガラス	磨き	複層ガラス		線入板ガラス	熱線反射ガラス			合わせガラス	倍強度ガラス			
		種別	種類等	種別	種類等																						
強化ガラス	強化ガラス	磨き、型板	磨き、型板																								
型板ガラス	熱線吸収ガラス																										
網入板ガラス	磨き	複層ガラス																									
線入板ガラス	熱線反射ガラス																										
合わせガラス	倍強度ガラス																										
		ガラス溝の大きさ (図5.14.1) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>面クリアランス</th> <th>エッジクリアランス</th> <th>掛り代</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム建具</td> <td rowspan="2">建具製造所の仕様による</td> <td rowspan="2">建具製造所の仕様による</td> <td rowspan="2">建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> </tr> <tr> <td>ステンレス建具</td> <td rowspan="2">建具製造所の仕様による</td> <td rowspan="2">建具製造所の仕様による</td> <td rowspan="2">建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>学校間仕切</td> </tr> </table>	種別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代	アルミニウム建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	鋼製建具	ステンレス建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	学校間仕切											
種別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代																								
アルミニウム建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による																								
鋼製建具																											
ステンレス建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による																								
学校間仕切																											

章	項目	特記事項																			
5	21 ガラスブロック (5.14.5)	ガラス留め材 (5.14.2) <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th colspan="2">材質</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>シーリング材(SR-1)</td> <td>グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td colspan="2">グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>鋼製・鋼製軽量・ステンレス製</td> <td>シーリング材(SR-1)</td> <td>パテ 1種 2種</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td colspan="2">パテ(木製用)</td> </tr> </table> 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。	建具の種類	材質		アルミニウム製	シーリング材(SR-1)	グレイジングチャンネル	樹脂製	グレイジングチャンネル		鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	シーリング材(SR-1)	パテ 1種 2種	木製	パテ(木製用)					
		建具の種類	材質																		
アルミニウム製	シーリング材(SR-1)	グレイジングチャンネル																			
樹脂製	グレイジングチャンネル																				
鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	シーリング材(SR-1)	パテ 1種 2種																			
木製	パテ(木製用)																				
		寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 パターン 防火認定 x 図示 乳白 熱線反射 なし あり 品質規格はJIS A5212 による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 壁用金属枠及び補強材 力骨 材質 SUS304 寸法・形状 径5.5mmのはご形状複筋及び単筋 シーリング 表3.7.1による SR-1 PS-1 化粧目地モルタルの色 白 グレー 金属製化粧カバー 材質 SUS304 寸法・形状 図示による 目地幅の寸法 平積みの場合 8mm以上、15mm以下 曲面積みの場合 外側15mm以下、内側6mm以上 (曲率半径はガラスの幅寸法の1.0倍以上) 伸縮調整目地の位置 6mm以下ごとに幅10~25mmの伸縮調整目地を設ける。																			
	② 木製建具 (5.7.2) ~ (5.7.4)	建具材の加工、組立時の含水率の種類 代用樹種の適用 接着剤のホルムアルデヒド放散量 フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 改修標仕5.7.2(2)(イ)による 表面材の合板の種類 <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>普通合板</td> <td>表面の樹脂シナ合板類 板面の品質 (広葉樹1種) 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> </table> MDF 表面板の厚さ 図示による 5.5 (表5.7.6) 引き戸の召合せかまちのいろいろ付きの適用 適用しない 適用する	合板の種類	規格等	備考	普通合板	表面の樹脂シナ合板類 板面の品質 (広葉樹1種) 接着の程度 (1種 2種)		天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)		特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度 (1種 2種)		A種 B種 可 不可 F						
合板の種類	規格等	備考																			
普通合板	表面の樹脂シナ合板類 板面の品質 (広葉樹1種) 接着の程度 (1種 2種)																				
天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)																				
特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度 (1種 2種)																				
5	23 ポリカーボネイト樹脂板	種類 _____ 厚さ _____ mm																			

章	項目	特記事項																																																			
6	6 内装改修工事	揮発性有機化合物対策 (6.5.2) ~ (6.5.4) (6.8.2)(6.9.2) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.11.5) (6.13.2)(6.14.2) (6.16.4)(9.5.3) (9.5.4)	木材、木れんが、ビニル床シート、タイル、ゴム床タイル、カーペット、合成樹脂塗床、フローリング、ボード類、断熱材の接着に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 木材塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 F																																																		
		他の部分との取り合い等 (6.1.3)	既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ () 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ () 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 既存のまま 図示による 範囲() 仕上げ ()																																																		
	既存床の撤去等 (6.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>工法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>ビニル床シート等</td> <td>下地材の除去</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂塗床材</td> <td>機械的除去工法 目荒し工法</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>フローリング張り床材</td> <td></td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>タイルカーペット</td> <td></td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>床組</td> <td>木製</td> <td>図示による</td> </tr> </table>	種別	工法	施工箇所	ビニル床シート等	下地材の除去	図示による	合成樹脂塗床材	機械的除去工法 目荒し工法	図示による	フローリング張り床材		図示による	タイルカーペット		図示による	床組	木製	図示による																																	
種別	工法	施工箇所																																																			
ビニル床シート等	下地材の除去	図示による																																																			
合成樹脂塗床材	機械的除去工法 目荒し工法	図示による																																																			
フローリング張り床材		図示による																																																			
タイルカーペット		図示による																																																			
床組	木製	図示による																																																			
	既存壁の撤去等 (6.3.2)	間仕切壁撤去に伴う構造体の補修 改修標仕4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 行う 行わない)																																																			
	木下地等 (6.5.1) ~ (6.5.9)	材料のホルムアルデヒド放散量 F 又は改修標仕6.5.2(1)(ウ)(b)による 含水率 下地材 A種(15%以下) B種(20%以下) 造作材 A種(15%以下) B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。																																																			
	JAS 1083(製材)に基づく製材	下地用製材 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1級 2級</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 造作用製材 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>無節 上小節 小節 並</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 広葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>特等 1等 2等</td> <td>10%以下</td> <td></td> </tr> </table> JAS 1083(製材)以外の製材 (表12.2.2) <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>材面の品質</th> <th>防火処理</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A種 B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理				1級 2級			使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理				無節 上小節 小節 並			使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理				特等 1等 2等	10%以下		使用箇所	樹種	寸法	材面の品質	防火処理	含水率				A種 B種					
使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理																																																
			1級 2級																																																		
使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理																																																
			無節 上小節 小節 並																																																		
使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理																																																
			特等 1等 2等	10%以下																																																	
使用箇所	樹種	寸法	材面の品質	防火処理	含水率																																																
			A種 B種																																																		

章	項目	特記事項																										
6	6 内装改修工事	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 工事完成までに、ウッドマイルズ'02京都の木認証書(京都府産木材証明書及びウッドマイルズ'02計算書)(注1)を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書(京都府産材材証明書)(注2)を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL:075-802-2991 注1)認証書 注2)証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業体又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。 工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。 京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書(発行機関:(一社)京都府木材組合連合会)を提出すること。																										
		「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>見付材面数</th> <th>寸法</th> <th>見付材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等 2等</td> </tr> </table> 化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>化粧板厚</th> <th>見付材面数</th> <th>見付材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧材 芯材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等 2等</td> </tr> </table>	使用箇所	品名	樹種	見付材面数	寸法	見付材面の品質						1等 2等	使用箇所	品名	樹種	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質			化粧材 芯材				1等 2等
使用箇所	品名	樹種	見付材面数	寸法	見付材面の品質																							
					1等 2等																							
使用箇所	品名	樹種	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質																						
		化粧材 芯材				1等 2等																						
	「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>見付材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15%以下</td> </tr> </table> 化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>化粧樹種名</th> <th>芯材樹種名</th> <th>寸法</th> <th>化粧板厚</th> <th>見付材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15%以下</td> </tr> </table>	使用箇所	樹種	寸法	見付材面の品質	含水率					15%以下	使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率							15%以下			
使用箇所	樹種	寸法	見付材面の品質	含水率																								
				15%以下																								
使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率																						
						15%以下																						
	JAS 0701(単板積層材)に基づく造作用単板積層材 造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然化粧加工 塗装加工</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> </table>	使用箇所	品名	寸法	表面の品質	防虫処理				表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然化粧加工 塗装加工	適用する 適用しない																	
使用箇所	品名	寸法	表面の品質	防虫処理																								
			表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然化粧加工 塗装加工	適用する 適用しない																								
	JAS 0701(単板積層材)以外の造作用単板積層材 造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>寸法</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>表面化粧加工なし 表面化粧加工あり 天然化粧加工 塗装加工</td> <td>14%以下</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> </table>	使用箇所	寸法	表面の品質	含水率	防虫処理			表面化粧加工なし 表面化粧加工あり 天然化粧加工 塗装加工	14%以下	適用する 適用しない																	
使用箇所	寸法	表面の品質	含水率	防虫処理																								
		表面化粧加工なし 表面化粧加工あり 天然化粧加工 塗装加工	14%以下	適用する 適用しない																								
	JAS 3079(直交集成板) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>曲げ性能(強度等級)</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)																				
施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)																						
	合板等 「合板の日本農林規格」による普通合板 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ</th> <th>樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>板面の品質</th> <th>その他処理</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">挿入れ、物入れ、壁材</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">5.5mm</td> <td rowspan="2">シナ</td> <td>1類</td> <td rowspan="2">広葉樹 2等以上 針葉樹 C-D以上</td> <td>防火処理 難燃処理 防火処理</td> </tr> <tr> <td>2類</td> <td></td> </tr> </table>	使用箇所	品名	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理	挿入れ、物入れ、壁材		5.5mm	シナ	1類	広葉樹 2等以上 針葉樹 C-D以上	防火処理 難燃処理 防火処理	2類												
使用箇所	品名	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理																						
挿入れ、物入れ、壁材		5.5mm	シナ	1類	広葉樹 2等以上 針葉樹 C-D以上	防火処理 難燃処理 防火処理																						
				2類																								
	「合板の日本農林規格」による構造用合板 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品名</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> <th>樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>板面の品質</th> <th>保存処理</th> <th>その他処理</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">畳床下地材、フローリング張り下地材</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">2級</td> <td rowspan="2">12mm</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">1類</td> <td rowspan="2">C-D以上</td> <td rowspan="2"></td> <td>防火処理 強度等級</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table>	使用箇所	品名	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理	畳床下地材、フローリング張り下地材		2級	12mm		1類	C-D以上		防火処理 強度等級									
使用箇所	品名	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理																				
畳床下地材、フローリング張り下地材		2級	12mm		1類	C-D以上		防火処理 強度等級																				
	「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>防火処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類</td> <td>特等</td> </tr> </table>	使用箇所	品名	厚さ	単板の樹種名	接着程度	防火処理					1類	特等															
使用箇所	品名	厚さ	単板の樹種名	接着程度	防火処理																							
				1類	特等																							
	「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>厚さ</th> <th>接着程度</th> <th>防火処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類 2類</td> <td></td> </tr> </table>	使用箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ	接着程度	防火処理				1類 2類																		
使用箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ	接着程度	防火処理																								
			1類 2類																									
	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品目</th> <th>厚さ</th> <th>接着程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防火処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類 2類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	使用箇所	品目	厚さ	接着程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防火処理				1類 2類																
使用箇所	品目	厚さ	接着程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防火処理																						
			1類 2類																									

Main project specification table with columns for Item, Description, and Item, Description, Item, Description, Item, Description, Item, Description. It contains detailed technical specifications for interior renovation work, including materials like vinyl tiles, wall paper, and floor treatments.

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項												
7	<p>素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)</p> <p>錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3)</p> <p>塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)</p>	<p>8-1 耐震補強工事 (鉄筋工事)</p> <p>8-2 耐震補強工事 (コンクリート工事)</p> <p>8-3 耐震補強工事 (あと施工アンカー)</p> <p>8-4 耐震補強工事 (鉄骨工事)</p>	<p>1 鉄筋の種類 (8.2.1)</p> <p>2 溶接金網 (8.2.2)</p> <p>3 鉄筋の継手及び定着 (8.3.4) (8.4.2) (8.4.3)</p> <p>4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5)</p> <p>5 圧接完了後の試験 (8.3.8)</p> <p>6 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7)</p>	<p>8-1 耐震補強工事 (コンクリート工事)</p> <p>8-2 耐震補強工事 (コンクリート工事)</p> <p>8-3 耐震補強工事 (あと施工アンカー)</p> <p>8-4 耐震補強工事 (鉄骨工事)</p>	<p>10 無筋コンクリート (8.11.1) (8.11.2)</p> <p>11 コンクリート車等の過積載防止対策等</p>	<p>1 あと施工アンカー (8.2.4) (8.12.4)</p> <p>2 あと施工アンカーの試験 (8.2.4) (8.12.7)</p> <p>1 鉄骨の製作工場 (8.1.5)</p> <p>2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6)</p> <p>3 鋼材の種類 (8.2.8)</p> <p>4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)</p>	<p>コンクリートの種類 普通コンクリート</p> <p>設計基準強度 18N/mm²</p> <p>スランプ 15cm又は18cm</p> <p>セメントの種類 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種</p> <p>適用箇所 標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による ()</p> <p>受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサ車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。</p> <p>金属系アンカー 引張耐力 _____ せん断耐力 _____</p> <p>径 _____ 埋込み長さ _____</p> <p>セット方式 本体打込み式改良型</p> <p>接合筋の種類 _____ 長さ _____</p> <p>径 _____</p> <p>接着系アンカー 引張耐力 _____ せん断耐力 _____</p> <p>種類 カプセル型回転・打撃式</p> <p>アンカー筋 改修仕様表8.2.1の異形棒鋼 種類 _____</p> <p>径 _____ 埋込み長さ _____</p> <p>新設壁内への定着長さ _____</p> <p>埋め込み配管等の調査 範囲 あと施工アンカー施工部分全て 方法 鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に照らしを行う。 図示による</p> <p>性能確認試験 行わない 行う</p> <p>施工確認試験 行う(引張試験機による引張試験 確認強度 _____)</p> <p>行わない</p> <p>1ロット 1日に施工されたものの径及び仕様ごと _____</p> <p>試験の箇所数 1ロットに対し3本、無作為に抜き取る</p> <p>監督職員の承諾する工場 建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (S H M R J)グレード以上</p> <p>適用する 適用しない</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>使用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>SS400</td> <td></td> <td>JIS G 3101</td> </tr> <tr> <td>SM400A</td> <td></td> <td>JIS G 3106</td> </tr> <tr> <td>SN400A</td> <td></td> <td>JIS G 3136</td> </tr> </table> <p>図示による</p> <p>ボルトの種類 トルシア形高力ボルト(建築基準法の認定品) JIS形高力ボルト(JIS B 1186) 2種(F10T) 熔融亜鉛めっき高力ボルト(建築基準法の認定品、1種(F8T))</p> <p>ねじの呼び _____</p> <p>すべり係数試験(対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する) 行わない 行う 試験方法等 図示による _____</p> <p>JIS形高力ボルトの本締めで、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 _____</p>	種類の記号	使用箇所	規格等	SS400		JIS G 3101	SM400A		JIS G 3106	SN400A		JIS G 3136
種類の記号	使用箇所	規格等																	
SS400		JIS G 3101																	
SM400A		JIS G 3106																	
SN400A		JIS G 3136																	

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項			
8-4 耐震補強工事（鉄骨工事）	5 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (8.20.5)	摩擦面の処理 プラスト処理（表面粗度 5.0 μm Rz以上） りん酸塩処理 図示による（ ） すべり耐力等の確認方法 試験方法等 図示による （対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する）	8-4 耐震補強工事（鉄骨工事）	15 耐火被覆 (8.18.2) ~ (8.18.9)	種別 種 類 材 料 ・ 工 法 適用箇所（部位・部分） 耐火材吹付け 乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール 耐火板張り 繊維混入ケイ酸カルシウム板 耐火材巻付け 高断熱ロックウール 2張り珪藻土塗り - 耐火塗料 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 性 能 適用箇所（部位・部分） 30分耐火 1時間耐火 2時間耐火 3時間耐火	8-6 耐震補強工事（現場打ちRC壁の増設工事）	1 補強工法 新設耐震壁 増打ち耐震壁 開口部閉鎖壁 新設袖壁 製造所及び専門業者 （ ）			
	6 溶接材料 (8.2.10)	溶接材料 改修標準仕様書8.2.10(1)(2)による 図示による		16 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3) 公共建築工事標準仕様書(84版)による。	適用 構造用アンカーボルト 材質 SNR400B アンカーフレームの形状及び寸法 図示による 建方用アンカーボルト 材質 SS400 アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1) 種別 A種 B種 柱底均しモルタルの厚さ 50mm 30mm		2 既存部分の撤去 (8.21.2) 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本工事に支障となる最小限の範囲を撤去し既存構造体を露出させる。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 既存構造体の撤去範囲 図示による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 鉄筋は曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。また鉄骨は発泡スチロール等で養生する。 図示による	8-7 耐震補強工事（鉄骨ブレース設置工事）	3 既存部分の処理 (8.22.3) 目荒しの程度 既存柱・梁 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による	
	7 スカップ (8.2.11)	種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22		1 グラウト材 (8.2.12)	グラウト材 早強型特殊セメント系無収縮モルタル 無収縮モルタルの調合 製造所で調合されたプレミックスタイプ 現場調合形 無収縮グラウト材の品質 圧縮強度 (N/mm ²) 30以上 コンクリートと同程度の強度(鉄筋コンクリート壁増設工事の壁頭部) コンクリート-J140+値(秒) 6~10 乾燥収縮 (10 ⁻⁴) 0 グラウト材の品質管理は次による 圧縮強度試験 行う 行わない コンシステンシー試験 行う 行わない		3 既存部分の撤去 (8.21.3) 目荒しの程度 既存柱・梁 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の10~15%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による	4 鉄筋の加工及び組立て (8.21.6)	割裂補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、 A種鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 図示による 開口付増設壁の開口部鉄筋及び増設で壁の端部横筋 ダブル配筋=閉鎖型配筋、シングル配筋=フック(3d)付き 図示による	1 補強工法 溶接金網巻き工法 鋼板巻き工法 連続繊維補強工法 溶接閉鎖フープ巻き工法 帯板巻き付け工法
	8 工作図 (8.13.2)	高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 図示による（図に無い場合は鉄骨設計標準による）		2 柱底等の均しモルタル (8.2.12) 公共建築工事標準仕様書(84年版)(7.2.9)(7.10.3)による。	モルタルの種別 材料の調合等 厚さ 工法 無収縮モルタル 公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(1)による。 図示による A種 B種		5 コンクリートの打込み工法 (8.21.8) 流込み工法 圧入工法 8.19.9の方法による他、以下に注意する 開口周囲の既存壁をはつり、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。 開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚く配筋の場合) 開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合) 図示による	5 既存部分の撤去 (8.21.9) 既存仕上げの撤去範囲 図示による これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚く配筋の場合) 開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合) 図示による	2 既存部分の撤去 (8.23.2) 既存仕上げの撤去範囲 本特記仕様書8-6-2による他、下記による。 垂れ壁・腰壁を撤去する場合には、風圧力等による安全性を確認の上、30mmのスリットを残して補強を行う。 図示による 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 既存構造体の撤去範囲 図示による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による	2 既存部分の撤去 (8.23.2) 既存仕上げの撤去範囲 本特記仕様書8-6-2による他、下記による。 垂れ壁・腰壁を撤去する場合には、風圧力等による安全性を確認の上、30mmのスリットを残して補強を行う。 図示による 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 既存構造体の撤去範囲 図示による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による
	9 ボルト孔 (8.13.8)	母屋又は副線の取付けに使用する普通ボルトの孔型 ねじの呼び径 +1.0 mm		13 溶接部の試験 (8.15.12)	H12建設省告示第1464号第二号に関する外観試験方法等 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強で77(独立行政法人建築研究所)」、3.5.2による受入検査 抜き取り検査 抜き取り検査 JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付則3「溶接」に関する試験方法等 JASS 10.4 [受入検査] e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取り箇所は、超音波深層試験の試験箇所と同一とする。 外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 浸透探傷試験(JIS Z 2343-1) 磁粉探傷試験(JIS Z 2320-1) 超音波探傷試験 工場溶接 平均出検品質限界(AOQL) 全数 検査水準 第6水準 第_水準 現場溶接 平均出検品質限界(AOQL) 全数		8-5 耐震補強工事（グラウト）	6 既存構造体との取合い (8.21.9) 開口周囲の既存壁をはつり、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。 開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚く配筋の場合) 開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合) 図示による	3 既存部分の処理 (8.23.3) 目荒し程度 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による 柱及び梁の成型(連続繊維補強工法) 支障となる表面の不陸を調整し、コーナー部をグラインダー等により曲面に成型する。(30R) 図示による	3 既存部分の処理 (8.23.3) 目荒し程度 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による 柱及び梁の成型(連続繊維補強工法) 支障となる表面の不陸を調整し、コーナー部をグラインダー等により曲面に成型する。(30R) 図示による
	10 仮組	実施する 部位 () 実施しない		14 錆止め塗料 (7.4.2) (8.17.2) (8.17.4)	塗料の種類 鉄鋼面の錆止め塗料 表7.4.1による A種 B種 C種 ○ D種 E種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 表7.4.2による A種 B種 C種 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) 表7.4.1による A種 B種 C種 ○ D種 E種 耐火被覆材の接着する面への塗装 行わない 行う 耐火被覆材の接着する面以外への塗装 行わない 行う (塗装範囲 図示による)		7 仕上げ (8.21.10) 図示による	7 仕上げ (8.21.10) 図示による	4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5) 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ _____ mm 打込みの工法 流込み工法 圧入工法	4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5) 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ _____ mm 打込みの工法 流込み工法 圧入工法
	11 技能資格者	溶接作業者の技量付加試験 行わない 行う 試験の要領 図示による		2 柱底等の均しモルタル (8.2.12) 公共建築工事標準仕様書(84年版)(7.2.9)(7.10.3)による。	厚さ 工法 無収縮モルタル 公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(1)による。 図示による A種 B種		8-7 耐震補強工事（鉄骨ブレース設置工事）	1 補強工法 内側補強工法 枠付き鉄骨K型ブレース 枠付き鉄骨X型ブレース 枠付き鉄骨類杖付ブレース 枠付き鉄骨マンサード型ブレース 枠付き有開口鉄板パネル 枠付き無開口鉄板パネル 製造所及び専門業者 （ ） 外側補強工法 枠付き鉄骨ブレース直付け工法 枠付き鉄骨ブレース架橋工法 製造所及び専門業者 （ ）	4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5) 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ _____ mm 打込みの工法 流込み工法 圧入工法	4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5) 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ _____ mm 打込みの工法 流込み工法 圧入工法
	12 溶接接合 (8.15.4) (8.15.7)	開先の形状 図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による 鋼製エンドタブの切断 有 無 切断する箇所及び切断範囲 図示による 切断面の仕上げ グラインダーにより、粗さ 100 μm Rz 程度以下及びノッチ深さ 1mm 程度以下に仕上げる スカラップの形状 図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による 改良型スカラップ		2 柱底等の均しモルタル (8.2.12) 公共建築工事標準仕様書(84年版)(7.2.9)(7.10.3)による。	厚さ 工法 無収縮モルタル 公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(1)による。 図示による A種 B種		8-7 耐震補強工事（鉄骨ブレース設置工事）	2 既存部分の撤去 (8.22.2) 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 既存構造体の撤去範囲 図示による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6) 鋼板の加工 円形 角形 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚スリットを設ける場合の珪藻土剥落防止処理方法 小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工 グラウト材 グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による グラウト材の厚さ 20mm _____ mm	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6) 鋼板の加工 円形 角形 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚スリットを設ける場合の珪藻土剥落防止処理方法 小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工 グラウト材 グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による グラウト材の厚さ 20mm _____ mm
	13 溶接部の試験 (8.15.12)	H12建設省告示第1464号第二号に関する外観試験方法等 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強で77(独立行政法人建築研究所)」、3.5.2による受入検査 抜き取り検査 抜き取り検査 JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付則3「溶接」に関する試験方法等 JASS 10.4 [受入検査] e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取り箇所は、超音波深層試験の試験箇所と同一とする。 外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 浸透探傷試験(JIS Z 2343-1) 磁粉探傷試験(JIS Z 2320-1) 超音波探傷試験 工場溶接 平均出検品質限界(AOQL) 全数 検査水準 第6水準 第_水準 現場溶接 平均出検品質限界(AOQL) 全数		2 柱底等の均しモルタル (8.2.12) 公共建築工事標準仕様書(84年版)(7.2.9)(7.10.3)による。	厚さ 工法 無収縮モルタル 公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(1)による。 図示による A種 B種		8-7 耐震補強工事（鉄骨ブレース設置工事）	2 既存部分の撤去 (8.22.2) 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 既存構造体の撤去範囲 図示による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6) 鋼板の加工 円形 角形 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚スリットを設ける場合の珪藻土剥落防止処理方法 小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工 グラウト材 グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による グラウト材の厚さ 20mm _____ mm	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6) 鋼板の加工 円形 角形 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚スリットを設ける場合の珪藻土剥落防止処理方法 小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工 グラウト材 グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による グラウト材の厚さ 20mm _____ mm
	14 錆止め塗料 (7.4.2) (8.17.2) (8.17.4)	塗料の種類 鉄鋼面の錆止め塗料 表7.4.1による A種 B種 C種 ○ D種 E種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 表7.4.2による A種 B種 C種 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) 表7.4.1による A種 B種 C種 ○ D種 E種 耐火被覆材の接着する面への塗装 行わない 行う 耐火被覆材の接着する面以外への塗装 行わない 行う (塗装範囲 図示による)		2 柱底等の均しモルタル (8.2.12) 公共建築工事標準仕様書(84年版)(7.2.9)(7.10.3)による。	厚さ 工法 無収縮モルタル 公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(1)による。 図示による A種 B種		8-7 耐震補強工事（鉄骨ブレース設置工事）	2 既存部分の撤去 (8.22.2) 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 既存構造体の撤去範囲 図示による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6) 鋼板の加工 円形 角形 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚スリットを設ける場合の珪藻土剥落防止処理方法 小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工 グラウト材 グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による グラウト材の厚さ 20mm _____ mm	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6) 鋼板の加工 円形 角形 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚スリットを設ける場合の珪藻土剥落防止処理方法 小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工 グラウト材 グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による グラウト材の厚さ 20mm _____ mm

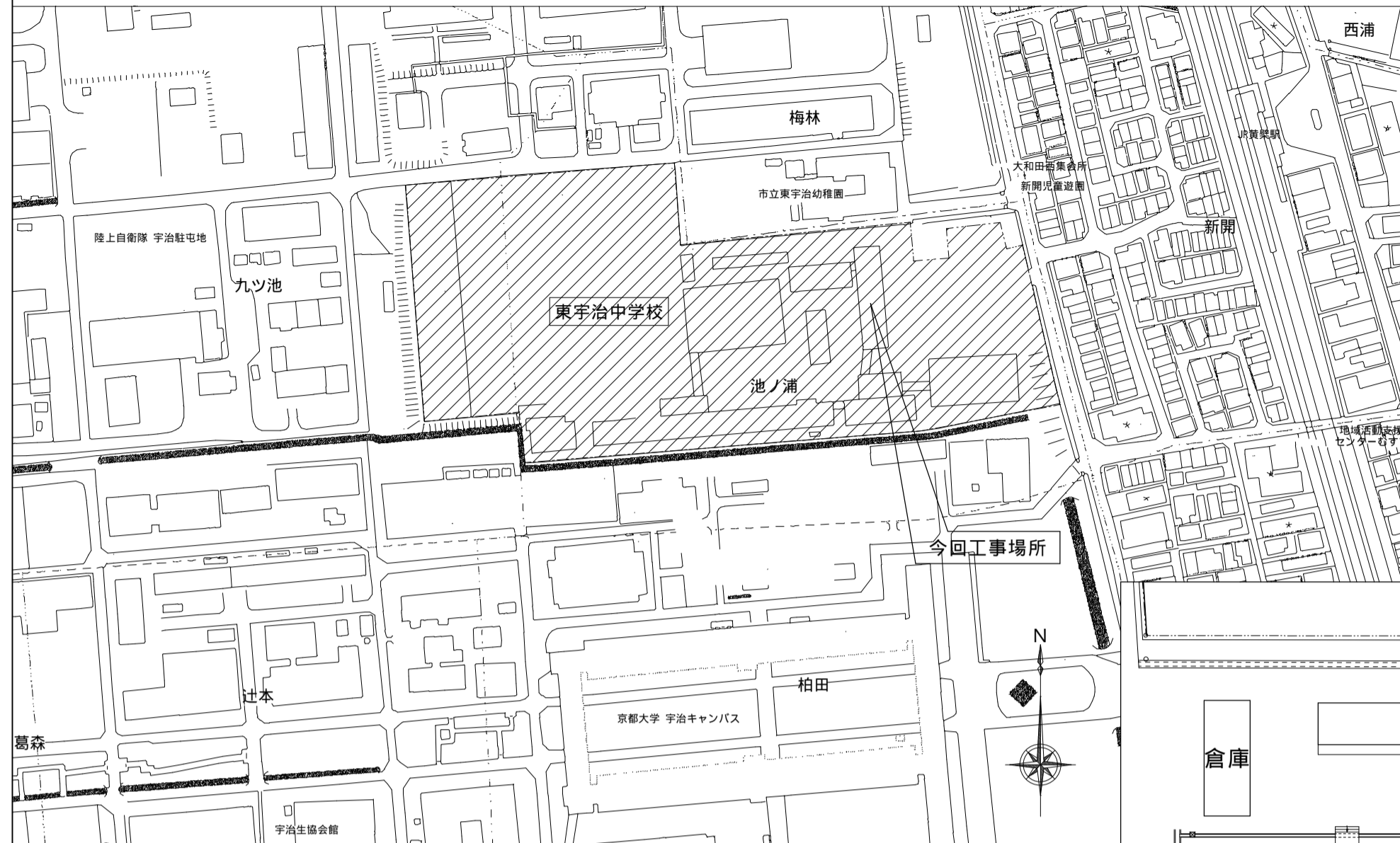
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項						
8-8	耐震補強工事(柱補強工事)	6 連続繊維補強 工法 (8.2.13) (8.24.6)	工法 (一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法	8-10	耐震補強工事(免震改修)	4 仕上げ (8.26.13)	図示による	8-12	耐震補強工事(基礎工事)	1 既存部分の処理等 (8.28.2)	既存杭の撤去等 撤去範囲及び方法 図示による() 杭頭部の処理 図示による() 既存杭の補強 図示による() 既存杭の健全性を確認する試験 図示による()	9	ユニット及びその他の工事	3 可動間仕切 (20.2.3)	種別 構造形式 構成材 表面仕上 遮音性 寸法・形状 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F		
		7 仕上げ (8.23.7) (8.24.7)	図示による			2 埋戻し及び盛土 (8.28.3)	埋戻し及び盛土の種別 改修標準仕様書8.28.1による A種 適用箇所() B種 適用箇所() C種 適用箇所()土質()受渡場所() D種 (細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする) 適用箇所() その他(材料 工法) 地盤の変形を防止する適切な措置を講ずるための鋼矢板等の抜き跡の処理 図示による 山留め壁等の存置箇所(図示)			移動間仕切 (20.2.4)	パネル操作方法による種別 パネル表面材・仕上 パネル圧接装置の操作方法 遮音性能 図示 図示 図示 図示						
8-9	耐震補強工事(耐震スリット)	1 耐震スリット新設 工事 (8.25.2)	方向 垂直方向 水平方向 タイプ 完全(金貫通型)スリット せん断型部分スリット 耐火性能 耐火型 非耐火型 防水性能 有り 無し 品質・規格 既存仕上げの撤去範囲 図示による 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 既存鉄骨の処理 はつり出し 耐震スリットの幅及び深さ 図示による 耐震スリットの充填材 耐火材の使用 適用箇所及び仕様 遮音材の使用 適用箇所及び仕様 既存部分の撤去の補修 図示による	8-11	耐震補強工事(制振改修)	1 既存部分の撤去 (8.27.2)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 既存仕上げの撤去範囲 図示による 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 既存構造体の撤去範囲 図示による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 既存仕上げの撤去範囲 図示による 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 既存鉄骨の撤去 範囲 図示による 方法 図示による 既存鉄骨の処置方法	9	ユニット及びその他の工事	3 杭地業 (8.2.15) (8.28.4)	支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ 図示による() 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 図示による() 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 図示による() 杭の継手の箇所数、材料、工法等 図示による() 杭の溶接継手 技能資格者の技量 図示による() 溶接部の確認 図示による() 杭頭の処理 処理する 処理しない 処理方法(切断にともなう補強方法含む) 図示による() 杭頭の中詰め材料 基礎のコンクリートと同調合のもの 杭の精度 水平方向の位置ずれ 杭径の1/4かつ100mm以下 評定等の評価内容による 建込み時の杭の鉛直度 1/100以内 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 図示による()	5 トイレブース (20.2.5)	表面材 メラミン樹脂系化粧板 脚部 幅木型 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F ドアエッジの材質 トイレーブス製造所の仕様による				
		2 既存部分の処理 (8.27.3)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 壁(増打ち壁増設の場合) 図示による			4 砂利地業等 (8.2.15)	材料 再生クラッシュラン 切込砂利 切込砕石 砂利厚さ 60mm 砂地業 山砂 川砂 砕砂			手すり (20.2.6)	SUS304(表面処理 HL程度) 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき(表14.2.2)による種別()種) アルミニウム 表面処理(表14.2.1)による種別()種) 種別 ()種 ()種 色合等 標準色() 特注色()						
8-10	耐震補強工事(免震改修)	1 既存部分の撤去 (8.26.5)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の仕上げの撤去範囲 図示による 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 既存構造体の撤去範囲 図示による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による	8-12	耐震補強工事(制振改修)	3 減衰材 (8.27.4) (8.27.6)	減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の方法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、 スパイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 割製補強筋 以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に 縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40-60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチ の1/3-1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) 図示による	9	ユニット及びその他の工事	5 家具、エント等の 揮発性有機 化合物対策	収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板類、MDF及びび「パーティクルボード」等の ホルムアルデヒド等の放散量 F 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤 ホルムアルデヒド等の放散量 F 含まれる可塑剤 70%酸-7%等を含有しない、難揮発性のもの	階段滑り止め (20.2.7)	材種 ステンレス製(SUS304) 幅 約35mm 図示 形状 ビニルタイヤ入り 両端フックあり(ビニル SUS304) 取付工法 接着工法 埋込み工法				
		2 既存部分の処理 (8.26.6)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 壁(増打ち壁増設の場合) 図示による			4 砂利地業等 (8.2.15)	材料 再生クラッシュラン 切込砂利 切込砕石 砂利厚さ 60mm 砂地業 山砂 川砂 砕砂			黒板及び ホワイトボード (20.2.9)	区分 黒板 焼付け 鋼製黒板 緑 曲面 ホワイトボード メラミン樹脂系化粧板 ほうろう黒板 黒 スクリーン付引分け ほうろう白板 白 曲面 上下タイプ スクリーン付引分け 額縁金属 アルミ製 (表面処理の種別 B-2 B-1) 品質・規格						
8-10	耐震補強工事(免震改修)	2 既存部分の処理 (8.26.6)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 壁(増打ち壁増設の場合) 図示による	8-12	耐震補強工事(制振改修)	4 仕上げ (8.27.8)	図示による	9	ユニット及びその他の工事	2 フリーアクセス フロア (20.2.2)	建設技術評価制度「耐震型70-70以上の開発」の技術評価を取得した製品とする。 施工箇所 寸法 フロア 耐震性能 所定荷重 帯電防止 漏えい 拒抗 (mm) 高さ(mm) 性能 スロープ及びボーダー 製造所の標準仕様 図示による コンセント等の取付け 製造所の標準仕様(コンセント本体は別途設備工事) 配線用取出し用開口 対応品又は工場加工品(施工箇所は図示) 空調用吹出しパネル あり(固定式 可変式 施工箇所は図示) 表面仕上げ材の品質、規模等は、標仕19章内装工事による。 フリーアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 耐衝撃性能 ローリングロード性能 耐燃焼性能	鏡 (20.2.10)	厚さ(mm) 5 図示				
		3 支承材・減衰材 (8.26.7) (8.26.10)	支承材 材質 諸元 減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、 スパイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による			5 検査 (8.27.9)	項目 数量			DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY DATE SCALE A2: - A3: -							
訂正事項												株式会社 水原建築設計事務所 東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) ----- 建築改修工事特記仕様書(9) 2023-1			SHEET NO. A-09		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																
12	3 石綿粉じん濃度測定 (9.1.1)	<p>行う</p> <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th colspan="3">測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>除去作業前</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">除去作業中</td> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>排気装置の出入口</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">除去作業後</td> <td>集じん・排気装置の排出口</td> <td colspan="3">出口吹出し風速1m/秒以下の位置</td> <td>除去作業室外の場合</td> </tr> <tr> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">除去作業後</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>点</td> <td>1週間以降</td> </tr> </table> <p>周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 行わない</p> <p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動測定器による測定 <table border="1"> <tr> <th>測定場所</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>排気装置の出入口</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、レーザー光散乱式集じん・排気装置の排出口(除去作業室内)</td> </tr> <tr> <td>集じん・排気装置の排出口(除去作業室内)</td> <td>繊維状粒子自動測定器(リアルタイムモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> JIS K 3850-1に基づいた測定 <table border="1"> <tr> <th>測定場所</th> <th>サンプル径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> <tr> <td>排気装置の出入口</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>集じん・排気装置の排出口(除去作業室内)</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td></td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </table> <p>測定機関 (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。</p> <p>報告書提出部数 3部 部</p>	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)			備考	除去作業前	除去作業室内	1点	2点	3点	点	除去作業中	調査対象室外部付近	1点	2点	点		除去作業室内	1点	2点	3点	点	排気装置の出入口	1点	2点	3点	点	除去作業後	集じん・排気装置の排出口	出口吹出し風速1m/秒以下の位置			除去作業室外の場合	除去作業室内	1点	2点	3点	点	除去作業後	除去作業室内	1点	2点	3点	点	調査対象室外部付近	1点	2点	点	1週間以降	測定場所	測定方法	排気装置の出入口	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、レーザー光散乱式集じん・排気装置の排出口(除去作業室内)	集じん・排気装置の排出口(除去作業室内)	繊維状粒子自動測定器(リアルタイムモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定場所	サンプル径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	排気装置の出入口	25	5	30	集じん・排気装置の排出口(除去作業室内)	47	10	120		47	10	240	12	6 石綿含有成形板等の除去 (9.1.5)	<p>除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去の方法 湿潤化したのちに手ばらし 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕</p> <p>隔離養生(負担不要)方法 ○ 図示による ○</p> <p>足場 ○ 図示による ○</p> <p>除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融施設) 石綿含有成形板等(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の撤去 除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去した石綿含有成形板等の処分 石綿含有せっこうボード 埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融施設) 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板等(下地調整材)の撤去 除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去の方法</p> <p>養生の方法</p> <p>除去した石綿含有仕上塗材の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p> <p>除去を行う石綿成形板等の仕様</p> <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>種</th> <th>類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>化粧石膏ボード</td> <td></td> <td>9.5</td> <td>石綿ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>石綿スレート(外装・内装)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿保温材</td> <td></td> <td></td> <td>押出成形セメント板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>けいそう土保温材</td> <td></td> <td></td> <td>化粧石綿セメント板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>塩基性炭酸マグネシウム保温材</td> <td></td> <td></td> <td>石綿セメントけい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム保温材</td> <td></td> <td></td> <td>化粧石綿セメントけい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>親水性パーライト保温材</td> <td></td> <td></td> <td>吸音穴あき石綿セメント板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種	類	厚さ(mm)	種	類	厚さ(mm)	化粧石膏ボード		9.5	石綿ロックウール			ビニル床タイル		2.0	石綿スレート(外装・内装)			石綿保温材			押出成形セメント板			けいそう土保温材			化粧石綿セメント板			塩基性炭酸マグネシウム保温材			石綿セメントけい酸カルシウム板			けい酸カルシウム保温材			化粧石綿セメントけい酸カルシウム板			親水性パーライト保温材			吸音穴あき石綿セメント板			繊維混入けい酸カルシウム板						12	10 屋上緑化 (9.4.2) ~ (9.4.4)	<p>断熱材後張り工法 断熱材の種類 断熱材の厚さ(mm) 張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張り付け工法</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">樹木の種類、寸法、数量等 図示による 下表による</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>芝・地被類の種類 図示による コウライシバ (目地張り) ソシバ (目地張り) セダム類 (カット ふるい プラグ苗)</p> <p>材料 見切材 舗装材 排水孔 排水材</p> <p>かん水装置 設置する (種類) 設置しない</p> <p>支柱材 杉(焼丸太) 竹 ひのき から松(皮はぎ) 形式 図示による 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太</p> <p>幹巻用材料 幹巻き用テープ わら及びこも</p> <p>既存保護層の撤去 行う(工法は3.2.3 [既存保護層等の撤去]による) 行わない</p> <p>新植芝及び地被類の枯補償 引渡しの日から1年 引渡しの日から__年</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 図示による</p>	樹木の種類、寸法、数量等 図示による 下表による				種類	寸法	数量	備考					12	11 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.5.2) ~ (9.5.5)	<p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th colspan="3">材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>盛土</td> <td>A種</td> <td>B種</td> <td>C種</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>凍上抑制層</td> <td colspan="3">再生クラッシュランG クラッシュラン</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>フィルター層</td> <td colspan="3">切込み砂利 砂</td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) 行う 行わない</p> <p>路床安定処理 適用する 適用しない 路床安定処理の方法 置き換え工法 安定処理工法 ・路床安定処理用添加材料 種類 普通ポルトランドセメント 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 生石灰(特号1号) 消石灰(特号1号) 添加量 __kg (目標CBR 3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 安定処理土のCBR試験 ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m²以上 厚さ(mm) 0.5-1.0 引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm)以上 透水係数 1.5×10cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 行う 行わない 現場CBR試験 行う 行わない 路床締固め度の試験 行う 行わない</p>	種別	材料			厚さ(mm)	盛土	A種	B種	C種	図示	凍上抑制層	再生クラッシュランG クラッシュラン			図示	フィルター層	切込み砂利 砂			図示	12	路盤の厚さ 図示 路盤材料 種類別 砕石 クラッシュラン 再生材 再生クラッシュラン 再生粒度調整砕石 クラッシュラン鉄鋼スラグ 粒度調整鉄鋼スラグ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 図示による 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない 舗装の平坦性 著しい不陸がないもの
		測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)			備考																																																																																																																																																																				
除去作業前	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																						
除去作業中	調査対象室外部付近	1点	2点	点																																																																																																																																																																							
	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																						
	排気装置の出入口	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																						
除去作業後	集じん・排気装置の排出口	出口吹出し風速1m/秒以下の位置			除去作業室外の場合																																																																																																																																																																						
	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																						
除去作業後	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																						
	調査対象室外部付近	1点	2点	点	1週間以降																																																																																																																																																																						
測定場所	測定方法																																																																																																																																																																										
排気装置の出入口	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、レーザー光散乱式集じん・排気装置の排出口(除去作業室内)																																																																																																																																																																										
集じん・排気装置の排出口(除去作業室内)	繊維状粒子自動測定器(リアルタイムモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																										
測定場所	サンプル径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																																																																																																								
排気装置の出入口	25	5	30																																																																																																																																																																								
集じん・排気装置の排出口(除去作業室内)	47	10	120																																																																																																																																																																								
	47	10	240																																																																																																																																																																								
種	類	厚さ(mm)	種	類	厚さ(mm)																																																																																																																																																																						
化粧石膏ボード		9.5	石綿ロックウール																																																																																																																																																																								
ビニル床タイル		2.0	石綿スレート(外装・内装)																																																																																																																																																																								
石綿保温材			押出成形セメント板																																																																																																																																																																								
けいそう土保温材			化粧石綿セメント板																																																																																																																																																																								
塩基性炭酸マグネシウム保温材			石綿セメントけい酸カルシウム板																																																																																																																																																																								
けい酸カルシウム保温材			化粧石綿セメントけい酸カルシウム板																																																																																																																																																																								
親水性パーライト保温材			吸音穴あき石綿セメント板																																																																																																																																																																								
繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																																																																											
樹木の種類、寸法、数量等 図示による 下表による																																																																																																																																																																											
種類	寸法	数量	備考																																																																																																																																																																								
種別	材料			厚さ(mm)																																																																																																																																																																							
盛土	A種	B種	C種	図示																																																																																																																																																																							
凍上抑制層	再生クラッシュランG クラッシュラン			図示																																																																																																																																																																							
フィルター層	切込み砂利 砂			図示																																																																																																																																																																							
4 石綿含有吹付け材の除去 (9.1.3)	<p>施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出すること。 「吹付け石綿粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築セーフの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。</p> <p>除去を行う範囲 図示による(仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認) 全ての室</p> <p>除去工法 改修標仕9.1.3(2)(7)による</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化</p> <p>除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 石綿等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の処分方法 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p>	7 断熱アスファルト防水改修工事 改修特記仕様書第3章による 工法の種類 P1BI M3DI P2AI M4DI P0DI	8 外断熱改修工事 (9.2.2) ~ (9.2.4) 断熱材の種類 厚さ(mm) 断熱材の施工 断熱材製造所の仕様による 不陸等の下地調整 外装材製造所の仕様による 外装材 取付ける(種類 防火性能) 外装材の施工 断熱材製造所の仕様による 既存外壁 仕上げ材の撤去 下地面の清掃 下地の欠損部の改修(4.1.4 [外壁改修工法の種類]による)	9 断熱・防露改修工事 (9.3.2) (9.3.3) 材の種類(種類) その他 断熱材 びんズ法 [®] リソレンフォーム保温材又は断熱材 断熱材厚さ mm 押出型 [®] リソレンフォーム保温材又は断熱材 硬質ウレタンフォーム保温材A種又は断熱材 JIS A 9511 接着剤の フォーム保温材又は断熱材 JIS A 9521 熱安定性 [®] 放散量 F (F) 断熱材現場 A種1 A種1H B種1 JIS A 9526 吹付け厚さ mm (難燃性を有するものとする)																																																																																																																																																																							
5 石綿含有保温材等の除去 (9.1.4)	<p>除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去方法 原形のまま手ばらし 手ばらし以外(この場合は改修標仕9.1.3(1)による隔離とする)</p> <p>除去した石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の処分 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p>																																																																																																																																																																										

アスベスト対策工事仕様書

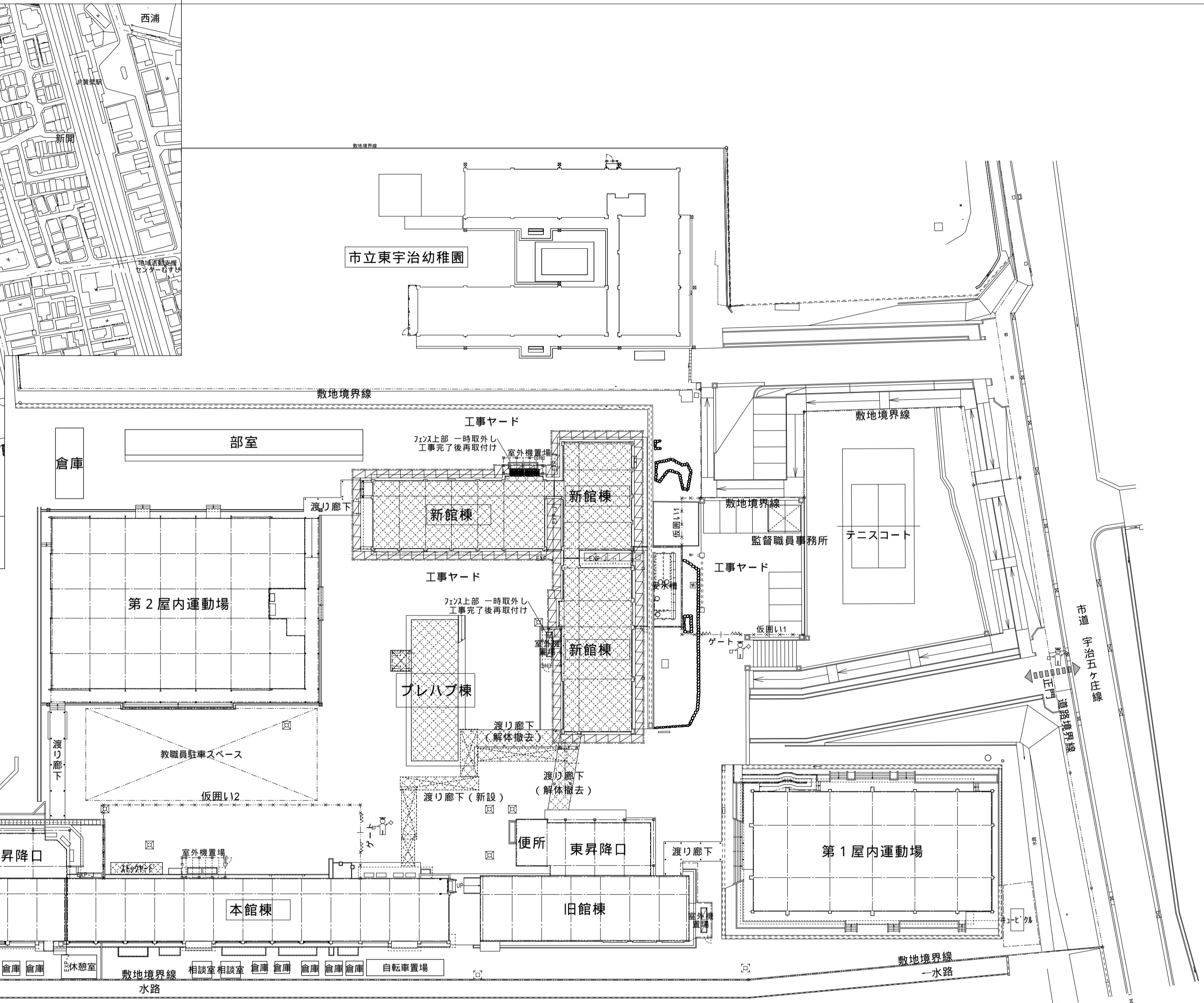
章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項			
13	アスベスト対策工事	適用範囲 (9.1.1)	アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。 アスベスト含有吹付け材除去工事 除去工法 () 封じ込み工法 () 囲い込み工法 () アスベスト含有保温材等除去工事 アスベスト含有成形板等除去工事			13	アスベスト対策工事	仕上げ工事 (9.1.1)	アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 図示による			13	アスベスト対策工事	9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 図示による			13	アスベスト対策工事	アスベスト含有成形板等の除去 (9.1.5)	除去を行う範囲 図示による		
		法令等の遵守	施工にあたっては、「大気汚染防止法（昭和43年法律97号）」「労働安全衛生法（昭和47年法律57号）」「石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令21号）」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）」「建築基準法（昭和25年法律201号）」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）（平成12年法律104号）」「京都府建築物の解体等に伴う石綿の飛散防止に関する緊急措置条例（平成17年京都府条例45号）」等、石綿除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び運用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。					7 特別管理産業廃棄物管理責任者 (9.1.2)	特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板の除去工事を除く。					除去の方法 原形のまま手ばらし 手ばらし以外（この場合は改修標準9.1.3(a)による隔離とする）	除去を行うアスベスト含有成形板等の仕様 種 類 厚 (mm) 種 類 厚 (mm) 石綿保温材 石綿含有耐火被膜材 石綿含有けいそう土保温材 石綿含有けい酸カルシウム板第二種 石綿含有パーライト保温材 屋根用折版裏断熱材 石綿含有けい酸カルシウム保温材 煙突用断熱材 石綿含有水練り保温材 塩基性炭酸マグネシウム保温材					除去を行うアスベスト含有成形板等の仕様 種 類 厚 (mm) 種 類 厚 (mm) 石綿含有スレート 石綿含有ビニル床タイル 2.0 石綿含有けい酸カルシウム板 石綿セメントけい酸加シム板 石綿含有押出成形セメント板 化粧石綿むくけい酸加シム板 石綿含有岩綿吸音天井板 12.0 石綿含有仕上塗材 石綿含有石膏ボード 9.5 (外壁塗材下地調整材) ー			
	石綿含有建材の調査 (1.5.1)	事前調査 ・施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。 なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ・施工計画に先立ち、石綿障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。 事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。 調査範囲 図示による 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法 アスベスト含有分析 行う（分析結果を監督職員に提出する） 材 料 名 定性分析方法 定量分析方法 (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) サンプル数 1箇所あたり3サンプル JIS A 1481に基づくこと。 行わない 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし アスベスト粉じん濃度測定 行う 測定時期 測定場所 測定点(各施工箇所ごと) 備考 除去作業前 除去作業室内 1点 2点 3点 点 調査対象室外部付近 1点 2点 4点 敷地境界付近 除去作業中 除去作業室内 1点 2点 3点 点 負圧粉じん装置の 吹出し風速1m/秒以下の位置 除去作業室外 各 1点 2点 3点 作業箇所 除去作業室外 1点 2点 3点 4点 敷地境界付近 除去作業後 除去作業室内 1点 2点 点 シート養生中 除去作業室内 1点 2点 3点 点 シート撤去後 調査対象室外部付近 1点 2点 4点 敷地境界付近 周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 行わない 測定機関 (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。 報告書提出部数 3部 部			8 アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.3)			除去を行う範囲 図示による（仕上げ表による 床・壁・天井等に種別を確認） 全ての室 除去工法 改修標準9.1.3(b)(1)による 除去を行うアスベスト含有吹付け材の仕様 種 類 種 類 吹付け石綿 石綿含有吹付けロックウール 石綿含有吹付けひる石 石綿含有吹付けパーライト 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化 除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（株）京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては公社の受け入れ基準等を確認する。			除去物の処理方法 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 セメント固化 溶融固化 除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（株）京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては公社の受け入れ基準等を確認する。			除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（株）京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-21-2807） なお処分に関しては公社の受け入れ基準等を確認する。									

付近見取図

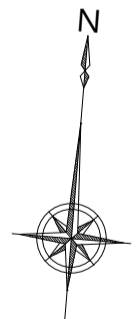


今回工事場所：京都府宇治市五ヶ庄池ノ浦36-1 「宇治市立東宇治中学校」

配置図 S=1/500



グラウンド



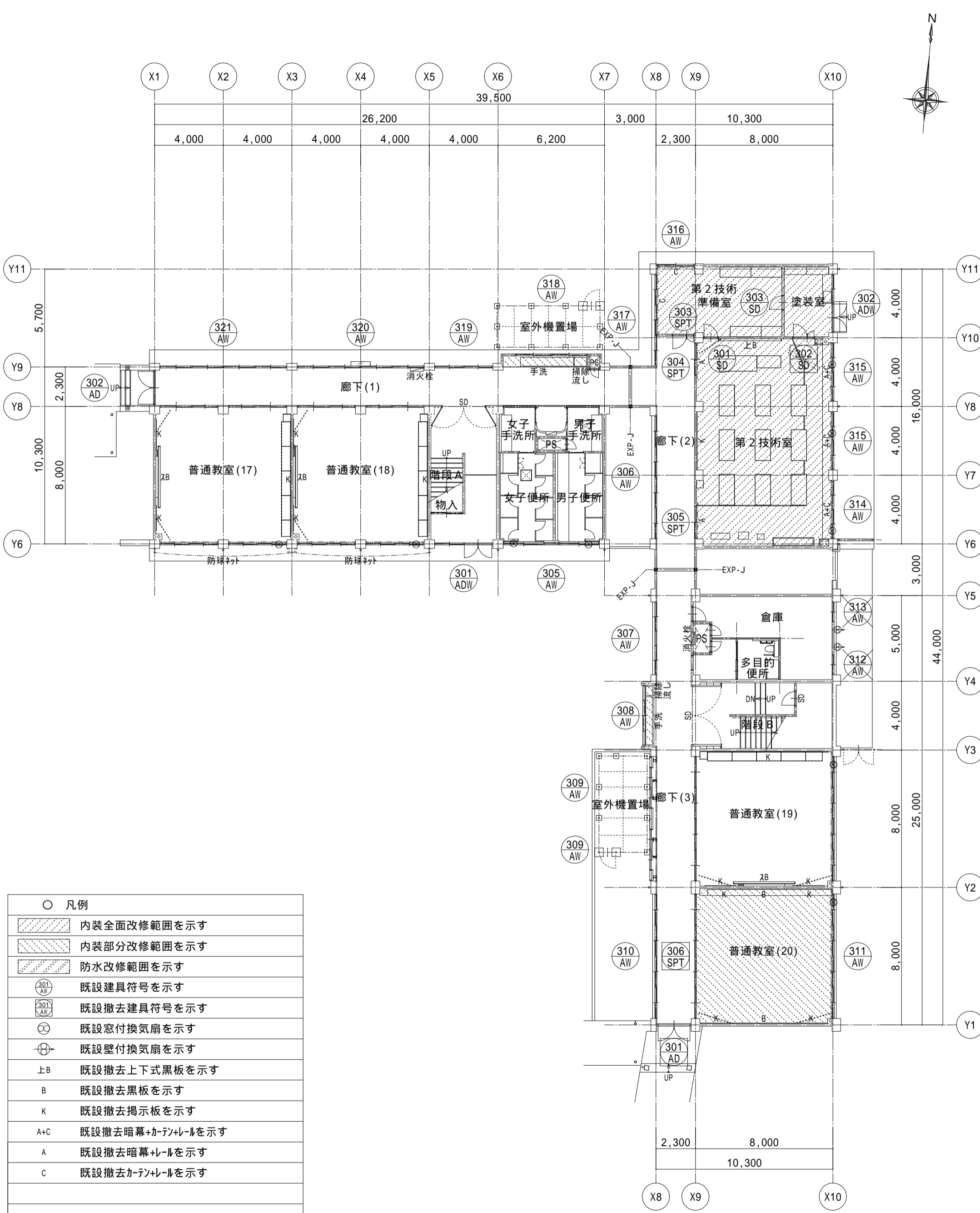
○ 凡例

既設建物を示す	仮囲い11 工所用仮囲い(成形鋼板 H2.0m)を示す	交通誘導員を示す(作業中は常駐)
改修建物(新館棟、プレハブ棟(上屋新築)、本館棟(西昇降口)渡り廊下(解体・新設))	仮囲い12 工所用仮囲い(フェンスバリケード H1.8m)を示す	図示の仮設は参考とし、施工前に仮設計画を立案の上、監督職員の承諾を受けること。
スタックヤード(解体・新設)を示す	工所用仮門(キャストゲート W6.0m x H1.8m)を示す	外部足場足元は養生シート等で覆い、一般利用者が立ち入りが出ないよう安全対策に努めること。
	外部昇降足場、枠組本足場(新館棟 W1200、屋内運動場 W900)、垂直養生(メッシュシート)を示す	仮設計画は参考図を示す。
	工事車輛出入口を示す	

訂正事項	
------	--

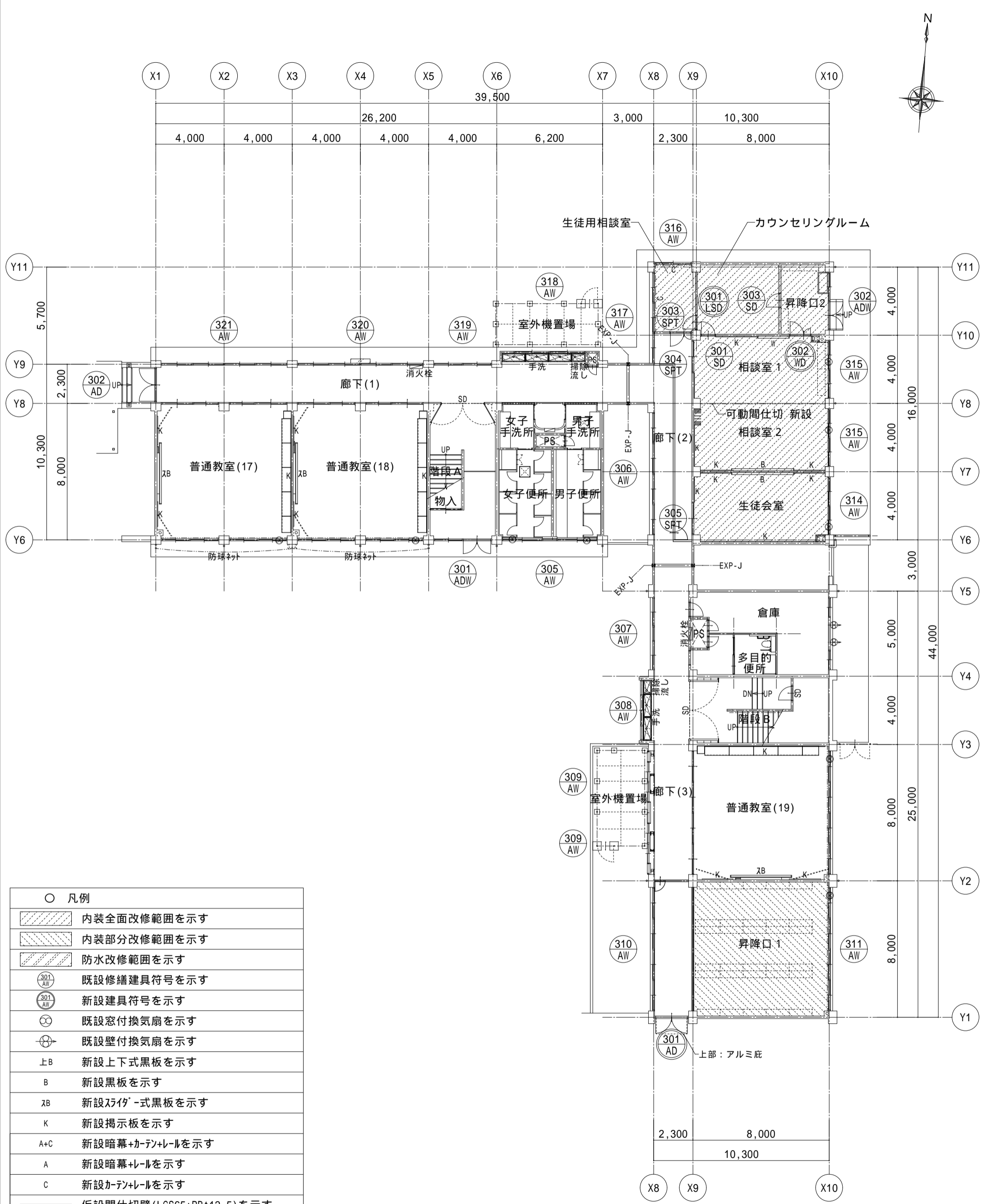
株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第210285号 北村 通
 彦根市長巻南町443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)		配置図 仮設計画図	SHEET NO.
		付近見取図	A - 13
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE
			SCALE A2:1/500 A3:70.7%



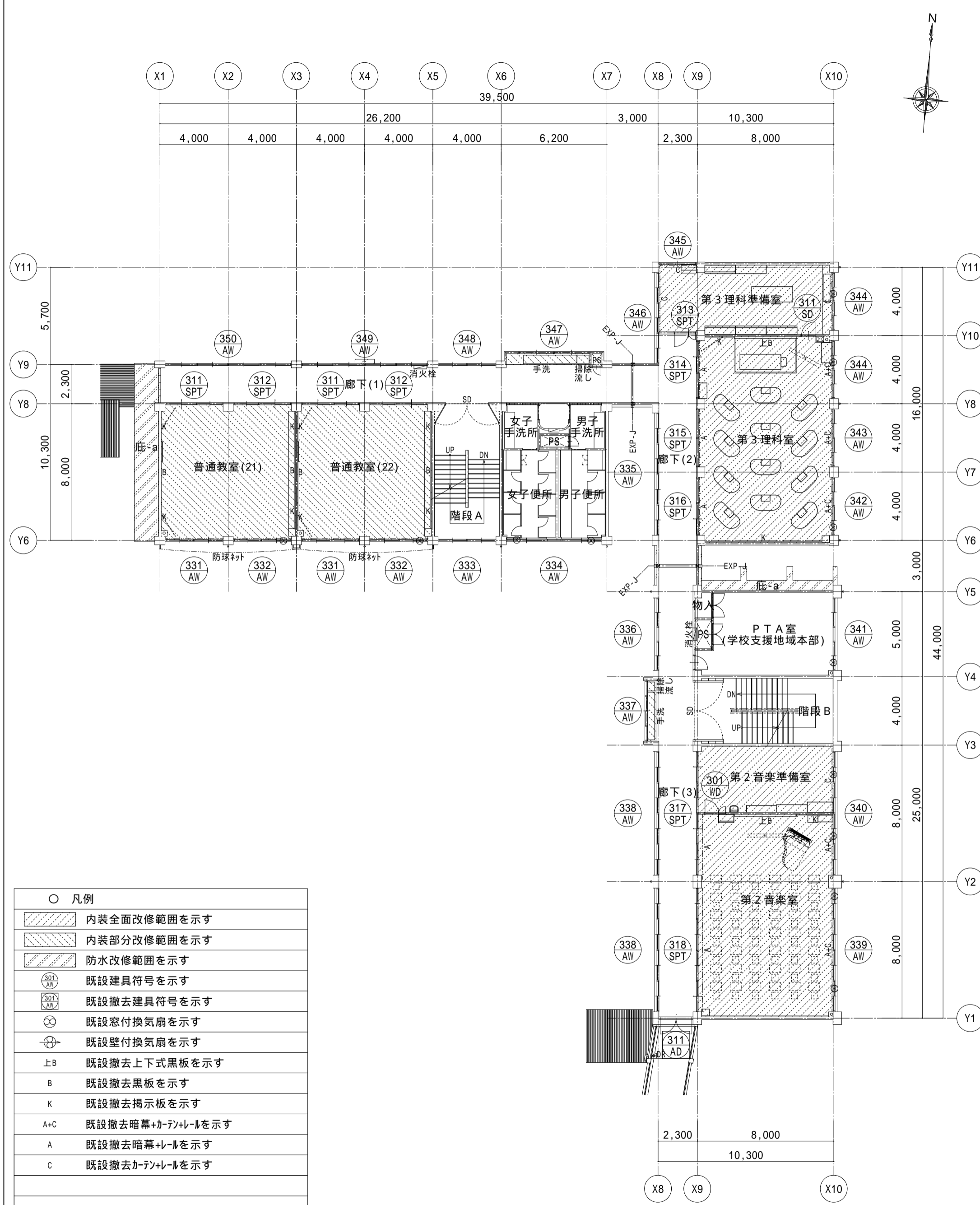
○ 凡例

	内装全面改修範囲を示す
	内装部分改修範囲を示す
	防水改修範囲を示す
	既設建具符号を示す
	既設撤去建具符号を示す
	既設窓付換気扇を示す
	既設壁付換気扇を示す
上B	既設撤去上下式黒板を示す
B	既設撤去黒板を示す
K	既設撤去掲示板を示す
A+C	既設撤去暗幕+カーテン+レールを示す
A	既設撤去暗幕+レールを示す
C	既設撤去カーテン+レールを示す

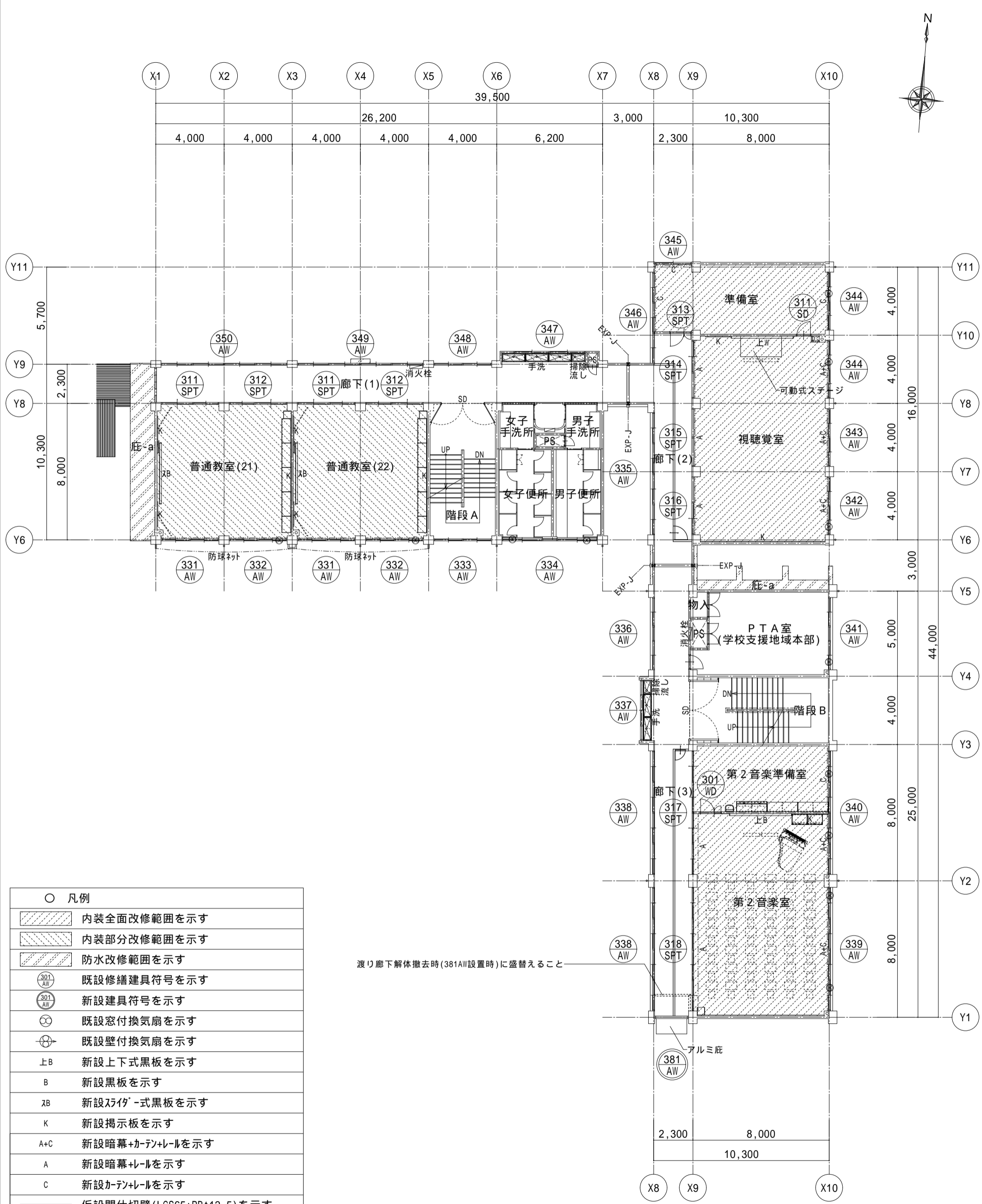


○ 凡例

	内装全面改修範囲を示す
	内装部分改修範囲を示す
	防水改修範囲を示す
	既設修繕建具符号を示す
	新設建具符号を示す
	既設窓付換気扇を示す
	既設壁付換気扇を示す
上B	新設上下式黒板を示す
B	新設黒板を示す
上B	新設スライド式黒板を示す
K	新設掲示板を示す
A+C	新設暗幕+カーテン+レールを示す
A	新設暗幕+レールを示す
C	新設カーテン+レールを示す
	仮設間仕切壁(LGS65+PBt12.5)を示す
	仮設木製片開扉(W800×H2000程度)を示す

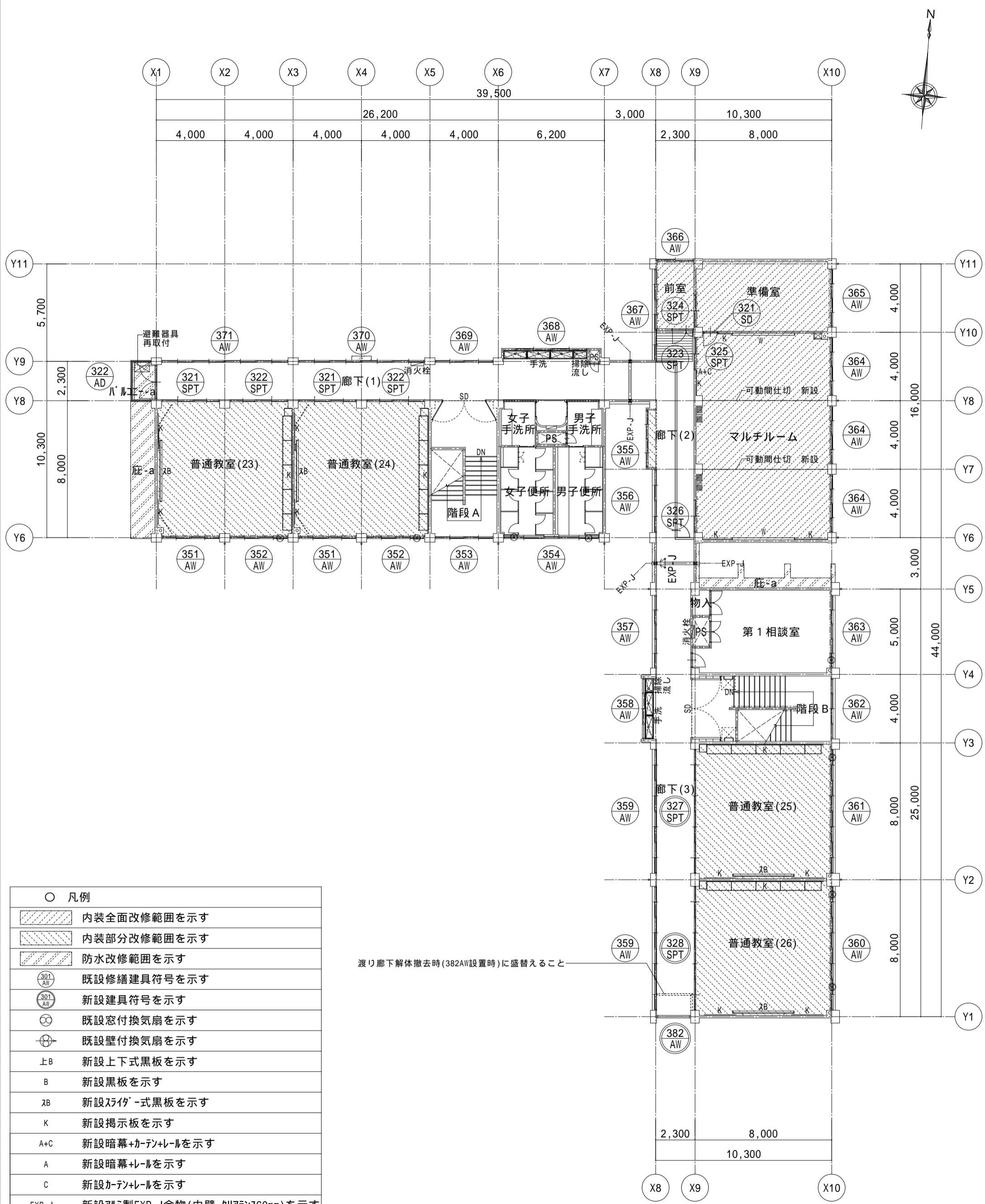
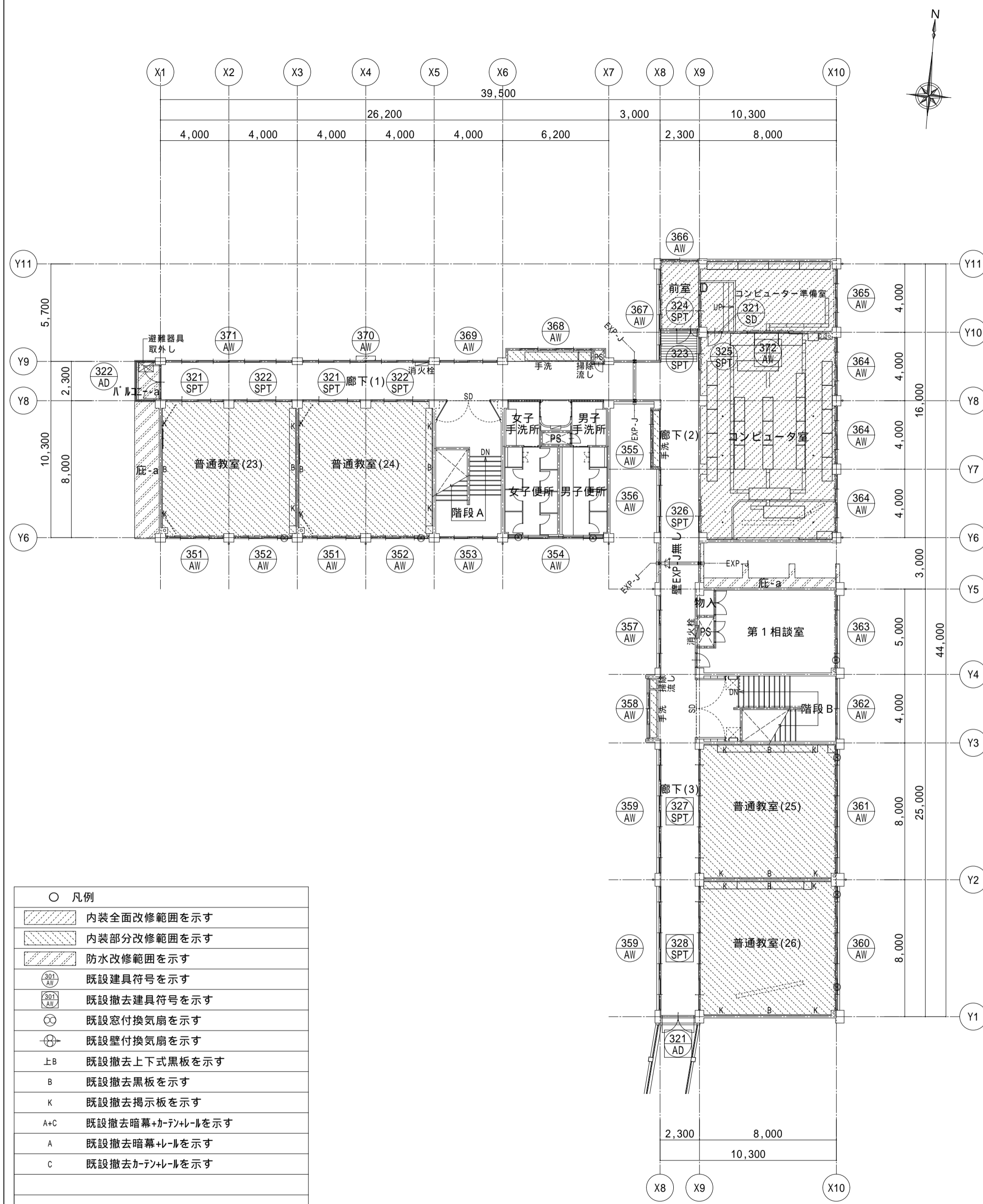


○ 凡例	
	内装全面改修範囲を示す
	内装部分改修範囲を示す
	防水改修範囲を示す
	既設建具符号を示す
	既設撤去建具符号を示す
	既設窓付換気扇を示す
	既設壁付換気扇を示す
上B	既設撤去上下式黒板を示す
B	既設撤去黒板を示す
K	既設撤去掲示板を示す
A+C	既設撤去暗幕+カーテン+レールを示す
A	既設撤去暗幕+レールを示す
C	既設撤去カーテン+レールを示す



○ 凡例	
	内装全面改修範囲を示す
	内装部分改修範囲を示す
	防水改修範囲を示す
	既設修繕建具符号を示す
	新設建具符号を示す
	既設窓付換気扇を示す
	既設壁付換気扇を示す
上B	新設上下式黒板を示す
B	新設黒板を示す
XB	新設スライド式黒板を示す
K	新設掲示板を示す
A+C	新設暗幕+カーテン+レールを示す
A	新設暗幕+レールを示す
C	新設カーテン+レールを示す
	仮設間仕切壁(LGS65+PBt12.5)を示す
	仮設木製片開扉(W800×H2000程度)を示す

渡り廊下解体撤去時(381AW設置時)に盛替えること



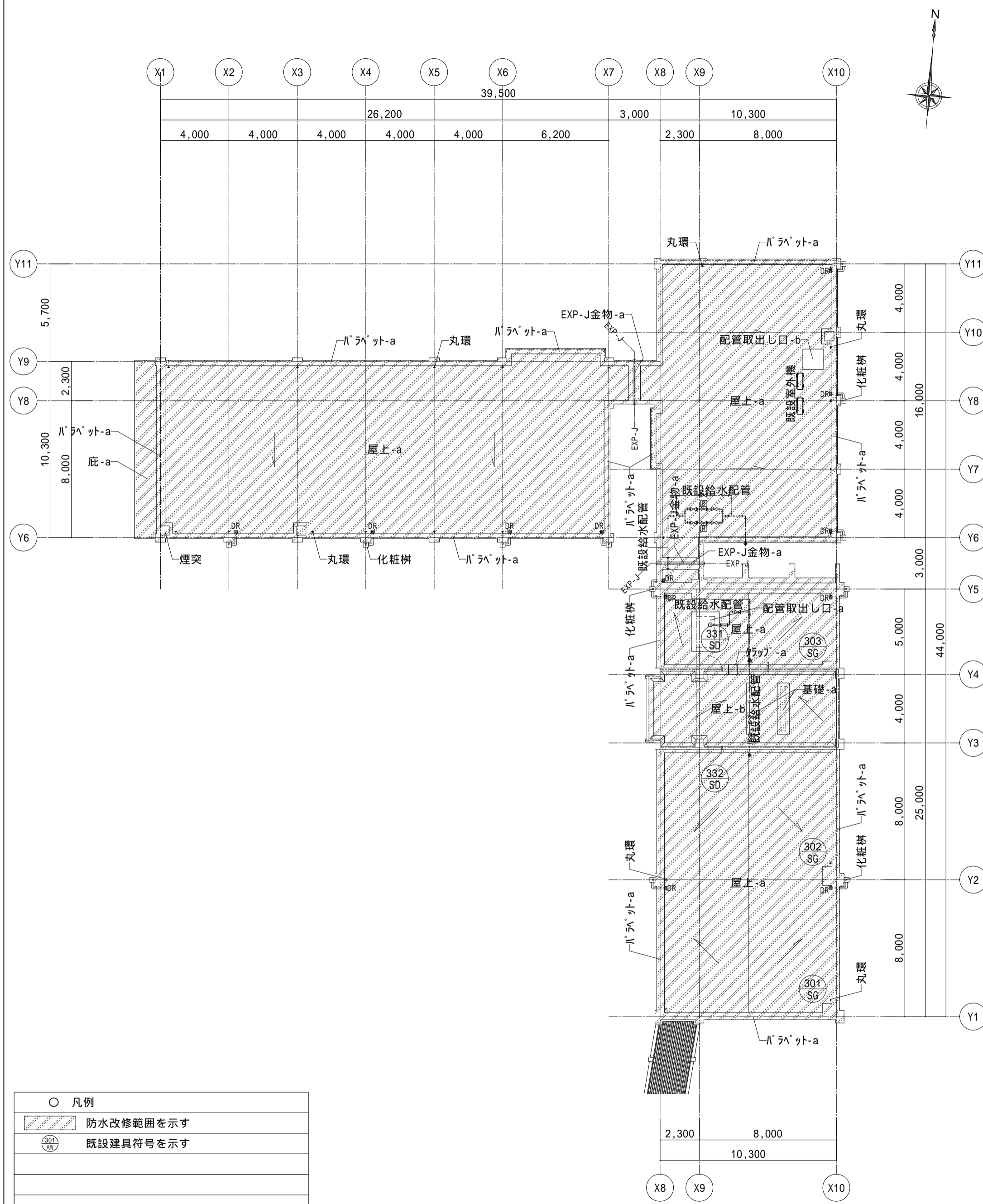
○ 凡例

	内装全面改修範囲を示す
	内装部分改修範囲を示す
	防水改修範囲を示す
	既設建具符号を示す
	既設撤去建具符号を示す
	既設窓付換気扇を示す
	既設壁付換気扇を示す
上B	既設撤去上下式黒板を示す
B	既設撤去黒板を示す
K	既設撤去掲示板を示す
A+C	既設撤去暗幕+カーテンレールを示す
A	既設撤去暗幕+レールを示す
C	既設撤去カーテンレールを示す

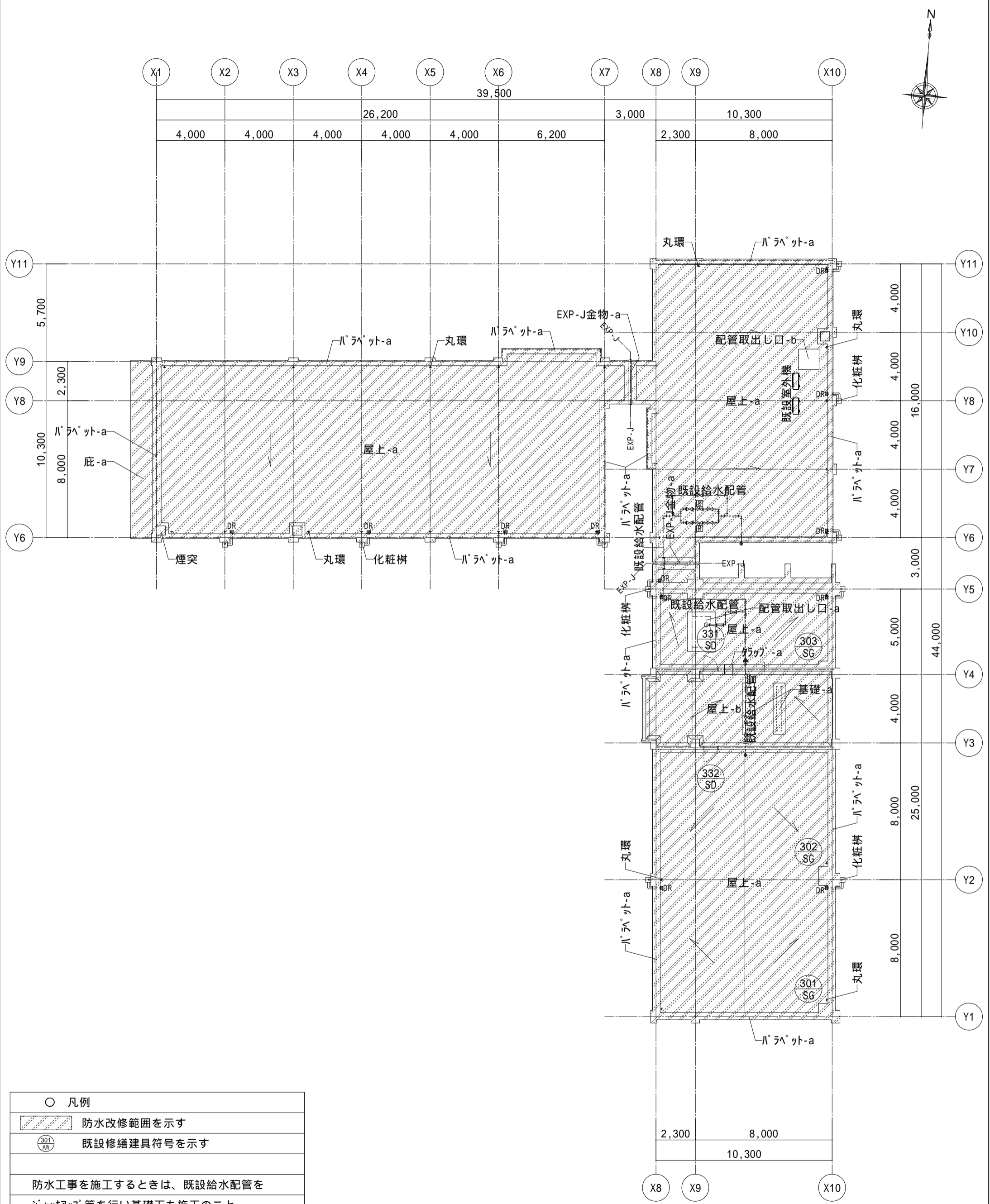
○ 凡例

	内装全面改修範囲を示す
	内装部分改修範囲を示す
	防水改修範囲を示す
	既設修繕建具符号を示す
	新設建具符号を示す
	既設窓付換気扇を示す
	既設壁付換気扇を示す
上B	新設上下式黒板を示す
B	新設黒板を示す
XB	新設スライド式黒板を示す
K	新設掲示板を示す
A+C	新設暗幕+カーテンレールを示す
A	新設暗幕+レールを示す
C	新設カーテンレールを示す
EXP-J	新設7mm製EXP-J金物(内壁 クリア7x60mm)を示す
	仮設間仕切壁(LGS65+PB112.5)を示す
	仮設木製片開扉(W800×H2000程度)を示す

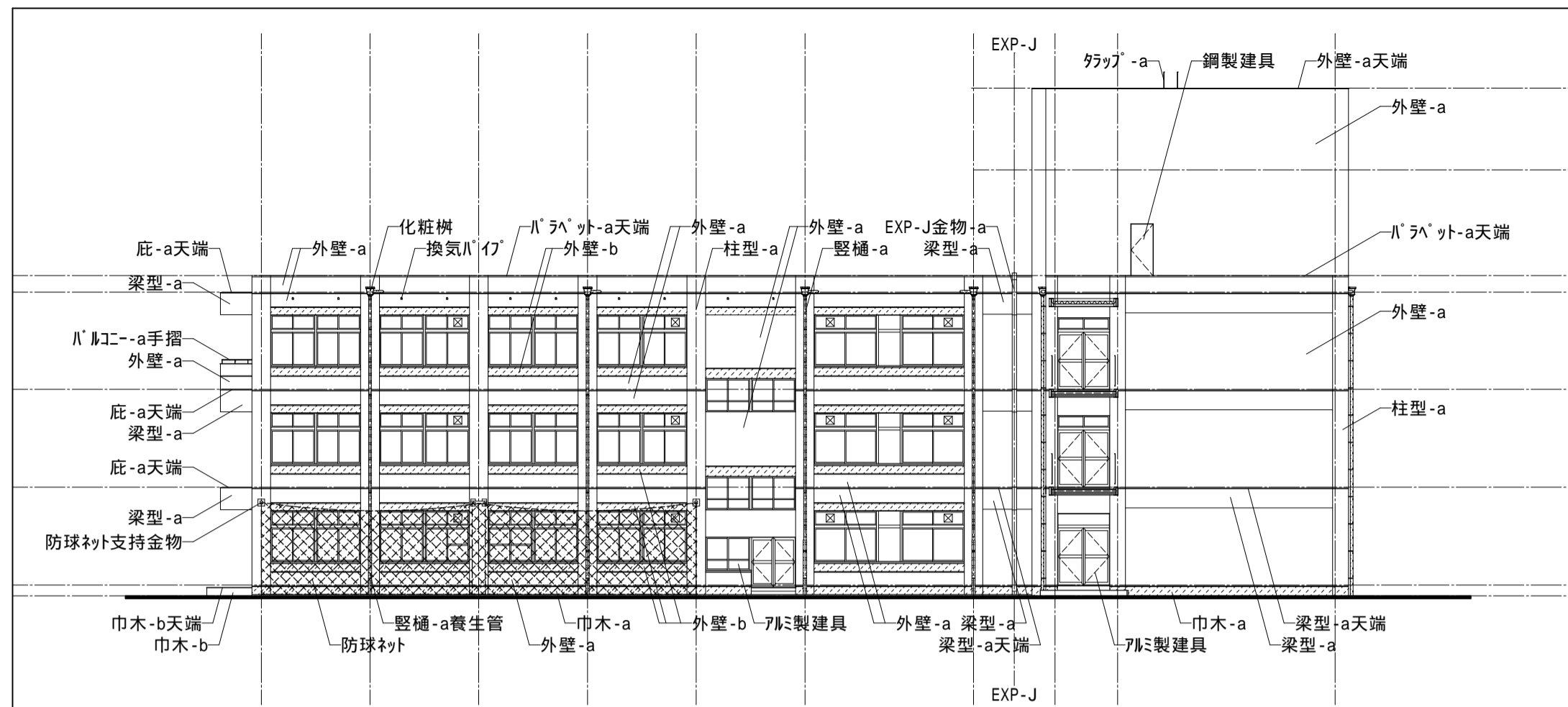
渡り廊下解体撤去時(382AW設置時)に盛替えること



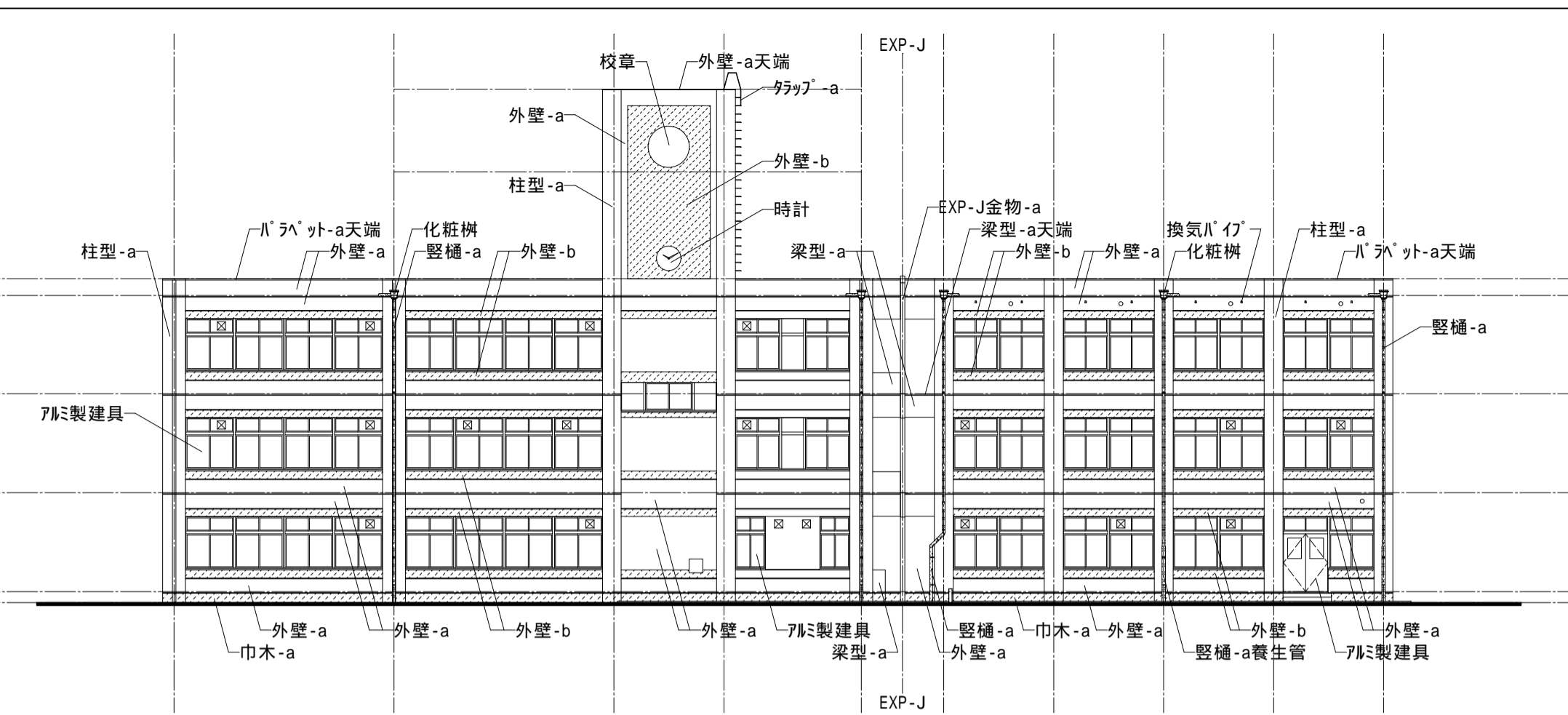
○ 凡例	
	防水改修範囲を示す
	既設建具符号を示す



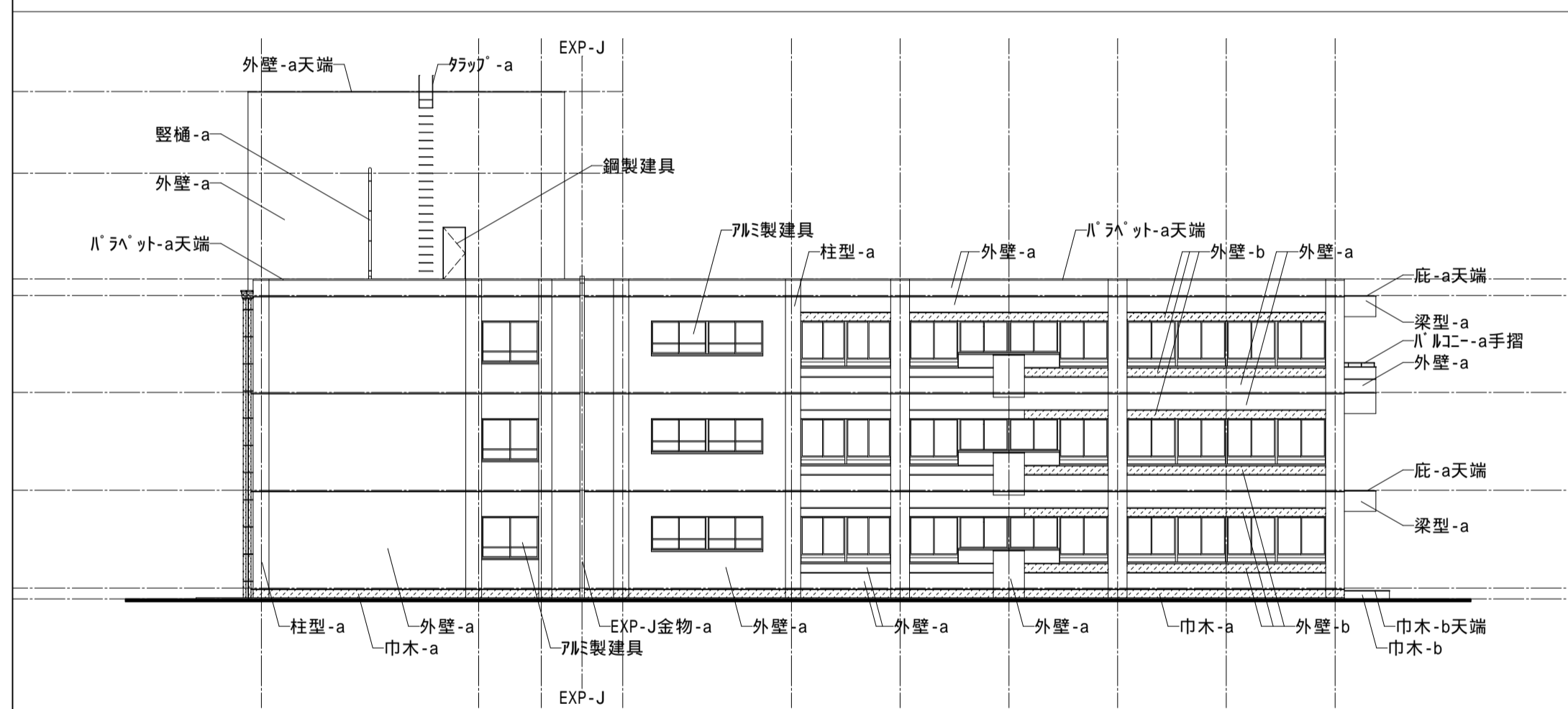
○ 凡例	
	防水改修範囲を示す
	既設修繕建具符号を示す
防水工事を施工するときは、既設給水配管をジャッキアップ等を行い基礎下も施工のこと。	



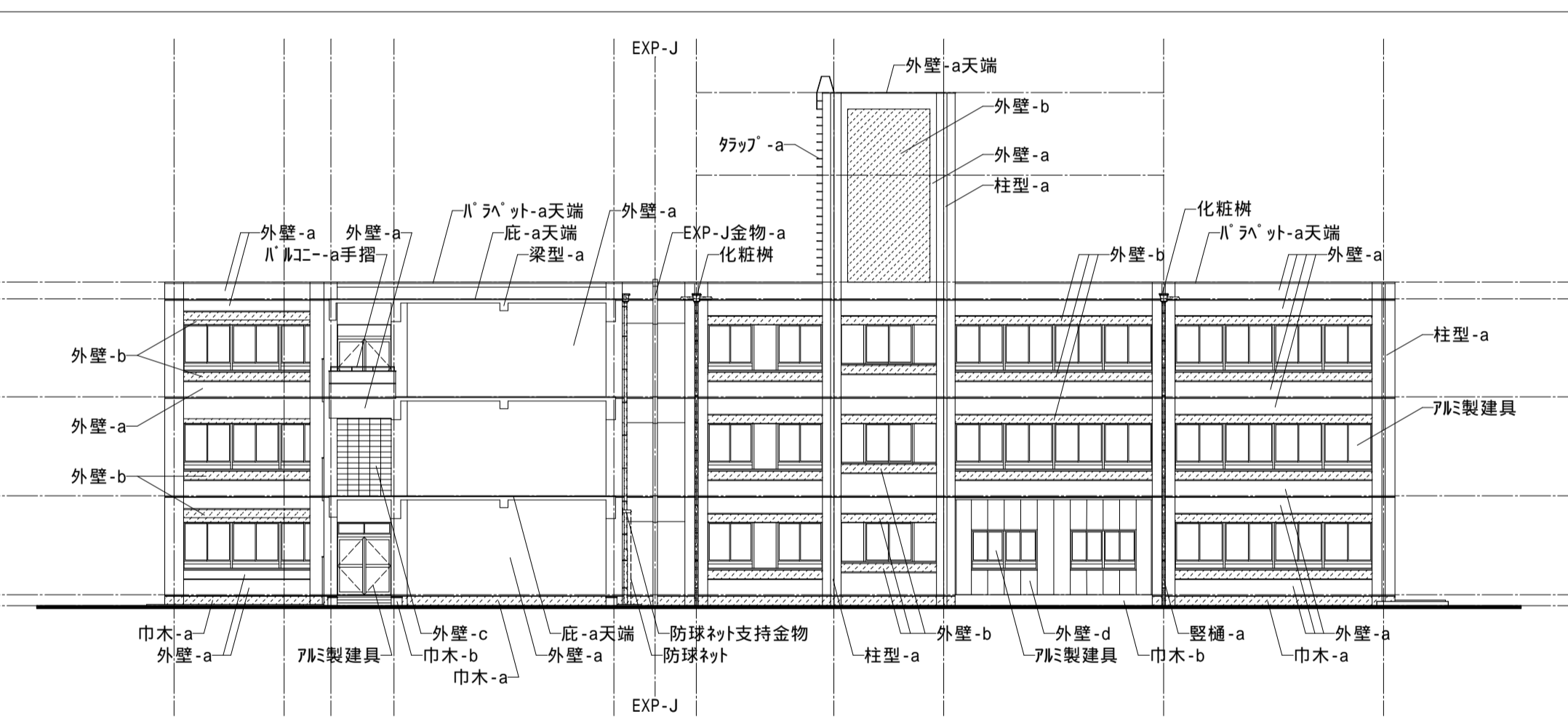
[現況・撤去]南側立面図



[現況・撤去]東側立面図

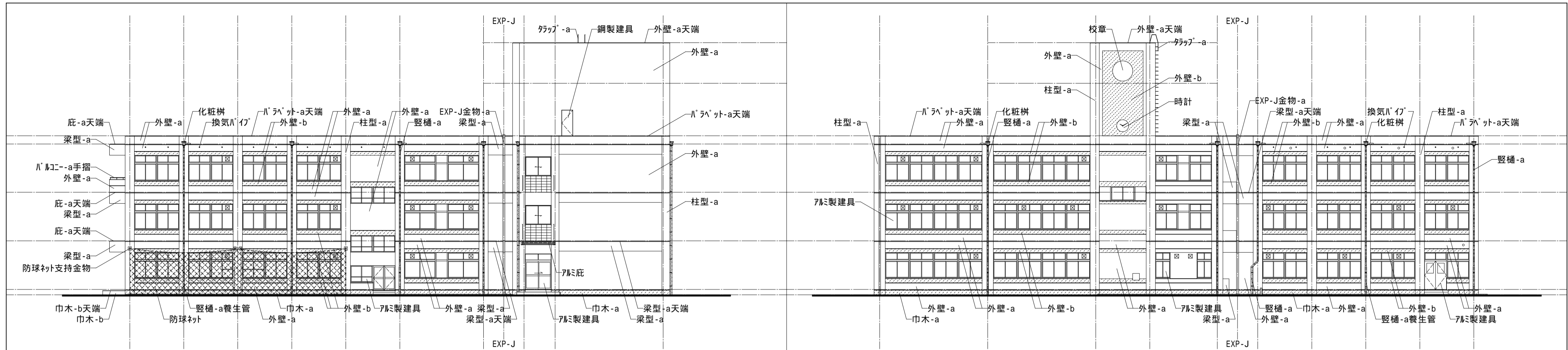


[現況・撤去]北側立面図



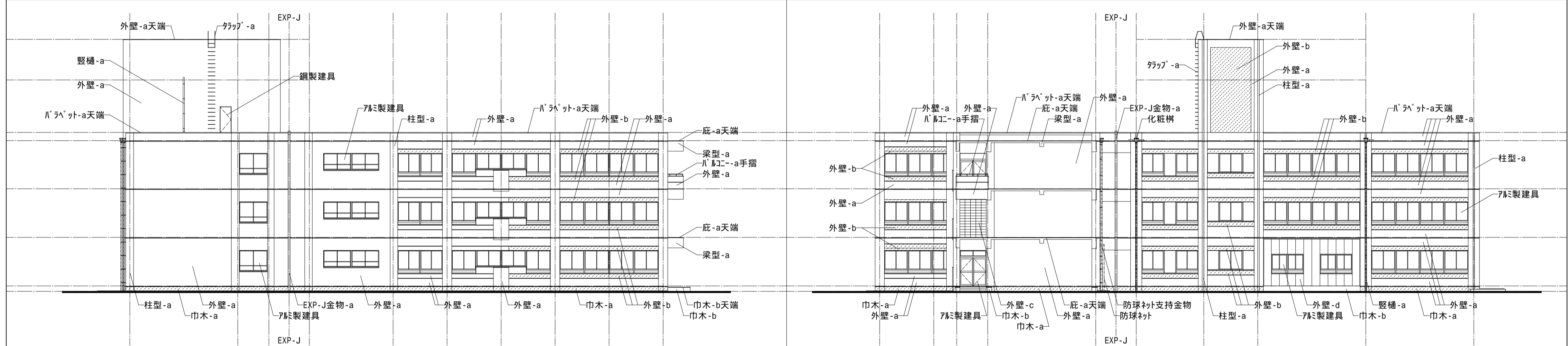
[現況・撤去]西側立面図

○ [現況・撤去]立面図 凡例			
ハレハット-a	各外壁と同仕様 天端：防水用コーキングの上 合成高分子膜（フイックシート）厚1.5 機械固定工法（S-II2） 端部：アルミ製押I金物 + コーキング 撤去	EXP-J金物-a	アルミ製押I金物（フイックシート）の取付金具 - クリアランス60mm 耐火1時間仕様 目地部コーキング 撤去
ハルコ-a	各外壁と同仕様 手摺：亜鉛めっき鋼管 35 OP塗	縦樋-a	硬質塩化ビニル管 VP 100 OP塗 取付金具 @1200 撤去 化粧樹：塩ビ製 200×250×200 撤去
庇-a (増築用床)	天端：コンクリート直挿し下地 防水用外塗	クランプ-a	養生管：ガス管 125×H2000 OP塗 取付金具 @1200 撤去 16 OP塗 W400×@300
外壁-a	コンクリート打放しの上 アクリル吹付 目地部コーキング 撤去 天端：防水用外塗 換気パイプ：塩ビ製 50 防虫網入	防球ネット	ポリフェン防球ネット H3400程度、ワイヤー共 一時取外し 支持金物 3箇所 OP塗
外壁-b	コンクリート打放しの上 シリコン吹付 目地部コーキング 撤去	校章	金属製 1500程度
外壁-c	コンクリートブロック化粧積の上 アクリル吹付 目地部コーキング 撤去	時計	屋外用設備時計 壁掛型 900程度
外壁-d	ALC版 厚100 ロッキング工法の上 外装薄塗材E吹付 目地部コーキング 撤去 天端：アルミ製水切		
巾木-a	コンクリート打放しの上 シリコン吹付 目地部コーキング 撤去		
巾木-b (地中梁)	防水用コーキングの上 シリコン吹付 目地部コーキング 撤去 天端：防水用コーキング		
柱型-a	コンクリート打放しの上 アクリル吹付 目地部コーキング 撤去		
梁型-a	コンクリート打放しの上 アクリル吹付 目地部コーキング 撤去 天端：防水用コーキング		



[改修]南側立面図

[改修]東側立面図

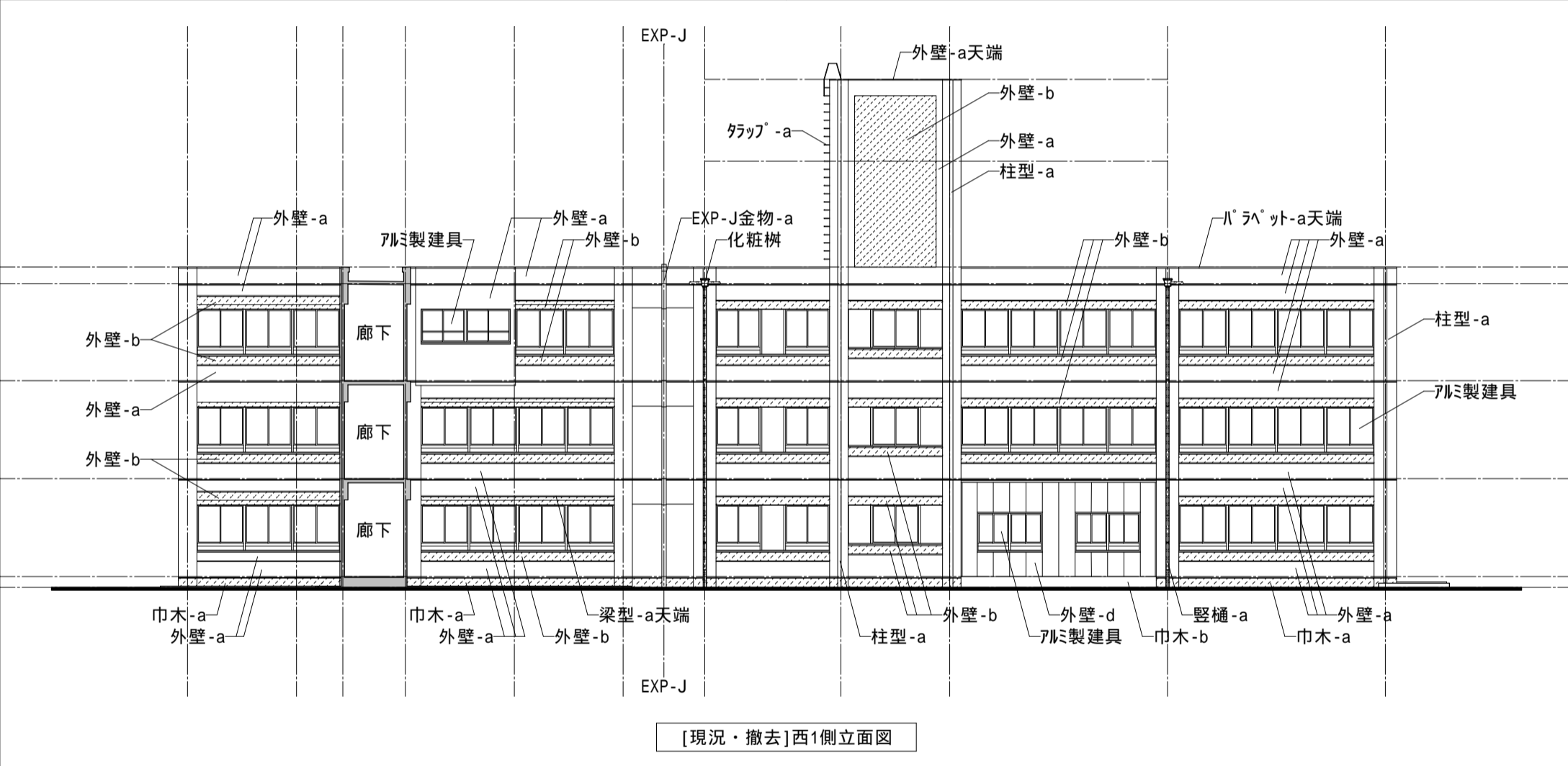
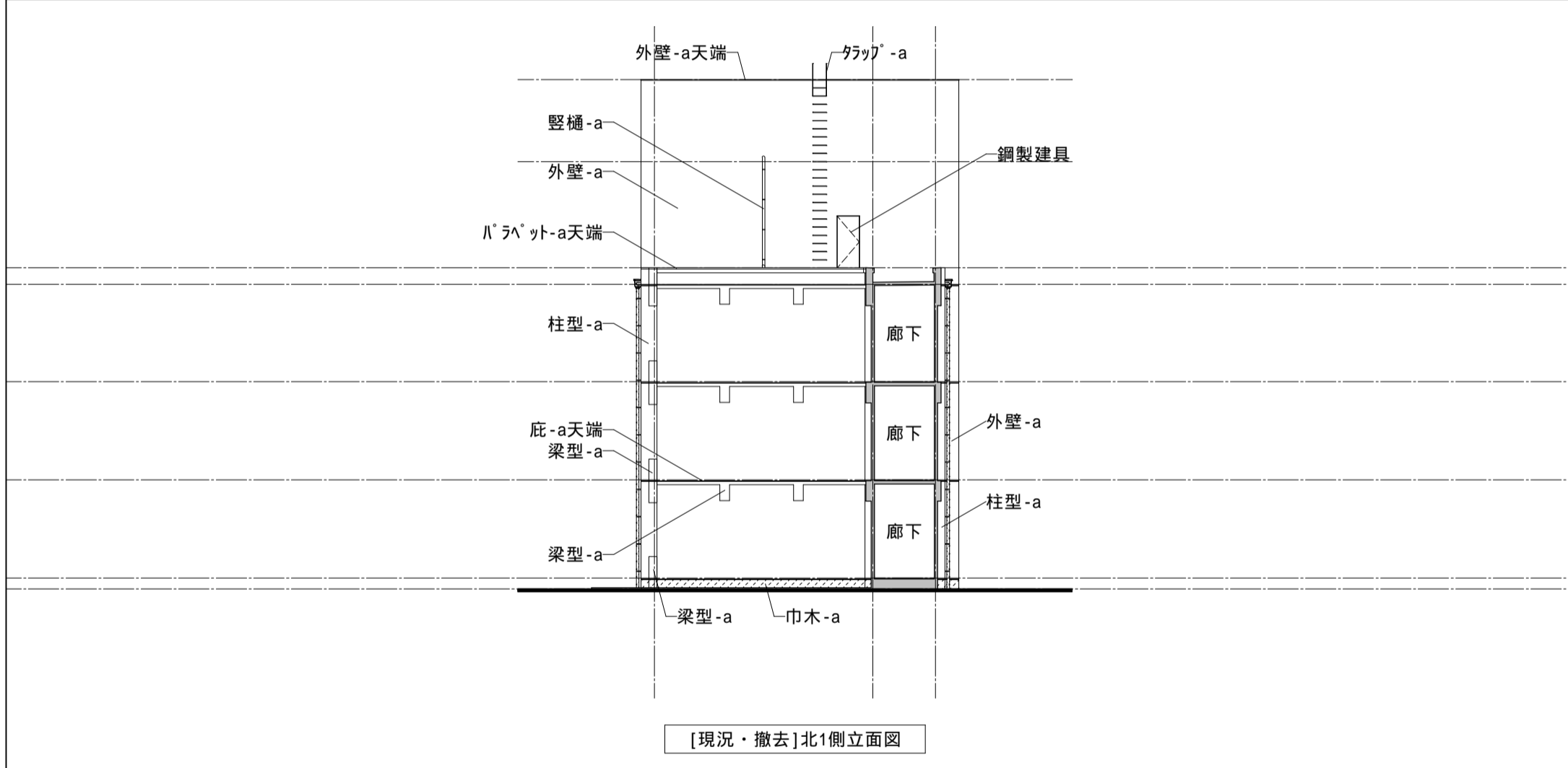
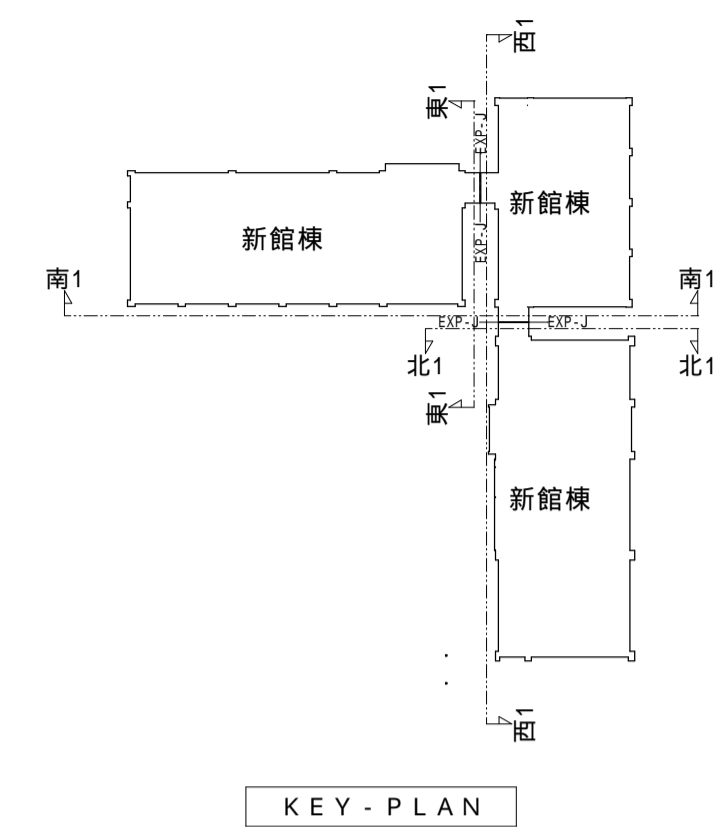
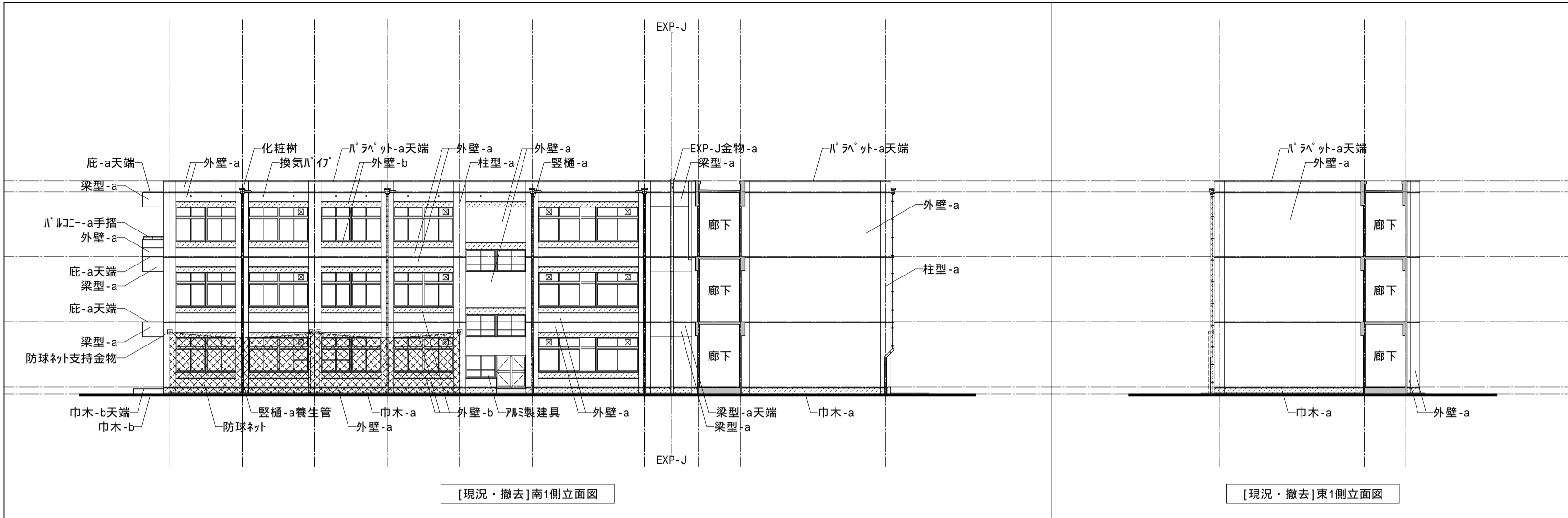


[改修]北側立面図

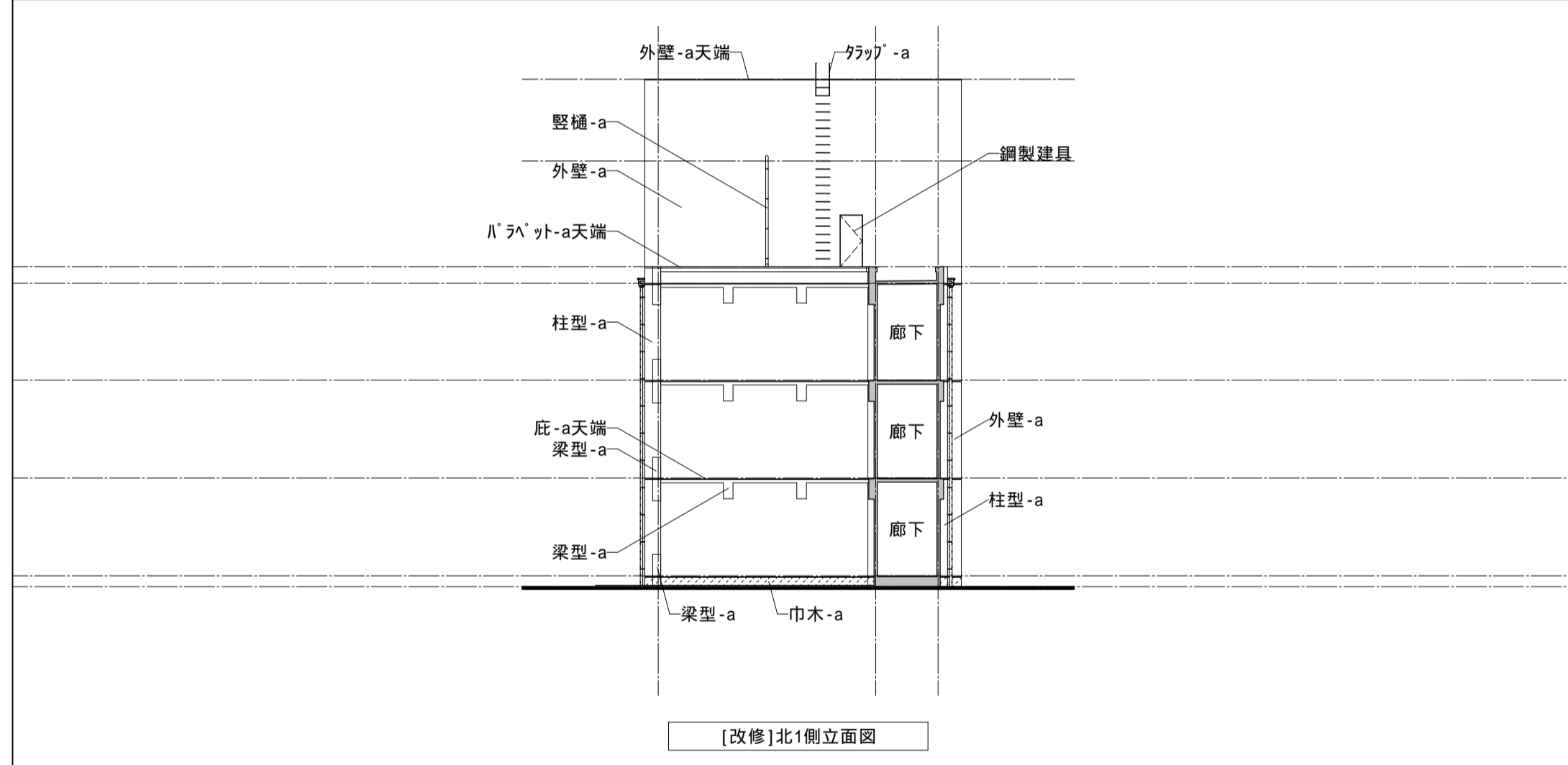
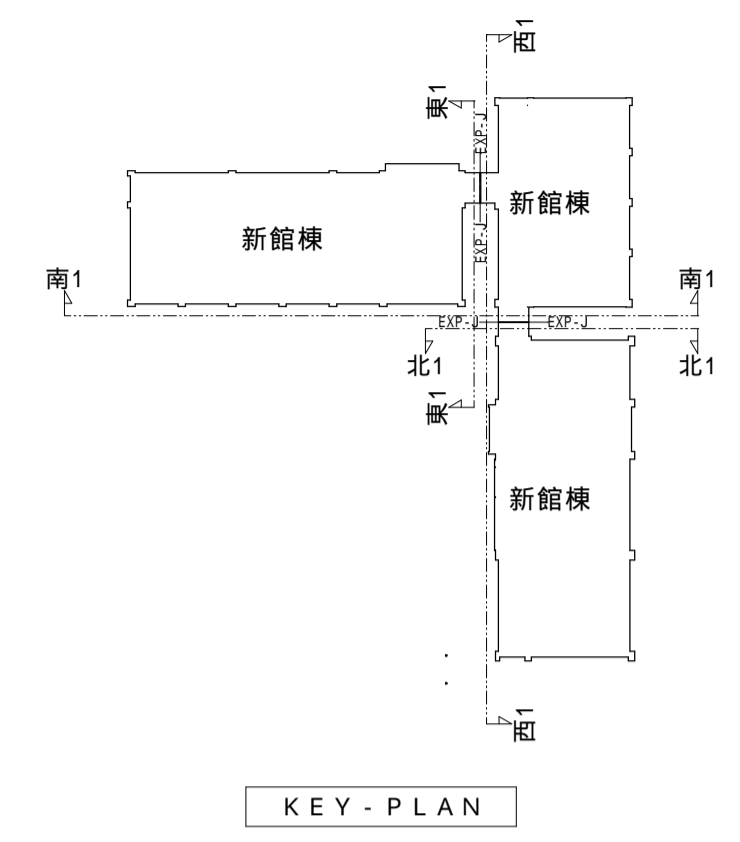
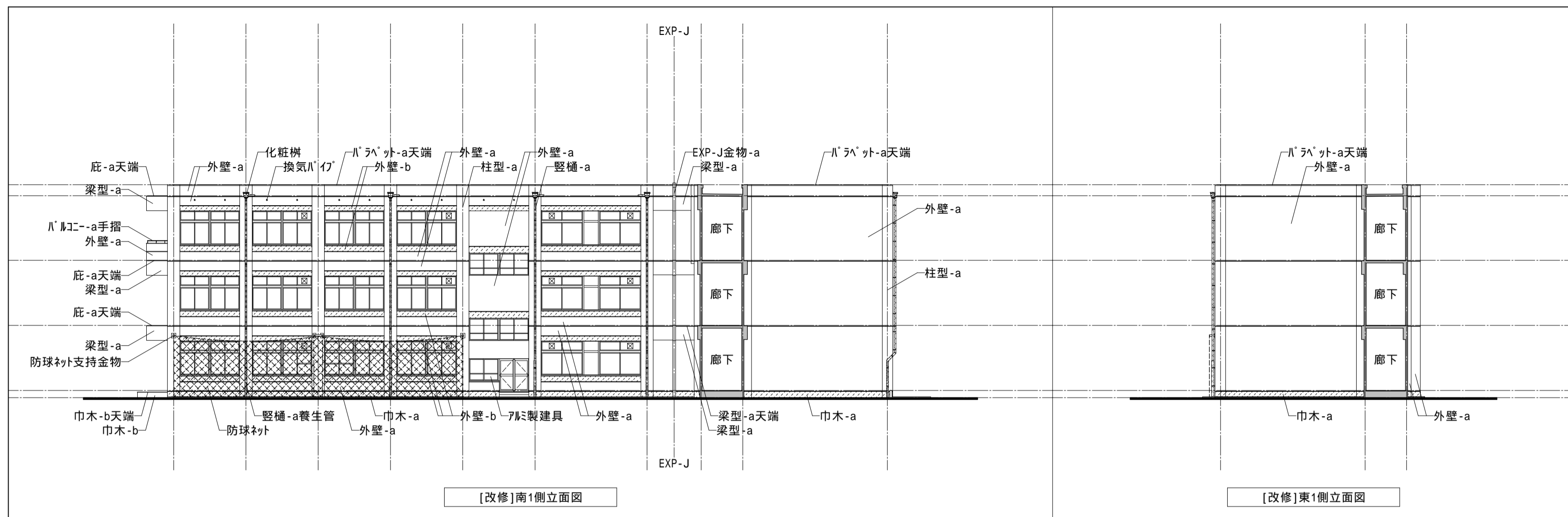
[改修]西側立面図

○ [改修]立面図 凡例

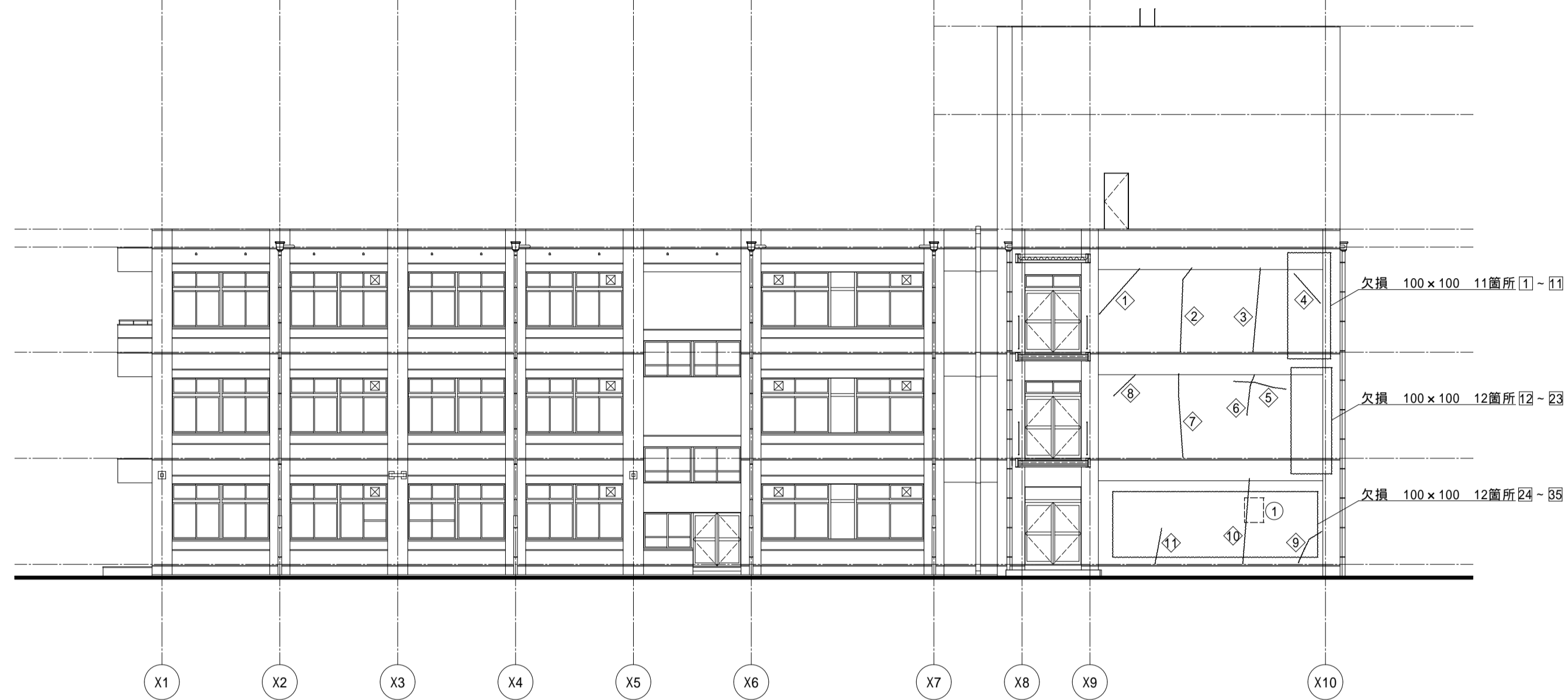
ハレハット-a	各外壁と同仕様 天端：下地処理の上 合成高分子フイックシート 厚1.5 機械固定工法 (S-M2) 端部：アルミ製押え金物 + コキック 新設	EXP-J金物-a	現況のまま 目地部コキック 新設		防球ネット取外し再取付範囲を示す
ハルコ--a	各外壁と同仕様 手摺：下地調整 (RB種)の上 錆止め塗装 (A種) + DP塗 (1級)	縦樋-a	硬質ポリ塩化ビニル管 カラ-VP 100 ステルス製取付金具 @1000 新設 化粧樹：塩ビ製 大型 新設		
庇-a (増築用床)	天端：下地改修後、水洗い工法 (15MPa以下)の上 アルタコム系塗膜防水 (X-2工法) 庇裏：下地改修後、水洗い工法 (15MPa以下)の上 外装薄塗材ED-ラ塗	クランプ-a	養生管：白ガ管 125×H2000 DP塗 (1級) 新設 押み金物 @1000共 DP塗 (1級) 新設 下地調整 (RB種)の上 錆止め塗装 (A種) + DP塗 (1級)		
外壁-a	下地改修後、水洗い工法 (15MPa以下)+下地調整塗材 (C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-ラ塗 目地部コキック 新設 天端：水洗い工法 (15MPa以下)+下地調整塗材 (C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-ラ塗 換気パイプ：現況のまま 周囲コキック 新設	防球ネット	ポリレン防球ネット H3400程度、ワイロ-ロ-共 再取付 支持金物 3箇所：下地調整 (RB種)の上 錆止め塗装 (A種) + DP塗 (1級)		
外壁-b	下地改修後、水洗い工法 (15MPa以下)+下地調整塗材 (C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-ラ塗 目地部コキック 新設	校章	現況のまま 水洗い工法 (15MPa以下)程度 取合部コキック 新設		
外壁-c	下地改修後、水洗い工法 (15MPa以下)+下地調整塗材 (C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-ラ塗 目地部コキック 新設	時計	現況のまま		
外壁-d	下地改修後、水洗い工法 (15MPa以下)+下地調整塗材 (C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-ラ塗 目地部コキック 新設 天端：アルミ製水切 現況のまま	アルミ庇	既製品 W=1800 D=900		
巾木-a	下地改修後、水洗い工法 (15MPa以下)の上 撥水材塗布 目地部コキック 新設				
巾木-b (地中梁)	下地改修後、水洗い工法 (15MPa以下)の上 撥水材塗布 目地部コキック 新設 天端：下地改修後、水洗い工法 (15MPa以下)の上 アルタコム系塗膜防水 (X-2工法) 目地部コキック 新設				
柱型-a	下地改修後、水洗い工法 (15MPa以下)+下地調整塗材 (C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-ラ塗 目地部コキック 新設				
梁型-a	下地改修後、水洗い工法 (15MPa以下)+下地調整塗材 (C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-ラ塗 天端：下地改修後、水洗い工法 (15MPa以下)の上 アルタコム系塗膜防水 (X-2工法) 目地部コキック 新設				



○ [現況・撤去]立面図 凡例					
H'ラット-a	各外壁と同仕様 天端：防水用外圧押えの上 合成高分子膜（フイックシート）厚1.5 機械固定工法（S-II2） 端部：アルミ製押I金物 + コーキング 撤去	EXP-J金物-a	アルミ製Iキハシジョイントタイプ - クリアス60mm 耐火1時間仕様 目地部コーキング 撤去		防球ネット取外し再取付範囲を示す
H'ルコ--a	各外壁と同仕様 手摺：亜鉛めっき鋼管 35 OP塗	縦樋-a	硬質塩化ビニル管 VP 100 OP塗 取付金具 @1200 撤去 化粧樹：塩ビ製 200×250×200 撤去		
庇-a (増築用床)	天端：コンクリート直押し下地 防水用外塗	クランプ-a	養生管：ガス管 125×H2000 OP塗 取付金具 @1200 撤去 16 OP塗 W400×@300		
外壁-a	コンクリート打放しの上 アクリル吹付 目地部コーキング 撤去 天端：防水用外塗 換気パイプ：塩ビ 50 防虫網入	防球ネット	ホリゾン防球ネット H3400程度、ワイヤー共 一時取外し 支持金物 3箇所 OP塗		
外壁-b	コンクリート打放しの上 シリコン吹付 目地部コーキング 撤去	校章	金属製 1500程度		
外壁-c	コンクリートブロック化粧積の上 アクリル吹付 目地部コーキング 撤去	時計	屋外用設備時計 壁掛型 900程度		
外壁-d	ALC版 厚100 ロッキング 工法の上 外装薄塗材E吹付 目地部コーキング 撤去 天端：アルミ製水切				
巾木-a	コンクリート打放しの上 シリコン吹付 目地部コーキング 撤去				
巾木-b (地中梁)	防水用外圧押え 目地部コーキング 撤去 天端：防水用外圧押え				
柱型-a	コンクリート打放しの上 アクリル吹付 目地部コーキング 撤去				
梁型-a	コンクリート打放しの上 アクリル吹付 天端：防水用外圧押え 目地部コーキング 撤去				



○ [改修]立面図 凡例					
H'ラット-a	各外壁と同仕様 天端：下地処理の上 合成高分子樹脂シート 厚1.5 機械固定工法(S-M2) 端部：アルミ製押え金物 + コーキング 新設	EXP-J金物-a	現況のまま 目地部コーキング 新設		防球ネット取外し再取付範囲を示す
H'ルコ--a	各外壁と同仕様 手摺：下地調整(RB種)の上 錆止め塗装(A種) + DP塗(1級)	縦樋-a	硬質ポリ塩化ビニル管 カラVP 100 スチルス製取付金具 @1000 新設 化粧樹：塩ビ製 大型 新設 養生管：白ガ管 125×H2000 DP塗(1級) 新設 押み金物 @1000共 DP塗(1級) 新設		
庇-a (増築用床)	天端：下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)の上 珪藻土系塗膜防水(X-2工法) 庇裏：下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)の上 外装薄塗材ED-5塗	クランプ-a	下地調整(RB種)の上 錆止め塗装(A種) + DP塗(1級)		
外壁-a	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)+下地調整塗材(C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-5塗 目地部コーキング 新設 天端：水洗い工法(15MPa以下)+下地調整塗材(C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-5塗 換気パイプ：現況のまま 周囲コーキング 新設	防球ネット	ホリエル防球ネット H3400程度、ワイロ-7 共 再取付 支持金物 3箇所：下地調整(RB種)の上 錆止め塗装(A種) + DP塗(1級)		
外壁-b	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)+下地調整塗材(C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-5塗 目地部コーキング 新設	校章	現況のまま 水洗い工法(15MPa以下)程度		
外壁-c	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)+下地調整塗材(C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-5塗 目地部コーキング 新設	時計	現況のまま		
外壁-d	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)+下地調整塗材(C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-5塗 目地部コーキング 新設 天端：アルミ製水切 現況のまま				
巾木-a	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)の上 撥水材塗布 目地部コーキング 新設				
巾木-b (地中梁)	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)の上 撥水材塗布 目地部コーキング 新設 天端：下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)の上 珪藻土系塗膜防水(X-2工法) 目地部コーキング 新設				
柱型-a	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)+下地調整塗材(C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-5塗 目地部コーキング 新設				
梁型-a	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)+下地調整塗材(C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材D-5塗 天端：下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)の上 珪藻土系塗膜防水(X-2工法) 目地部コーキング 新設				



[現況・撤去]南側立面図



[現況・撤去]北側立面図

○ 凡例	
	塗装のめくれ範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	露出鉄筋・欠損補修範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMパッキン 一般部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMパッキン 指定部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMパッキン 狭幅部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMパッキン(0.2~0.5mm未満)範囲を示す ◁は改修数量表番号を示す
	EMパッキン(0.5~2.0mm)範囲を示す ▷は改修数量表番号を示す

訂正事項	

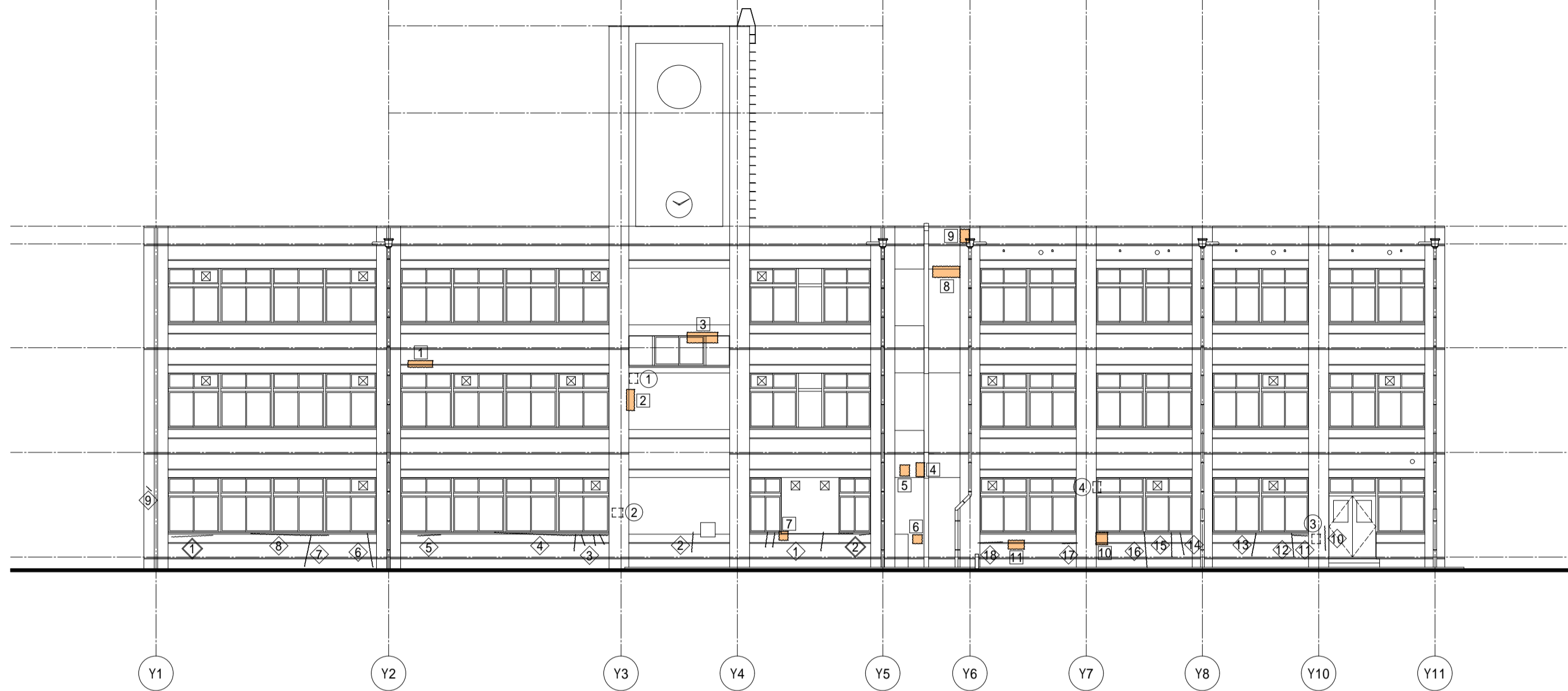
株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通
 彦根市長 豊原町 443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
 DRAWN BY _____ CHECKED BY _____ SUBMITTED BY _____

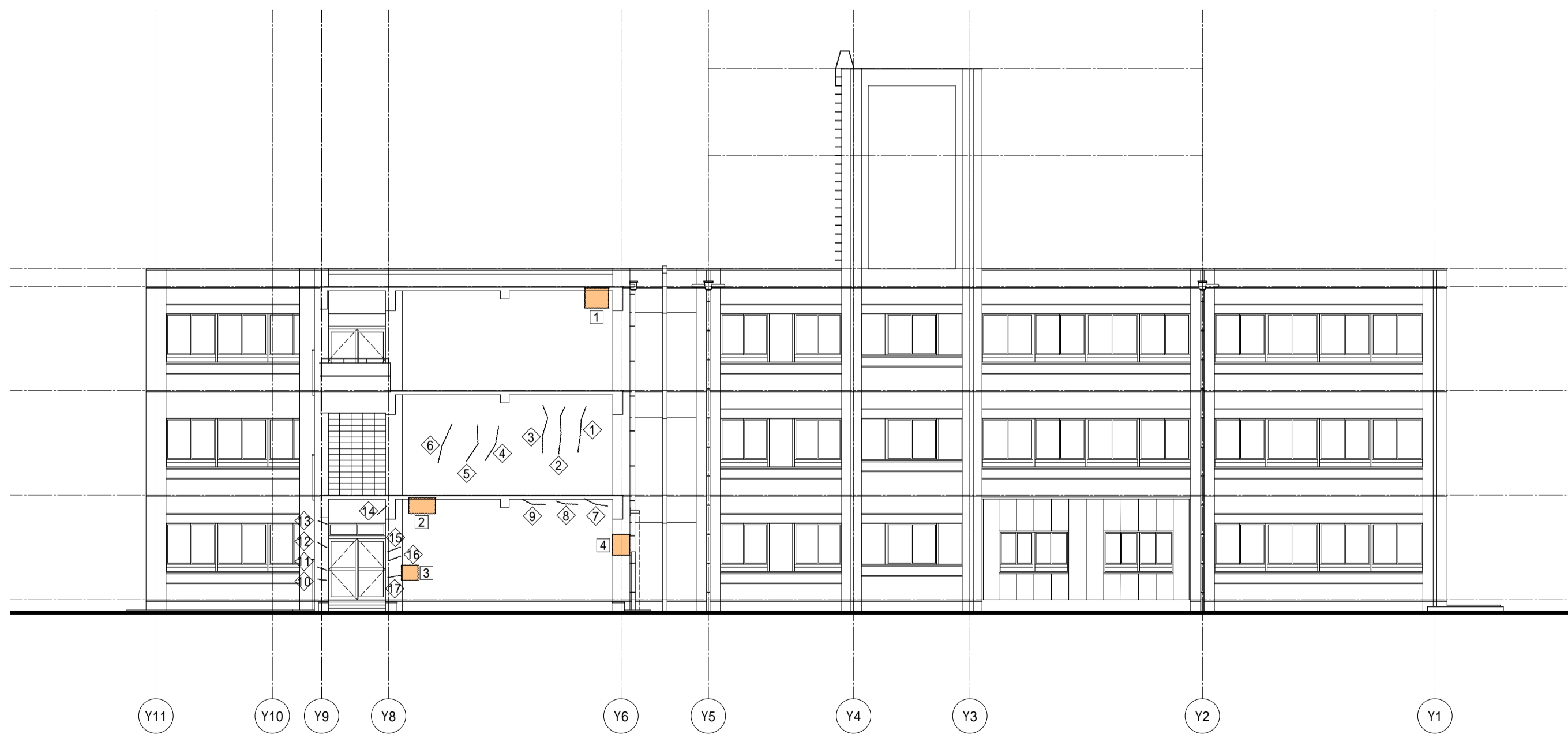
[新館棟]
 (外壁劣化部)立面図(1)
 DATE _____ SCALE A2:1/150 A3:70.7%

SHEET NO.
 A - 26

[新館棟] 立面図 改修数量表



[現況・撤去]東側立面図



[現況・撤去]西側立面図

○ モルタルクラック(0.2~0.5mm未満)：下地挙動緩衝材塗布[m]

東 面		西 面		南 面		北 面	
番号	施工面積	番号	施工面積	番号	施工面積	番号	施工面積
1	0.30	1	0.60	1	0.50	1	4.60
2	0.80	2	0.50	2	3.00	2	1.00
3	4.00	3	0.50	3	2.90	3	1.00
4	3.50	4	1.20	4	2.00	4	1.00
5	1.20	5	0.50	5	2.00	5	1.20
6	0.80	6	0.50	6	2.00	6	0.90
7	0.50	7	0.40	7	2.90	7	1.20
8	2.30	8	0.40	8	1.50	8	1.20
9	0.10	9	0.40	9	1.00	9	0.90
10	0.20	10	0.10	10	2.90	10	0.90
11	0.60	11	0.10	11	1.70	11	0.90
12	0.80	12	0.10	12	0.50	12	1.20
13	0.80	13	0.10	13	1.10	13	0.90
14	0.20	14	0.10	14	1.00	14	4.70
15	0.30	15	0.10	15	1.00	15	4.90
16	0.80	16	0.10	16	1.00	16	1.60
17	0.20	17	0.10	17	1.00	17	1.80
18	0.90	18	3.00	18	3.20	18	2.00
19	2.80	19	1.70	19	0.50	19	1.50
		20	0.90	20	0.50	20	1.40
		21	0.90	21	0.50	21	1.20
		22	1.30	22	3.20	22	0.90
		23	1.50	23	1.00	23	1.10
		24	0.60	24	1.00	24	1.20
		25	2.20	25	1.00	25	1.30
		26	0.80	26	1.00	26	1.30
		27	0.20	27	1.00	27	1.10
		28	0.90	28	1.20	28	1.20
		29	0.10	29	1.20	29	4.50
		30		30	1.30	30	4.50
		31		31	1.00	31	1.10
		32		32	1.20	32	2.80
		33		33	1.20	33	2.80
						34	10.50
						35	3.20
						36	3.20
						37	1.60
						38	0.90
小 計	21.10	小 計	19.90	小 計	48.00	小 計	79.20
						合 計	168.20 m
						合 計 × 1.5倍	252.30 m

○ 凡例

	塗装のめくれ範囲を示す		1は改修数量表番号を示す
	露出鉄筋・欠損補修範囲を示す		1は改修数量表番号を示す
	EMパッキ 一般部範囲を示す		1は改修数量表番号を示す
	EMパッキ 指定部範囲を示す		1は改修数量表番号を示す
	EMパッキ 狭幅部範囲を示す		1は改修数量表番号を示す
	EMパッキ(0.2~0.5mm未満)範囲を示す		1は改修数量表番号を示す
	EMパッキ(0.5~2.0mm)範囲を示す		1は改修数量表番号を示す

【新館棟】 立面図 改修数量表

○ モルタル浮き部：エポキシ樹脂注入工法 一般部(16穴/m²)[m²]

東 面		西 面		南 面		北 面	
番号	施工面積	番号	施工面積	番号	施工面積	番号	施工面積
		1	0.2×0.2 0.04				
		2	0.2×0.2 0.04				
		3	0.1×0.1 0.01				
		4	0.3×0.4 0.12				
小 計	0.00	小 計	0.21	小 計	0.00	小 計	0.00
合 計							0.21 m ²
合 計 × 1.5倍							0.32 m ²

○ 塗装の劣化部[m²]

東 面		西 面		南 面		北 面	
番号	施工面積	番号	施工面積	番号	施工面積	番号	施工面積
1	0.2×0.4 0.08			1	0.1×0.1 0.01	1	0.2×0.2 0.04
2	0.2×0.1 0.02			2	0.05×0.05 0.01	2	0.3×0.3 0.09
3	0.1×0.1 0.01			3	0.05×0.05 0.01	3	0.1×0.1 0.01
4	0.2×0.2 0.04			4	0.1×0.1 0.01		
				5	0.1×0.1 0.01		
				6	0.1×0.1 0.01		
小 計	0.15	小 計	0.00	小 計	0.06	小 計	0.14
合 計							0.35 m ²
合 計 × 1.5倍							0.53 m ²

○ モルタルクラック(0.5~2.0mm)：樹脂モルタル塗付下地挙動緩衝材塗布[m]

東 面		西 面		南 面		北 面	
番号	施工面積	番号	施工面積	番号	施工面積	番号	施工面積
1	1.40	1	0.30			1	6.50
2	0.20					2	2.10
小 計	1.60	小 計	0.30	小 計	0.00	小 計	8.60
合 計							10.50 m
合 計 × 1.5倍							15.75 m

○ 凡例

	塗装のめくれ範囲を示す	①	は改修数量表番号を示す
	露出鉄筋・欠損補修範囲を示す	①	は改修数量表番号を示す
	モルタル浮き 一般部範囲を示す	①	は改修数量表番号を示す
	モルタル浮き 指定部範囲を示す	①	は改修数量表番号を示す
	モルタル浮き 狭幅部範囲を示す	①	は改修数量表番号を示す
	モルタルクラック(0.2~0.5mm未満)範囲を示す	①	は改修数量表番号を示す
	モルタルクラック(0.5~2.0mm)範囲を示す	①	は改修数量表番号を示す

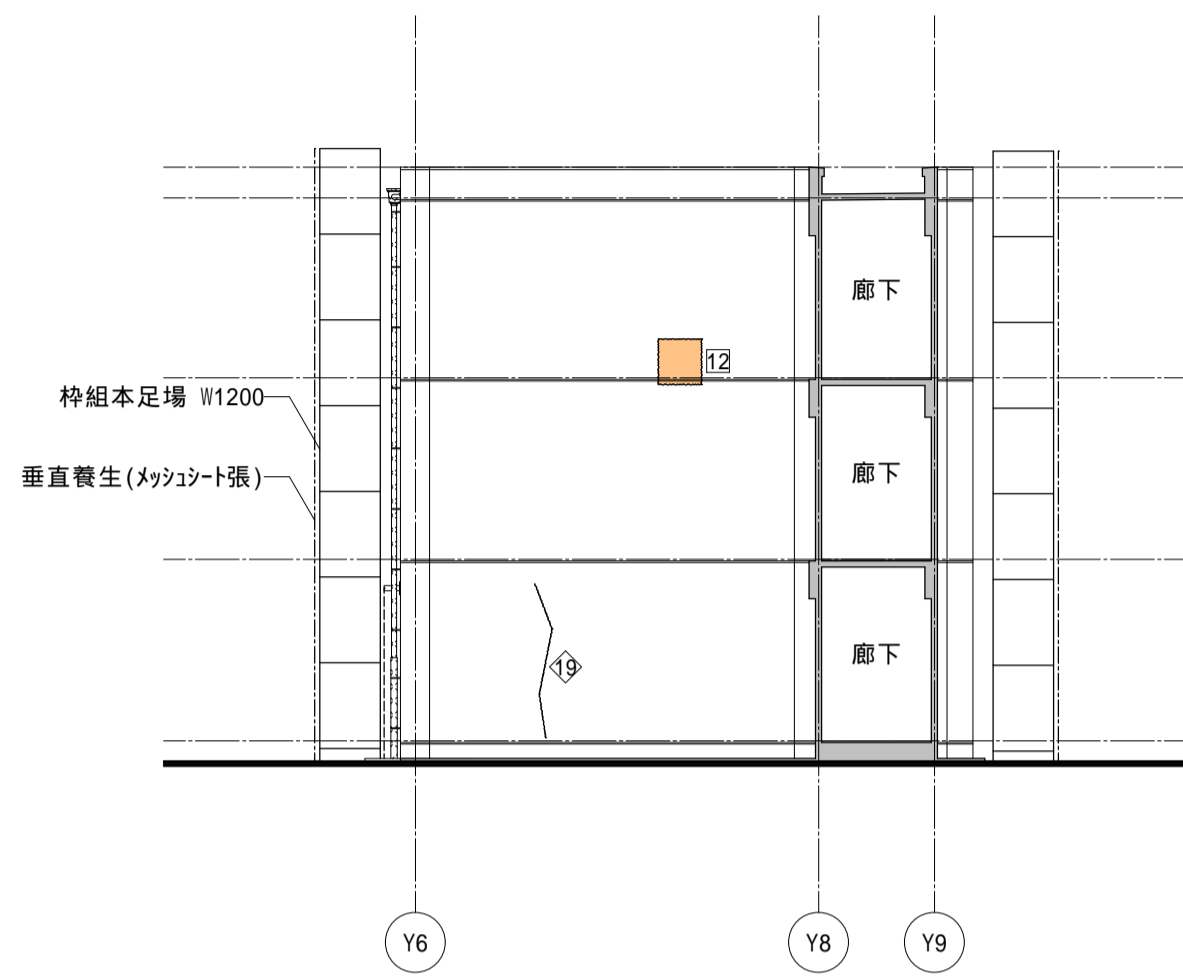


【現況・撤去】南1側立面図

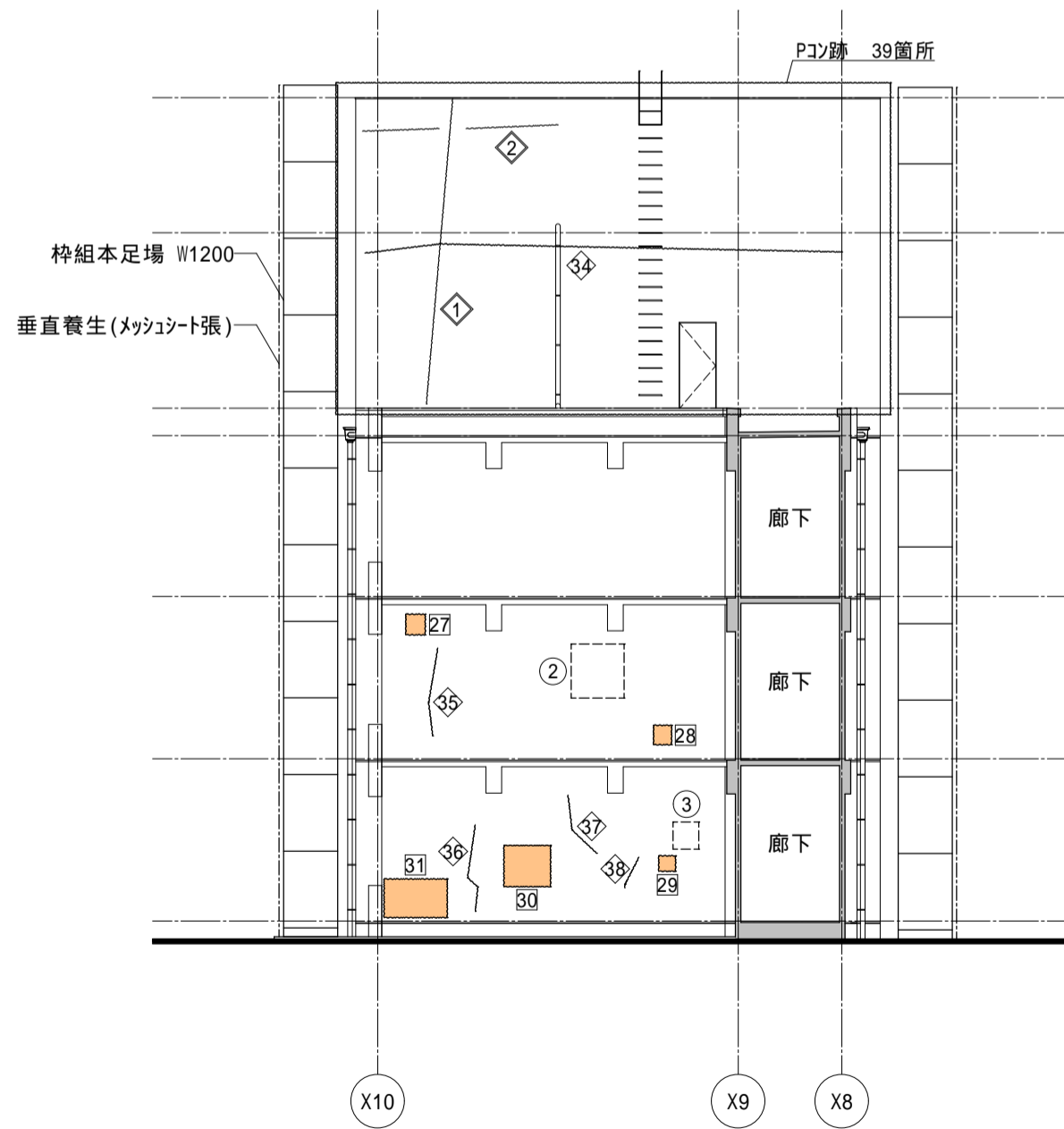


【現況・撤去】西1側立面図

[新館棟] 立面図 改修数量表



[現況・撤去]東1側立面図



[現況・撤去]北1側立面図

○ 露出鉄筋・欠損補修部：エポキシ樹脂モルタル充填工法[箇所]							
東面		西面		南面		北面	
番号	施工面積	番号	施工面積	番号	施工面積	番号	施工面積
1	0.10×0.50	1	0.20×0.30	1	0.10×0.10	1	0.10×0.10
2	0.10×0.30	2	0.50×0.30	2	0.10×0.10	2	0.10×0.10
3	1.00×0.10	3	0.05×0.05	3	0.10×0.10	3	0.10×0.10
4	0.10×0.10	4	0.05×0.05	4	0.10×0.10	4	0.10×0.10
5	0.10×0.80	5	0.10×0.10	5	0.10×0.10	5	0.10×0.20
6	0.20×0.20	6	0.60×0.20	6	0.10×0.10	6	0.10×0.20
7	0.30×0.10	7	0.10×1.00	7	0.10×0.10	7	0.10×0.20
8	0.10×0.80	8	0.10×0.10	8	0.10×0.10	8	0.10×0.10
9	0.60×0.10	9	0.05×0.05	9	0.10×0.10	9	0.10×0.10
10	0.10×0.10	10	0.05×0.05	10	0.10×0.10	10	0.10×0.10
11	0.20×0.10	11	0.05×0.05	11	0.10×0.10	11	0.10×0.10
12	0.20×0.20	12	0.20×0.10	12	0.10×0.10	12	0.10×0.10
		13	0.05×0.05	13	0.10×0.10	13	0.10×0.10
		14	0.05×0.05	14	0.10×0.10	14	0.10×0.10
		15	0.05×0.05	15	0.10×0.10	15	0.10×0.10
		16	0.10×0.10	16	0.10×0.10	16	0.10×0.10
		17	0.10×0.10	17	0.10×0.10	17	0.10×0.10
		18	0.10×0.10	18	0.10×0.10	18	0.10×0.10
		19	0.10×0.10	19	0.10×0.10	19	0.10×0.10
		20	0.10×0.10	20	0.10×0.10	20	0.10×0.10
		21	0.10×0.10	21	0.10×0.10	21	0.10×0.10
		22	0.10×0.10	22	0.10×0.10	22	0.10×0.10
		23	0.10×0.10	23	0.10×0.10	23	0.10×0.10
		24	0.10×0.10	24	0.10×0.20	24	0.10×0.20
		25	0.10×0.10	25	0.10×0.10	25	0.10×0.10
		26	0.10×0.10	26	0.20×0.30	26	0.20×0.30
		27	0.10×0.10	27	0.05×0.05	27	0.05×0.05
		28	0.10×0.10	28	0.05×0.05	28	0.05×0.05
		29	0.10×0.10	29	0.05×0.05	29	0.05×0.05
		30	0.10×0.10	30	0.30×0.30	30	0.30×0.30
		31	0.10×0.10	31	0.30×0.50	31	0.30×0.50
		32	0.10×0.10				
		33	0.10×0.10				
		34	0.10×0.10				
		35	0.10×0.10				
		36	0.10×0.10				
		37	0.10×0.20				
		38	0.10×0.10				
		39	0.10×0.10				
		40	0.10×0.10				
		41	0.10×0.10				
		42	0.10×0.10				
		43	0.10×0.10				
		44	0.10×0.10				
		45	0.10×0.10				
		46	0.10×0.10				
		47	0.10×0.10				
		48	0.10×0.10				
		49	0.10×0.10				
		50	0.10×0.10				
		51	0.10×0.10				
		52	0.10×0.10				
		53	0.10×0.10				
		54	0.10×0.10				
		55	0.10×0.10				
		56	0.10×0.10				
		57	0.10×0.10				

○ 露出鉄筋・欠損補修部：エポキシ樹脂モルタル充填工法[箇所]							
東面		西面		南面		北面	
番号	施工面積	番号	施工面積	番号	施工面積	番号	施工面積
				58	0.10×0.10		
				59	0.10×0.10		
				60	0.10×0.10		
				61	0.10×0.10		
				62	0.10×0.10		
				63	0.10×0.10		
				64	0.10×0.10		
				65	0.10×0.10		
				66	0.10×0.10		
				67	0.10×0.10		
				68	0.10×0.10		
				69	0.10×0.10		
				70	0.10×0.10		
				71	0.10×0.10		
				72	0.10×0.10		
				73	0.10×0.10		
				74	0.10×0.10		
				75	0.10×0.10		
				76	0.10×0.10		
				77	0.10×0.10		
				78	0.10×0.10		
				79	0.10×0.10		
				合計	131箇所		
				PCコン跡	88箇所		
				合計	144箇所		
				合計	117箇所		
				合計	480箇所		
				合計	720箇所		

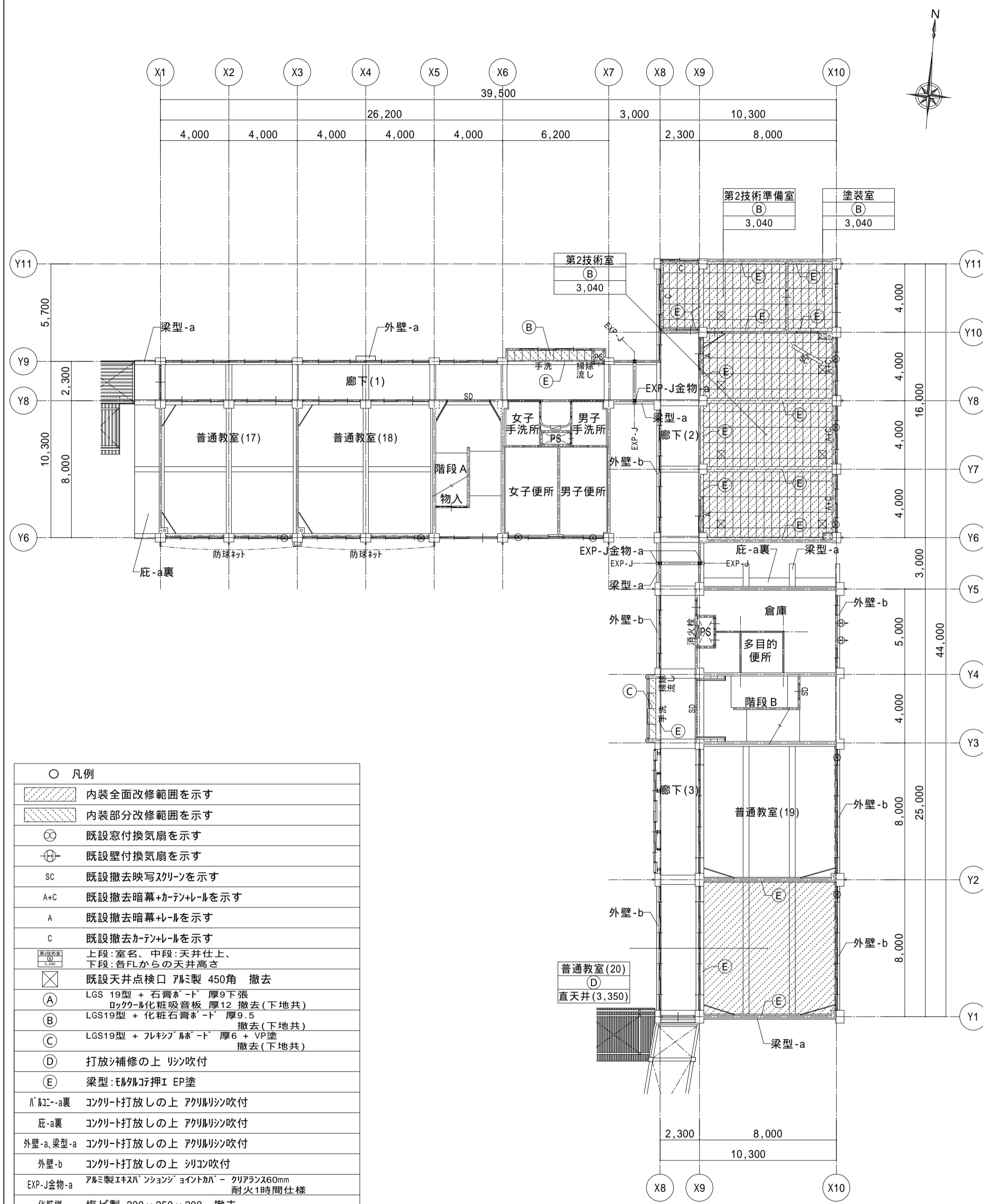
- 凡例
- 塗装のめくれ範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
 - 露出鉄筋・欠損補修範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
 - E/M浮き 一般部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
 - E/M浮き 指定部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
 - E/M浮き 狭幅部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
 - E/M浮き(0.2~0.5mm未満)範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
 - E/M浮き(0.5~2.0mm)範囲を示す ①は改修数量表番号を示す

訂正事項	
------	--

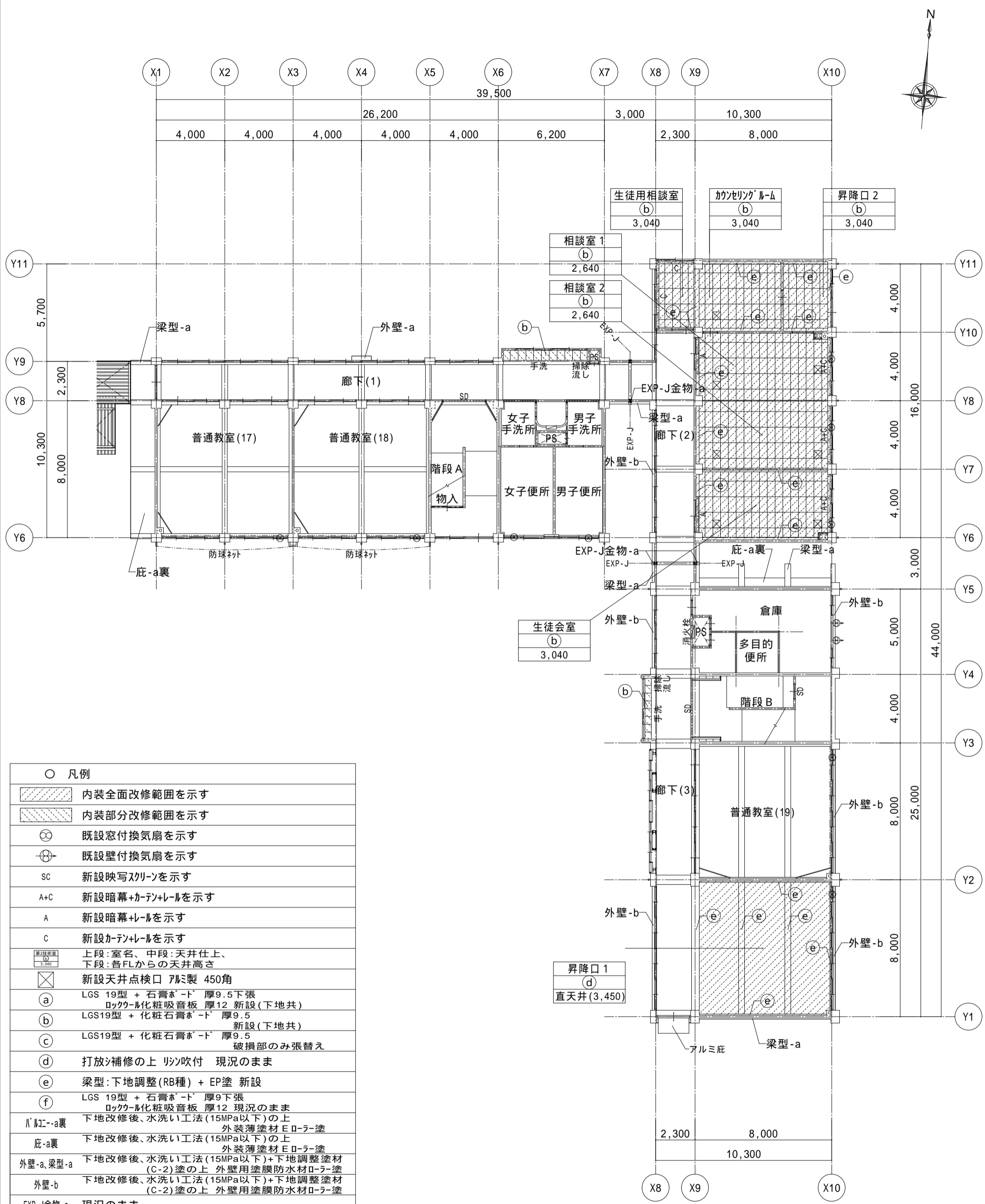
株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通
 彦根市長 彦根南町443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
 DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY

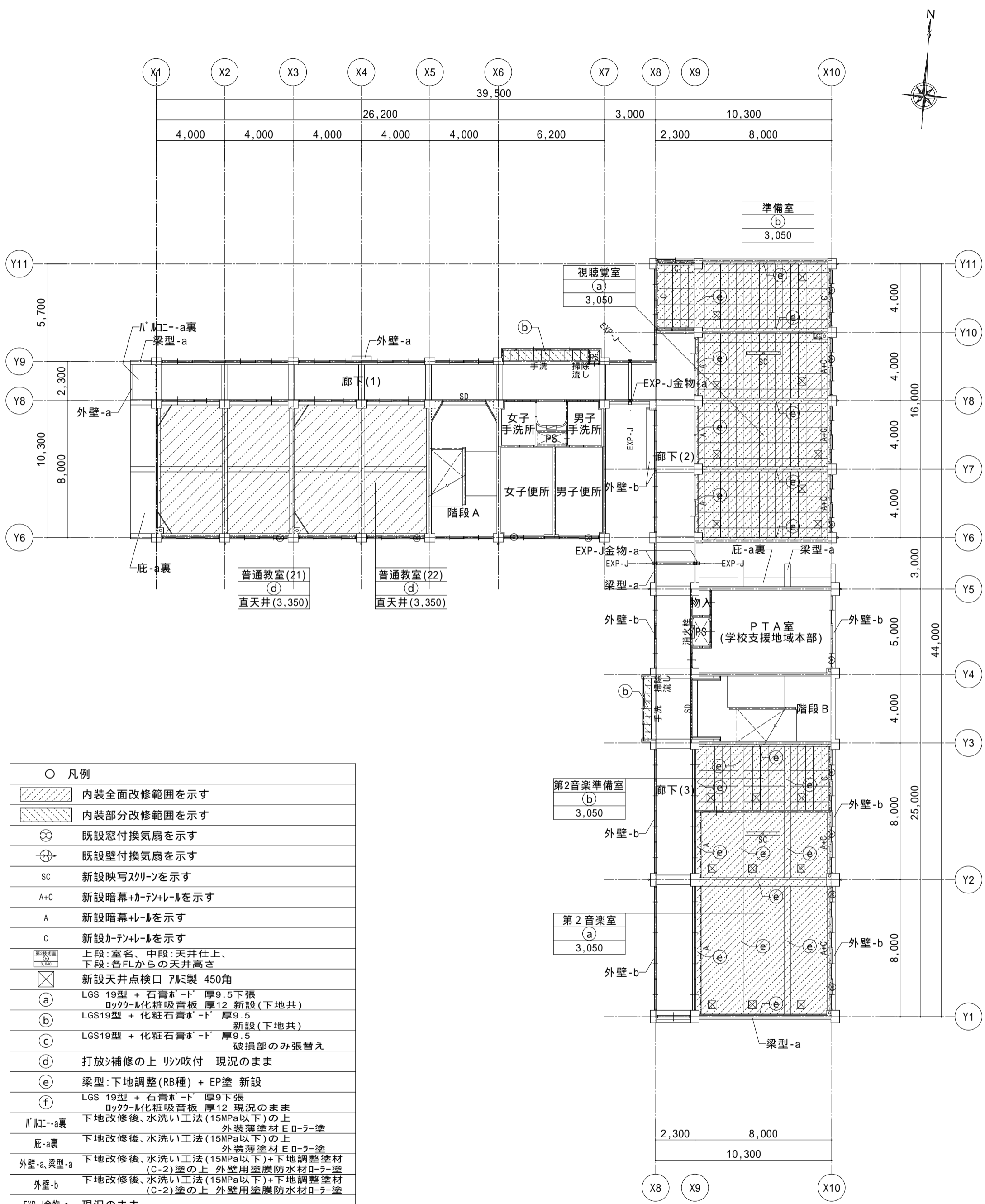
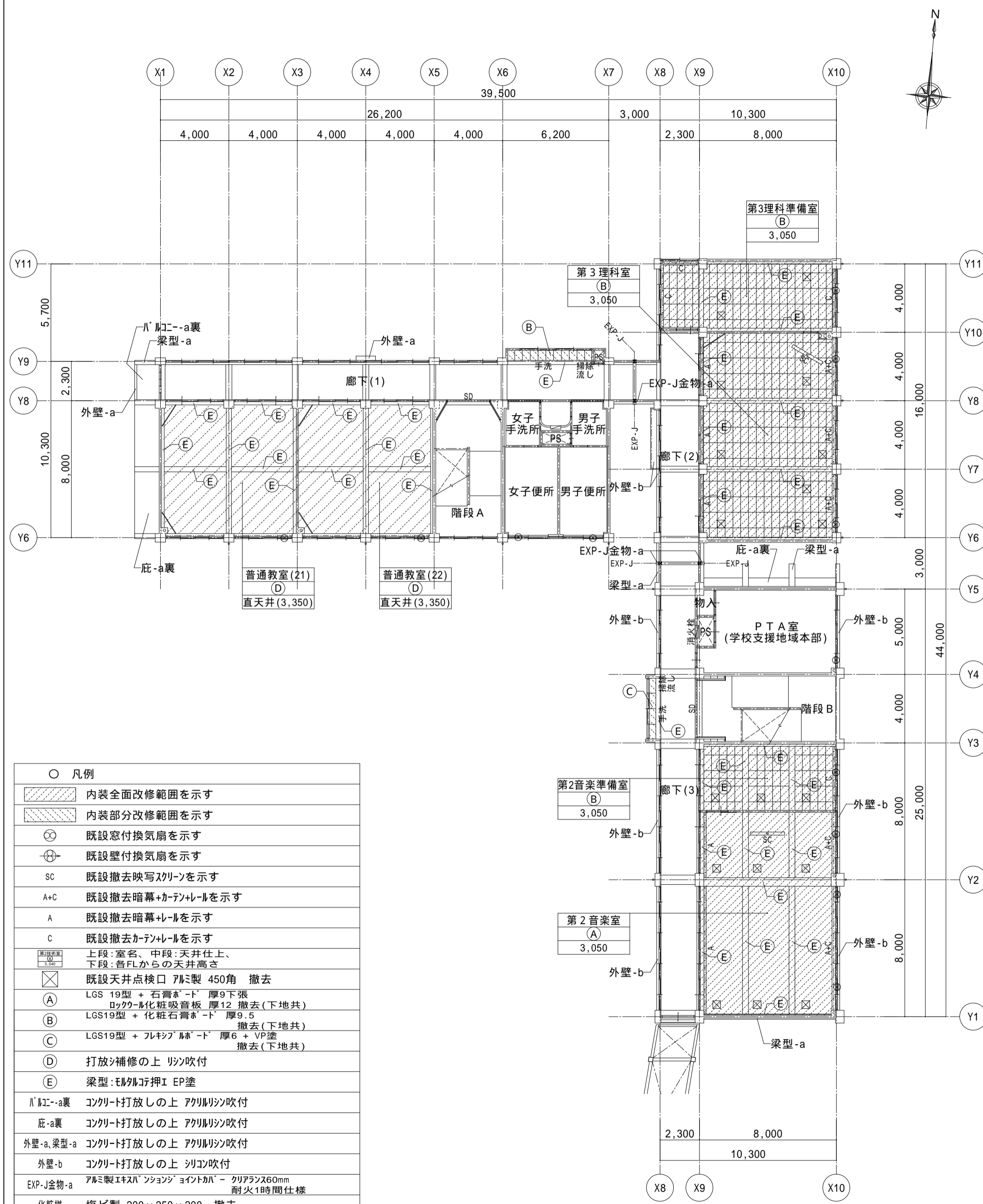
[新館棟]
 (外壁劣化部)立面図(4)
 DATE SCALE A2:1/150 A3:70.7% SHEET NO. A-29



○ 凡例	
	内装全面改修範囲を示す
	内装部分改修範囲を示す
	既設窓付換気扇を示す
	既設壁付換気扇を示す
SC	既設撤去映写スクリーンを示す
A+C	既設撤去暗幕+カーテンレールを示す
A	既設撤去暗幕+レールを示す
C	既設撤去カーテンレールを示す
	既設天井点検口 アルミ製 450角 撤去
A	LGS 19型 + 石膏ボード 厚9下張 ロック化化粧吸音板 厚12 撤去(下地共)
B	LGS19型 + 化粧石膏ボード 厚9.5 撤去(下地共)
C	LGS19型 + フレキシブルボード 厚6 + VP塗 撤去(下地共)
D	打放し補修の上 リン吹付
E	梁型: 珪藻土押入 EP塗
底-a裏	コンクリート打放しの上 アクリルシリコン吹付
外壁-a, 梁型-a	コンクリート打放しの上 アクリルシリコン吹付
外壁-b	コンクリート打放しの上 シリコン吹付
EXP-J金物-a	アルミ製エキストラジョイントカーキアランス60mm 耐火1時間仕様
化粧板	塩ビ製 200×250×200 撤去
防球ネット	防球ネット 一時取外し メッセンジャーワイヤー 一時取外し 支持金物 OP塗



○ 凡例	
	内装全面改修範囲を示す
	内装部分改修範囲を示す
	既設窓付換気扇を示す
	既設壁付換気扇を示す
SC	新設映写スクリーンを示す
A+C	新設暗幕+カーテンレールを示す
A	新設暗幕+レールを示す
C	新設カーテンレールを示す
	新設天井点検口 アルミ製 450角
a	LGS 19型 + 石膏ボード 厚9.5下張 ロック化化粧吸音板 厚12 新設(下地共)
b	LGS19型 + 化粧石膏ボード 厚9.5 新設(下地共)
c	LGS19型 + 化粧石膏ボード 厚9.5 破損部のみ張替え
d	打放し補修の上 リン吹付 現況のまま
e	梁型: 下地調整(RB種) + EP塗 新設
f	LGS 19型 + 石膏ボード 厚9下張 ロック化化粧吸音板 厚12 現況のまま
底-a裏	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)の上 外装薄塗材Eローラー塗
外壁-a, 梁型-a	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)+下地調整塗材 (C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材ローラー塗
外壁-b	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)+下地調整塗材 (C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材ローラー塗
EXP-J金物-a	現況のまま
化粧板	塩ビ製 大型 新設
防球ネット	防球ネット 再取付 メッセンジャーワイヤー 再取付 支持金物: 下地調整(RB種)の上 錆止め塗装(A種) + DP塗(1級)

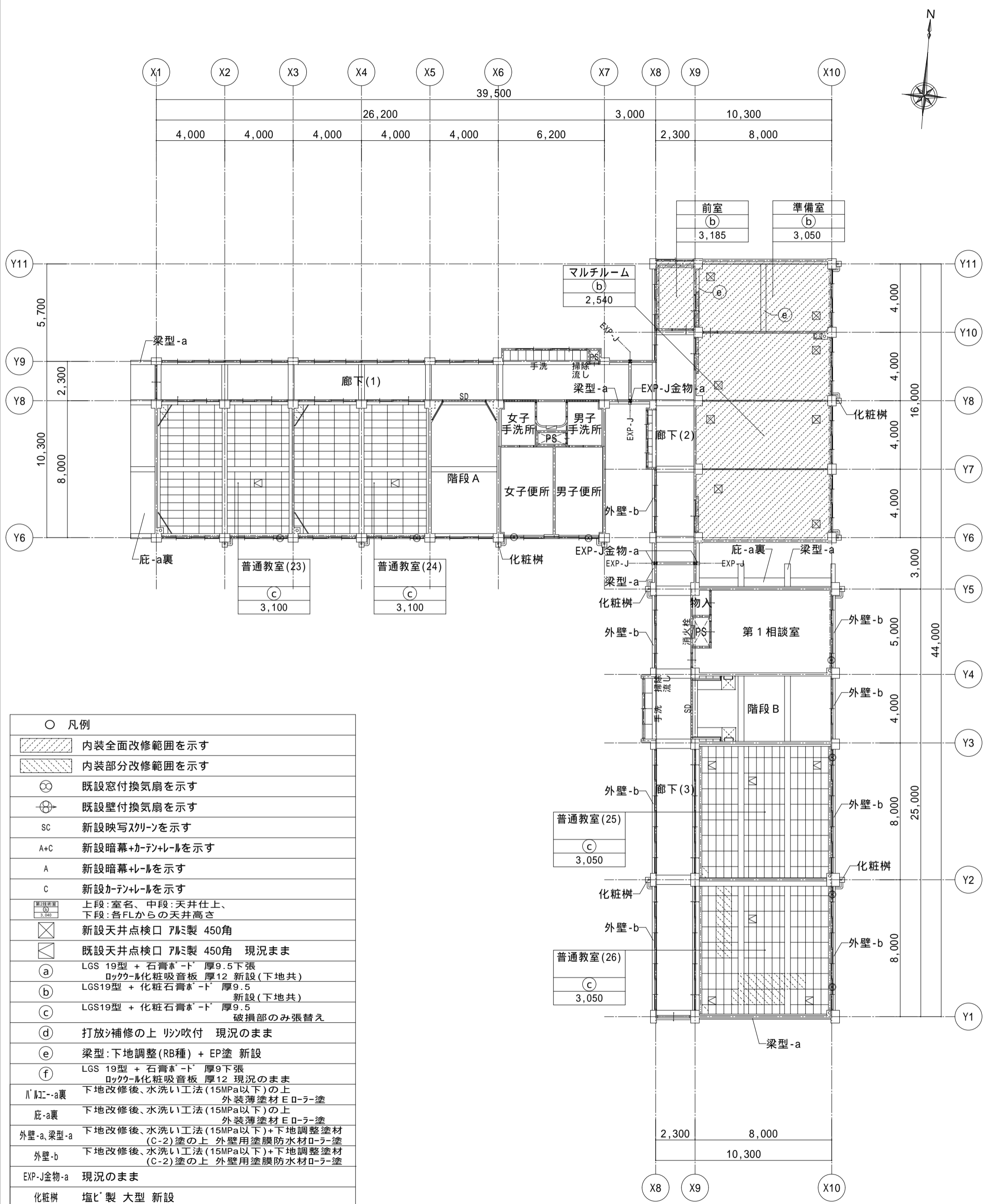
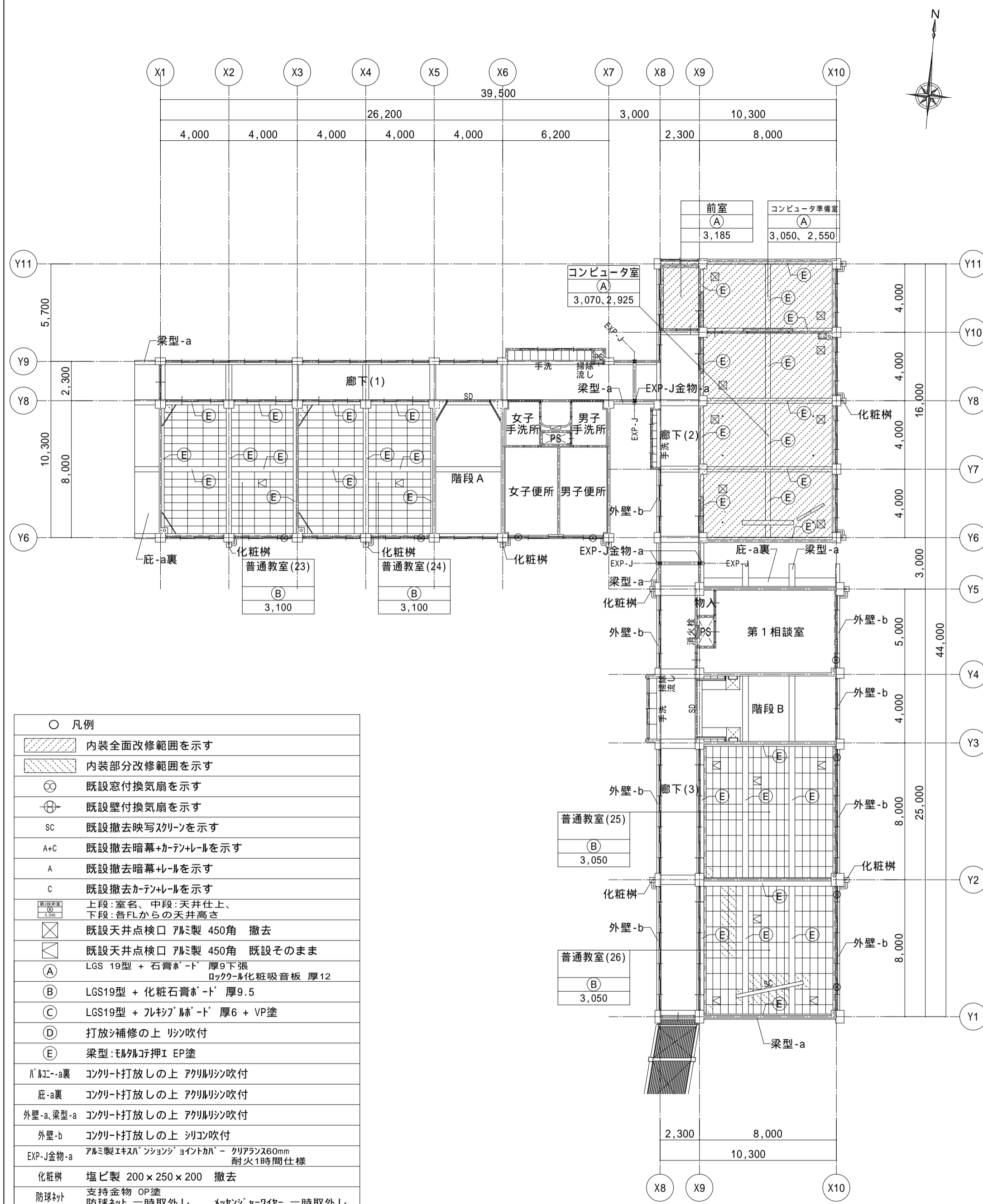


○ 凡例

	内装全面改修範囲を示す
	内装部分改修範囲を示す
	既設窓付換気扇を示す
	既設壁付換気扇を示す
SC	既設撤去映写スクリーンを示す
A+C	既設撤去暗幕+カーテンレールを示す
A	既設撤去カーテンレールを示す
C	既設撤去カーテンレールを示す
	上段: 室名、中段: 天井仕上、 下段: 各FLからの天井高さ
	既設天井点検口 アルミ製 450角 撤去
(A)	LGS 19型 + 石膏ボード 厚9下張 ロック化化粧吸音板 厚12 撤去(下地共)
(B)	LGS19型 + 化粧石膏ボード 厚9.5 撤去(下地共)
(C)	LGS19型 + フレキシブルボード 厚6 + VP塗 撤去(下地共)
(D)	打放し補修の上 リン吹付
(E)	梁型: 珪藻土押入 EP塗
天井-a裏	コンクリート打放しの上 アクリルシリコン吹付
底-a裏	コンクリート打放しの上 アクリルシリコン吹付
外壁-a, 梁型-a	コンクリート打放しの上 アクリルシリコン吹付
外壁-b	コンクリート打放しの上 シリコン吹付
EXP-J金物-a	アルミ製エキスパンションジョイントカバー クリアアクリル60mm 耐火1時間仕様
化粧板	塩ビ製 200×250×200 撤去
防球ネット	防球ネット 一時取外し メッセンジャーワイヤー 一時取外し 支持金物 OP塗

○ 凡例

	内装全面改修範囲を示す
	内装部分改修範囲を示す
	既設窓付換気扇を示す
	既設壁付換気扇を示す
SC	新設映写スクリーンを示す
A+C	新設暗幕+カーテンレールを示す
A	新設暗幕+カーテンレールを示す
C	新設カーテンレールを示す
	上段: 室名、中段: 天井仕上、 下段: 各FLからの天井高さ
	新設天井点検口 アルミ製 450角
(a)	LGS 19型 + 石膏ボード 厚9.5下張 ロック化化粧吸音板 厚12 現況のまま
(b)	LGS19型 + 化粧石膏ボード 厚9.5 新設(下地共)
(c)	LGS19型 + 化粧石膏ボード 厚9.5 破損部のみ張替え
(d)	打放し補修の上 リン吹付 現況のまま
(e)	梁型: 下地調整(RB種) + EP塗 新設
(f)	LGS 19型 + 石膏ボード 厚9下張 ロック化化粧吸音板 厚12 現況のまま
天井-a裏	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)の上 外装薄塗材Eローラー塗
底-a裏	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)の上 外装薄塗材Eローラー塗
外壁-a, 梁型-a	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)+下地調整塗材 (C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材ローラー塗
外壁-b	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)+下地調整塗材 (C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材ローラー塗
EXP-J金物-a	現況のまま
化粧板	塩ビ製 大型 新設
防球ネット	防球ネット 再取付 メッセンジャーワイヤー 再取付 支持金物: 下地調整(RB種)の上 錆止め塗料(A種) + DP塗(1級)

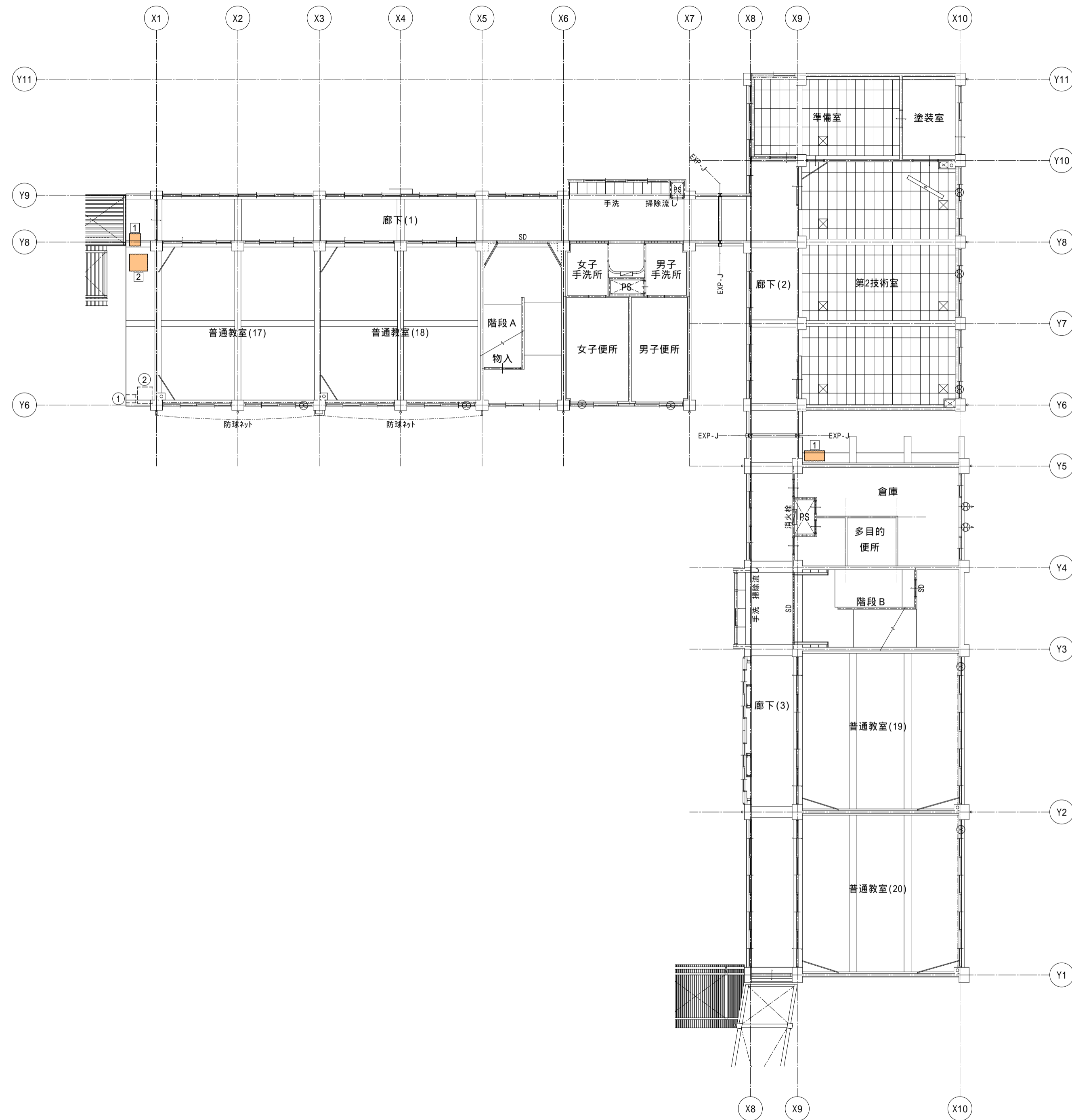


○ 凡例

	内装全面改修範囲を示す
	内装部分改修範囲を示す
	既設窓付換気扇を示す
	既設壁付換気扇を示す
SC	既設撤去映写スクリーンを示す
A+C	既設撤去暗幕+カーテンレールを示す
A	既設撤去暗幕+レールを示す
C	既設撤去カーテンレールを示す
	上段:室名、中段:天井仕上、 下段:各FLからの天井高さ
	既設天井点検口 アルミ製 450角 撤去
	既設天井点検口 アルミ製 450角 既設そのまま
(A)	LGS 19型 + 石膏ボード 厚9下張 ロックル化粧吸音板 厚12
(B)	LGS19型 + 化粧石膏ボード 厚9.5
(C)	LGS19型 + フレキシブルボード 厚6 + VP塗
(D)	打放し補修の上 リン吹付
(E)	梁型:EPコーティング EP塗
天井-a裏	コンクリート打放しの上 アクリルシン吹付
天井-b裏	コンクリート打放しの上 アクリルシン吹付
外壁-a,梁型-a	コンクリート打放しの上 アクリルシン吹付
外壁-b	コンクリート打放しの上 リン吹付
EXP-J金物-a	アルミ製エキスパンションジョイントカバー クリアアス60mm 耐火1時間仕様
化粧樹	塩ビ製 200×250×200 撤去
防球ネット	支持金物 OP塗 防球ネット 一時取外し メッシュワイヤー 一時取外し

○ 凡例

	内装全面改修範囲を示す
	内装部分改修範囲を示す
	既設窓付換気扇を示す
	既設壁付換気扇を示す
SC	新設映写スクリーンを示す
A+C	新設暗幕+カーテンレールを示す
A	新設暗幕+レールを示す
C	新設カーテンレールを示す
	上段:室名、中段:天井仕上、 下段:各FLからの天井高さ
	新設天井点検口 アルミ製 450角
	既設天井点検口 アルミ製 450角 現況のまま
(a)	LGS 19型 + 石膏ボード 厚9.5下張 ロックル化粧吸音板 厚12 新設(下地共)
(b)	LGS19型 + 化粧石膏ボード 厚9.5 新設(下地共)
(c)	LGS19型 + 化粧石膏ボード 厚9.5 破損部のみ張替え
(d)	打放し補修の上 リン吹付 現況のまま
(e)	梁型:下地調整(RB種) + EP塗 新設
(f)	LGS 19型 + 石膏ボード 厚9下張 ロックル化粧吸音板 厚12 現況のまま
天井-a裏	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)の上 外装薄塗材Eローラー塗
天井-b裏	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)の上 外装薄塗材Eローラー塗
外壁-a,梁型-a	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)+下地調整塗材 (C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材ローラー塗
外壁-b	下地改修後、水洗い工法(15MPa以下)+下地調整塗材 (C-2)塗の上 外壁用塗膜防水材ローラー塗
EXP-J金物-a	現況のまま
化粧樹	塩ビ製 大型 新設
防球ネット	防球ネット 再取付 支持金物:下地調整(RB種)の上 錆止め塗装(A種) + DP塗(1級)



○ 凡例	
	塗装のめくれ範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	露出鉄筋・欠損補修範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き 一般部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き 指定部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き 狭幅部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き(0.2~0.5mm未満)範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き(0.5~2.0mm)範囲を示す ①は改修数量表番号を示す

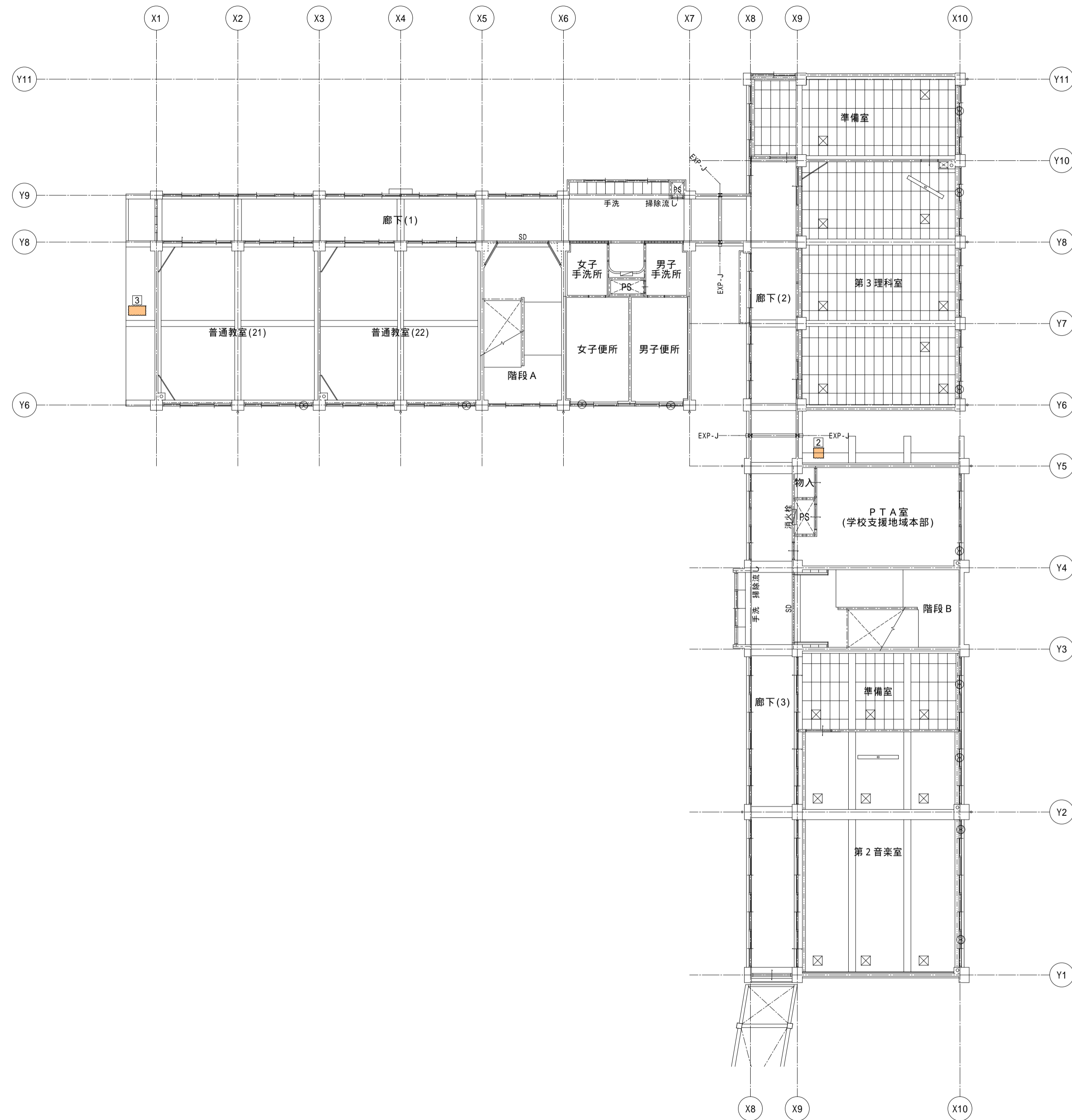
訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通
 彦根市長 豊原町 443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
 DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY

【新館棟】
 (軒天劣化部) 1階天井伏図
 DATE SCALE A2:1/150 A3:70.7%

SHEET NO.
 A - 33



○ 凡例	
	塗装のめくれ範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	露出鉄筋・欠損補修範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き 一般部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き 指定部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き 狭幅部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き(0.2~0.5mm未満)範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き(0.5~2.0mm)範囲を示す ①は改修数量表番号を示す

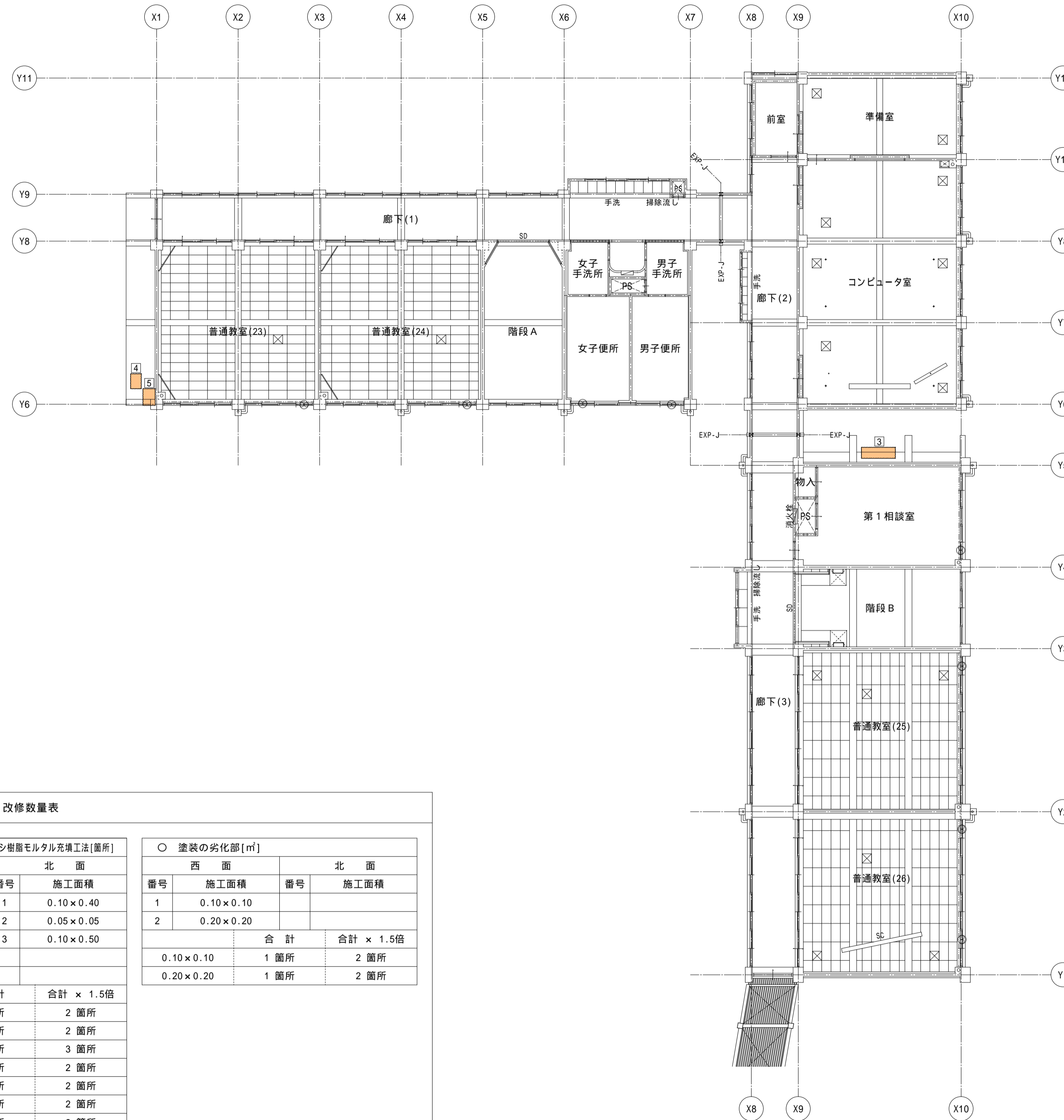
訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通
 彦根市長 豊原町 443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
 DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY

【新館棟】
 (軒天劣化部) 2階天井伏図
 DATE SCALE A2:1/150 A3:70.7%

SHEET NO.
 A - 34



[新館棟] 天井伏図 改修数量表

○ 露出鉄筋・欠損補修部：エポキシ樹脂モルタル充填工法[箇所]			
西面		北面	
番号	施工面積	番号	施工面積
1	0.10×0.10	1	0.10×0.40
2	0.20×0.60	2	0.05×0.05
3	0.20×0.30	3	0.10×0.50
4	0.20×0.10		
5	0.20×0.10		
合計		合計 × 1.5倍	
0.05×0.05	1箇所	2箇所	
0.10×0.10	1箇所	2箇所	
0.10×0.20	2箇所	3箇所	
0.10×0.40	1箇所	2箇所	
0.10×0.50	1箇所	2箇所	
0.20×0.30	1箇所	2箇所	
0.20×0.60	1箇所	2箇所	

○ 塗装の劣化部[m ²]			
西面		北面	
番号	施工面積	番号	施工面積
1	0.10×0.10		
2	0.20×0.20		
合計		合計 × 1.5倍	
0.10×0.10	1箇所	2箇所	
0.20×0.20	1箇所	2箇所	

○ 凡例	
	塗装のめくれ範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	露出鉄筋・欠損補修範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き 一般部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き 指定部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き 狭幅部範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き(0.2~0.5mm未満)範囲を示す ①は改修数量表番号を示す
	EMタ浮き(0.5~2.0mm)範囲を示す ①は改修数量表番号を示す

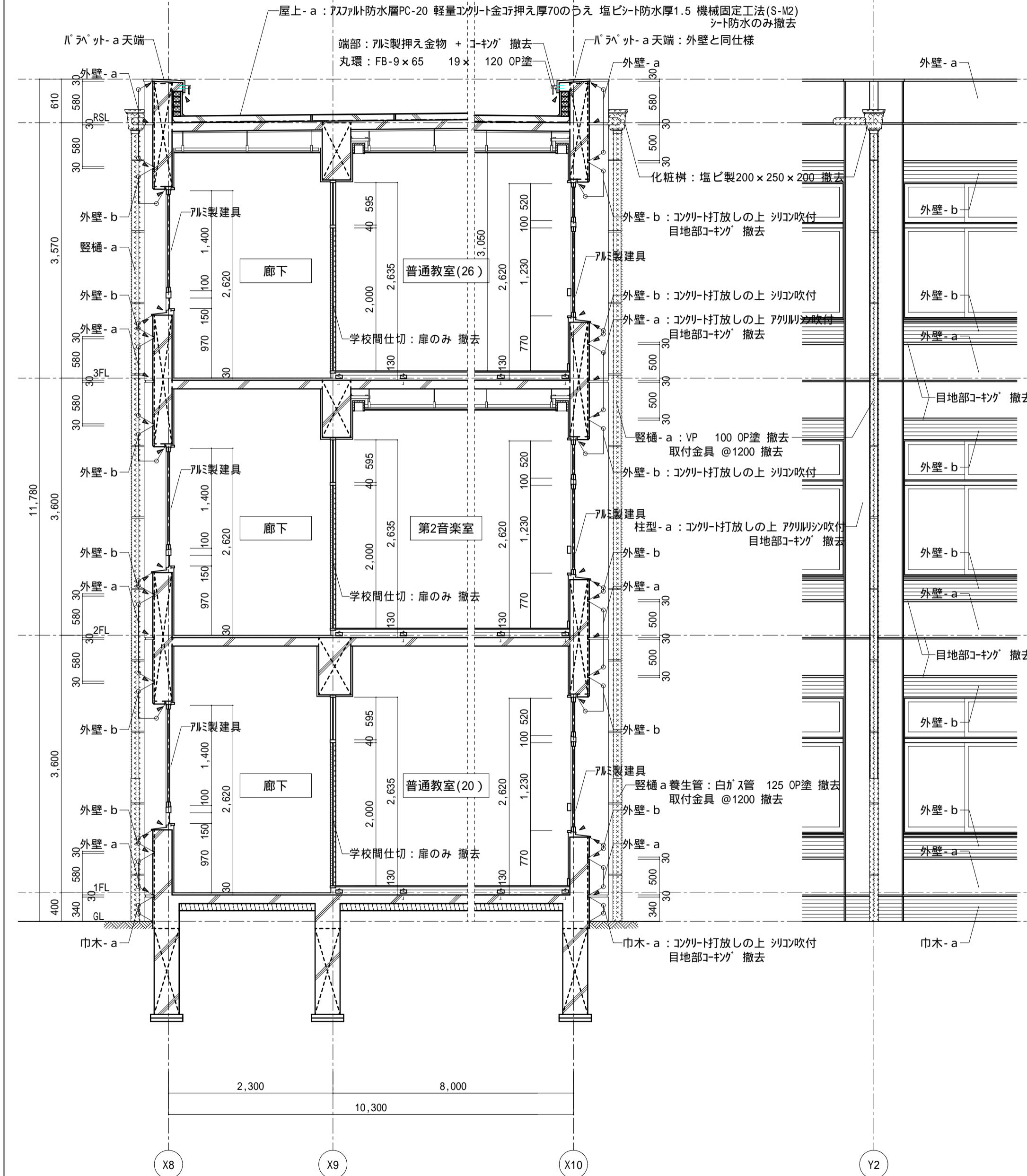
訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通
 彦根市長豊橋南町443番地 TEL 0749-22-1679

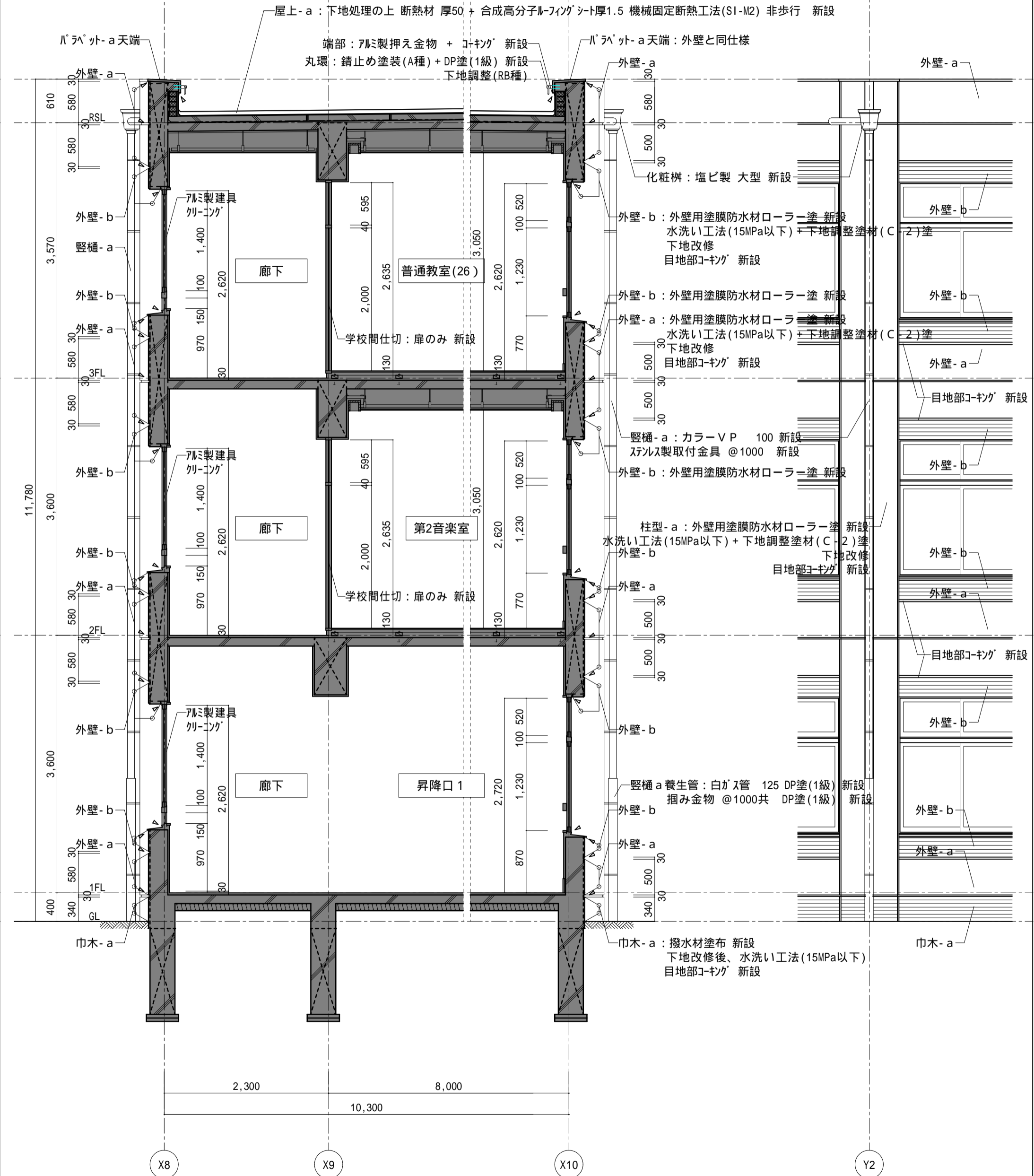
東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
 DRAWN BY _____ CHECKED BY _____ SUBMITTED BY _____

[新館棟]
 (軒天劣化部)3階天井伏図
 DATE _____ SCALE A2:1/150 A3:70.7%
 SHEET NO. A-35

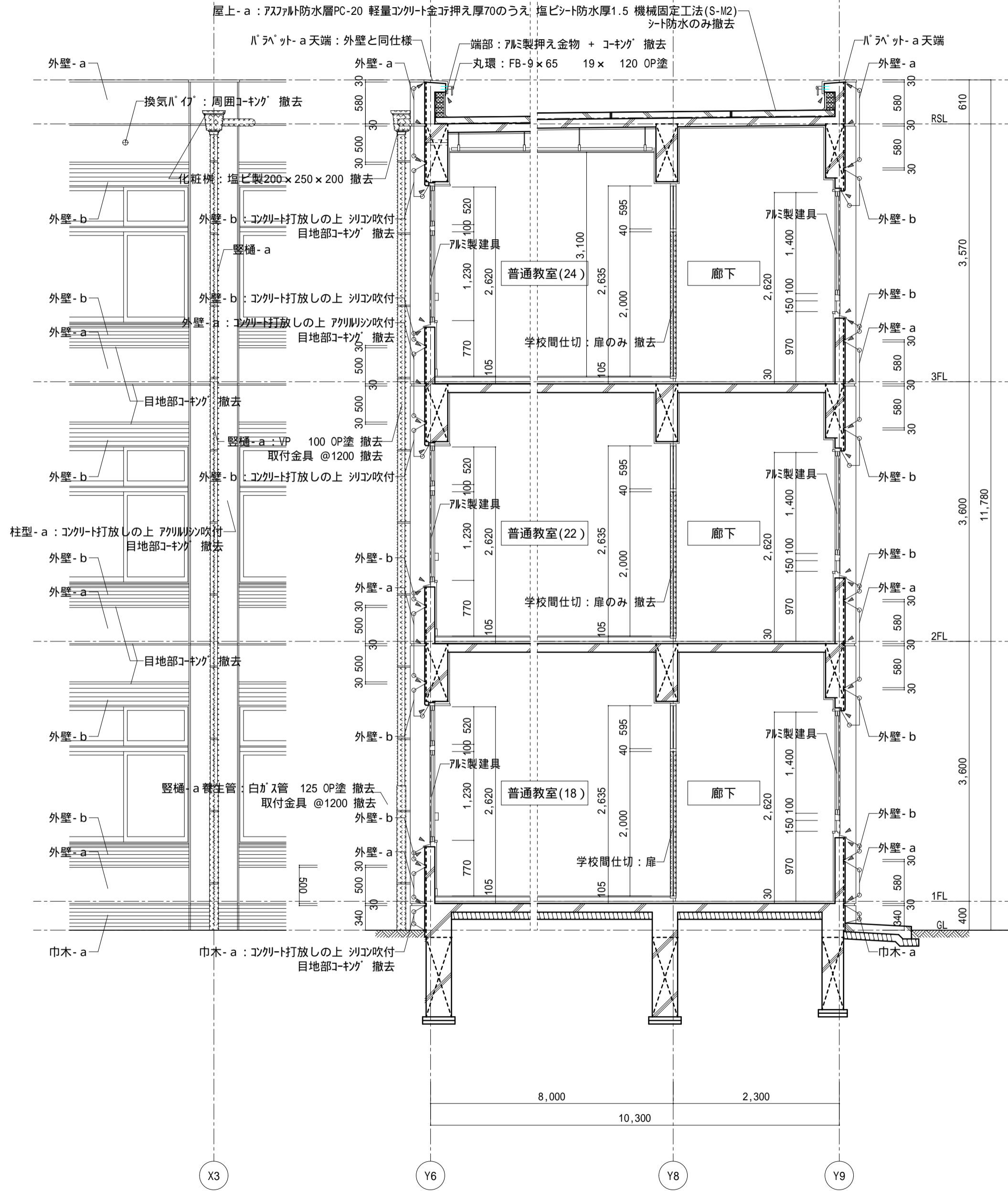
- 凡例
- 撤去範囲を示す
- シーリング撤去を示す



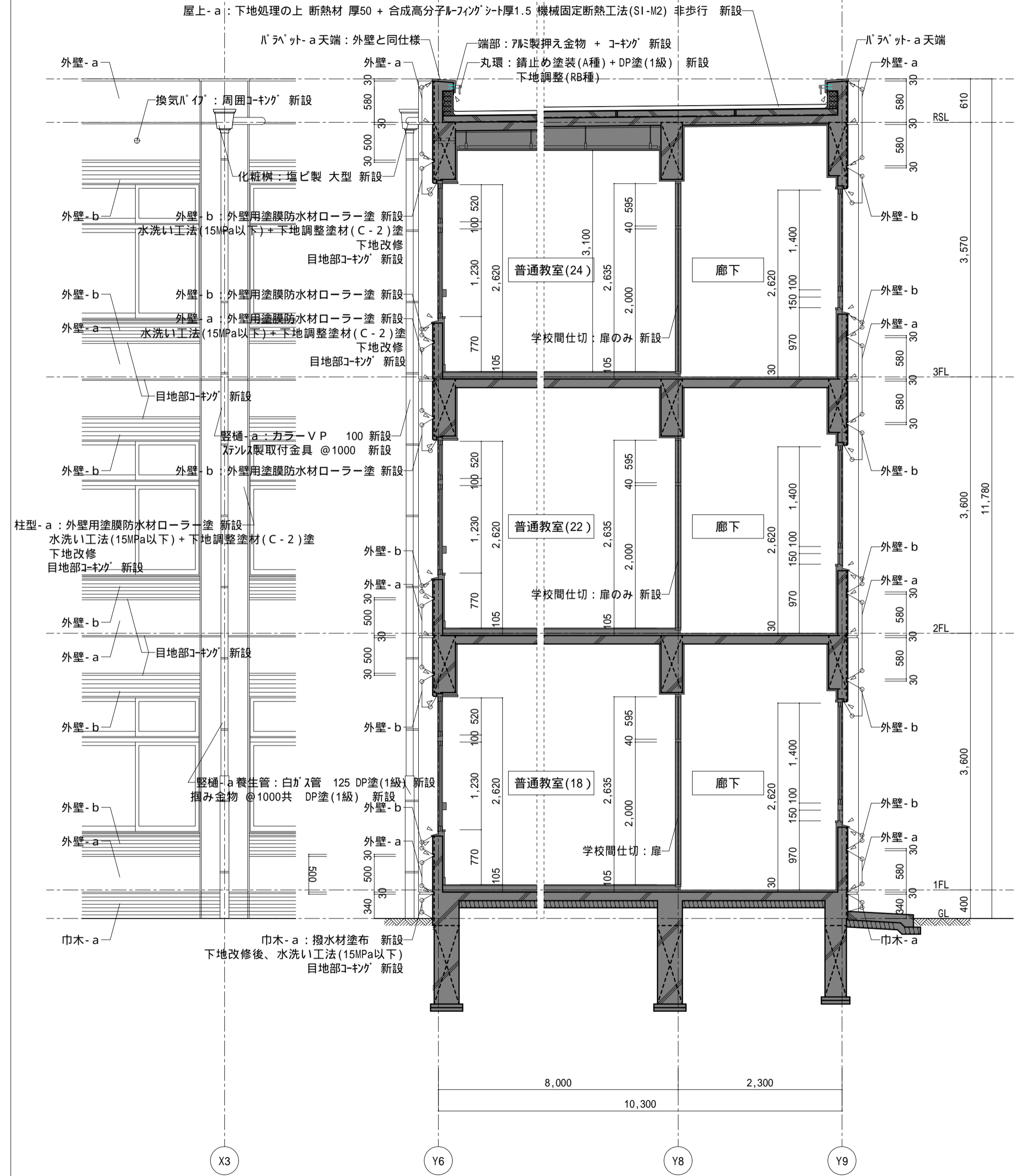
- 凡例
- 現状のままの範囲を示す
- シーリング新設を示す



- 凡例
- 撤去範囲を示す
- シリング撤去を示す



- 凡例
- 現状のままの範囲を示す
- シリング新設を示す

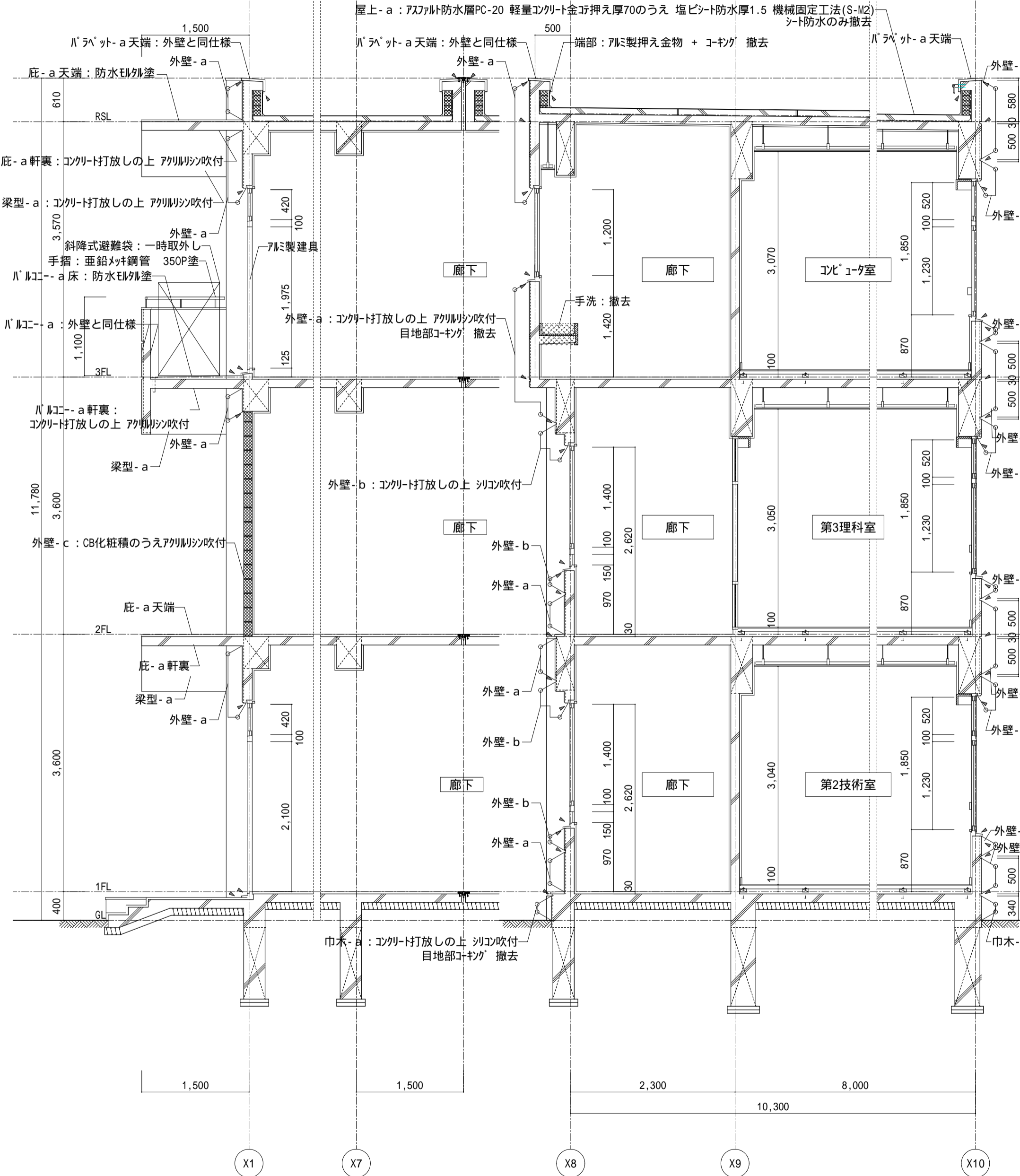


訂正事項	

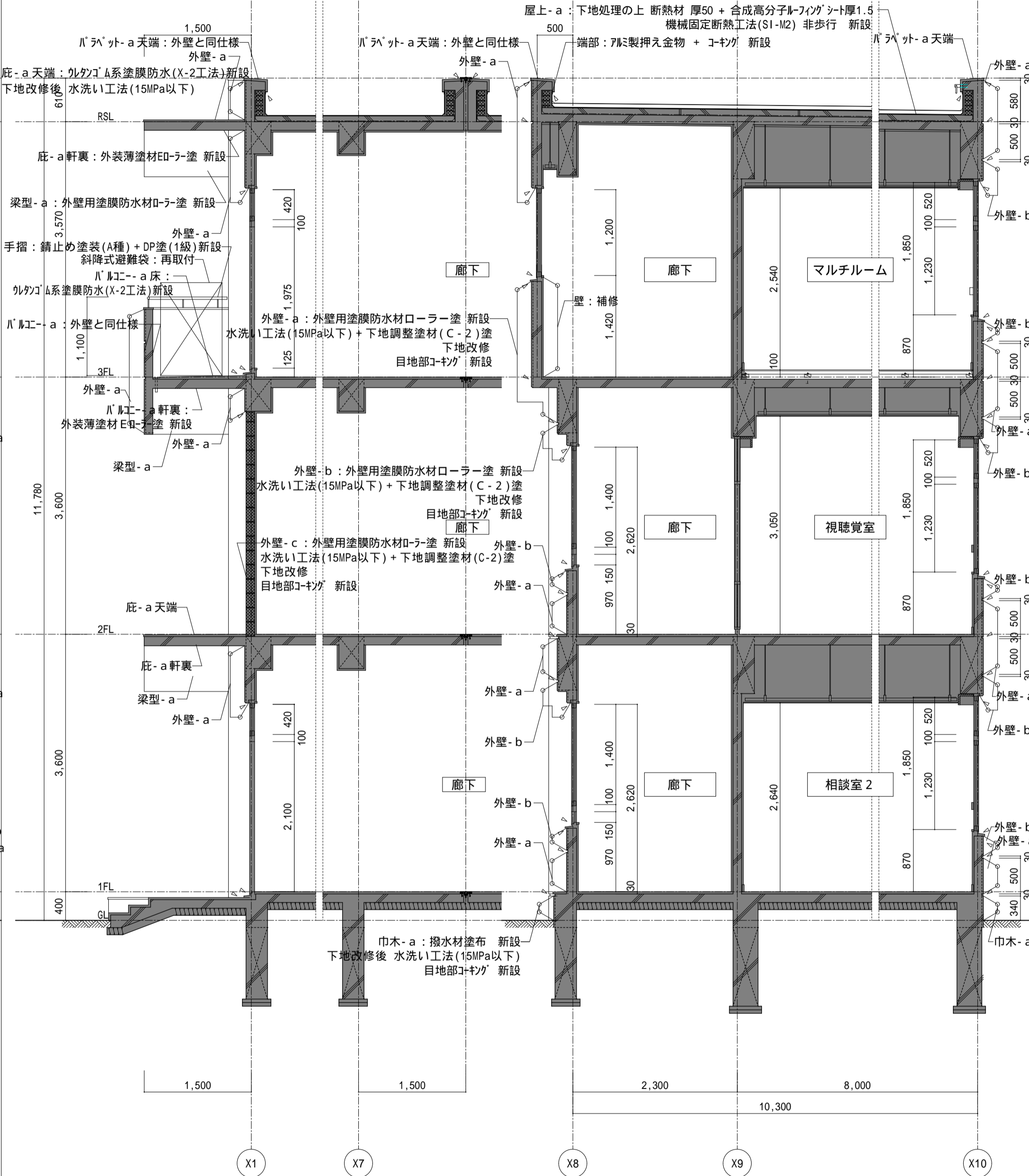
株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号
 北村 通
 彦根市長巻南町443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)				[新館棟]		SHEET NO.
矩計図 2						A-37
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE	A2:1/30 A3:70.7%	

○ 凡例
撤去範囲を示す
シリング撤去を示す



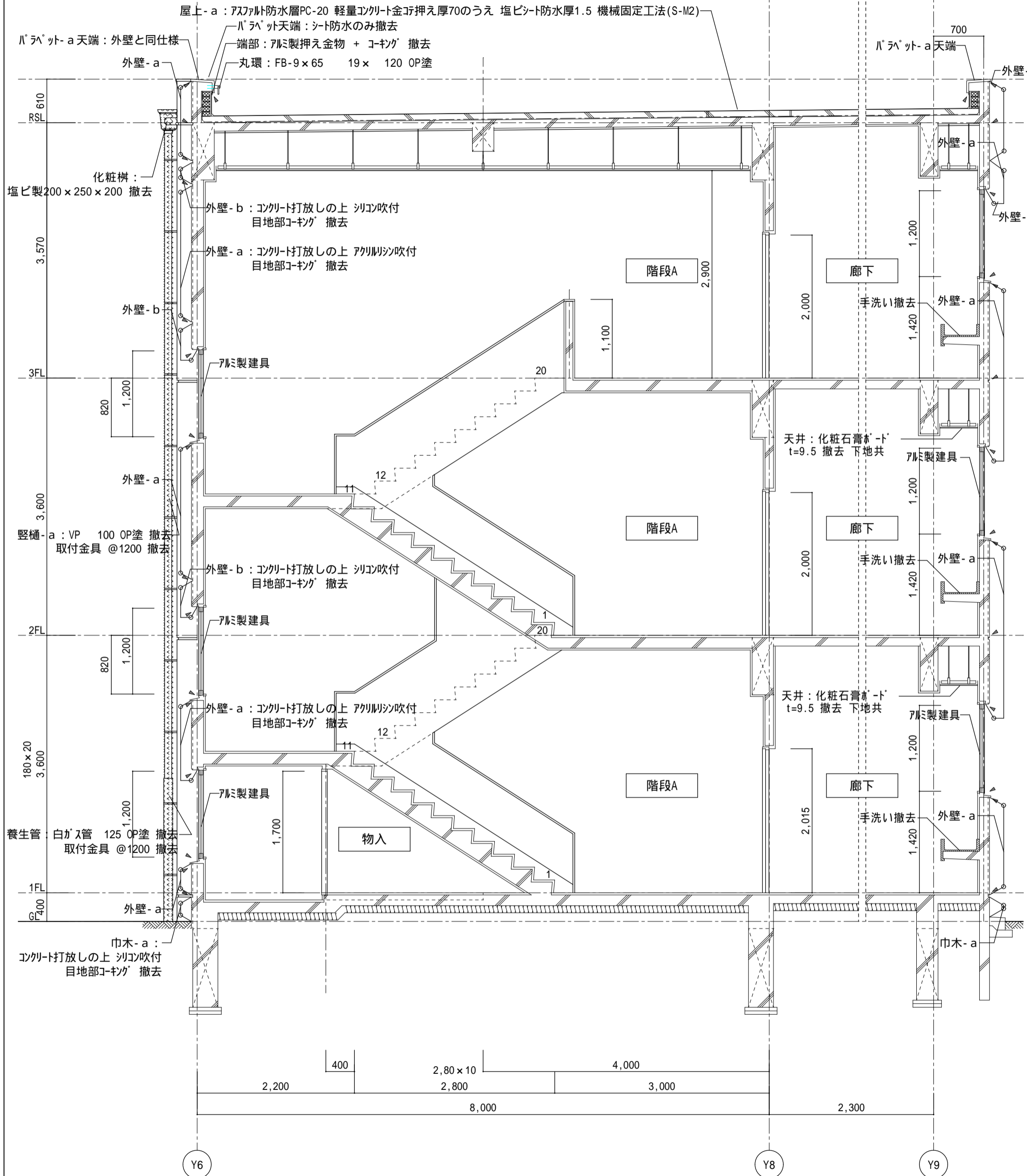
○ 凡例
現状のままの範囲を示す
シリング新設を示す



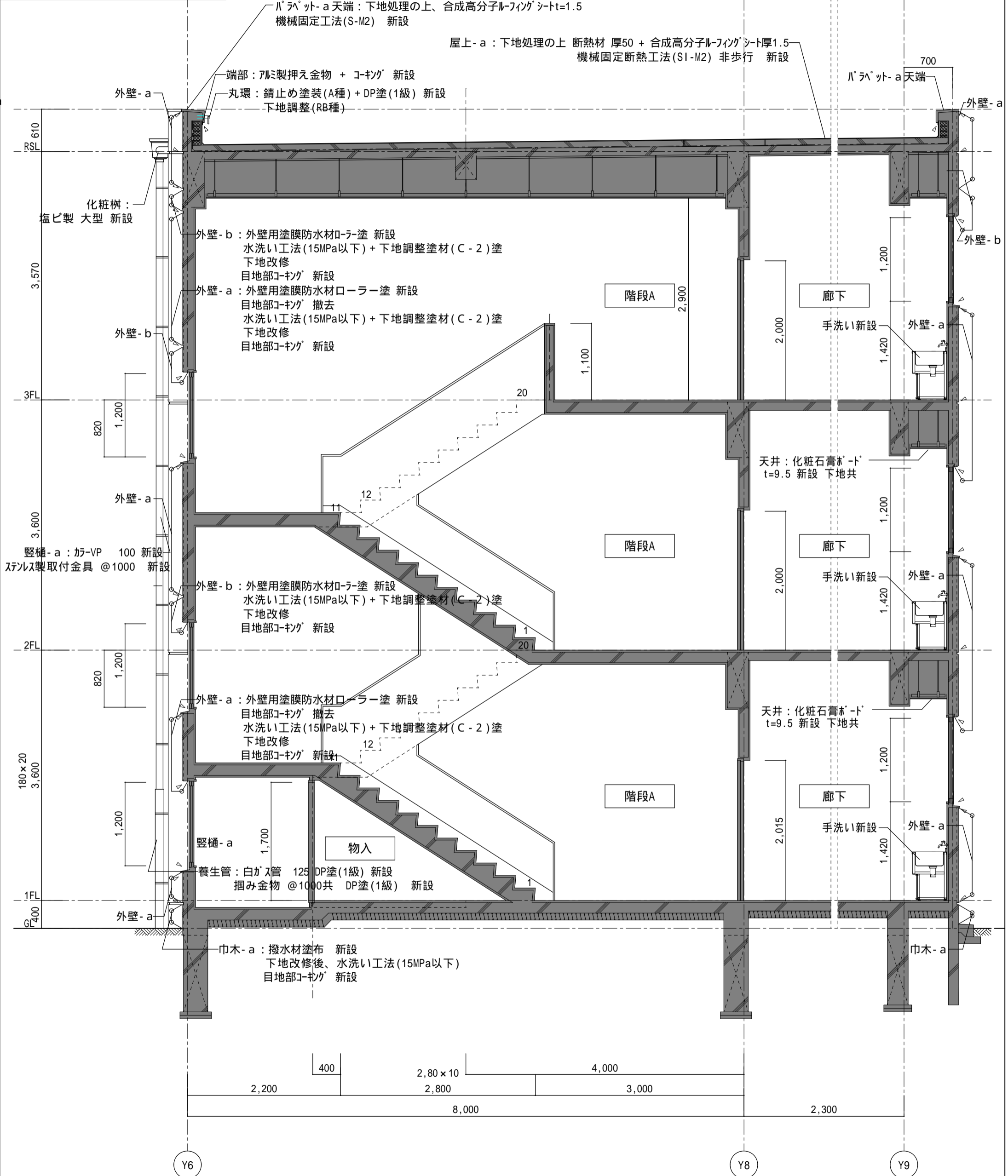
訂正事項

株式会社 水原建築設計事務所 <small>一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一般建築士登録 第219285号</small> 北村 通 <small>滋賀市長 豊原町 443番地 TEL 0749-22-1679</small>		東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) [新館棟] 矩計図 3		SHEET NO. A - 38
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE
				A2:1/30 A3:70.7%

○ 凡例
撤去範囲を示す
シリング撤去を示す

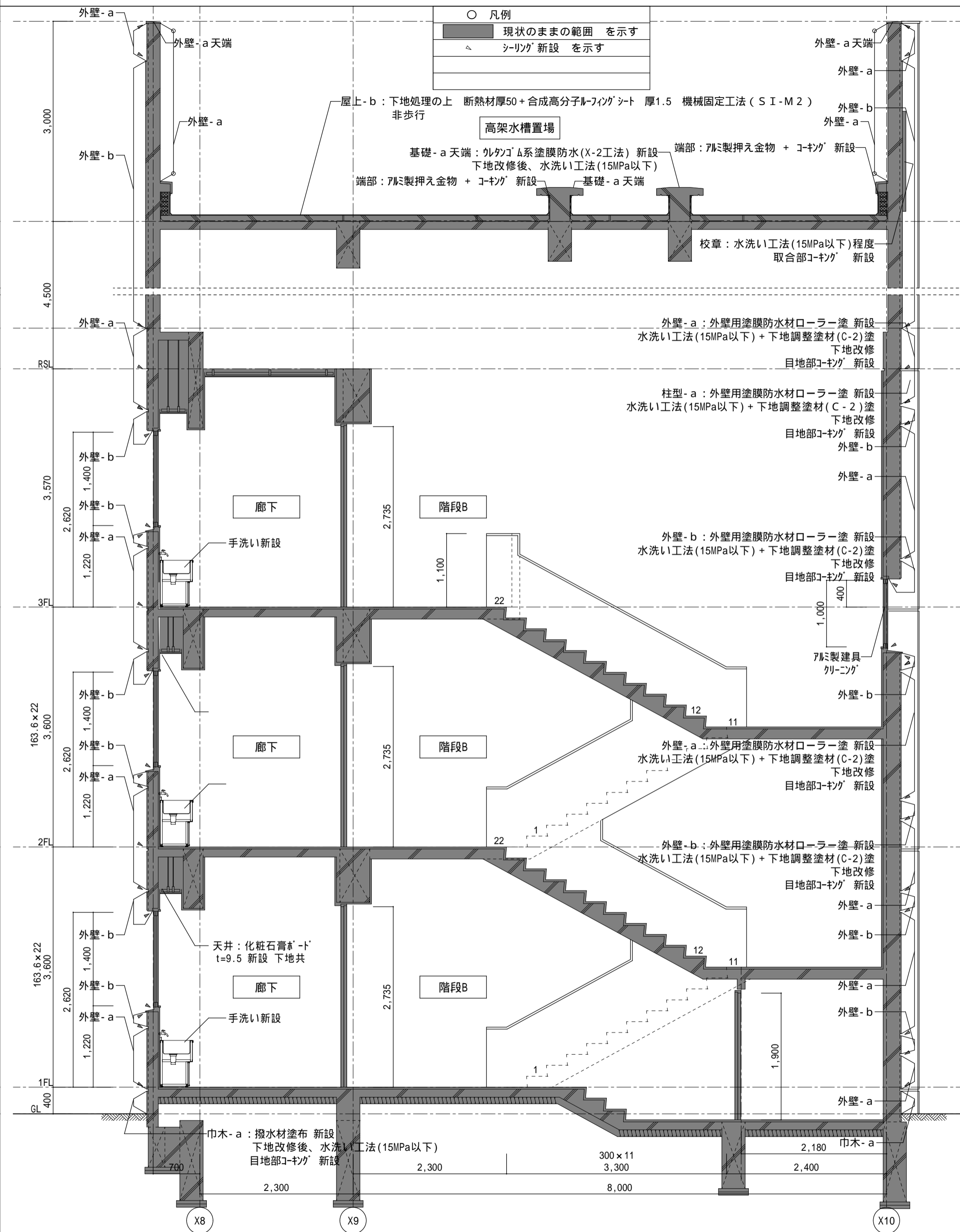
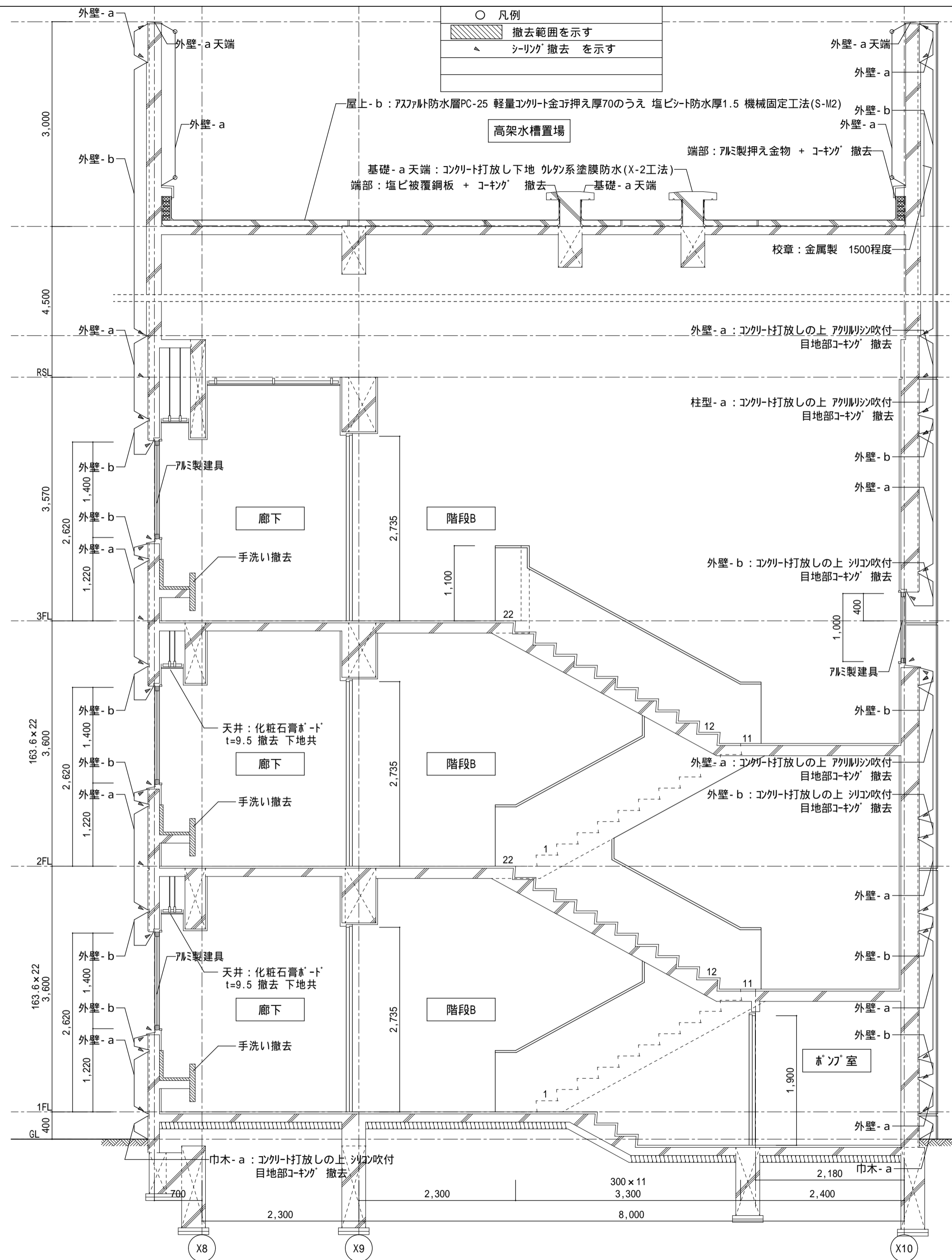


○ 凡例
現状のままの範囲を示す
シリング新設を示す

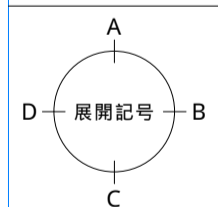
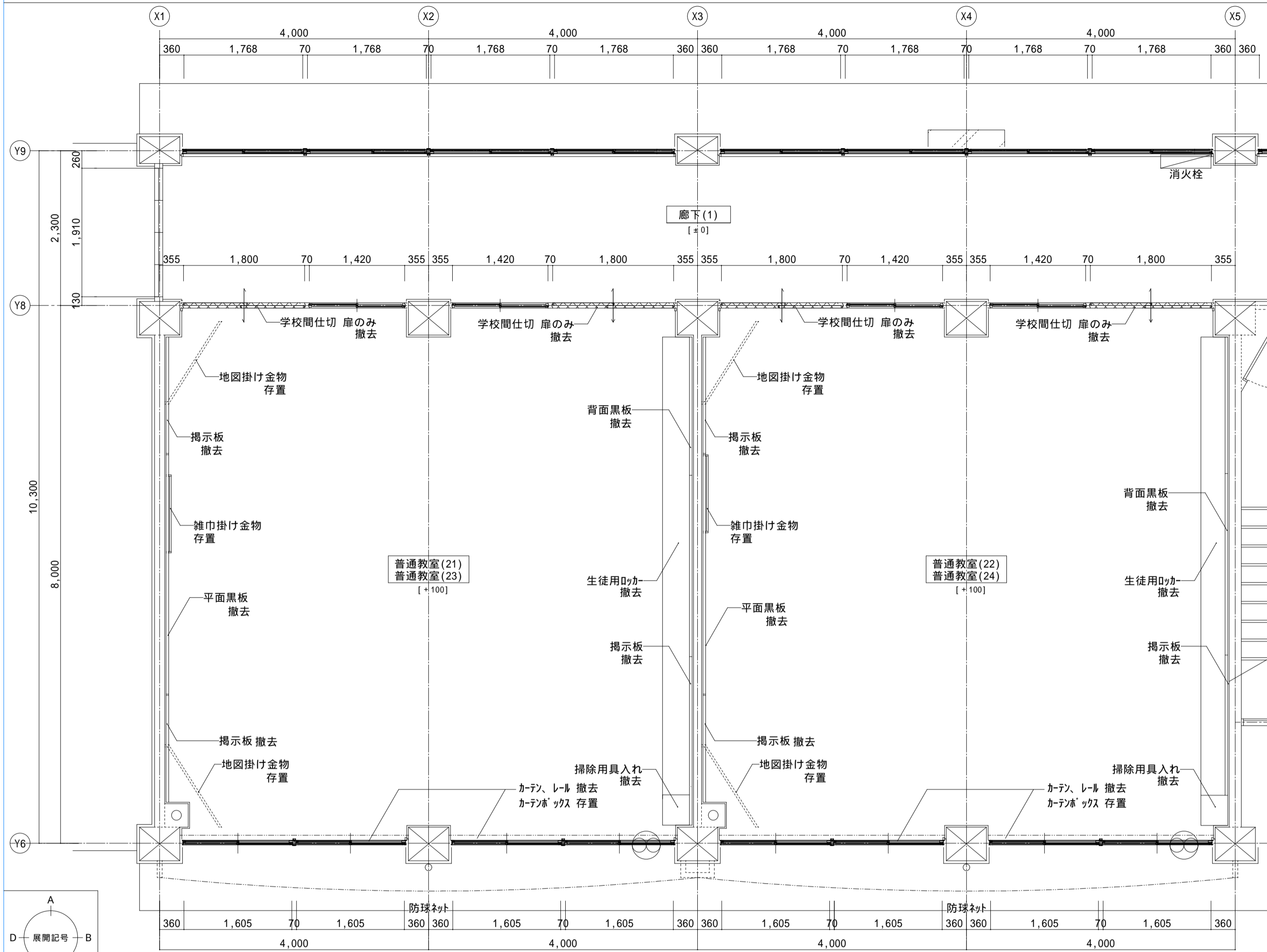


訂正事項	

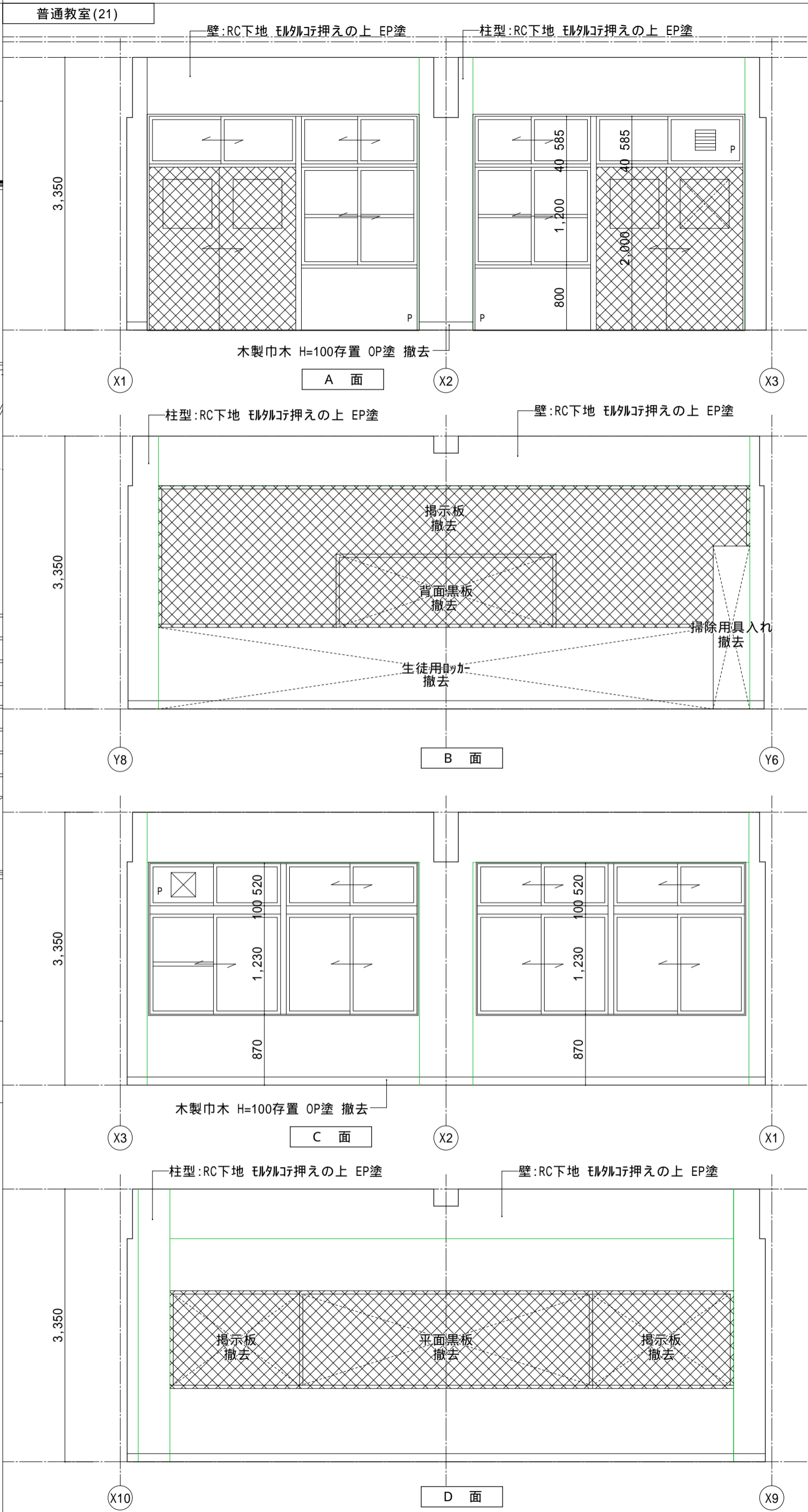
株式会社 水原建築設計事務所 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一級建築士登録 第219285号 北村 通 〒520-0801 滋賀県 彦根市 長瀬 南町 4-4-3 電話 TEL 0749-22-1679		東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)		[新館棟] 階段A詳細図		SHEET NO. A-39
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE	A2:1/50 A3:70.7%	



訂正事項	



凡例		[普通教室(21)、(23)]	[普通教室(22)、(24)]
	鉄筋コンクリート壁を示す。		
	鉄筋コンクリート柱・壁を示す。		
	鉄骨間仕切壁を示す。(特記なき LGS W100型とする)		
	壁仕上・建具・カーテンボックス等・黒板・掲示板等の撤去範囲を示す。	平面黒板 撤去	平面黒板 撤去
	床材の地下・仕上撤去範囲を示す。	背面黒板 撤去	背面黒板 撤去
	カーテンボックス等の撤去位置を示す。	掲示板 撤去	掲示板 撤去
	カーテンボックス等の撤去位置を示す。	掲示板 撤去	掲示板 撤去
	カーテンボックス等の撤去位置を示す。	生徒用ロッカ 撤去	生徒用ロッカ 撤去
	カーテンボックス等の撤去位置を示す。	掃除用具入れ 撤去	掃除用具入れ 撤去
	カーテンボックス等の撤去位置を示す。	カーテン、レール 撤去 カーテンボックス 存置	カーテン、レール 撤去 カーテンボックス 存置
	カーテンボックス等の撤去位置を示す。	地図掛け金物 存置	地図掛け金物 存置
	カーテンボックス等の撤去位置を示す。	雑巾掛け金物 存置	雑巾掛け金物 存置

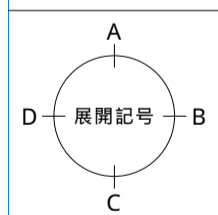
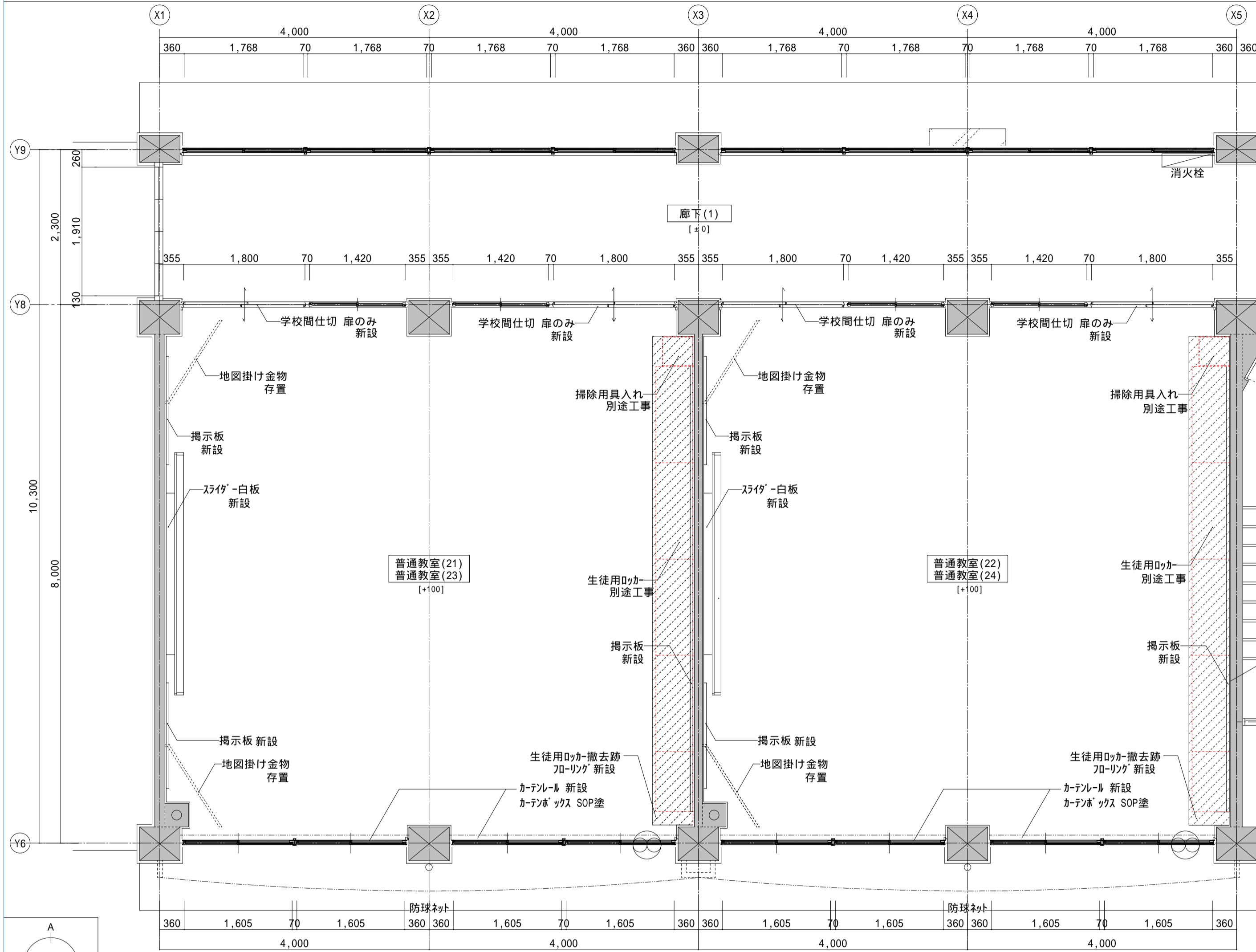


訂正事項			
------	--	--	--

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通
 彦根市長 豊原町 443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
 DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY

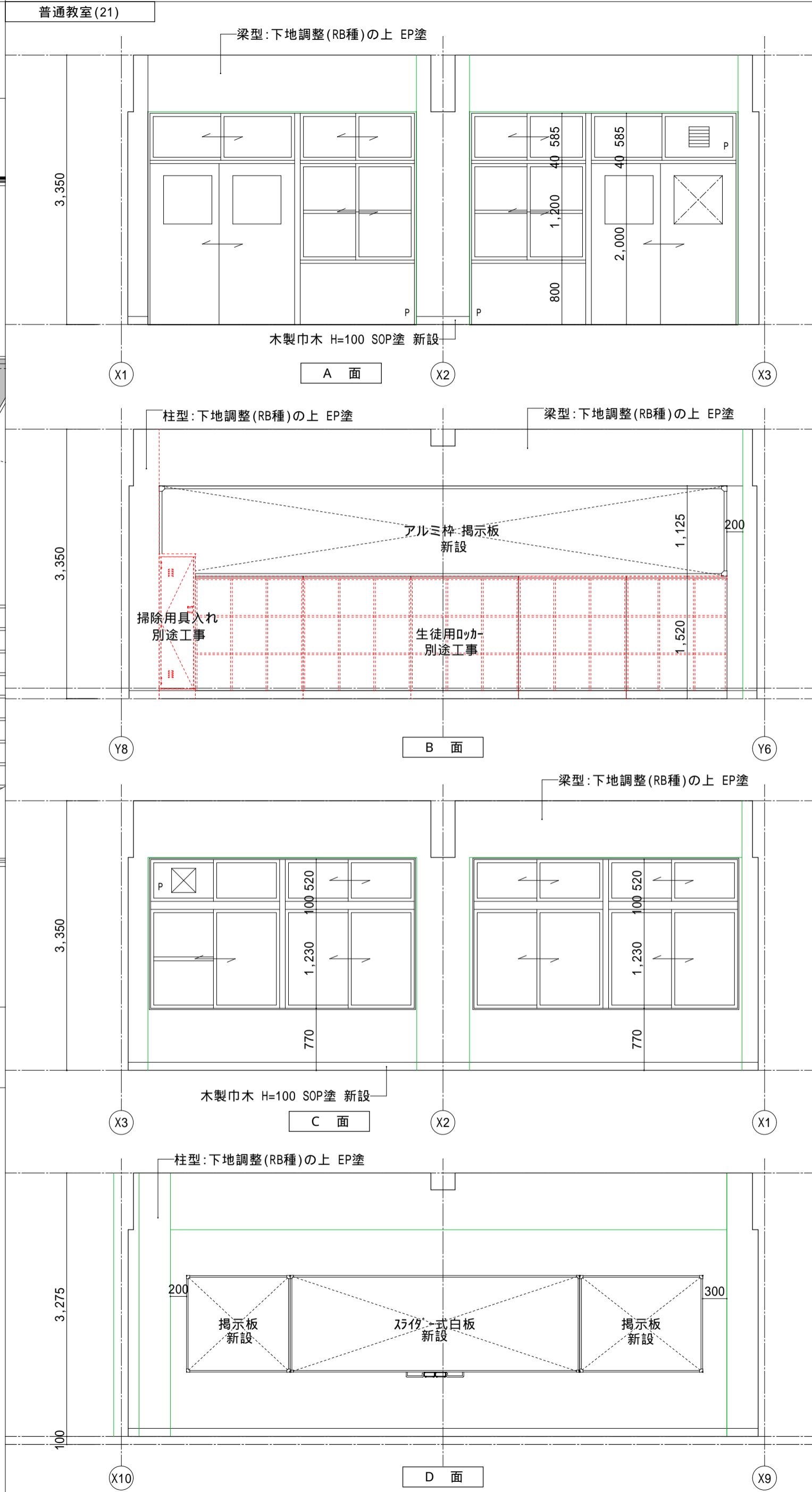
[新館棟] (現況・撤去)
 2, 3階 普通教室(21)・(22)・(23)・(24)
 平面詳細図・展開図
 SCALE A2:1/50 A3:70.7%
 SHEET NO. A-41

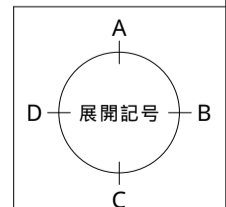
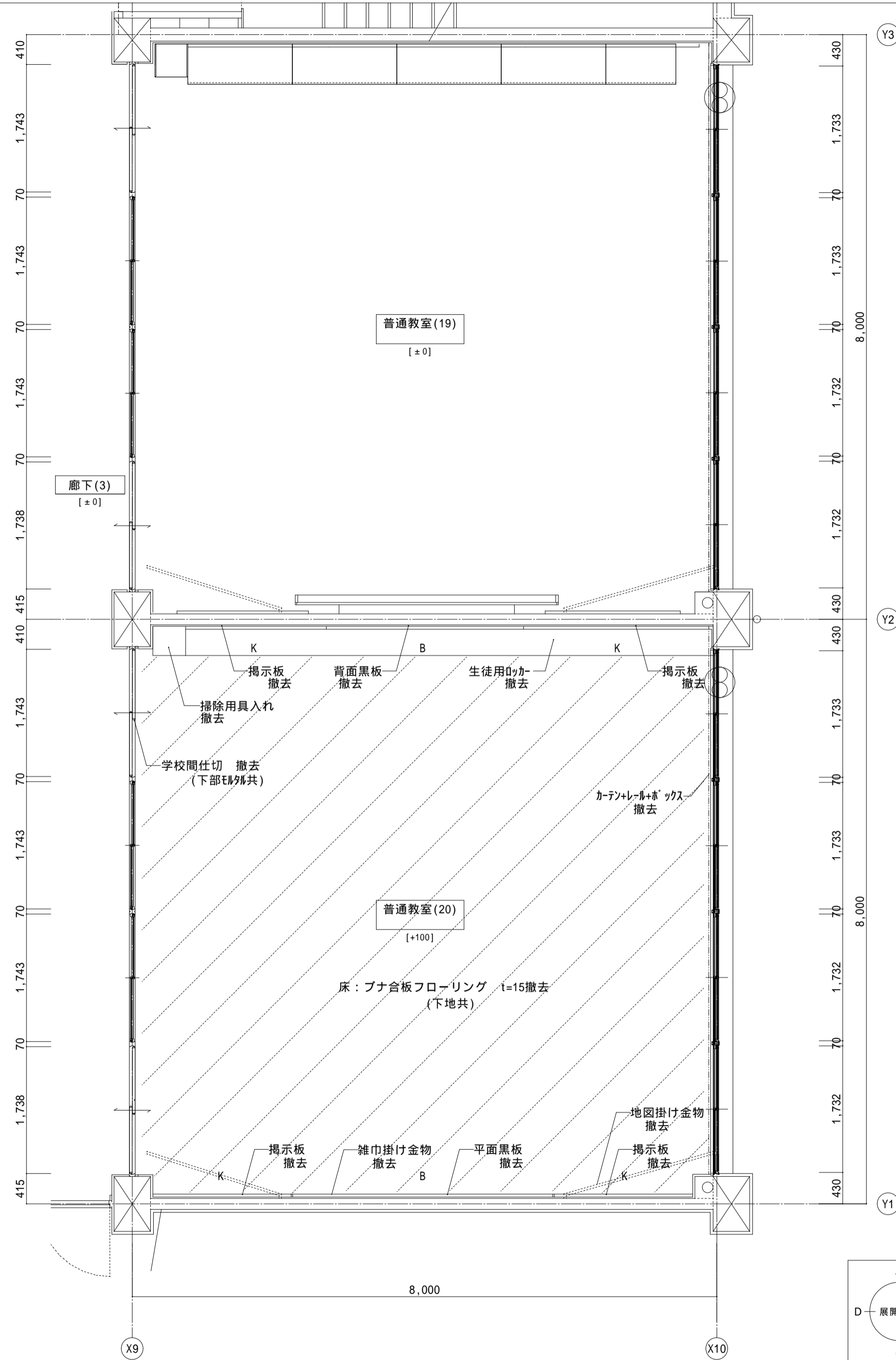


凡例	[普通教室(21)、(23)]	[普通教室(22)、(24)]
鉄筋コンクリート柱・壁を示す。	スライダ-式白板 新設	スライダ-式白板 新設
LGS65 鉄骨間仕切壁を示す。(特記なき LGS W100型とする)	掲示板上新設	掲示板上新設
生徒用ロッカ 新設	掃除用具入れ 新設	掃除用具入れ 新設
床材の下地・仕上新設範囲を示す。	カーテンレール 新設・カーテンボックス SOP塗	カーテンレール 新設・カーテンボックス SOP塗
コーキング 新設位置を示す。	地図掛け金物 存置	地図掛け金物 存置
	生徒用ロッカ撤去跡 フローリング 新設	生徒用ロッカ撤去跡 フローリング 新設

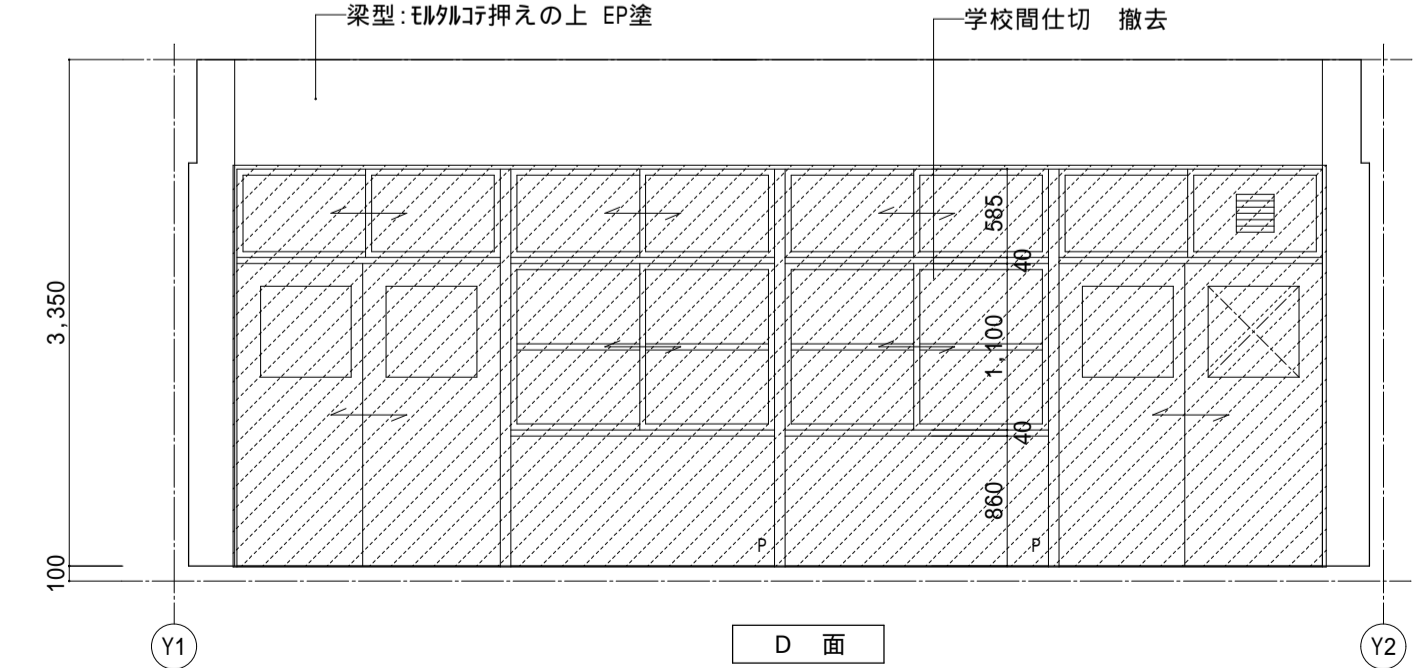
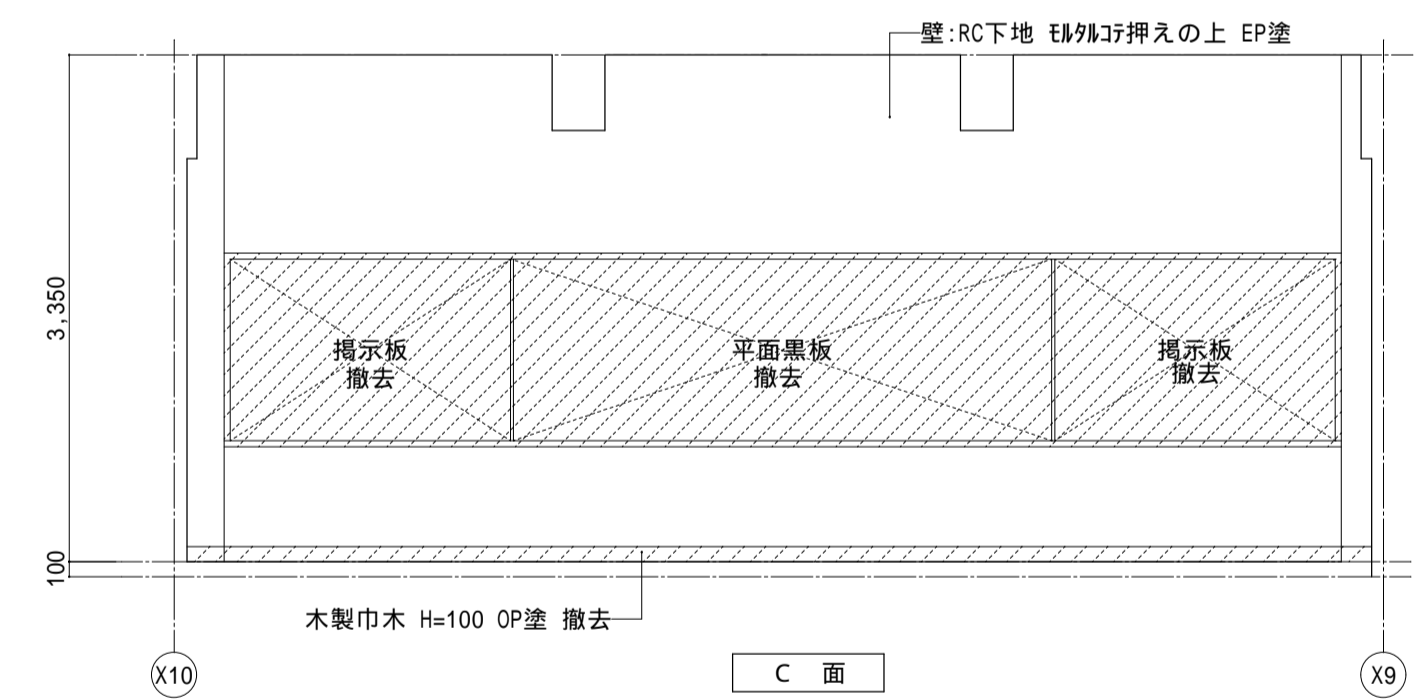
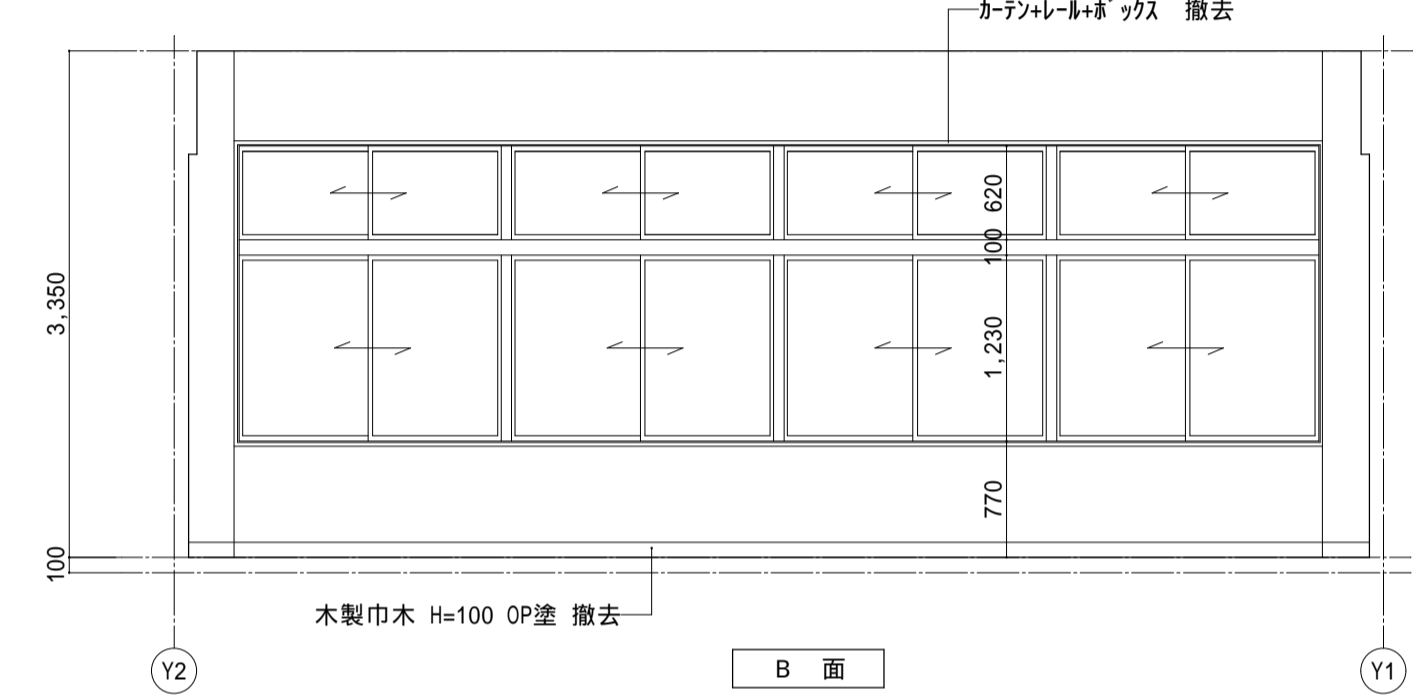
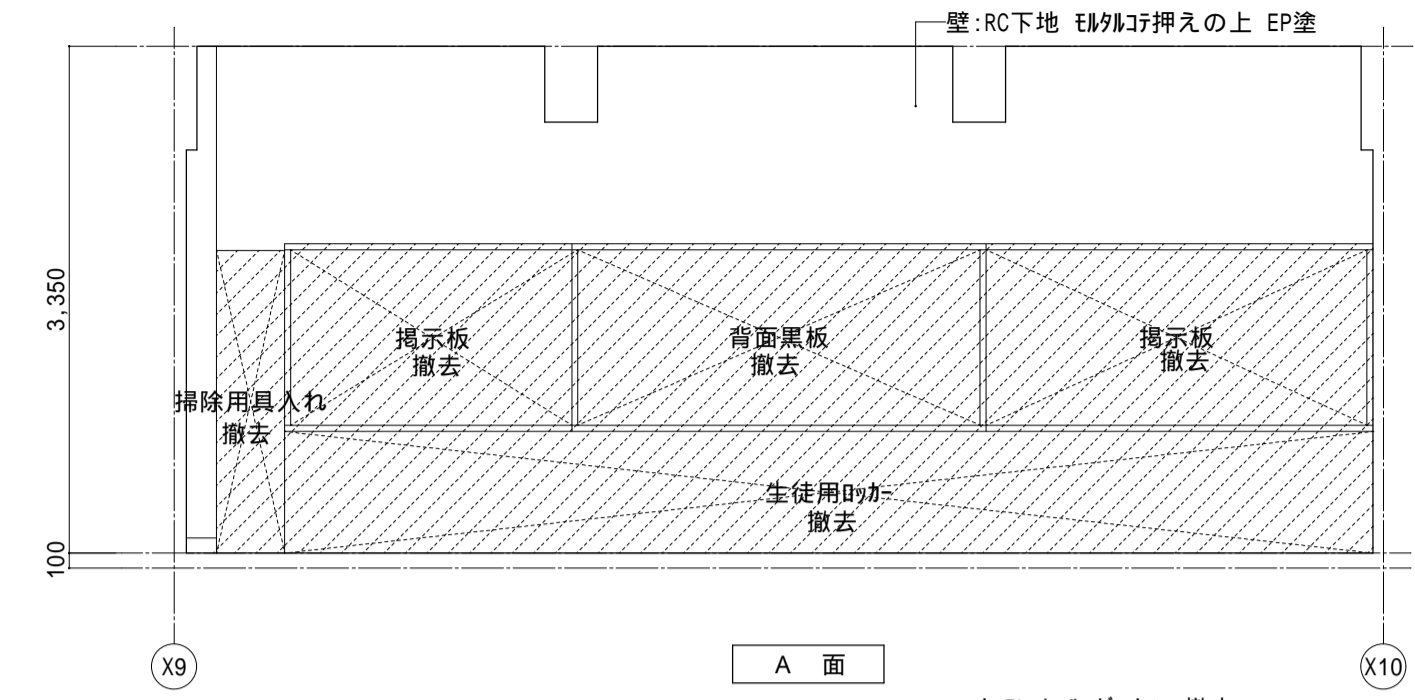
訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通
 彦根市長 彦根南町 4-4-3 電話 TEL 0749-22-1679



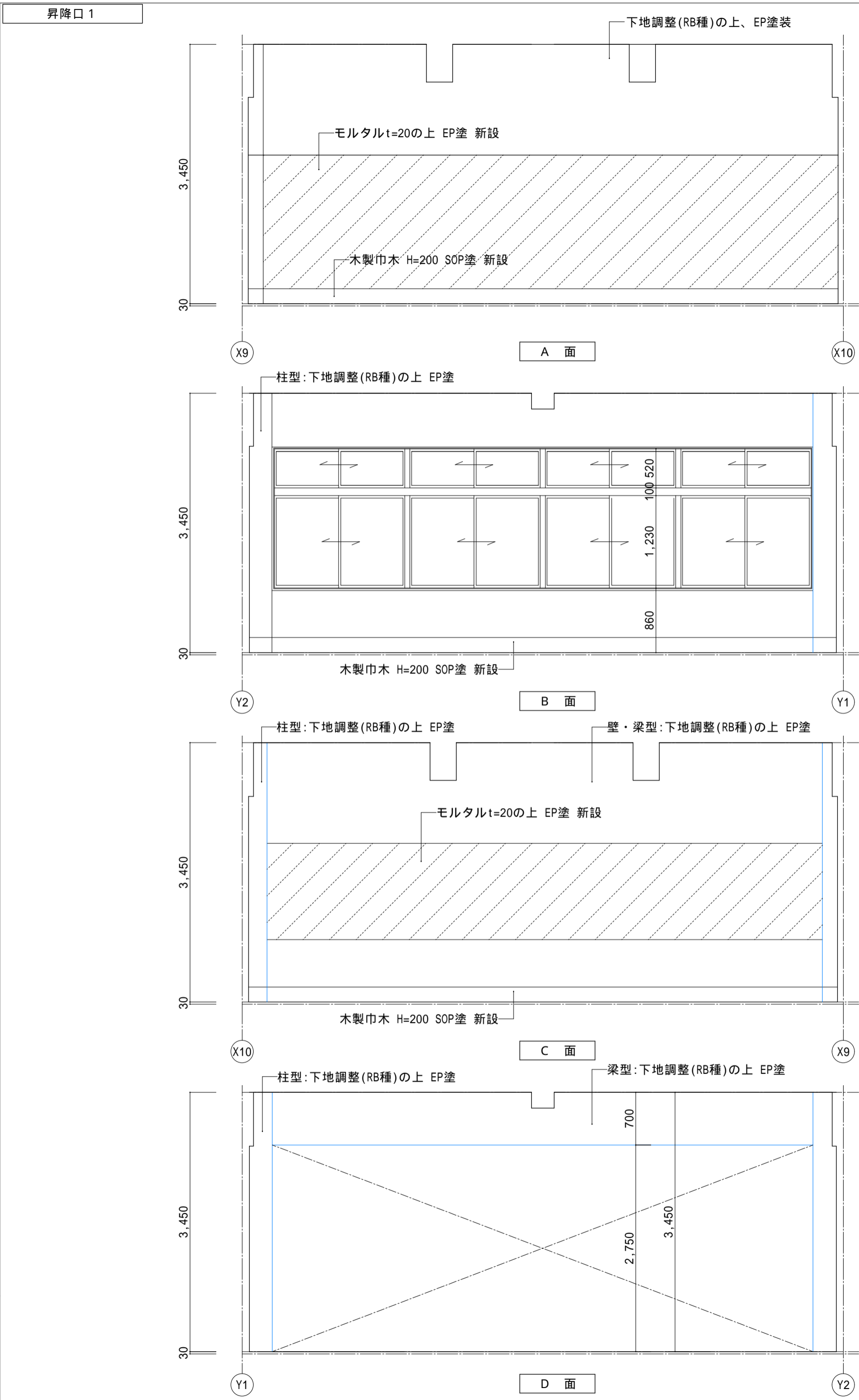
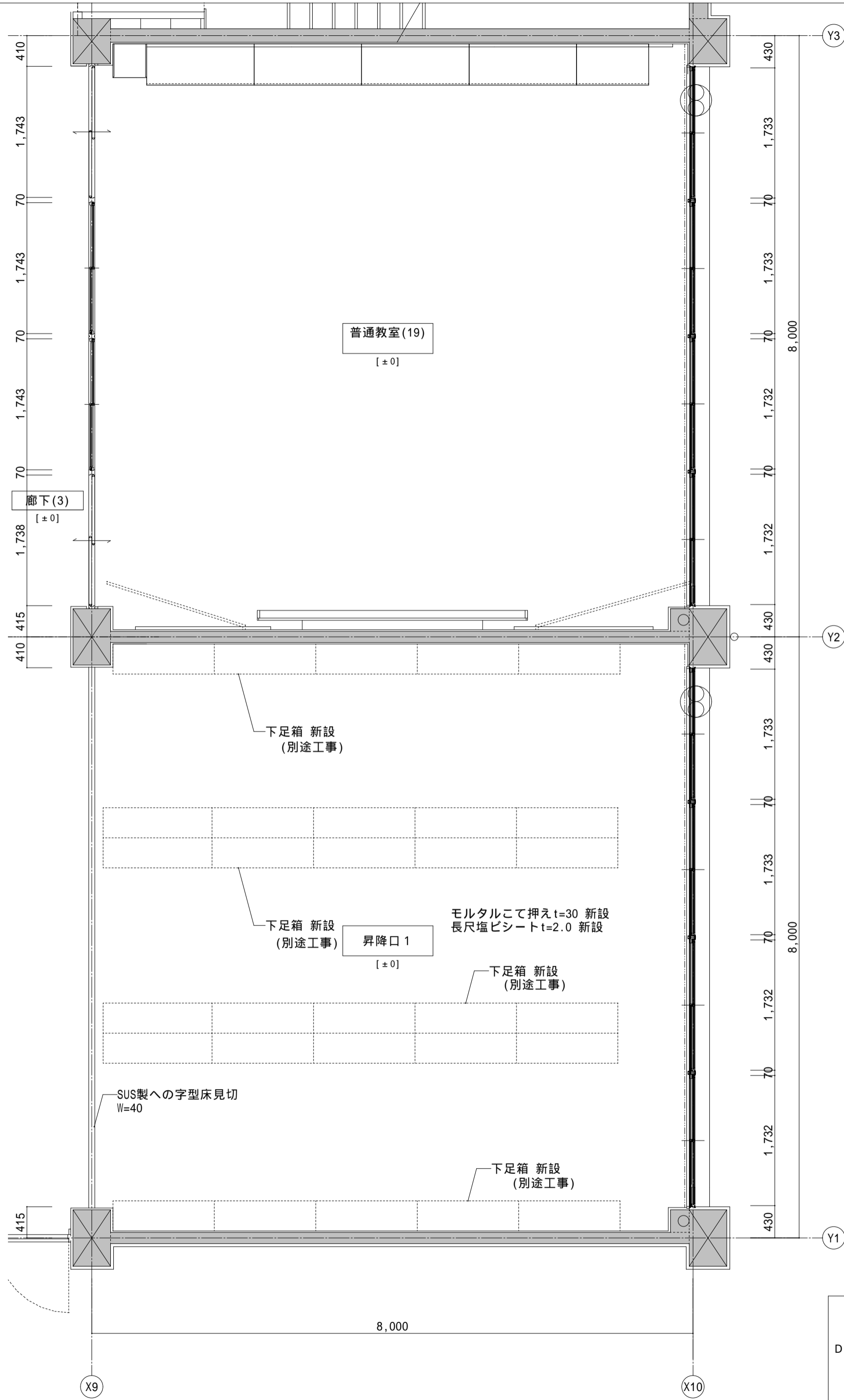


普通教室(20)



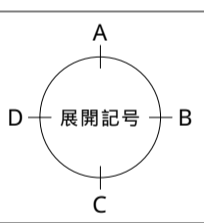
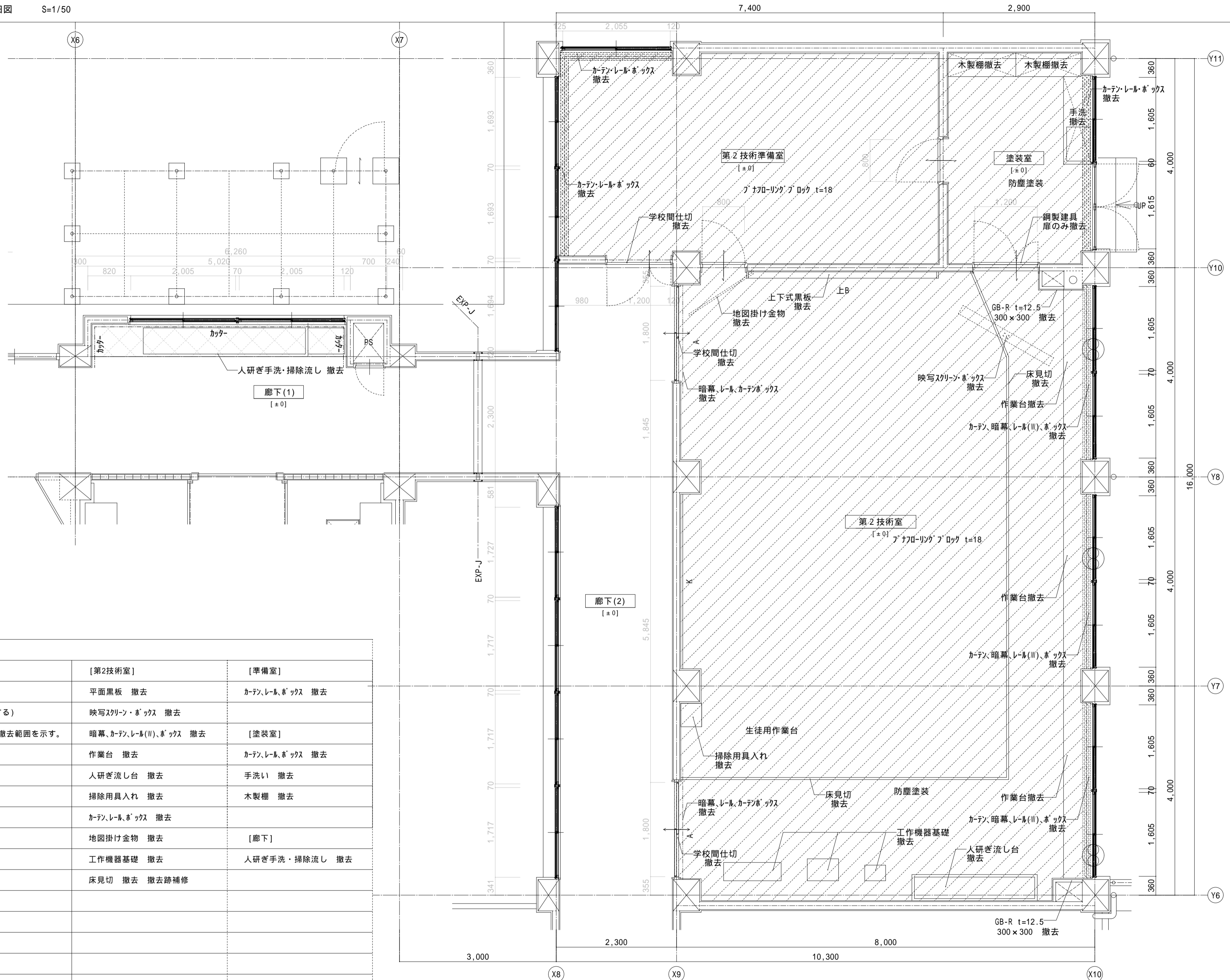
訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所 <small>一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一般建築士登録 第219285号</small> 北村 通 <small>彦根市長 彦根南町 443番地 TEL 0749-22-1679</small>		東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY		[新館棟] (現況・撤去) 1階 普通教室(20) 平面詳細図、展開図 DATE SCALE A2:1/200 A3:70.7%		SHEET NO. A - 43
--	--	---	--	---	--	---------------------



訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一般建築士登録 第219285号 北村 通 彦根市長 彦根南町 443番地 TEL 0749-22-1679			東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) 1階 昇降口 平面詳細図、展開図 DRAWN BY _____ CHECKED BY _____ SUBMITTED BY _____ DATE _____			【新館棟】(改修) 1階 昇降口 平面詳細図、展開図 SCALE A2:1/200 A3:70.7%		SHEET NO. A - 44
---	--	--	--	--	--	---	--	---------------------



凡例		
	鉄筋コンクリート壁を示す。	[第2技術室]
	鉄筋コンクリート柱・壁を示す。	[準備室]
	鉄骨間仕切壁を示す。(特記なき LGS W100型とする)	平面黒板 撤去
	壁仕上・建具・カーテンボックス等・黒板・掲示板等の撤去範囲を示す。	カーテンレール、ボックス 撤去
	床材の下地・仕上撤去範囲を示す。	映写スクリーン・ボックス 撤去
	コキリ撤去位置を示す。	作業台 撤去
	カッター撤去位置を示す。	カーテンレール、ボックス 撤去
	カッター切り位置を示す。	手洗い 撤去
	撤去家具を示す。	木製棚 撤去
		[塗装室]
		カーテンレール、ボックス 撤去
		[廊下]
		カーテンレール、ボックス 撤去
		地図掛け金物 撤去
		工作機器基礎 撤去
		人研ぎ手洗・掃除流し 撤去
		床見切 撤去 撤去跡補修

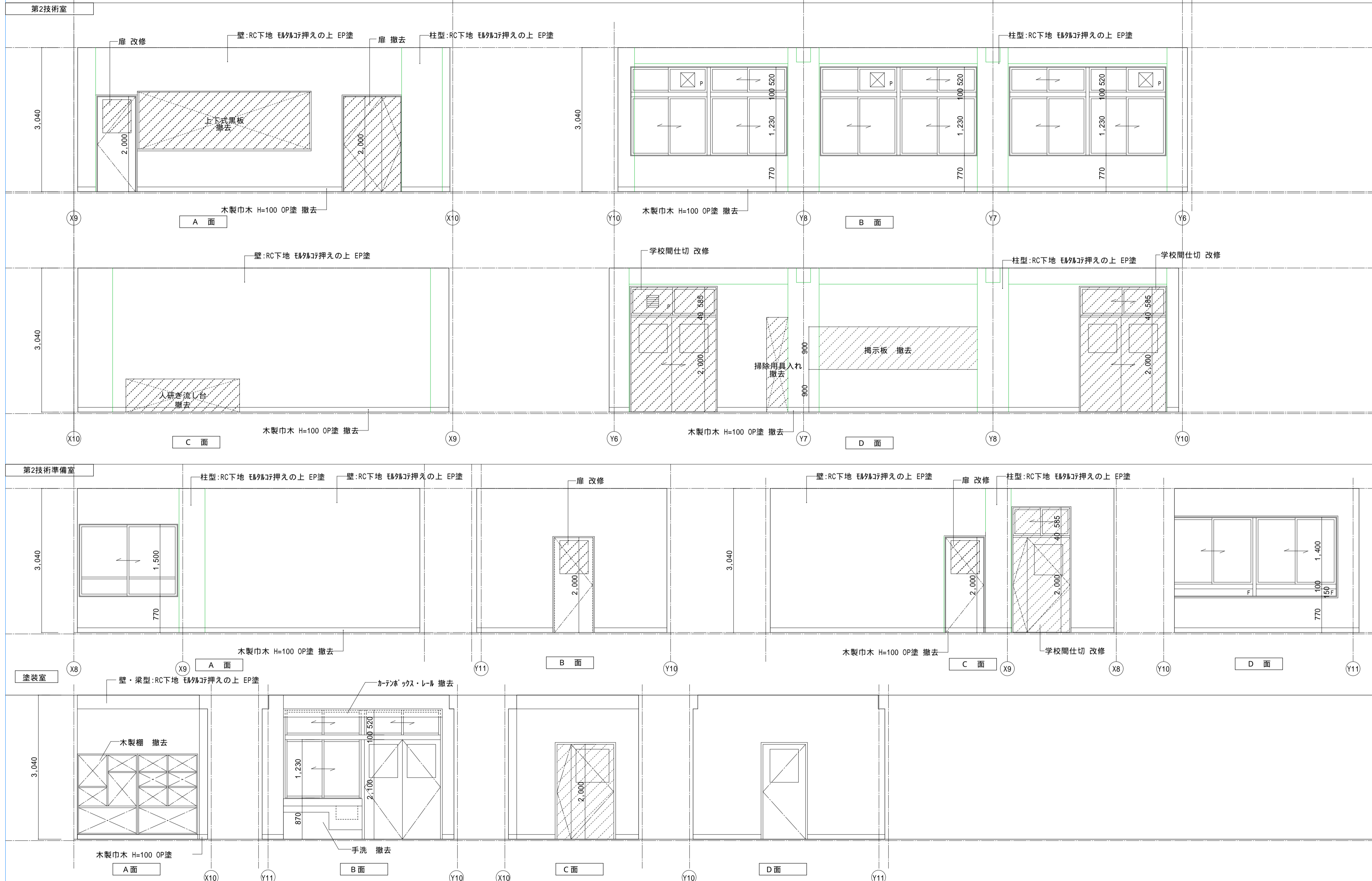
訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号
 北村 通
 彦根市長 彦根南町 443 番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

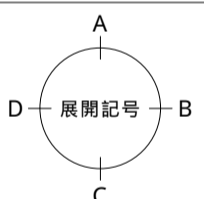
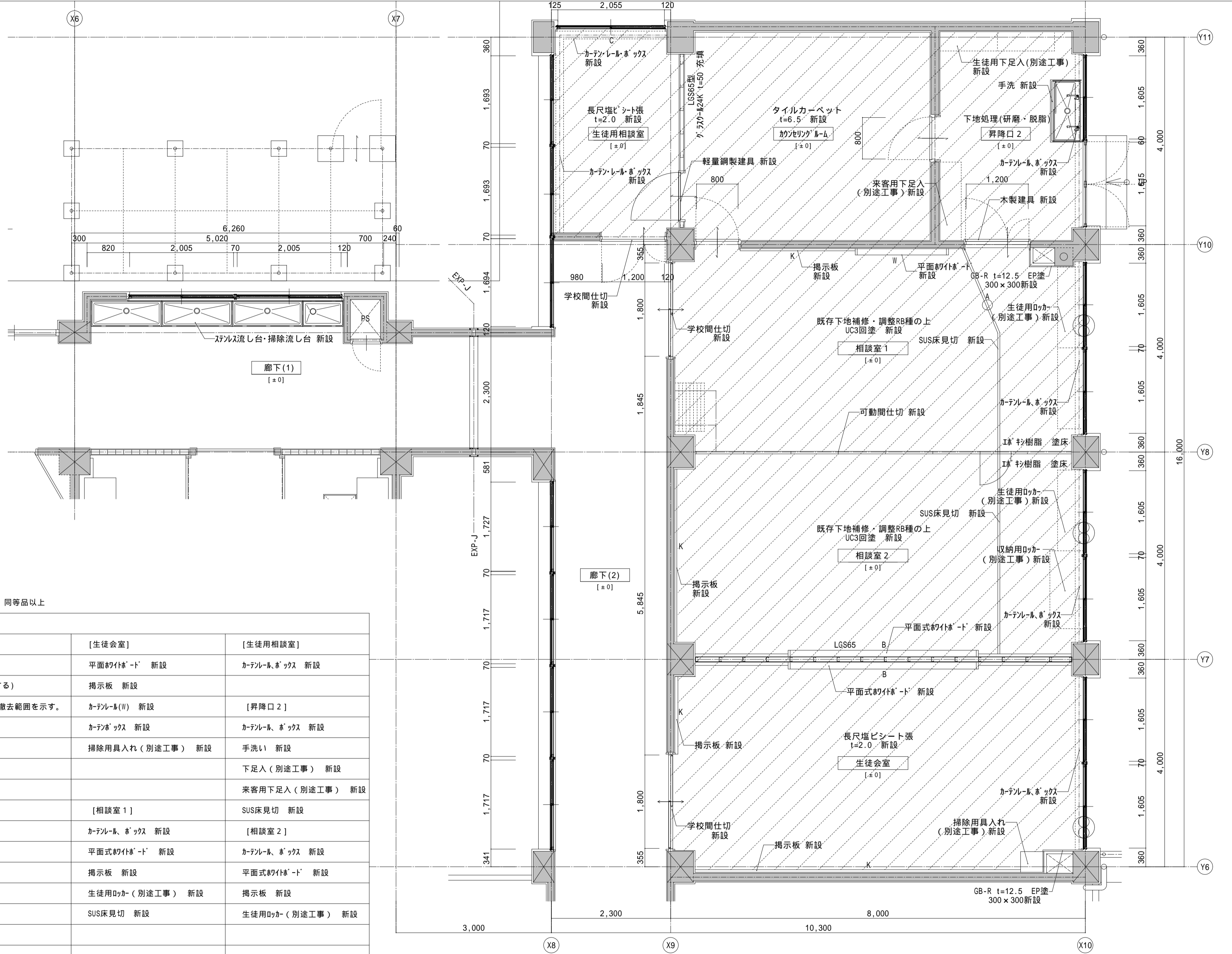
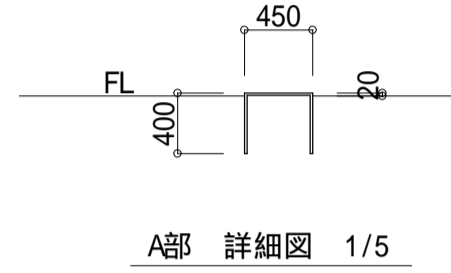
DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY

[新館棟] (現況・撤去)
 1階 第2技術室・準備室 平面詳細図
 SCALE A2:1/50
 A3:70.7%
 SHEET NO. A-45



訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所 <small>一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一般建築士登録 第219285号</small> 北村 通 <small>彦根市長 彦根南町 443番地 TEL 0749-22-1679</small>		東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) [新館棟] (現況・撤去) 1階 第2技術室・準備室 展開図		SHEET NO. A - 46
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE A2:1/50 A3:70.7%



新設手洗：樹西尾家具工芸社 MWS-1HB.B 同等品以上

凡例	[生徒会室]	[生徒用相談室]
	平面柵付ボード 新設	カーテンレールボックス 新設
	掲示板 新設	
	カーテンボックス 新設	[昇降口2]
	カーテンレール(W) 新設	カーテンレールボックス 新設
	カーテンボックス 新設	カーテンレールボックス 新設
	掃除用具入れ (別途工事) 新設	手洗い 新設
		下足入 (別途工事) 新設
		来客用下足入 (別途工事) 新設
	[相談室1]	SUS床見切 新設
	カーテンレールボックス 新設	[相談室2]
	平面式柵付ボード 新設	カーテンレールボックス 新設
	掲示板 新設	平面式柵付ボード 新設
	生徒用ロッカー (別途工事) 新設	掲示板 新設
	SUS床見切 新設	生徒用ロッカー (別途工事) 新設

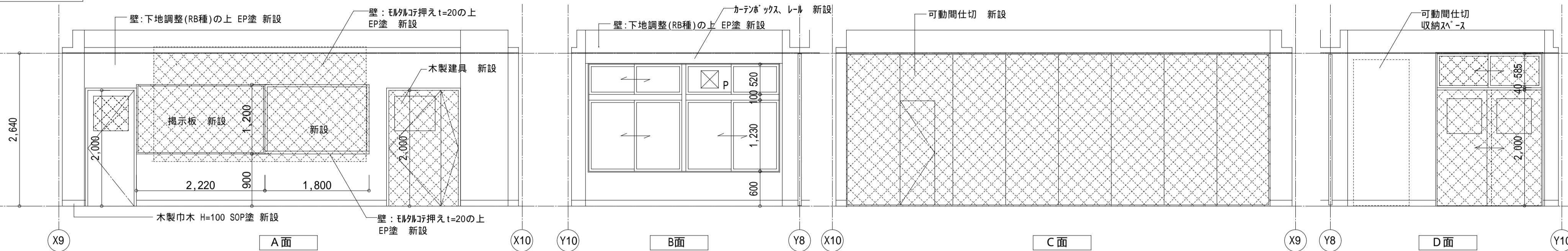
訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号
 北村 通
 彦根市長巻南町443番地 TEL 0749-22-1679

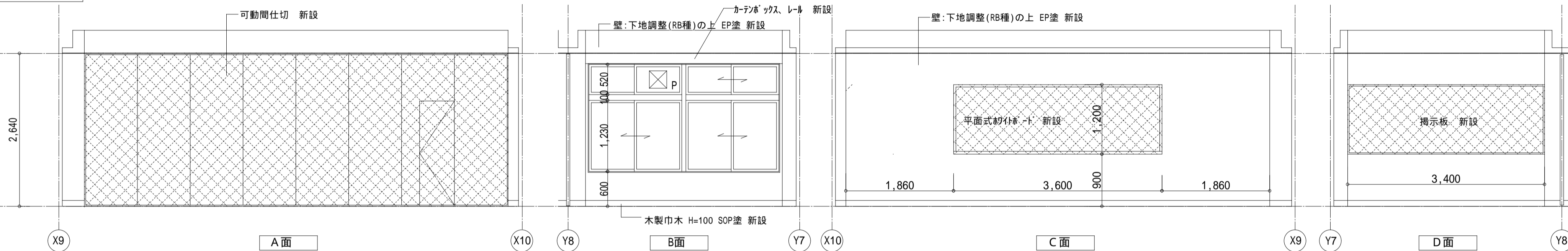
東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
 DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY
 DATE SCALE A2:1/50 A3:70.7%

[新館棟] (改修)
 1階 昇降口・相談室・生徒会室 平面詳細図
 SHEET NO. A-47

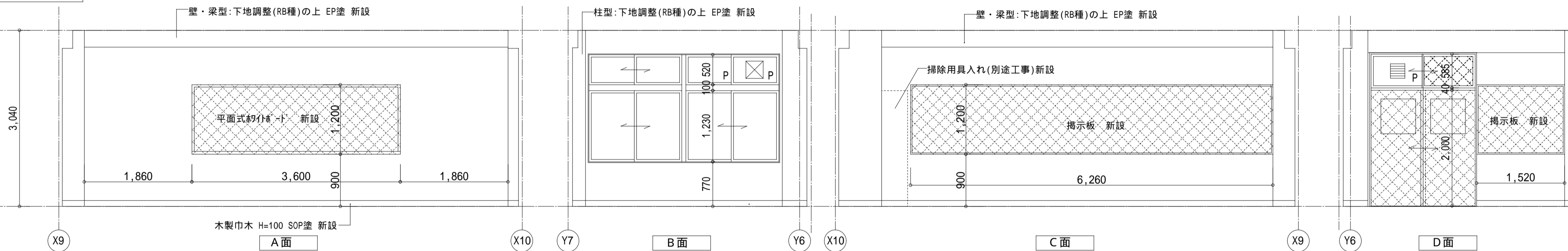
相談室1



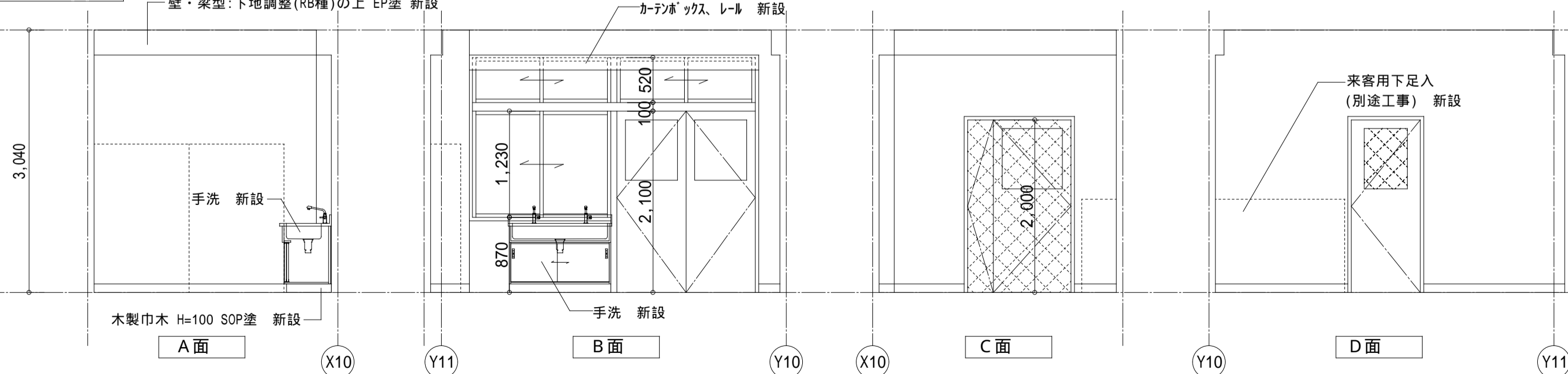
相談室2



生徒会室



昇降口(2)



訂正事項

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

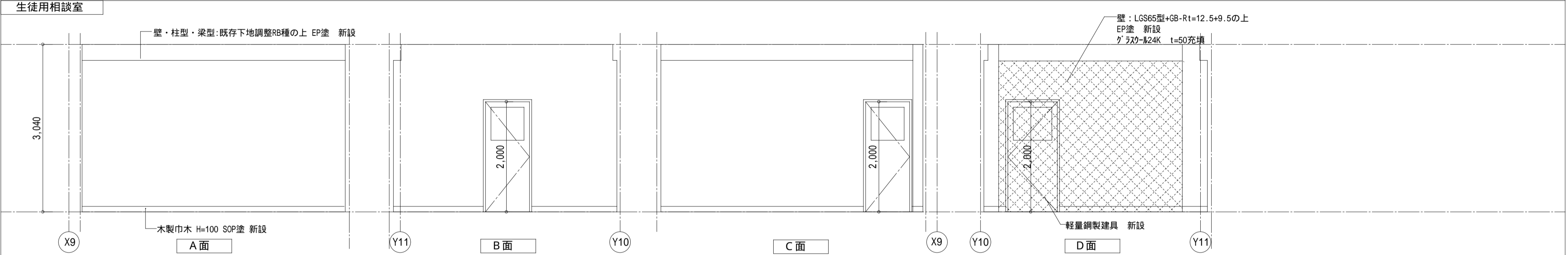
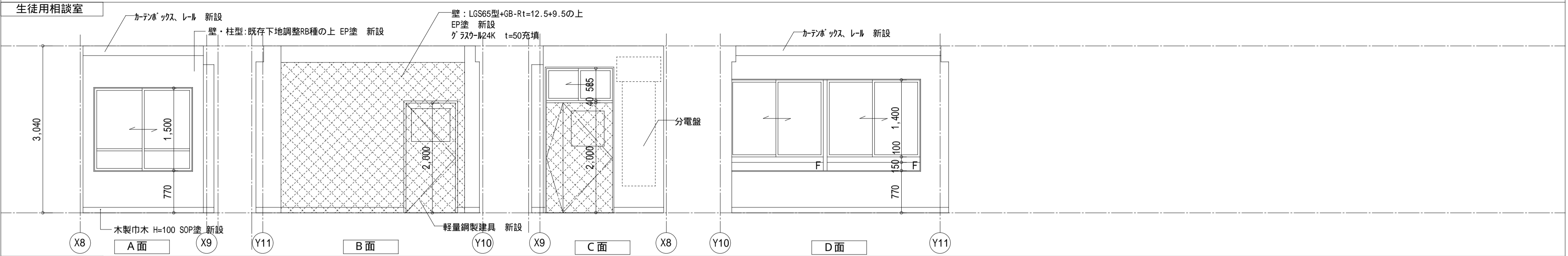
[新館棟] (改修)
 1階 第2技術室・準備室 展開図

SHEET NO.

A - 4 8

DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY DATE SCALE A2:1/50 A3:70.7%

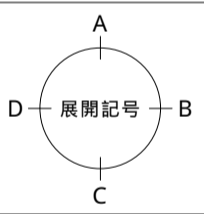
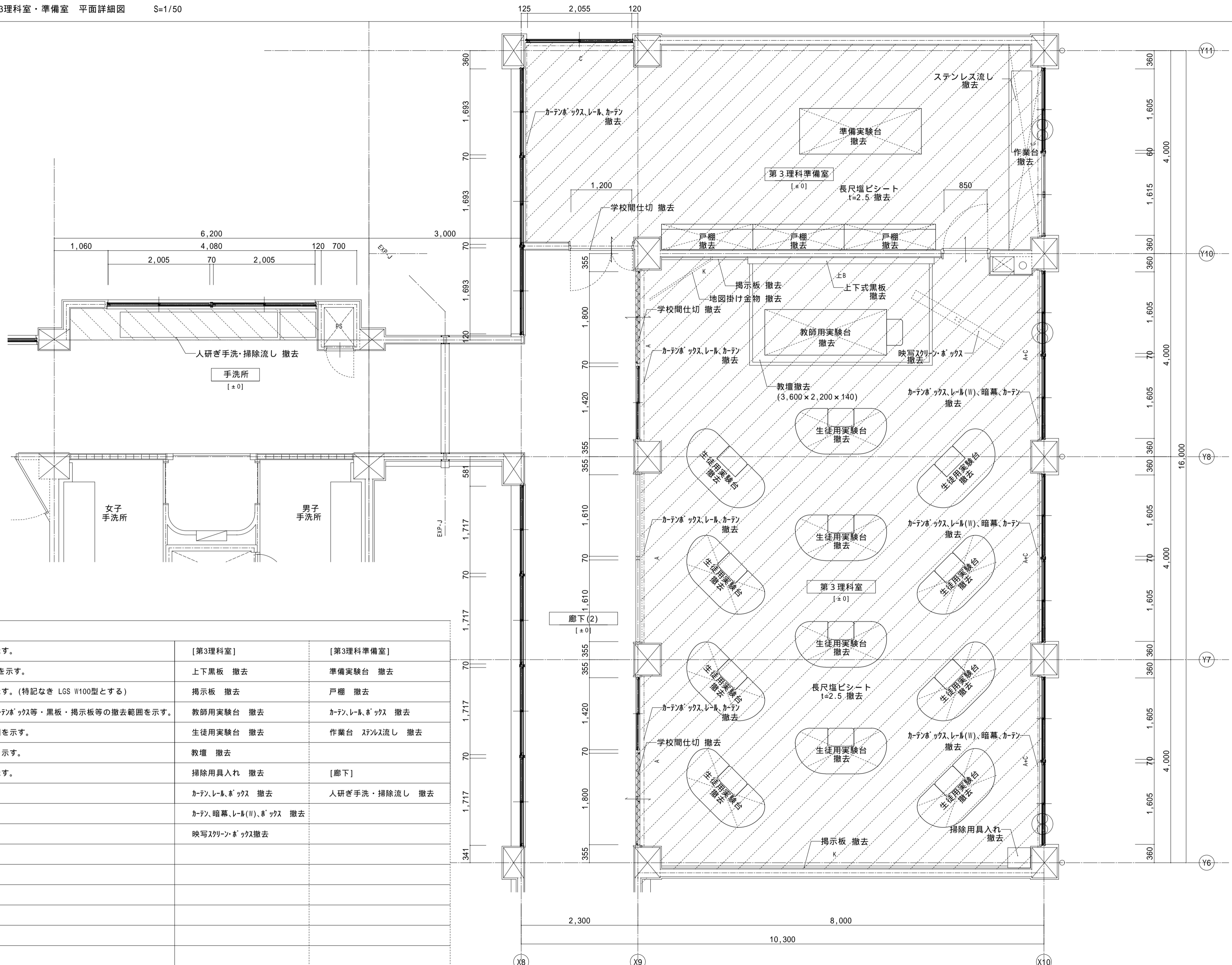
彦根市長 豊原町 4-43 番地 TEL 0749-22-1679



訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一級建築士事務所 建築業知事登録 第63号
 一級建築士登録 第21928号
 北村 通
 藤原市長曾根南町443番地 TEL 0749-22-1879

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)		[新館棟](改修)		SHEET NO.
		1階 生徒用相談室		A - 49
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE
				A2:1/50 A3:70.7%



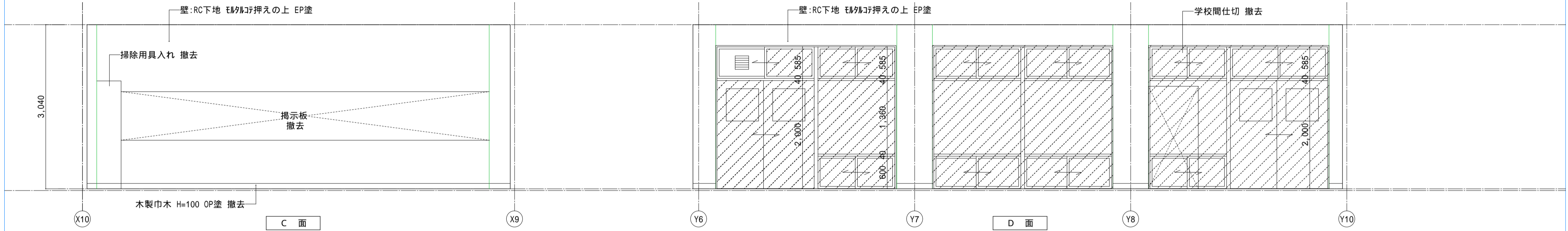
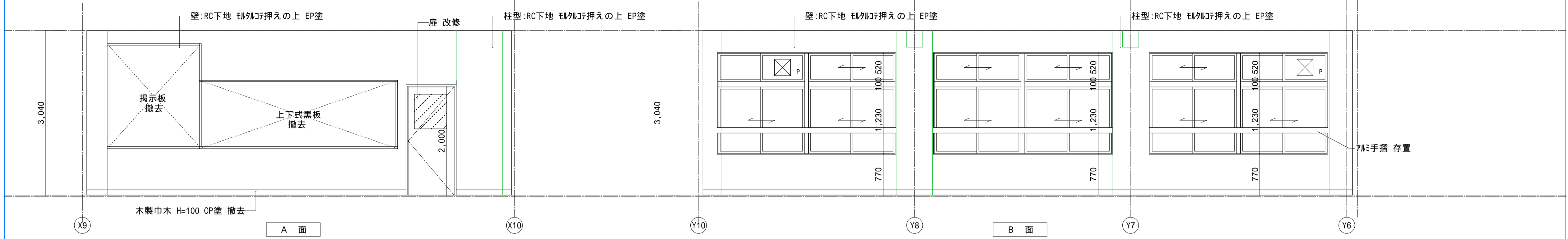
凡例	[第3理科室]	[第3理科準備室]
	上下黒板 撤去	準備実験台 撤去
	掲示板 撤去	戸棚 撤去
	教師用実験台 撤去	カーテン、レール、ボックス 撤去
	生徒用実験台 撤去	作業台 ステンレス流し 撤去
	教壇 撤去	
	掃除用具入れ 撤去	[廊下]
	カーテン、レール、ボックス 撤去	人研ぎ手洗・掃除流し 撤去
	カーテン、暗幕、レール(W)、ボックス 撤去	
	映写スクリーン・ボックス撤去	

訂正事項	

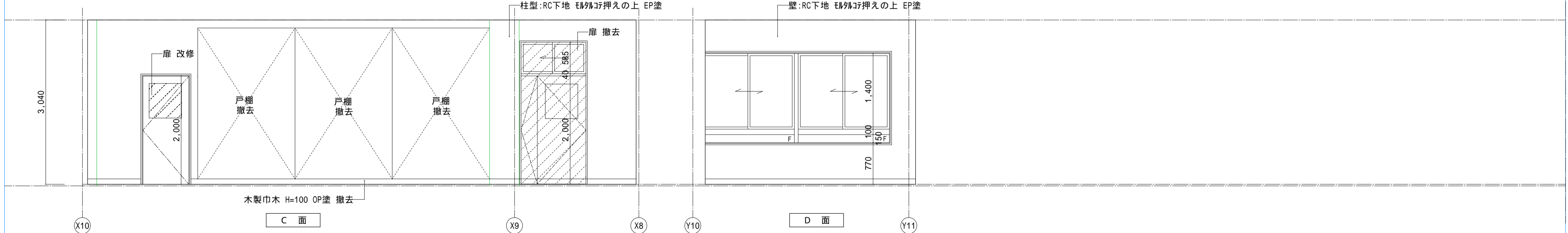
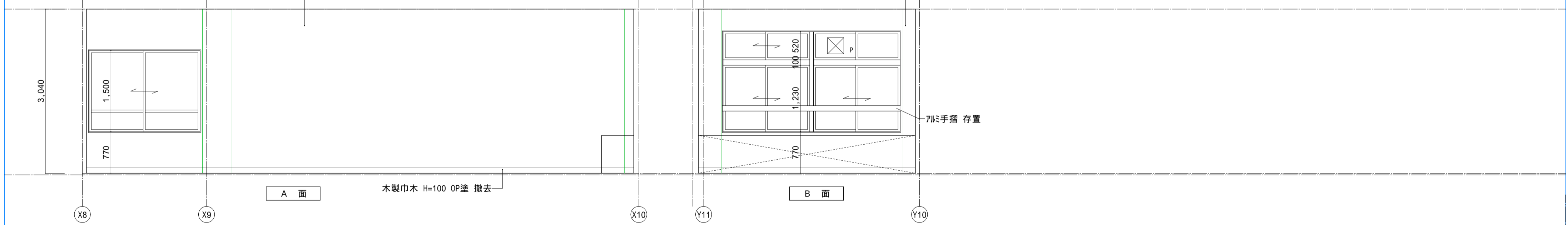
株式会社 水原建築設計事務所 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一般建築士登録 第219285号 北村 通 彦根市長 豊原町 443番地 TEL 0749-22-1679		東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) 2階 第3理科室・準備室 平面詳細図		SHEET NO. A - 50
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE A2:1/50 A3:70.7%

[新館棟] (現況・撤去)
 2階 第3理科室・準備室 平面詳細図

第3理科室

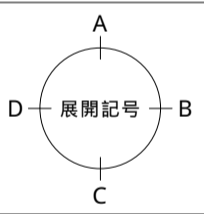
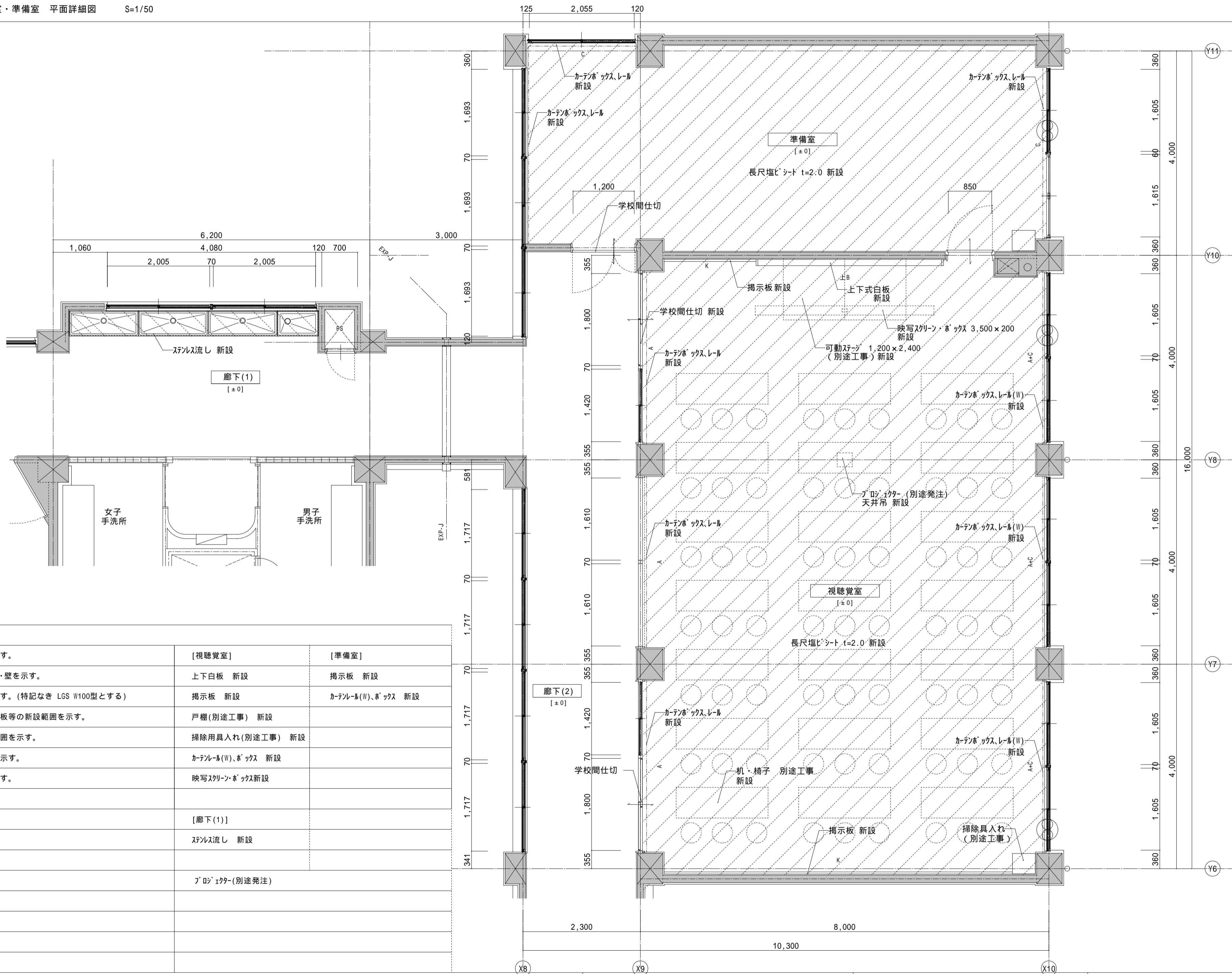


第3理科準備室



訂正事項	

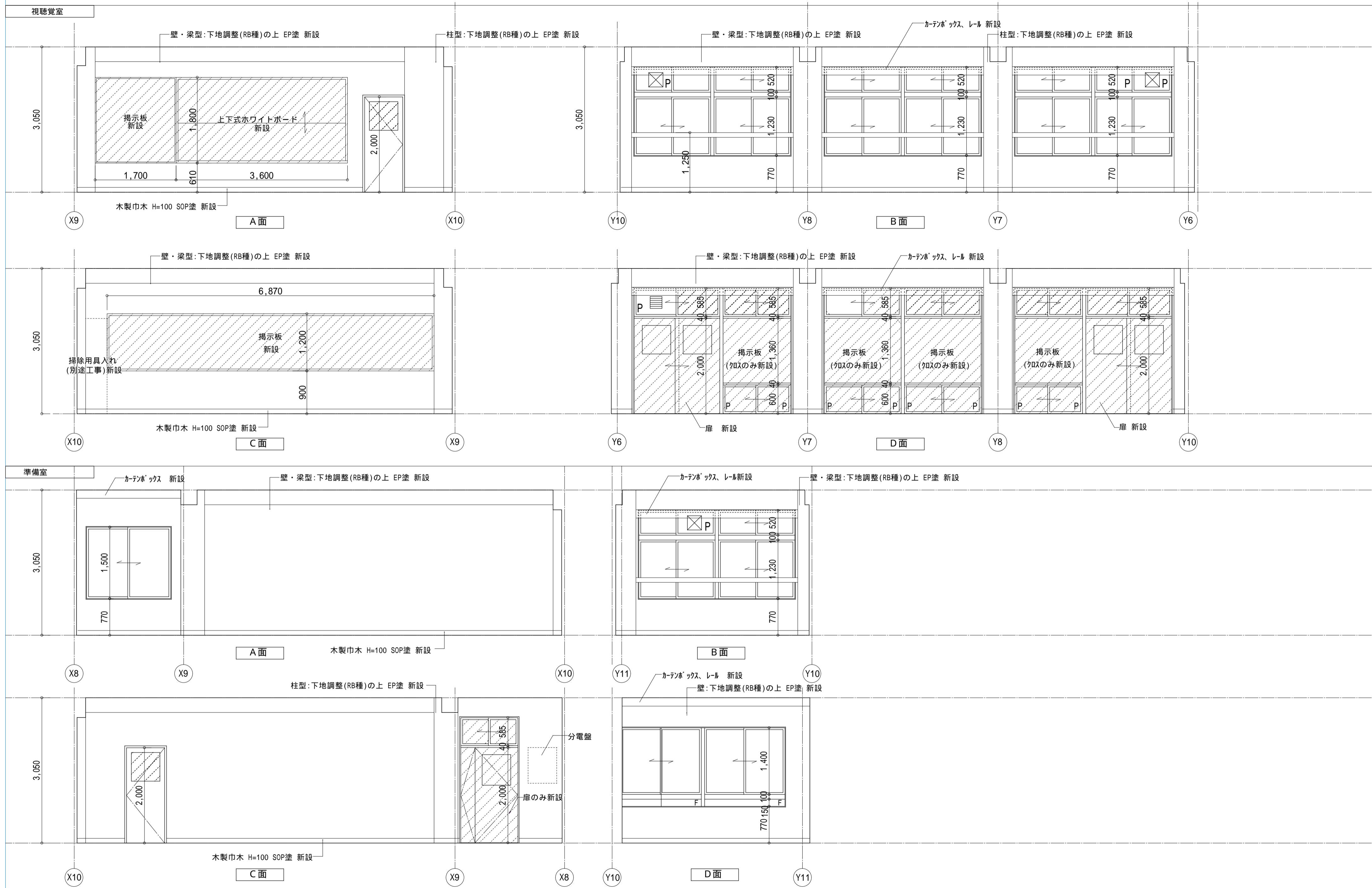
株式会社 水原建築設計事務所 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一般建築士登録 第219285号 北村 通 彦根市長 豊原町 443番地 TEL 0749-22-1679		東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) 2階 第3理科室・準備室 展開図		[新館棟] (現況・撤去) SHEET NO. A-51	
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE	A2:1/50 A3:70.7%



凡例		
	鉄筋コンクリート壁を示す。	[視聴覚室]
	既設鉄筋コンクリート柱・壁を示す。	上下白板 新設
	鉄骨間仕切壁を示す。(特記なき LGS W100型とする)	掲示板 新設
	建具・掲示板・黒板等の新設範囲を示す。	カーテンレール(W)、ボックス 新設
	床材の仕上改修範囲を示す。	掃除用具入れ(別途工事) 新設
	コキック 新設位置を示す。	カーテンレール(W)、ボックス 新設
	カッター 新設位置を示す。	映写スクリーン・ボックス新設
	撤去家具を示す。	
		[廊下(1)]
		ステンレス流し 新設
		プロジェクター(別途発注)

訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所 <small>一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一般建築士登録 第219285号</small> 北村 通 <small>彦根市長巻町443番地 TEL 0749-22-1679</small>		東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) 2階 視聴覚室・準備室 平面詳細図		SHEET NO. A - 52
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE A2:1/50 A3:70.7%



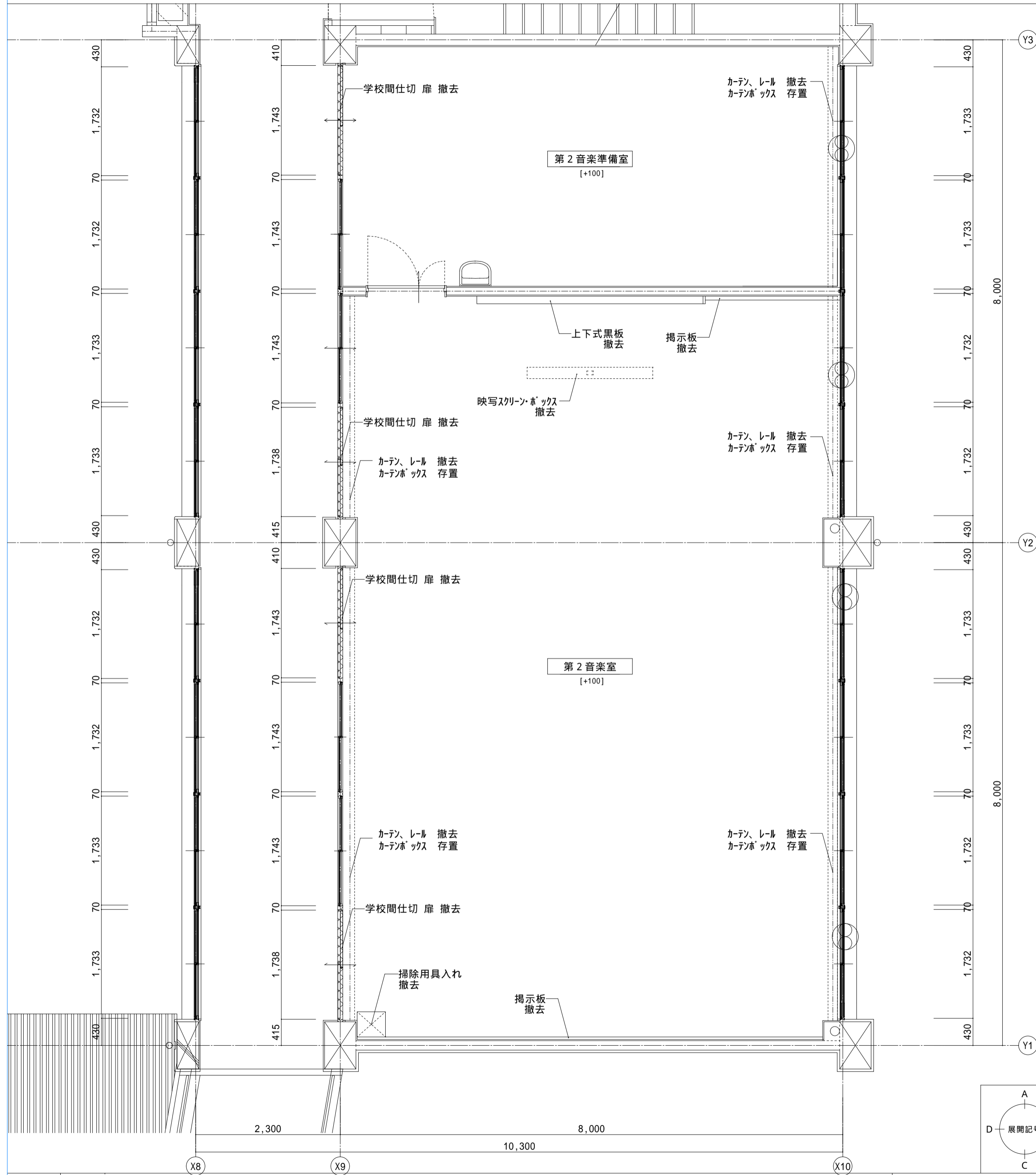
訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号
 北村 通
 彦根市長巻町443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE
----------	------------	--------------	------

[新館棟] (改修)	SHEET NO.
2階 視聴覚室・準備室 展開図	A - 53
SCALE A2:1/50 A3:70.7%	



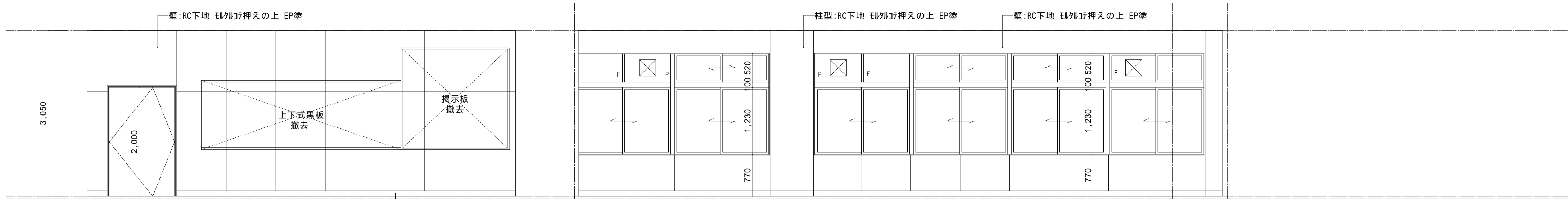
凡例		
	鉄筋コンクリート壁を示す。	[第2音楽室]
	鉄筋コンクリート柱・壁を示す。	[準備室]
	鉄骨間仕切壁を示す。(特記なき LGS W100型とする)	上下式黒板(5線入り) 撤去
	壁仕上・建具・カーテンボックス等・黒板・掲示板等の撤去範囲を示す。	カーテンレール 撤去・ボックス 存置
	床材の下地・仕上撤去範囲を示す。	掲示板 撤去
	コキウ撤去位置を示す。	映写スクリーンボックス 撤去
	カーテンレール撤去位置を示す。	掃除用具入れ 撤去
	撤去家具を示す。	地図掛け金物 存置
		カーテンレール 撤去・ボックス 存置

訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号
 北村 通
 彦根市長 豊原町 443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)		[新館棟] (現況・撤去)		SHEET NO.
		2階 第2音楽室・準備室 平面詳細図		A - 54
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE A2:1/50 A3:70.7%

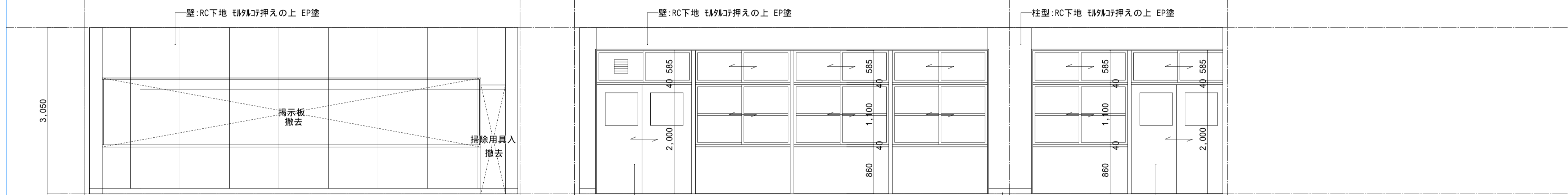
第2音楽室



木製巾木 H=100 OP塗 撤去

A 面

B 面

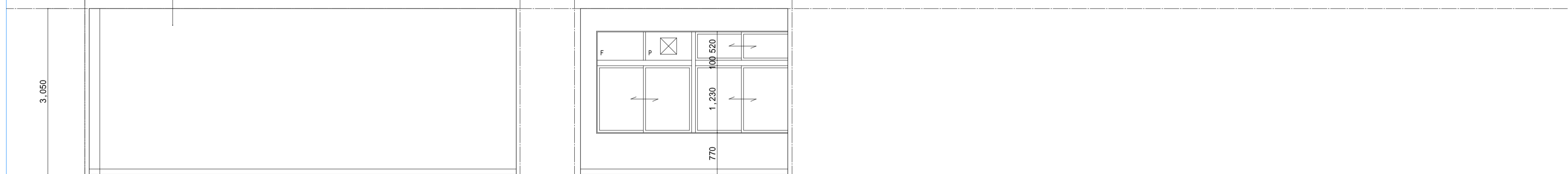


C 面

木製巾木 H=100 OP塗 撤去

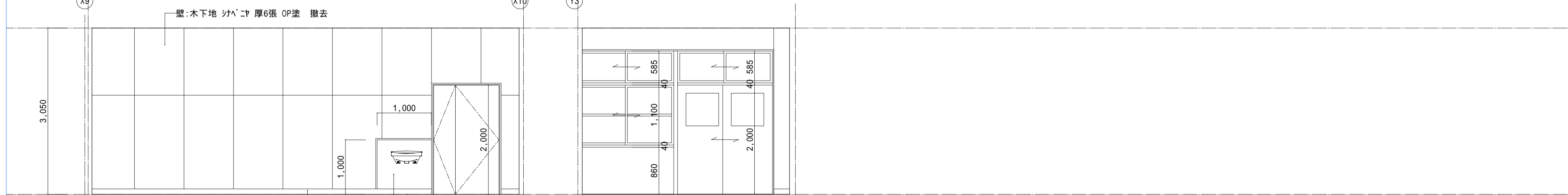
D 面

第2音楽準備室



A 面

B 面

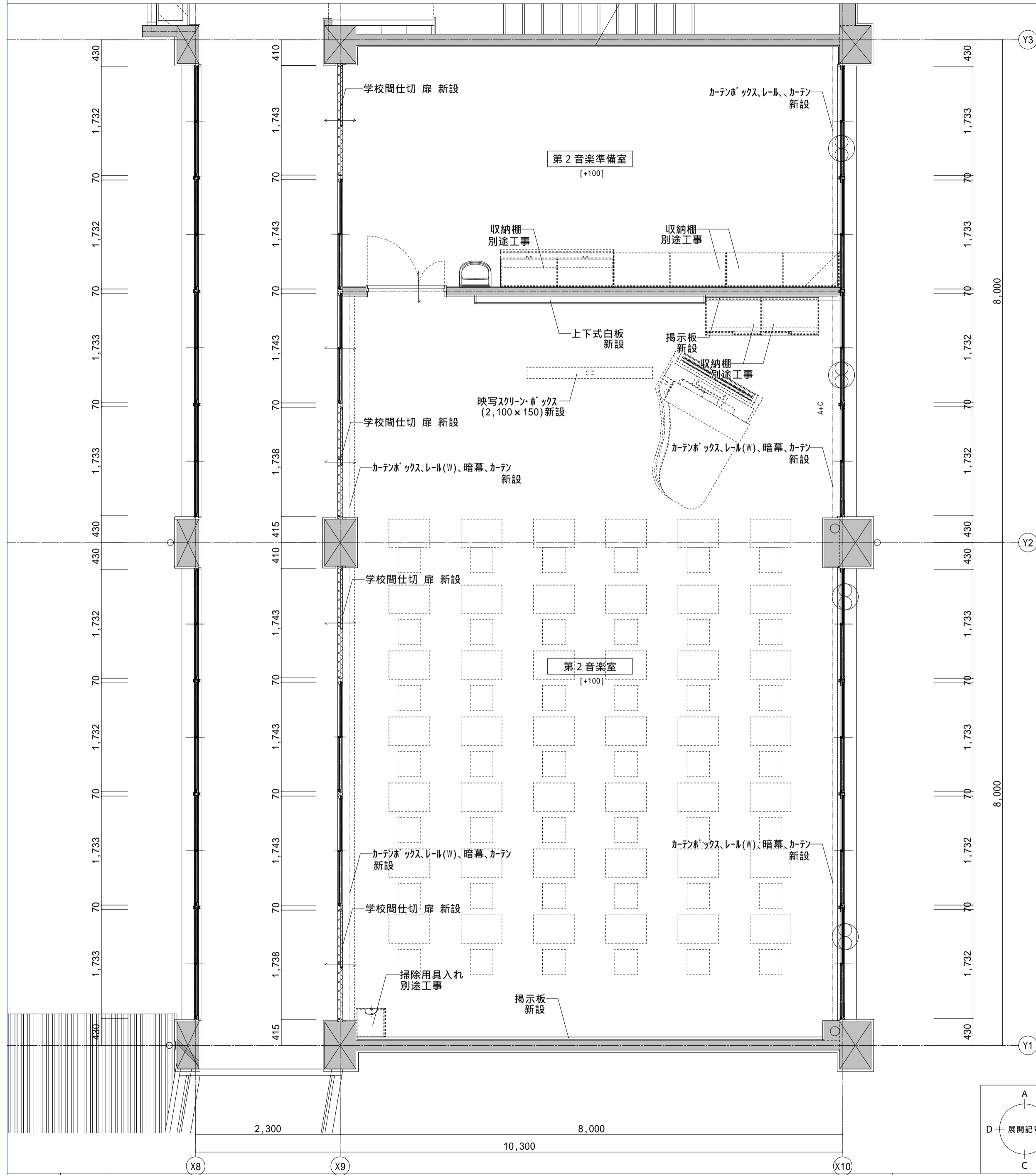


C 面

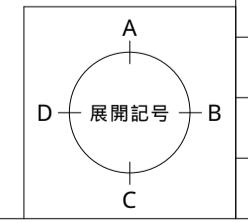
D 面

訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一般建築士登録 第219285号 北村 通 彦根市長 豊原町 443番地 TEL 0749-22-1679		東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) 2階 第2音楽室・準備室 展開図		[新館棟] (現況・撤去) SHEET NO. A-55	
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE	A2:1/200 A3:70.7%



凡例		
	[第2音楽室]	[準備室]
	既設鉄筋コンクリート柱・壁を示す。	
	LGS65 鉄骨間仕切壁を示す。(特記なき LGS W100型とする)	
	床材の地下・仕上改修範囲を示す。	
	コキヤ' 新設位置を示す。	
	上下式黒板(5線入り) 新設	カーテン、レール、ボックス 新設
	掲示板上部 新設	収納棚 新設
	掲示板上部 新設	収納棚 新設
	映写スクリーンボックス 新設	
	掃除用具入れ 新設	
	収納棚 新設	

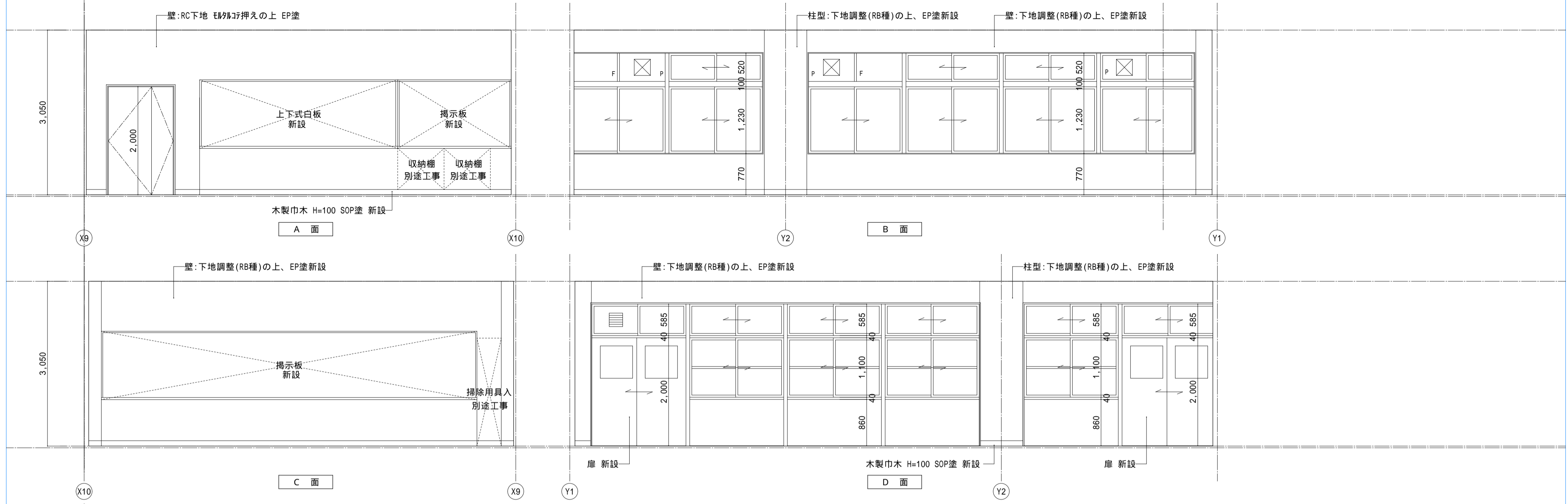


訂正事項	
2025 3 24出力	A-56 新館棟 (改修)2階 第2音楽室・準備室 平面詳細図

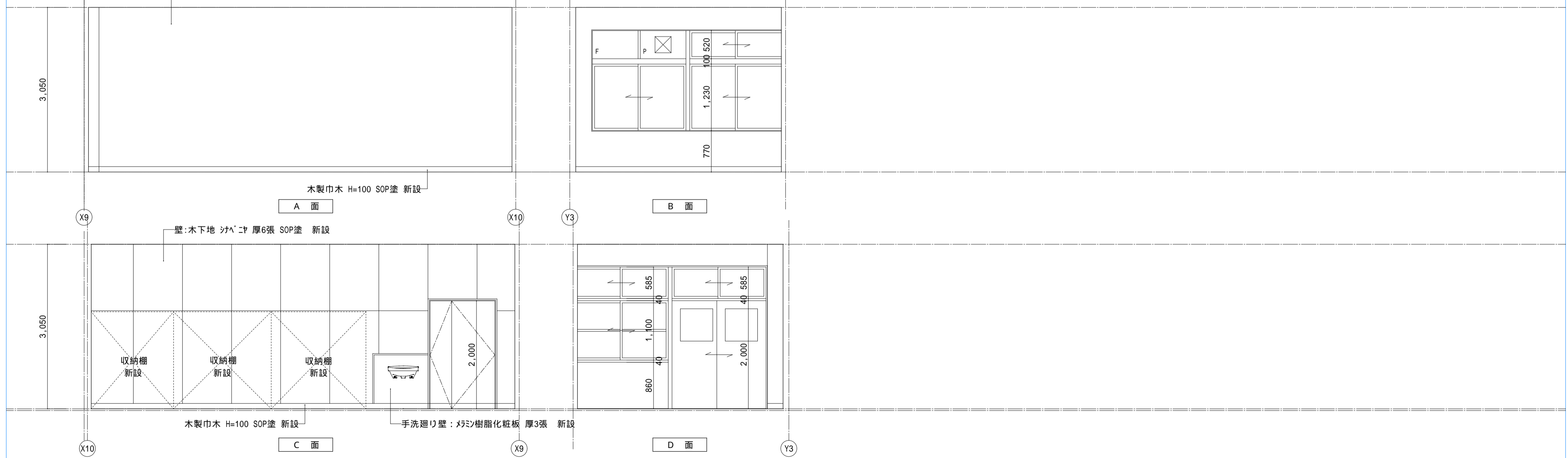
株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号
 北村 通
 彦根市長 備前町 443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)		[新館棟] (改修)		SHEET NO.
		2階 第2音楽室・準備室 平面詳細図		A - 56
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE A2:1/50 A3:70.7%

第2音楽室



第2音楽準備室



訂正事項

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号
 北村 通
 彦根市長曾根南町443番地 TEL 0749-22-1679

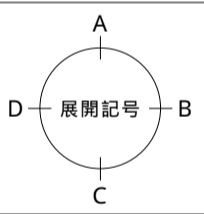
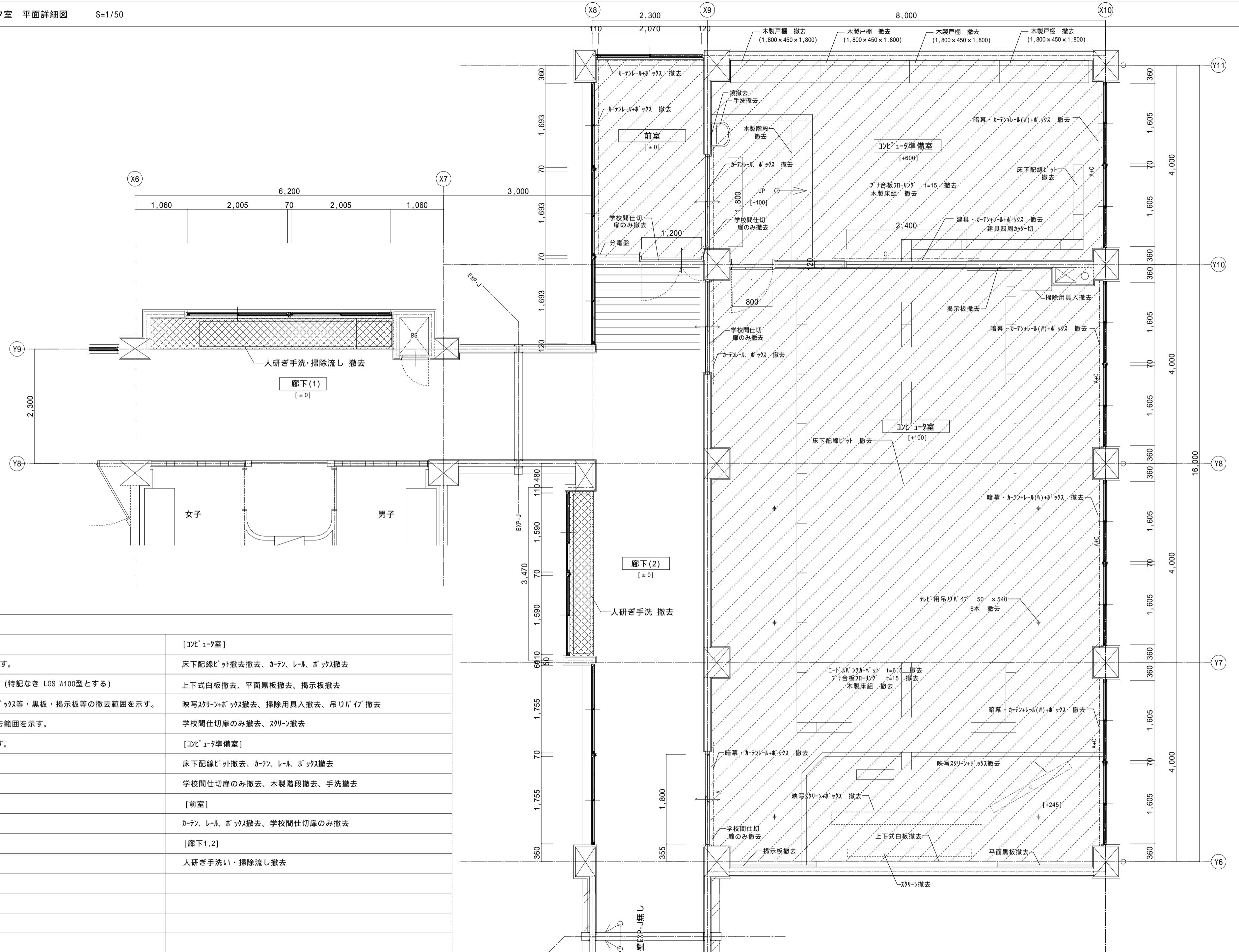
東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

[新館棟] (改修)
 2階 第2音楽室・準備室 展開図

SHEET NO.

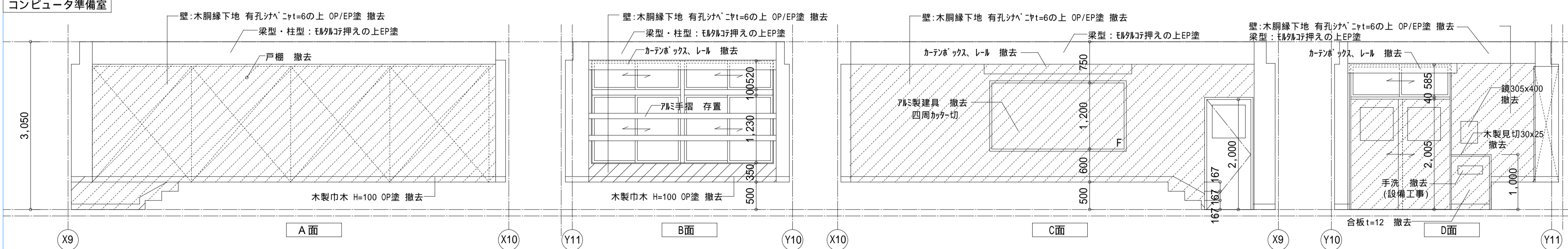
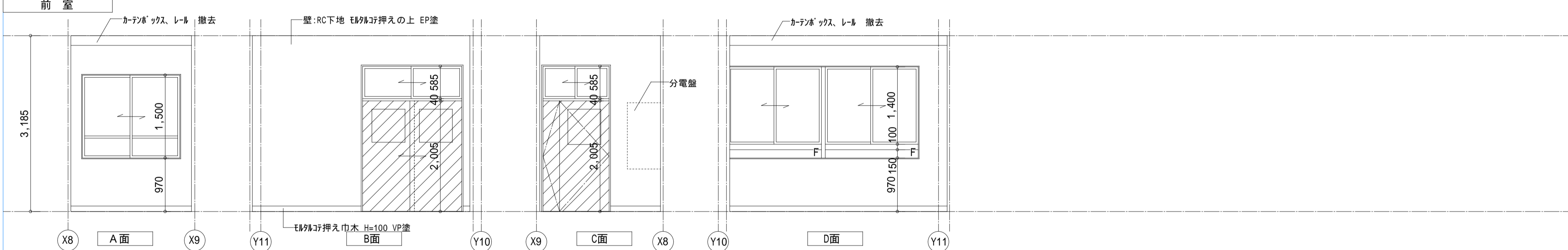
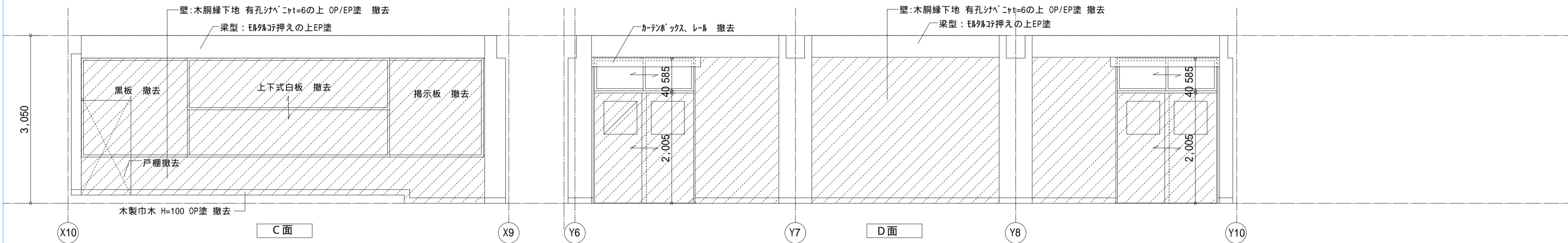
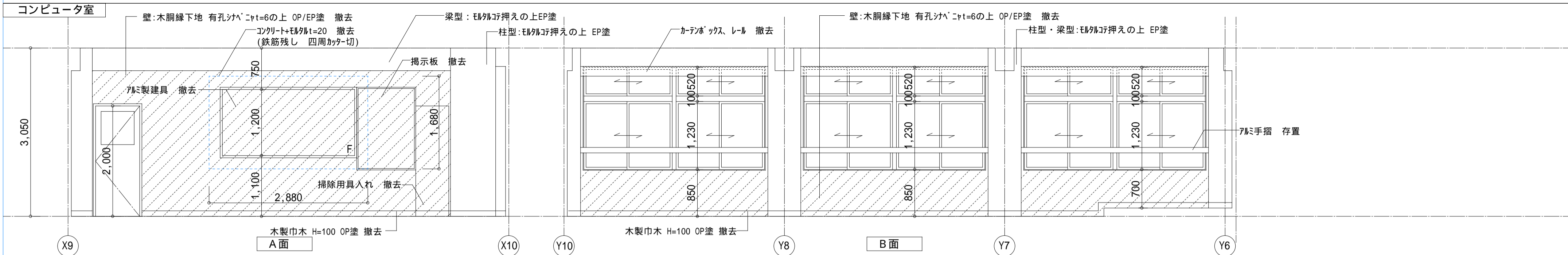
A - 57

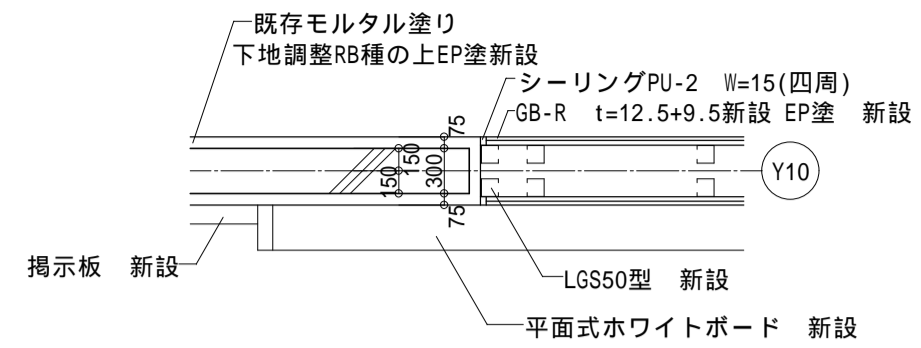
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE	A2:1/200 A3:70.7%
----------	------------	--------------	------	-------	----------------------



凡例	
	鉄筋コンクリート壁を示す。
	鉄筋コンクリート柱・壁を示す。
	鉄骨間仕切壁を示す。(特記なき LGS W100型とする)
	壁仕上・建具・カーテンボックス等・黒板・掲示板等の撤去範囲を示す。
	床材の下地・仕上撤去範囲を示す。
	コキリ撤去位置を示す。
	カッター切り位置を示す。
	撤去家具を示す。
	[コンピュータ室]
	床下配線ビッド撤去撤去、カーテン、レール、ボックス撤去
	上下式白板撤去、平面黒板撤去、掲示板撤去
	映写スクリーンボックス撤去、掃除用具入撤去、吊りバイク撤去
	学校間仕切扉のみ撤去、スクリーン撤去
	[コンピュータ準備室]
	床下配線ビッド撤去、カーテン、レール、ボックス撤去
	学校間仕切扉のみ撤去、木製階段撤去、手洗撤去
	[前室]
	カーテン、レール、ボックス撤去、学校間仕切扉のみ撤去
	[廊下1,2]
	人研ぎ手洗い・掃除流し撤去

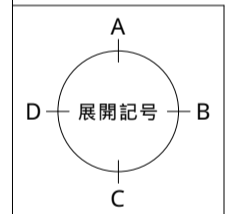
訂正事項	





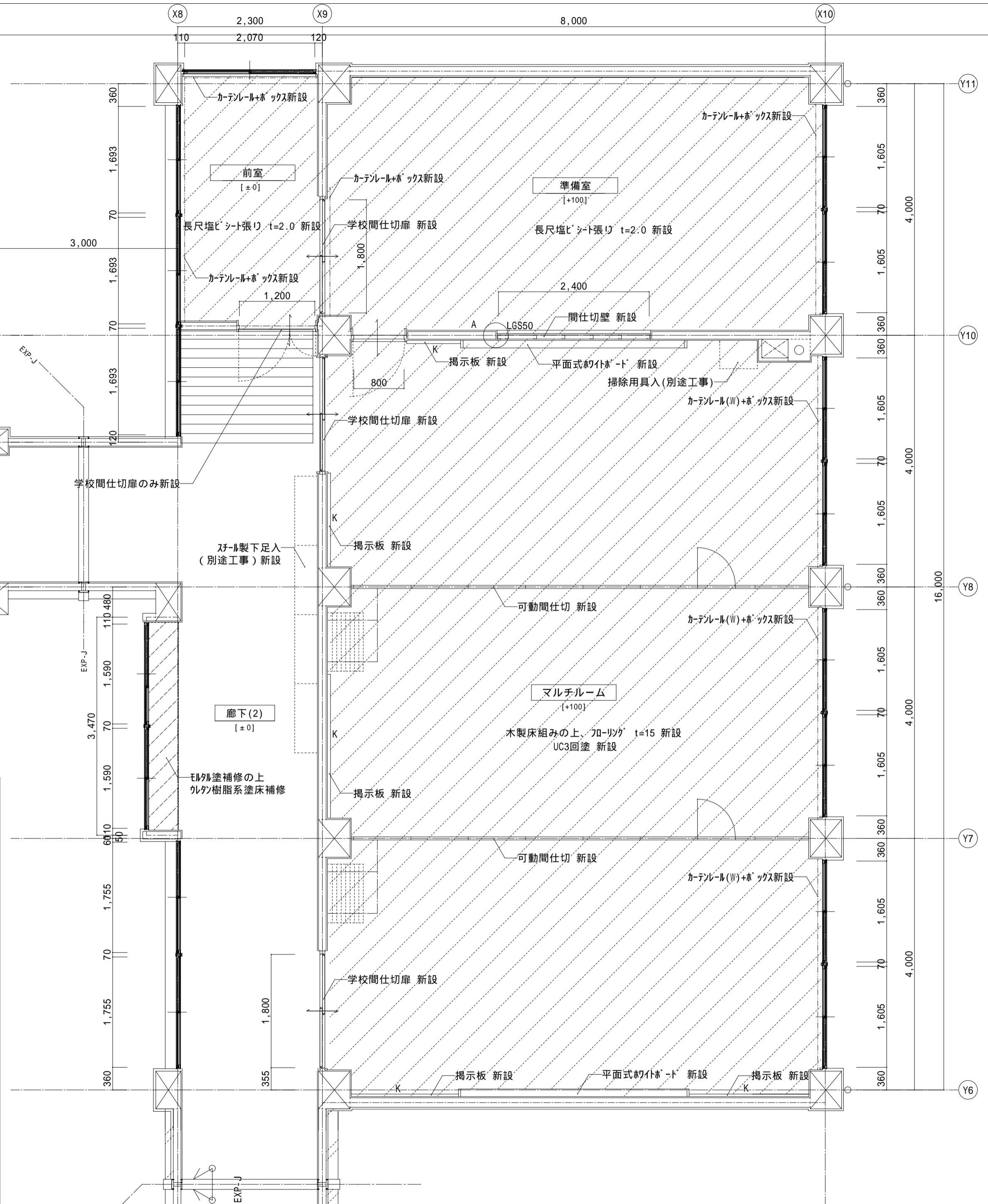
四周はモルタル補修を行う。

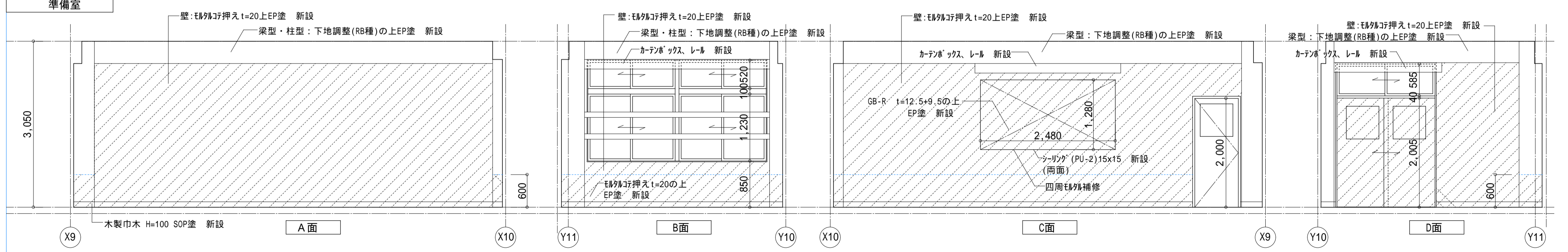
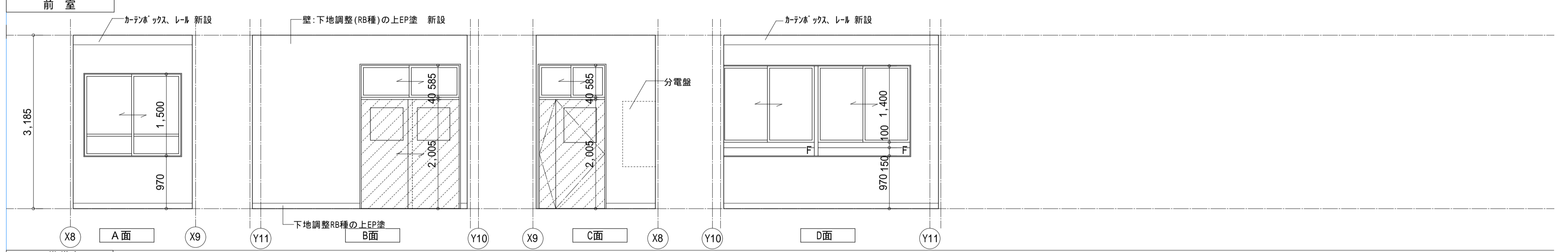
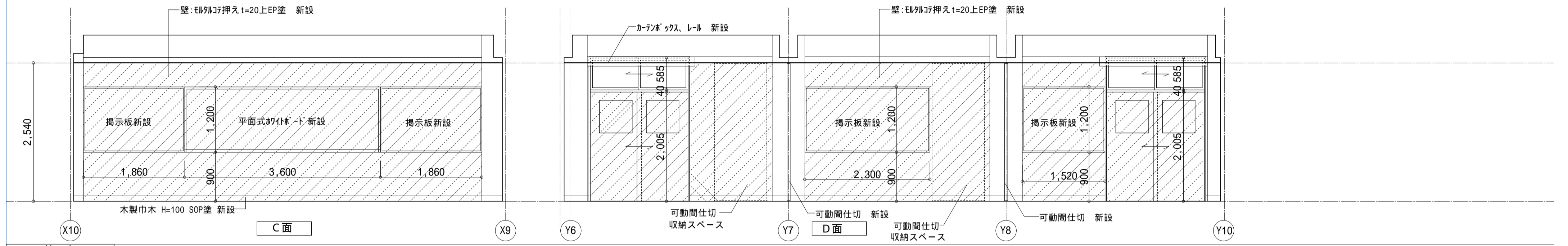
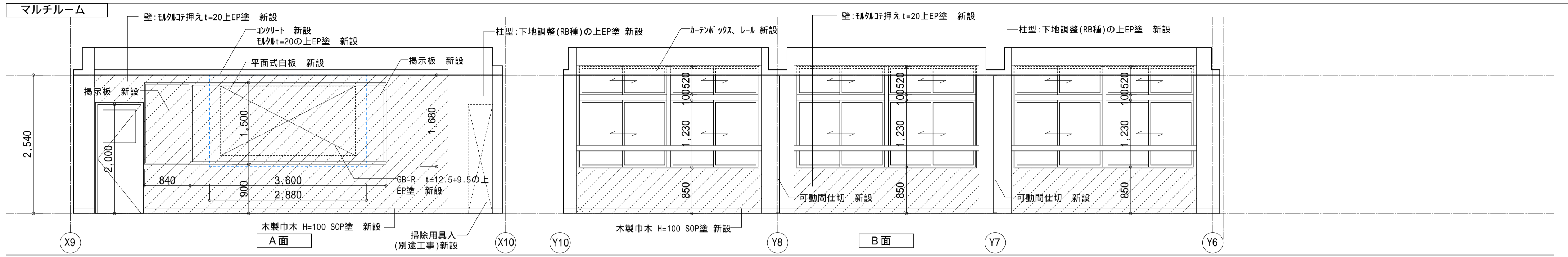
A部 詳細図 1/20

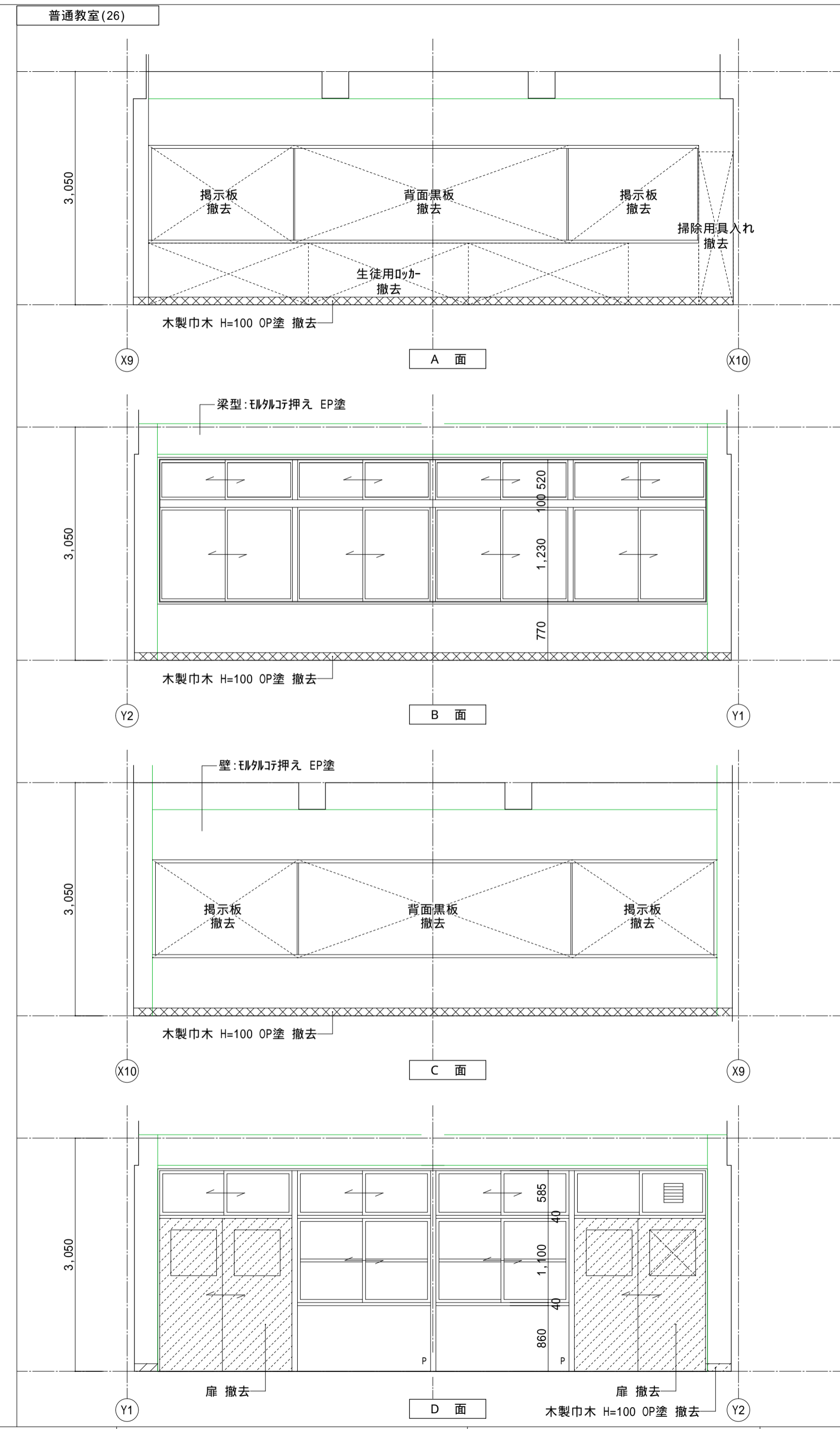
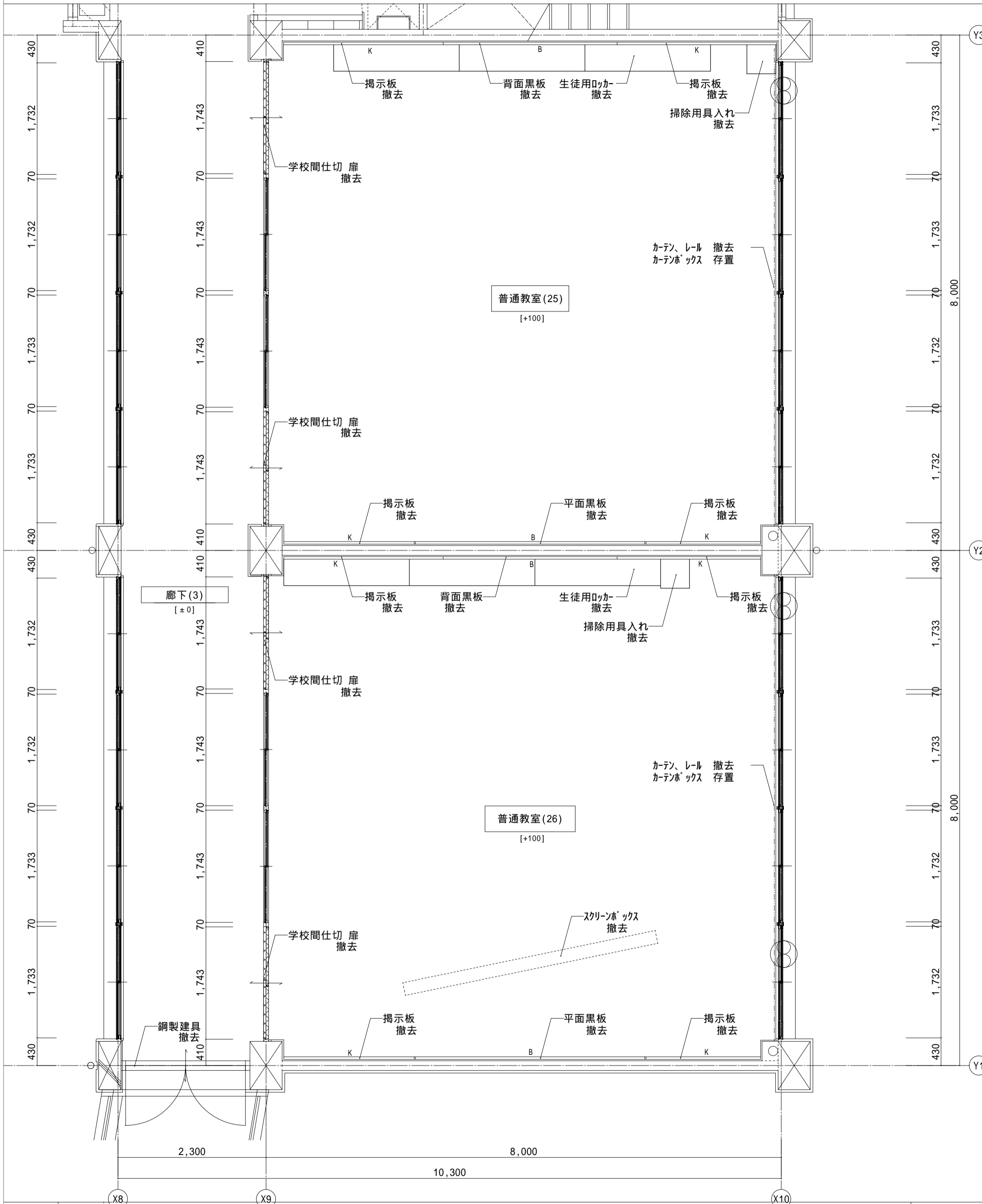


凡例		
	鉄筋コンクリート壁を示す。	[マルチルーム]
	鉄筋コンクリート柱・壁を示す。	上下式黒板新設、掲示板新設
	LGS65 鉄骨間仕切壁を示す。(特記なき LGS W100型とする)	掃除用具入新設(別途工事)、カーテンル(W)+ホックス新設
	床材の下地・仕上改修範囲を示す。	
	コーキング新設位置を示す。	[準備室]
	カッター切り位置を示す。	カーテンル+ホックス新設、掲示板新設
	EXP-J 新設 アルミ製 EXP-J金物(内壁クリアランス60mm)	掃除用具入新設(別途工事)
		[前室]
		カーテンル+ホックス新設、掲示板新設

訂正事項	
------	--







訂正事項	

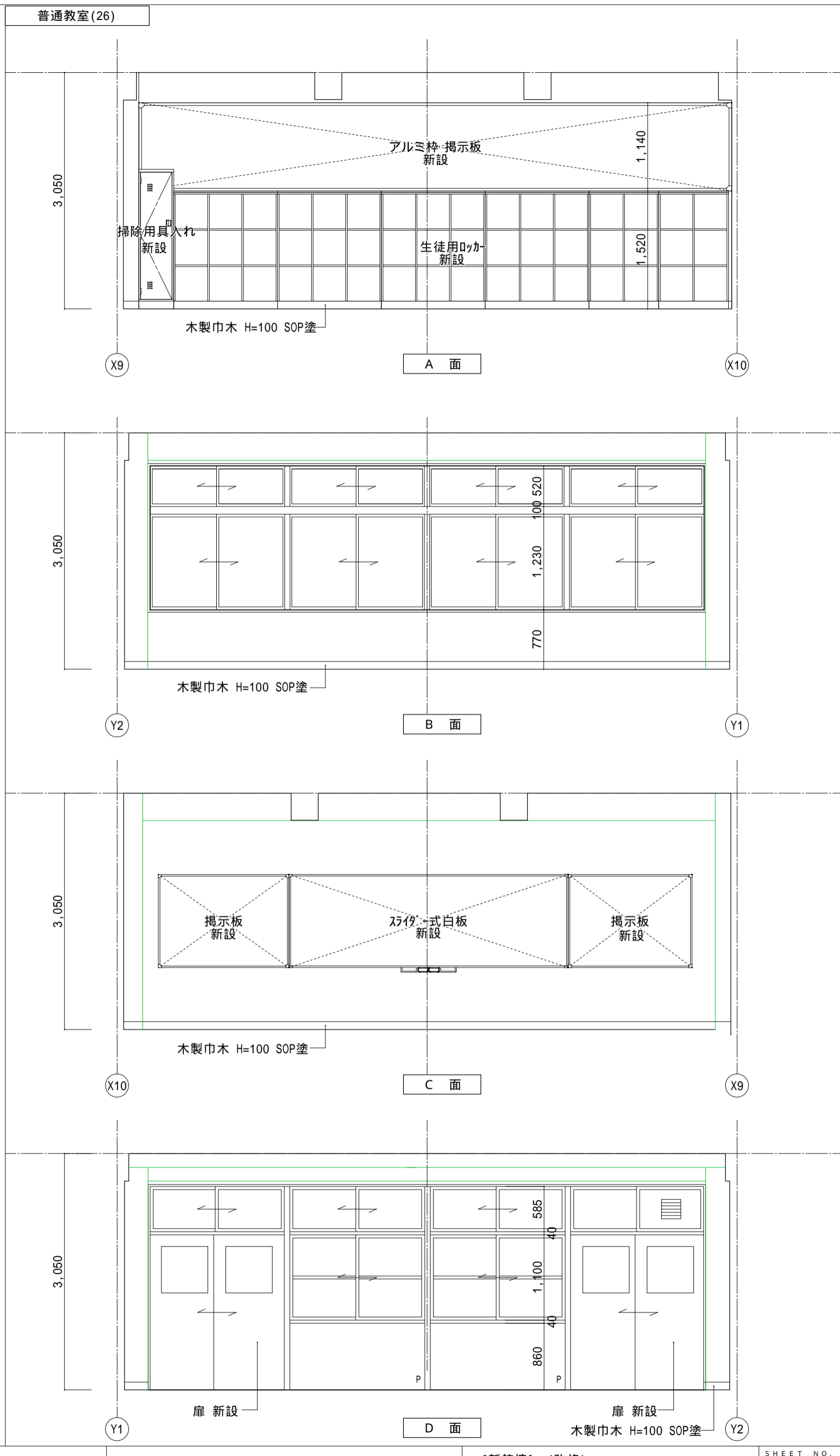
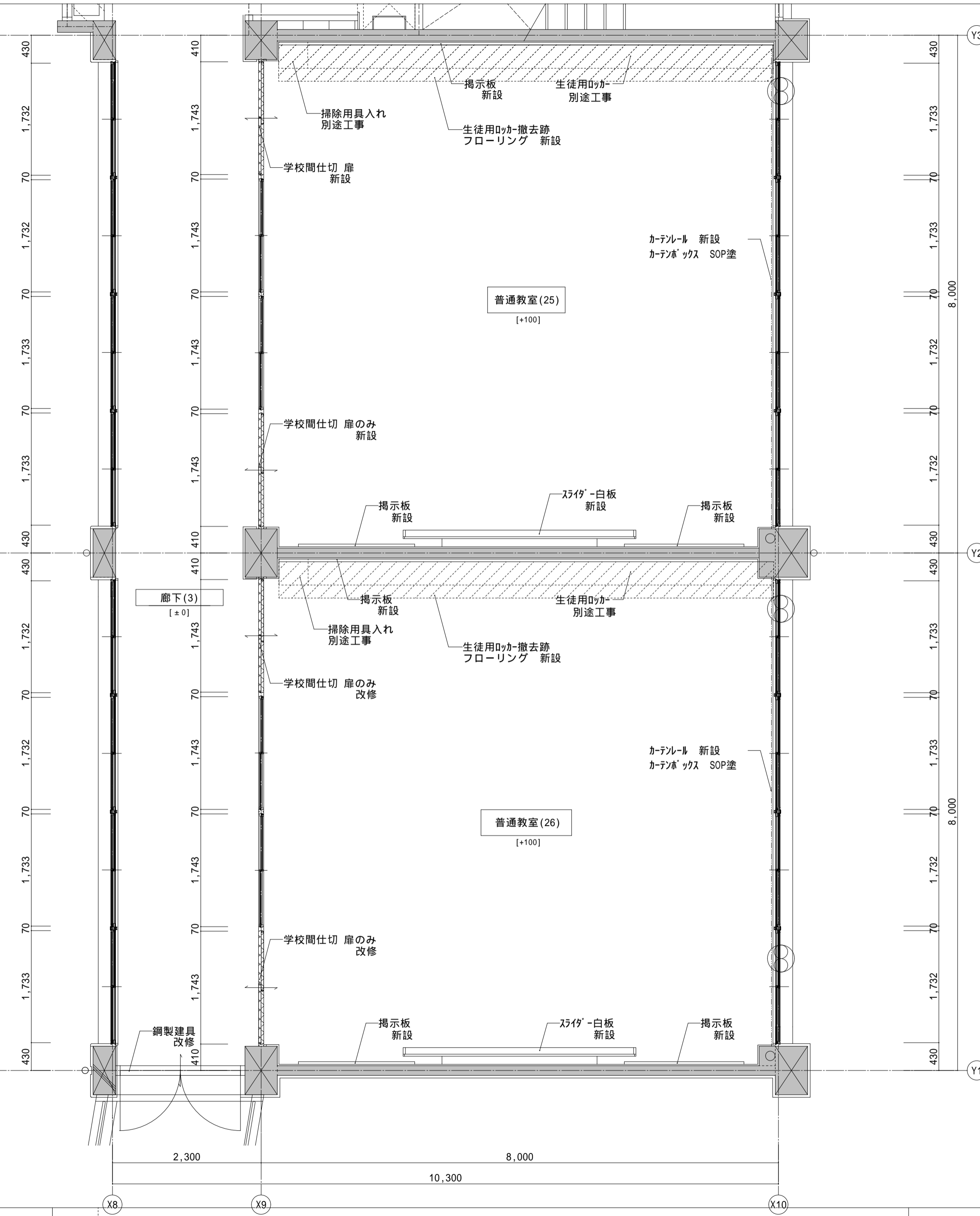
株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通
 彦根市長巻町443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

[新館棟] (現況・撤去)
 3階 普通教室(25)・(26) 平面詳細図・展開図

DRAWN BY _____ CHECKED BY _____ SUBMITTED BY _____
 DATE _____ SCALE A2:1/50 A3:70.7%

SHEET NO. A-62



訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通
 彦根市長 豊原町 443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) [新館棟] (改修)
 3階 普通教室(25)・(26) 平面詳細図・展開図

DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE	A2:1/50 A3:70.7%
----------	------------	--------------	------	-------	---------------------

SHEET NO. A-63

建具工事特記仕様書

一般事項

建具工事特記事項

1. 本表の範囲
本表は設計図に示す建具及び建具工事特記仕様（一般事項 特記事項 標準詳細図）を一括して表示。
戸種及びカウンター等その他これに附属する建具は別図詳細図によるものとし本表には含まない。

一般事項
1. 建具寸法は概略を示すものであり詳細は製作図作成の上、監督職員の承諾を得ること。
2. 外部建具の結露水は建具において排水可能な構造とすること。
3. 硝子は指示あるも現場にて多少変更する事がある。
4. 建具廻り及びガラスのシーリング材料は、特記仕様書建具工事、雑工事を参照のこと。
5. ガラスの宙材材の使用区分は下記による。

シャッター
1. シャッターに用いる鋼板は、表面処理亜鉛メッキ鉄板（標仕14.2.3(a)による）とし、亜鉛の最少付着量が両面で120g/m以上のもを使用する。
2. 重量シャッターのガイドレール、まくさ、座板又は座板の包み板、開閉機のカバー及びスイッチボックス類のカバーはステンレス製（SUS304）とする。
3. 重量シャッターの各部使用箇所と鋼板及びステンレス鋼板の厚さは、標仕16.1.0・2表による。
4. 軽量シャッターの各部使用箇所と鋼板の厚さは、標仕16.1.1・2表による。
5. 軽量シャッターのスラット鋼板は合成樹脂塗料の焼付けをしたものとする。
6. くぐり戸表示は下図による。

特殊建具
1. 建具用金物は特記を除き、ステンレス製若しくは真ちゅうクロムメッキ製とし組て見本品を提出の上、監督職員の承諾を得ること。
2. 特記のあるもの、指定の不明確な金物は外觀、性能、材種、取付け箇所等が建具に相応したものを用いる。
3. 既製又はこれに準ずる建築用金物のうち、性能上必要な最小限のものについては、特記がなければ建具製作所の仕様による。
4. ステンレス製建具金物は、JISのSUS-304とする。
5. 錠前のバックセットは64m/m以上とする。
6. 特記なきガラリの有効開口率は35%とする。
7. 特記のない扉見込は、鋼製・木製（襖・障子を除く）の場合は40mm、鋼製軽量の場合は36mmとする。
8. 特記のない外部に面する鋼製開き戸は簡易機密とする。
9. レバーハンドルはステンレス製とする。
10. 特記のない握玉、押板類、クレセント、オペレーター類の取付位置は、下表による。
また、「だれもが住みたくなる福祉滋養のまちづくり条例」にも準拠すること。

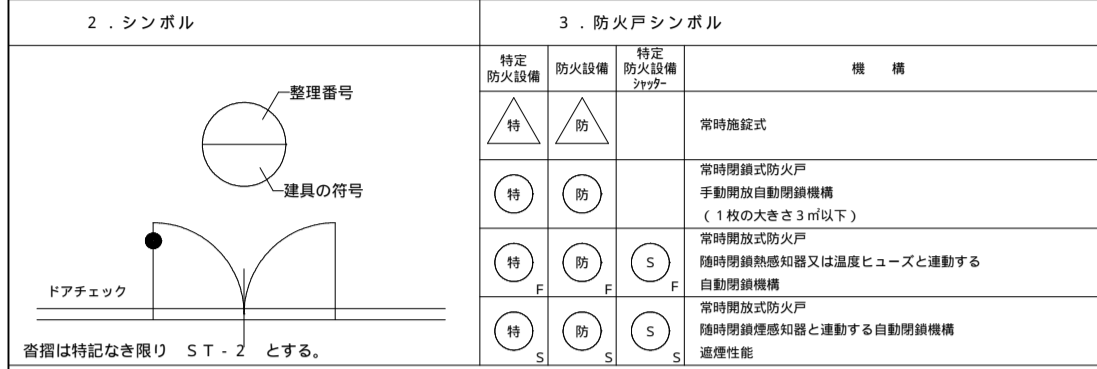


Table with 4 columns: Material (アルミ製, スチール製), Door Type (扉, 窓, ガラリ), and Building Type (木製, 木製窓, 木製ガラリ, etc.).

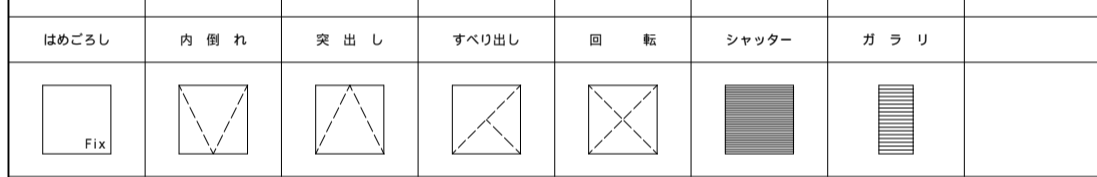
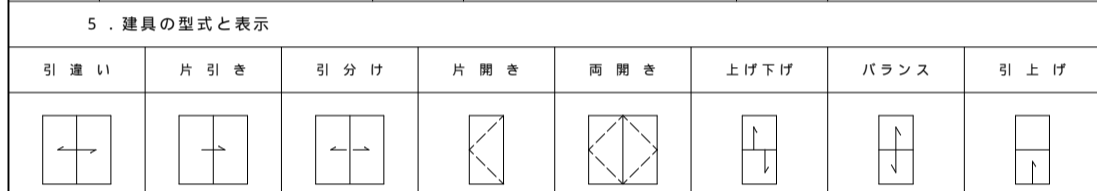


Table with 4 columns: Material (スリ板, 磨板, 型板, etc.), Glass Type (網入型板, 網入磨板, フロート, etc.), and Glass Type (網入型板, 網入磨板, 高性能熱線反射ガラス, etc.).

Table with 4 columns: Material (シリンドー箱錠, 本廻り付モノロック錠, etc.), Door Type (ドアチェック, フロアヒンジ, オートヒンジ, etc.), and Door Type (ドアチェック, フロアヒンジ, オートヒンジ, etc.).

Table with 4 columns: Material (木製, 鋼製, ステンレス製), Door Type (テラソブロック, 本石, 入研ブロック), and Door Type (テラソブロック, 本石, 入研ブロック).

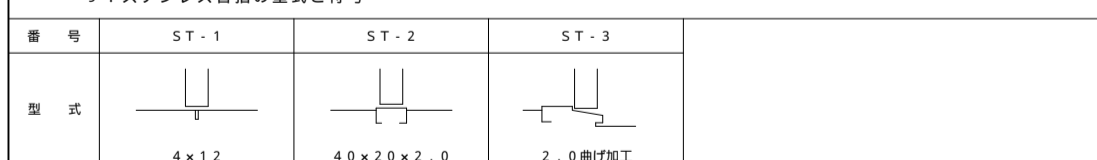


Table with 4 columns: Material (木製, 鋼製, アルミ製), Door Type (完全エアタイト型, エアタイト型, 単エアタイト型), and Door Type (完全エアタイト型 1m³/h r m以上, エアタイト型 4m³/h r m以上, 単エアタイト型 1.5m³/h r m以上).

アルミ製建具
1. アルミニウム押出型材は、JIS H-4100のA-6063Sで原則として製作所が通常使用している既製の断面のものとする。
2. アルミニウム製建具の各種性能、表面処理は特記仕様書建具工事による。
3. 表面処理の種別（標仕14.2.1表）による 建具の区分は下記の通りとする。
A-1 B-1 C-1
A-2 B-2 C-2

鋼製建具
1. 鋼製建具に用いる鋼板は、表面処理亜鉛メッキ鉄板（標仕14.2.3(a)による）とし、亜鉛の最少付着量が120g/m以上のもを使用する。
2. 使用箇所による鋼板の厚さは特記を除き標仕16.3.2表による。
3. 素地ごしらは、標仕18.2.3表による。錆止め塗料は、JIS K5628鉛丹ジンクロメート錆止めペイント2種を使用し、塗り工法は標仕18.3.2による。
4. PS、DS、EPS、改メ口建具の気密性能はAT(4m³/h r m)する。

鋼製軽量建具
1. 鋼製軽量建具に用いる鋼板は、表面処理亜鉛メッキ鉄板（標仕14.2.3(a)による）とし、亜鉛の最少付着量が両面で60g/m以上のもとする。
2. 使用箇所による鋼板の厚さは、特記を除き標仕16.4.1表による。
3. 素地ごしらは、錆止め塗料、塗り工法は鋼製建具に準ずる。

ステンレス製建具
1. ステンレス製建具に用いる ステンレス鋼板はJIS G-4305のSUS-304を使用する。
2. 使用箇所とステンレス鋼板の厚さは特記を除き標仕16.5.1表による。
3. 仕上はヘアーライン(H.L)としヘアーライン#120 パフ仕上 NO.8を標準とする。

木製建具
1. 木製建具種は鋼製もしくは木製とし、その使用区分は建具表による。
木製特使用の場合吊元は検とする。
2. 合板フラッシュ戸に使用する合板は、水掛り部分をタイプ その他をタイプ として全てシナ合板とする。合板の厚みについては特記仕様書建具工事による。
3. ドアチェック、アームストッパーの取付けがボルトは建具を貫通し、PLを当て化粧ナット締めとする。

特殊建具
1. 図面に書かれている (特) は、特定防火設備を示す。
2. 図面に書かれている (防) は、法2条第1項9-2号の(口)の防火設備を示す。(防火設備の硝子は網入 厚6.8m/mとする。)
3. 開きドアは全て戸当たり付とする。
4. 引き戸には指話防止ゴム付とする。
5. 引き戸の引棒は、聯ユニオン：クアハンドル H2154とする。
6. マスターキーは、美和ロック聯 PRシリンドーとし、各3セット製作すること。
7. ガラスの厚みは風圧計算書を提出し、監督職員に承諾を得ること。
8. ガラスの種類(透明・不透明)は監督職員等と協議により決定する。

Table with 2 columns: Material (金物の種類), Height (床先端からの金物の高さ(m)).

符号	数量	305 AW [既設]	1箇所	305 AW [修繕]	1箇所	306 AW [既設]	1箇所	306 AW [修繕]	1箇所	308 AW [既設]	1箇所	308 AW [修繕]	1箇所					
形状																		
室名	1階:女子便所・男子便所			1階:女子便所・男子便所			1階:廊下(2)			1階:廊下(2)			1階:廊下(3)			1階:廊下(3)		
材質	アルミ製			アルミ製			アルミ製			アルミ製			アルミ製			アルミ製		
仕上	BB-1仕上			BB-1仕上			BB-1仕上			BB-1仕上			BB-1仕上			BB-1仕上		
枠見込	70			70			70			70			70			70		
建具見込	-			-			-			-			-			-		
硝子	網入型板ガラス t=6.8 撤去、アルミ t=3			学校用強化型板ガラス t=4新設 建具クリンク(ガラス共)			透明ガラス t=3 撤去			学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)			学校用強化ガラス t=4			学校用強化ガラス t=4 一部取替え 建具クリンク(ガラス共)		
金物等	クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え			クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え			クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え		
内部	木製額縁 OP塗			木製額縁 OP塗			木製額縁 OP塗			木製額縁 OP塗			木製額縁 OP塗			木製額縁 OP塗		
備考				特記なき箇所は全て現況のまま						特記なき箇所は全て現況のまま						特記なき箇所は全て現況のまま		
符号	数量	310 AW [既設]	1箇所	310 AW [修繕]	1箇所	311 AW [既設]	1箇所	311 AW [修繕]	1箇所	314 AW [既設]	1箇所	314 AW [修繕]	1箇所					
形状																		
室名	1階:廊下(3)			1階:廊下(3)			1階:普通教室(20)			1階:昇降口			1階:第2技術室			1階:生徒会室		
材質	アルミ製			アルミ製			アルミ製			アルミ製			アルミ製			アルミ製		
仕上	BB-1仕上			BB-1仕上			BB-1仕上			BB-1仕上			BB-1仕上			BB-1仕上		
枠見込	70			70			70			70			70			70		
建具見込	-			-			-			-			-			-		
硝子	学校用強化ガラス t=4、網入磨板ガラス t=6.8			網入磨板ガラス t=6.8 一部取替え 建具クリンク(ガラス共)			透明ガラス t=3 撤去、アルミ t=3			学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)			透明ガラス t=3 撤去、アルミ t=3 一部撤去			学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)		
金物等	クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え			クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え			クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え		
内部	木製額縁 OP塗			木製額縁 OP塗			木製額縁 OP塗			額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗			木製額縁 OP塗			額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗		
備考				特記なき箇所は全て現況のまま						特記なき箇所は全て現況のまま						特記なき箇所は全て現況のまま		
符号	数量	315 AW [既設]	2箇所	315 AW [修繕]	2箇所	316 AW [既設]	1箇所	316 AW [修繕]	1箇所	317 AW [既設]	1箇所	317 AW [修繕]	1箇所					
形状																		
室名	1階:第2技術室			1階:相談室1、2			1階:第2技術準備室			1階:生徒用相談室			1階:第2技術準備室・廊下(2)			1階:生徒用相談室・廊下(2)		
材質	アルミ製			アルミ製			アルミ製			アルミ製			アルミ製			アルミ製		
仕上	BB-1仕上			BB-1仕上			BB-1仕上			BB-1仕上			BB-1仕上			BB-1仕上		
枠見込	70			70			70			70			70			70		
建具見込	-			-			-			-			-			-		
硝子	透明ガラス t=3 撤去、アルミ t=3			学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)			透明ガラス t=3 撤去			学校用強化透明ガラス t=4新設 アルミ t=3 新設建具クリンク(ガラス共)			透明ガラス t=3 一部撤去			学校用強化透明ガラス t=4 一部新設 建具クリンク(ガラス共)		
金物等	クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え			クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え			クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え		
内部	木製額縁 OP塗			額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗			木製額縁 OP塗			額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗			木製額縁 OP塗			額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗(準備室のみ)		
備考				特記なき箇所は全て現況のまま						特記なき箇所は全て現況のまま						特記なき箇所は全て現況のまま		

符号	数量	318 AW [既設]	1箇所	318 AW [修繕]	1箇所	319 AW [既設]	1箇所	319 AW [修繕]	1箇所	320 AW [既設]	1箇所	320 AW [修繕]	1箇所
図													
形状		アルミ製2連引違い窓		アルミ製2連引違い窓		アルミ製下段FIX付2連引違い窓		アルミ製下段FIX付2連引違い窓		アルミ製下段FIX付4連引違い窓		アルミ製下段FIX付2連引違い窓	
室名		1階:廊下(1)		1階:廊下(1)		1階:廊下(1)		1階:廊下(1)		1階:廊下(1)		1階:廊下(1)	
材質		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製	
仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上	
枠見込		70		70		70		70		70		70	
建具見込		-		-		-		-		-		-	
硝子		透明ガラス t=3 撤去		学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリニグ(ガラス共)		透明ガラス t=3 撤去		学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリニグ(ガラス共)		透明ガラス t=3 撤去、アルミ補 t=3		学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリニグ(ガラス共)	
金物等		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え	
内部		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗	
備考				特記なき箇所は全て現況のまま								特記なき箇所は全て現況のまま	
符号	数量	321 AW [既設]	1箇所	321 AW [修繕]	1箇所	334 AW [既設]	1箇所	334 AW [修繕]	1箇所	335 AW [既設]	1箇所	335 AW [修繕]	1箇所
図													
形状		アルミ製下段FIX付4連引違い窓		アルミ製下段FIX付2連引違い窓		アルミ製2段FIX付両袖2段引違い窓		アルミ製2段FIX付両袖2段引違い窓		アルミ製下段FIX付4連引違い窓		アルミ製下段FIX付4連引違い窓	
室名		1階:廊下(1)		1階:廊下(1)		2階:女子便所・男子便所		2階:女子便所・男子便所		2階:廊下(2)		2階:廊下(2)	
材質		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製	
仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上	
枠見込		70		70		70		70		70		70	
建具見込		-		-		-		-		-		-	
硝子		透明ガラス t=3 撤去、網入磨板ガラス t=6.8		学校用強化透明ガラス t=4 新設、網入磨板ガラス t=6.8 一部取替え 建具クリニグ(ガラス共)		網入型板ガラス t=6.8撤去、アルミ補 t=3		学校用強化透明ガラス t=4新設、建具クリニグ(ガラス共)		透明ガラス t=3		学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリニグ(ガラス共)	
金物等		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え	
内部		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗	
備考				特記なき箇所は全て現況のまま								戸車6箇所取替え	
符号	数量	338 AW [既設]	2箇所	338 AW [修繕]	2箇所	339 AW [既設]	1箇所	339 AW [修繕]	1箇所	340 AW [既設]	1箇所	340 AW [修繕]	1箇所
図													
形状		アルミ製下段FIX窓付4連引違い窓		アルミ製下段FIX窓付4連引違い窓		アルミ製2段4連引違い窓		アルミ製2段4連引違い窓		アルミ製2段4連引違い窓		アルミ製2段4連引違い窓	
室名		2階:廊下(3)		2階:廊下(3)		2階:第2音楽室		2階:第2音楽室		2階:第2音楽室・第2音楽準備室		2階:第2音楽室・第2音楽準備室	
材質		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製	
仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上	
枠見込		70		70		70		70		70		70	
建具見込		-		-		-		-		-		-	
硝子		学校用強化ガラス t=4、網入磨板ガラス t=6.8		網入磨板ガラス t=6.8 一部取替え 建具クリニグ(ガラス共)		透明ガラス t=3 撤去、網入磨板ガラス t=6.8、アルミ補 t=3		学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリニグ(ガラス共)		透明ガラス t=3 撤去、アルミ補 t=3		学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリニグ(ガラス共)	
金物等		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え	
内部		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗		木製額縁 OP塗		額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗	
備考				特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま	

符号	数量	341 AW [既設]	1箇所	341 AW [修繕]	1箇所	342 AW [既設]	1箇所	342 AW [修繕]	1箇所	343 AW [既設]	1箇所	343 AW [修繕]	1箇所					
形状	アルミ製2段FIX窓付両袖2段引違い窓			アルミ製2段FIX窓付両袖2段引違い窓			アルミ製2段2連引違い窓			アルミ製2段2連引違い窓			アルミ製2段2連引違い窓					
室名	2階:P T A室			2階:P T A室			2階:第3理科室			2階:第3理科室			2階:視聴覚室					
材質	アルミ製		BB-1仕上			アルミ製		BB-1仕上			アルミ製		BB-1仕上					
枠見込	70		-			70		-			70		-					
硝子	透明ガラス t=3 撤去、アルミ補 t=3			学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)			透明ガラス t=3 撤去、アルミ補 t=3 一部撤去			学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)			透明ガラス t=3 撤去					
金物等	クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え			クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え 額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗			クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗			学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共) 建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え 額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗		
備考				特記なき箇所は全て現況のまま						特記なき箇所は全て現況のまま								
符号	数量	344 AW [既設]	2箇所	344 AW [修繕]	2箇所	345 AW [既設]	1箇所	345 AW [修繕]	1箇所	346 AW [既設]	1箇所	346 AW [修繕]	1箇所					
形状	アルミ製2段2連引違い窓			アルミ製2段2連引違い窓			アルミ製引違い窓			アルミ製引違い窓			アルミ製下段FIX付3連引違い窓					
室名	2階:第3理科室、第3理科準備室			2階:視聴覚室、準備室			2階:第3理科準備室			2階:視聴覚準備室			2階:第3理科準備室、廊下(2)					
材質	アルミ製		BB-1仕上			アルミ製		BB-1仕上			アルミ製		BB-1仕上					
枠見込	70		-			70		-			70		-					
硝子	透明ガラス t=3撤去、アルミ補 t=3			学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)			透明ガラス t=3 撤去			学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)			透明ガラス t=3 一部撤去					
金物等	クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え			クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え 額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗			クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗			学校用強化透明ガラス t=4 一部新設 建具クリンク(ガラス共) 建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え 額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗(準備室のみ)		
備考				特記なき箇所は全て現況のまま						特記なき箇所は全て現況のまま								
符号	数量	347 AW [既設]	1箇所	347 AW [修繕]	1箇所	348 AW [既設]	1箇所	348 AW [修繕]	1箇所	349 AW [既設]	1箇所	349 AW [修繕]	1箇所					
形状	アルミ製2連引違い窓			アルミ製2連引違い窓			アルミ製下段FIX付2連引違い窓			アルミ製下段FIX付2連引違い窓			アルミ製下段FIX付4連引違い窓					
室名	2階:廊下(1)			2階:廊下(1)			2階:廊下(1)			2階:廊下(1)			2階:廊下(1)					
材質	アルミ製		BB-1仕上			アルミ製		BB-1仕上			アルミ製		BB-1仕上					
枠見込	70		-			70		-			70		-					
硝子	透明ガラス t=3 撤去			学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)			透明ガラス t=3 撤去			学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)			透明ガラス t=3 撤去、アルミ補 t=3					
金物等	クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え			クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗			建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え 額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗			クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗			学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共) 建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え		
備考				特記なき箇所は全て現況のまま						特記なき箇所は全て現況のまま								

特記なき箇所は全て現況のまま

符号	数量	350 AW [既設]	1箇所	350 AW [修繕]	1箇所	354 AW [既設]	1箇所	354 AW [修繕]	1箇所	355 AW [既設]	1箇所	355 AW [修繕]	1箇所
図													
形状		アルミ製下段FIX付4連引違い窓		アルミ製下段FIX付2連引違い窓		アルミ製2段FIX付両袖2段引違い窓		アルミ製2段FIX付両袖2段引違い窓		アルミ製2連引違い窓		アルミ製2連引違い窓	
室名		2階:廊下(1)		2階:廊下(1)		3階:女子便所・男子便所		3階:女子便所・男子便所		3階:廊下(2)		3階:廊下(2)	
材質		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製	
仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上	
枠見込		70		70		70		70		70		70	
建具見込		-		-		-		-		-		-	
硝子		透明ガラス t=3 撤去、網入磨板ガラス t=6.8		学校用強化透明ガラス t=4 一部新設 建具クリンク(ガラス共)		網入型板ガラス t=6.8撤去、アルミ補 t=3		学校用強化型板ガラス t=4 新設、建具クリンク(ガラス共)		透明ガラス t=3 撤去		学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)	
金物等		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え	
内部		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗	
備考								特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま	
符号	数量	356 AW [既設]	1箇所	356 AW [修繕]	1箇所	360 AW [既設]	1箇所	360 AW [修繕]	1箇所	361 AW [既設]	1箇所	361 AW [修繕]	1箇所
図													
形状		アルミ製下段FIX付2連引違い窓		アルミ製下段FIX付2連引違い窓		アルミ製2段4連引違い窓		アルミ製2段4連引違い窓		アルミ製2段4連引違い窓		アルミ製2段4連引違い窓	
室名		3階:廊下(2)		3階:廊下(2)		3階:普通教室(26)		3階:普通教室(26)		3階:普通教室(25)		3階:普通教室(25)	
材質		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製	
仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上	
枠見込		70		70		70		70		70		70	
建具見込		-		-		-		-		-		-	
硝子		透明ガラス t=3 撤去		学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)		透明ガラス t=3 撤去、網入磨板ガラス t=6.8、アルミ補 t=3		学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)		透明ガラス t=3撤去、アルミ補 t=3 一部撤去		学校用強化透明ガラス t=4 新設、建具クリンク(ガラス共)	
金物等		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え	
内部		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗		内部:木製額縁 OP塗		額縁は下地調整(RA種)の上 SOP塗	
備考				特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま	
符号	数量	362 AW [既設]	1箇所	362 AW [修繕]	1箇所	363 AW [既設]	1箇所	363 AW [修繕]	1箇所	364 AW [既設]	3箇所	364 AW [修繕]	3箇所
図													
形状		アルミ製両袖IX窓付引違い窓		アルミ製両袖IX窓付引違い窓		アルミ製2段FIX窓付両袖2段引違い窓		アルミ製2段FIX窓付両袖2段引違い窓		アルミ製2段2連引違い窓(イアイト仕様)		アルミ製2段2連引違い窓(イアイト仕様)	
室名		3階:階段B		3階:階段B		3階:第1相談室		3階:第1相談室		3階:コンピュータ室		3階:マルチム	
材質		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製	
仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上		BB-1仕上	
枠見込		70		70		70		70		70		70	
建具見込		-		-		-		-		-		-	
硝子		シリガラス t=3撤去、網入磨板ガラス t=6.8		学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)		透明ガラス t=3撤去、アルミ補 t=3		学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)		透明ガラス t=3 撤去 アルミ補 t=3		学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)	
金物等		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え		クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え	
内部		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗		内部:木製額縁 OP塗		木製額縁 OP塗	
備考				特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま	

符号	数量	365 AW	[既設]	1箇所	365 AW	[修繕]	1箇所	366 AW	[既設]	1箇所	366 AW	[修繕]	1箇所	367 AW	[既設]	1箇所	367 AW	[修繕]	1箇所					
窓	図																							
形状	アルミ製2段2連引違い窓(17タイプ仕様)				アルミ製2段2連引違い窓(17タイプ仕様)				アルミ製引違い窓				アルミ製引違い窓				アルミ製下段FIX付3連引違い窓				アルミ製下段FIX付3連引違い窓			
室名	3階:コピール準備室				3階:準備室				3階:前室				3階:前室				3階:前室、廊下(2)				3階:前室、廊下(2)			
材質	アルミ製				アルミ製				アルミ製				アルミ製				アルミ製				アルミ製			
仕上	BB-1仕上				BB-1仕上				BB-1仕上				BB-1仕上				BB-1仕上				BB-1仕上			
枠見込	70				70				70				70				70				70			
建具見込	-				-				-				-				-				-			
硝子	透明ガラス t=3 撤去				学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリーニング(ガラス共)				透明ガラス t=3 撤去				学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリーニング(ガラス共)				透明ガラス t=3 一部撤去				学校用強化透明ガラス t=4 一部新設 建具クリーニング(ガラス共)			
金物等	クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式				建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え				クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式				建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え				クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式				建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え			
内部	木製額縁 OP塗				木製額縁 OP塗				木製額縁 OP塗				木製額縁 OP塗				木製額縁 OP塗				木製額縁 OP塗			
備考													特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま							
符号	数量	368 AW	[既設]	1箇所	368 AW	[修繕]	1箇所	369 AW	[既設]	1箇所	369 AW	[修繕]	1箇所	370 AW	[既設]	1箇所	370 AW	[修繕]	1箇所					
窓	図																							
形状	アルミ製2連引違い窓				アルミ製2連引違い窓				アルミ製下段FIX付2連引違い窓				アルミ製下段FIX付2連引違い窓				アルミ製下段FIX付4連引違い窓				アルミ製下段FIX付2連引違い窓			
室名	3階:廊下(1)				3階:廊下(1)				3階:廊下(1)				3階:廊下(1)				3階:廊下(1)				3階:廊下(1)			
材質	アルミ製				アルミ製				アルミ製				アルミ製				アルミ製				アルミ製			
仕上	BB-1仕上				BB-1仕上				BB-1仕上				BB-1仕上				BB-1仕上				BB-1仕上			
枠見込	70				70				70				70				70				70			
建具見込	-				-				-				-				-				-			
硝子	透明ガラス t=3 撤去				学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリーニング(ガラス共)				透明ガラス t=3 撤去				学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリーニング(ガラス共)				透明ガラス t=3 撤去、アルミシール t=3				学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具クリーニング(ガラス共)			
金物等	クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式				建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え				クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式				建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え				クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式				建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え			
内部	木製額縁 OP塗				木製額縁 OP塗				木製額縁 OP塗				木製額縁 OP塗				木製額縁 OP塗				木製額縁 OP塗			
備考																								
符号	数量	371 AW	[既設]	1箇所	371 AW	[修繕]	1箇所																	
窓	図																							
形状	アルミ製下段FIX付4連引違い窓				アルミ製下段FIX付2連引違い窓																			
室名	3階:廊下(1)				3階:廊下(1)																			
材質	アルミ製				アルミ製																			
仕上	BB-1仕上				BB-1仕上																			
枠見込	70				70																			
建具見込	-				-																			
硝子	透明ガラス t=3 撤去、網入磨板ガラス t=6.8				学校用強化透明ガラス t=4 一部取替え 建具クリーニング(ガラス共)																			
金物等	クレセント、アングルビス、アルミ水切、付属金物一式				建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング打替え																			
内部	木製額縁 OP塗				木製額縁 OP塗																			
備考					特記なき箇所は全て現況のまま																			
訂正事項																								

符号	数量	372 AW	[撤去]	1 箇所					
窓 図									
形 状	アルミ製FIX窓								
室 名	3階:コピール室								
材質	仕上	アルミ製							BB-1仕上
枠見込	建具見込	70							-
硝 子	A ⁺ アクリル(70-トガラス t=5+A t=6 +70-トガラス t=5)								
金 物 等	アクリル [®] -ス、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗								
備 考									
符号	数量	311 AD	[撤去]	1 箇所	381 AW	[新設]			
窓 図									
形 状	アルミ製ラマ引違い窓付両開き扉				アルミ製引違い窓				
室 名	2階:廊下(3)				2階:廊下(3)				
材質	仕上	アルミ製			BB-1仕上	アルミ製			
枠見込	建具見込	70			-	70			
硝 子	網入型板ガラスt=6.8、アルミ [®] 補t=3				網入磨板ガラスt=6.8				
金 物 等	丁番、E/0yカウチ [®] -錠、ドアロック、ワッパ、ワッパ、引手、カウチ、アクリル [®] -ス、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗				カウチ、戸重、アルミ [®] 補、アクリル [®] -ス、付属金物一式 内部:アルミ製額縁 BB-1				
備 考									
符号	数量	321 AD	[撤去]	1 箇所	382 AW	[新設]		1 箇所	
窓 図									
形 状	アルミ製ラマ引違い窓付両開き扉				アルミ製引違い窓				
室 名	2階:廊下(3)				2階:廊下(3)				
材質	仕上	アルミ製			BB-1仕上	アルミ製			
枠見込	建具見込	70			-	70			
硝 子	網入型板ガラスt=6.8、アルミ [®] 補t=3				網入磨板ガラスt=6.8				
金 物 等	丁番、E/0yカウチ [®] -錠、ドアロック、ワッパ、ワッパ、引手、カウチ、アクリル [®] -ス、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗				カウチ、戸重、アルミ [®] 補、アクリル [®] -ス、付属金物一式 内部:アルミ製額縁 BB-1				
備 考									

訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号
 北 村 通
 彦根市長 彦根南町443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE

[新館棟]
 建具リスト(6)

SCALE	A2:1/100 A3:70.7%
-------	----------------------

SHEET NO.
A - 70

符号	数量	(301 AD) [撤去]	1箇所	(301 AD) [新設]	1箇所				
図									
形状	室名	アルミ製FIX窓付両開き扉 1階:廊下(3)		アルミ製FIX窓付片引き扉 1階:廊下(3)					
材質	仕上	アルミ製 BB-1仕上		アルミ製 BB-1仕上					
枠見込	建具見込	70 -		70 -					
硝子	網入磨板ガラス t=6.8、アルミ t=3		網入磨板ガラス t=6.8新設、アルミ t=3						
金物等	丁番、モ/ロックシリンダ-錠、ドアチェック、フラス落し、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗		丁番、モ/ロックシリンダ-錠、ドアチェック、フラス落し、 棒状引手 付属金物一式 内部:アルミ製額縁						
備考			沓摺:バリアフリー仕様						
符号	数量	(302 ADW) [既設]	1箇所	(302 ADW) [修繕]	1箇所				
図									
形状	室名	アルミ製窓及び2段引違い窓付両開きフック扉 1階:塗装室		アルミ製窓及び2段引違い窓付両開きフック扉 1階:昇降口2					
材質	仕上	アルミ製 BB-1仕上							
枠見込	建具見込	70 -							
硝子	透明ガラス t=3、スリガラス t=3 樹脂板 t=3、合板 撤去		学校用強化透明ガラス-t=4 新設、 学校用強化型板ガラス-t=4 新設、建具用-コック(ガラス共)						
金物等	丁番、モ/ロックシリンダ-錠、ドアチェック、フラス落し、引手、別付、ドア錠-錠、フラス取、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え						
備考			特記なき箇所は全て現況のまま						
符号	数量								
図									
形状	室名								
材質	仕上								
枠見込	建具見込								
硝子									
金物等									
備考									

訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所 <small>一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一般建築士登録 第219285号</small> 北村 通 <small>彦根市長 彦根南町4-4-3 電話 TEL 0749-22-1679</small>			東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)			[新館棟] 建具リスト(7)		SHEET NO. A - 71
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE	A2:1/100 A3:70.7%			

符号	数量	301 SD [既設]	1箇所	301 SD [修繕]	1箇所	302 SD [撤去]	1箇所	302 WD [新設]	1箇所	303 SD [既設]	1箇所	303 SD [修繕]	1箇所
図													
形状	室名	スチール製片開きフラッシュ扉 1階:第2技術室		スチール製片開きフラッシュ扉 1階:相談室1		スチール製親子開きフラッシュ扉 1階:第2技術室		木製親子開きフラッシュ扉 1階:相談室1		スチール製片開きフラッシュ扉 1階:第2技術準備室		スチール製片開きフラッシュ扉 1階:カウセリングルーム	
材質	仕上	スチール製	OP塗	スチール製	OP塗	スチール製	OP塗	スチール製(既設) 化粧合板	OP塗	スチール製	OP塗	スチール製	OP塗
枠見込	建具見込	100	40		下地調整(既種)の上 錆止め塗装(4種)+OP塗(1種)	100	40	100	36	100	40	100	下地調整(既種)の上 錆止め塗装(4種)+OP塗(1種)
硝子	金物等	型板ガラス t=4 撤去		学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)		型板ガラス t=4 撤去		学校用強化型板ガラス t=4 新設		型板ガラス t=4 撤去		学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)	
		丁番、握手、ドアフィッ、シリンダ-本締錠、沓摺、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗		建付調整一式		丁番、握手、ドアフィッ、シリンダ-本締錠、ワッ落し、沓摺、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗		丁番、握手、ドアフィッ、シリンダ-本締錠、沓摺、付属金物一式 既存木製額縁 SOP塗 新設		丁番、握手、ドアフィッ、シリンダ-本締錠、沓摺、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗		建付調整一式	
	備考			特記なき箇所は全て現況のまま								特記なき箇所は全て現況のまま	
符号	数量	311 SD [既設]	1箇所	311 SD [修繕]	1箇所	321 SD [既設]	1箇所	321 SD [修繕]	1箇所	331 SD [既設]	1箇所	331 SD [修繕]	1箇所
図													
形状	室名	スチール製片開きフラッシュ扉 2階:第3理科室		スチール製片開きフラッシュ扉 2階:視聴覚室		スチール製片開きフラッシュ扉 3階:コンピュータ室		スチール製片開きフラッシュ扉 3階:マルチルーム		スチール製片開きフラッシュ扉 R階:階段B		スチール製片開きフラッシュ扉 R階:階段B	
材質	仕上	スチール製	OP塗	スチール製	OP塗	スチール製	OP塗	スチール製	OP塗	スチール製	OP塗	スチール製	OP塗
枠見込	建具見込	100	40		下地調整(既種)の上 錆止め塗装(4種)+OP塗(1種)	100	40		下地調整(既種)の上 錆止め塗装(4種)+OP塗(1種)	80	40		下地調整(既種)の上 錆止め塗装(4種)+OP塗(1種)
硝子	金物等	型板ガラス t=4 撤去		学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)		型板ガラス t=4 撤去		学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具クリンク(ガラス共)		型板ガラス t=4 撤去		建具クリンク	
		丁番、握手、ドアフィッ、シリンダ-本締錠、沓摺、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗		建付調整一式		丁番、握手、ドアフィッ、シリンダ-本締錠、沓摺、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗		丁番、握手、ドアフィッ、シリンダ-本締錠、沓摺、付属金物一式 建付調整一式		丁番、握手、モ/ロックシリンダ-錠、沓摺、付属金物一式 内部:木製額縁 OP塗		建付調整一式 外部:建具枠廻りクリンク 打替え	
	備考							特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま	
訂正事項													

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号
 北村 通
 彦根市長巻南町443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

[新館棟]
 建具リスト(8)
 SHEET NO. A-72
 DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY DATE SCALE A2:1/100 A3:70.7%

符号	数量	301 SG [既設]	1箇所	301 SG [修繕]	1箇所	302 SG [既設]	1箇所	302 SG [修繕]	1箇所	303 SG [既設]	1箇所	303 SG [修繕]	1箇所
図													
形状		スチール製固定ガリ		スチール製固定ガリ		スチール製固定ガリ		スチール製固定ガリ		スチール製固定ガリ		スチール製固定ガリ	
室名		R階:屋上-A		R階:屋上-A		R階:屋上-A		R階:屋上-A		R階:屋上-A		R階:屋上-A	
材質	仕上	スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製	
枠見込	建具見込	80		80		80		80		80		80	
硝子				建具クリンク				建具クリンク				建具クリンク	
金物等		付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え		付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え		付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え	
備考				特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま	
符号	数量												
図													
形状													
室名													
材質	仕上												
枠見込	建具見込												
硝子													
金物等													
備考													
符号	数量												
図													
形状													
室名													
材質	仕上												
枠見込	建具見込												
硝子													
金物等													
備考													
訂正事項													

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通
 彦根市長豊南町443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

[新館棟]
 建具リスト(9)
 SHEET NO. A-73
 DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY DATE SCALE A2:1/100 A3:70.7%

符号	数量	303 SPT [既設]	1箇所	303 SPT [修繕]	1箇所	304 SPT [既設]	1箇所	304 SPT [修繕]	1箇所	305 SPT [既設]	1箇所	305 SPT [修繕]	1箇所
図													
形状		スチール製学校間仕切 撤去		スチール製学校間仕切 新設		スチール製学校間仕切 撤去		スチール製学校間仕切 新設		スチール製学校間仕切 撤去		スチール製学校間仕切 撤去	
室名		1階:第2技術準備室		1階:生徒用相談室		1階:第2技術室		1階:相談室		1階:第2技術室		1階:生徒会室	
材質		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製	
仕上		焼付塗装		焼付塗装(指定色)		焼付塗装		焼付塗装(指定色)		焼付塗装		焼付塗装	
枠見込		80		30		80		30		80		30	
建具見込		30		30		30		30		30		30	
硝子		透明ガラス t=3、合板 t=4 撤去		学校用強化透明ガラス t=4 学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具サッシ(ガラス共)		透明ガラス t=3 スリガラス t=3 撤去		学校用強化透明ガラス t=4 学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具サッシ(ガラス共)		アルミサッシ 透明ガラス t=3、スリガラス t=3 撤去		学校用強化透明ガラス t=4 学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具サッシ(ガラス共)	
金物等		戸車、クレセント、付属金物一式		建付調整一式		戸車、クレセント、付属金物一式		建付調整一式		戸車、クレセント、付属金物一式		建付調整一式	
備考		丁番、握玉、シツダ-錠、フラス落し、ドアフィッパ 撤去		丁番、握玉、シツダ-錠、フラス落し、ドアフィッパ、切窓 新設		シツダ-錠錠、掘込引手 撤去		シツダ-錠錠、掘込引手、切窓 新設		シツダ-錠錠、掘込引手 撤去		シツダ-錠錠、掘込引手、切窓 新設	
備考		特記なき箇所は全て現況のまま											
符号	数量	306 SPT [撤去]	1箇所			311 SPT [既設]	2箇所	311 SPT [修繕]	2箇所	312 SPT [既設]	2箇所	312 SPT [修繕]	2箇所
図													
形状		スチール製学校間仕切		スチール製学校間仕切 扉のみ撤去		スチール製学校間仕切 扉のみ新設		スチール製学校間仕切 扉のみ新設		スチール製学校間仕切 扉のみ撤去		スチール製学校間仕切 扉のみ新設	
室名		1階:普通教室(20)		2階:普通教室(21)、(22)		2階:普通教室(21)、(22)		2階:普通教室(21)、(22)		2階:普通教室(21)、(22)		2階:普通教室(21)、(22)	
材質		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製	
仕上		焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装(指定色)		焼付塗装(指定色)		焼付塗装		焼付塗装	
枠見込		80		80		80		30		80		30	
建具見込		30		30		30		30		30		30	
硝子		アルミサッシ 透明ガラス t=3、スリガラス t=3		透明ガラス t=3 スリガラス t=3 撤去		学校用強化透明ガラス t=4、学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具サッシ(ガラス共)		アルミサッシ 透明ガラス t=3、スリガラス t=3 撤去		学校用強化透明ガラス t=4、学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具サッシ(ガラス共)		学校用強化透明ガラス t=4、学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具サッシ(ガラス共)	
金物等		戸車、クレセント、付属金物一式		戸車、クレセント、付属金物一式		建付調整一式 普通教室(21)のみ腰引違い窓戸車取替え		戸車、クレセント、付属金物一式		建付調整一式 普通教室(22)のみハッチ取替え		建付調整一式 普通教室(22)のみハッチ取替え	
備考		シツダ-錠錠、掘込引手		シツダ-錠錠、掘込引手 撤去		シツダ-錠錠、掘込引手、切窓 新設		シツダ-錠錠、掘込引手 撤去		シツダ-錠錠、掘込引手、切窓 新設		シツダ-錠錠、掘込引手、切窓 新設	
備考		特記なき箇所は全て現況のまま											
符号	数量	313 SPT [既設]	1箇所	313 SPT [修繕]	1箇所	314 SPT [既設]	1箇所	314 SPT [修繕]	1箇所	315 SPT [既設]	1箇所	315 SPT [修繕]	1箇所
図													
形状		スチール製学校間仕切 扉のみ撤去		スチール製学校間仕切 扉のみ新設		スチール製学校間仕切 扉及び引戸、掲示板のみ撤去		スチール製学校間仕切 扉及び引違い窓、掲示板のみ新設		スチール製学校間仕切 引戸及び掲示板のみ撤去		スチール製学校間仕切 引違い窓及び掲示板のみ新設	
室名		2階:第3理科準備室		2階:準備室		2階:第3理科室		2階:視聴覚室		2階:第3理科室		2階:視聴覚室	
材質		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製	
仕上		焼付塗装		焼付塗装(指定色)		焼付塗装		焼付塗装(指定色)		焼付塗装		焼付塗装	
枠見込		80		30		80		30		80		30	
建具見込		30		30		30		30		30		30	
硝子		透明ガラス t=3 スリガラス t=3 撤去		学校用強化透明ガラス t=4、学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具サッシ(ガラス共)		透明ガラス t=3 スリガラス t=3 撤去		学校用強化透明ガラス t=4、学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具サッシ(ガラス共)		透明ガラス t=3 撤去		学校用強化透明ガラス t=4 新設 建具サッシ(ガラス共)	
金物等		戸車、クレセント、付属金物一式		建付調整一式		戸車、クレセント、付属金物一式		建付調整一式		戸車、クレセント、付属金物一式		建付調整一式	
備考		丁番、握玉、シツダ-錠、フラス落し、ドアフィッパ 撤去		丁番、握玉、シツダ-錠、フラス落し、ドアフィッパ、切窓 新設		シツダ-錠錠、掘込引手、戸車、クレセント 撤去		シツダ-錠錠、掘込引手、切窓、戸車、クレセント 新設		戸車、クレセント 撤去		戸車、クレセント 新設	
備考		特記なき箇所は全て現況のまま											

符号	数量	316 SPT [既設]	1箇所	316 SPT [修繕]	1箇所	317 SPT [既設]	1箇所	317 SPT [修繕]	1箇所	318 SPT [既設]	1箇所	318 SPT [修繕]	1箇所
図													
形状	スチール製学校間仕切 扉及び引戸、掲示板のみ撤去		スチール製学校間仕切 扉及び引違い窓、掲示板のみ新設		スチール製学校間仕切 扉及び腰'補'のみ撤去		スチール製学校間仕切 扉及び腰'補'のみ新設		スチール製学校間仕切 扉及び腰'補'のみ撤去		スチール製学校間仕切 扉及び腰'補'のみ新設		
室名	2階:第3理科室		2階:視聴覚室		3階:第2音楽室・第2音楽準備室		3階:第2音楽室・第2音楽準備室		3階:第2音楽室		3階:第2音楽室		
材質	スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		
仕上	焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		
棟見込	80		30		80		30		80		30		
建具見込	30		30		30		30		30		30		
硝子	アルミ'補' 透明ガラス t=3、スリガラス t=3 一部撤去		学校用強化透明ガラス t=4、学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具'コング' (ガラス共)		透明ガラス t=3、スリガラス t=3 一部撤去		学校用強化透明ガラス t=4、学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具'コング' (ガラス共)		透明ガラス t=3 スリガラス t=3 一部撤去		学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具'コング' (ガラス共)		
金物等	戸車、クレント、付属金物一式		建付調整一式		戸車、クレント、付属金物一式		建付調整一式		戸車、クレント、付属金物一式		建付調整一式		
備考	シツダ-鎌錠、掘込引手、戸車、クレント 撤去		シツダ-鎌錠、掘込引手、切窓、戸車、クレント 新設		シツダ-鎌錠、掘込引手 撤去		シツダ-鎌錠、掘込引手、切窓 新設		シツダ-鎌錠、掘込引手 撤去		シツダ-鎌錠、掘込引手、切窓 新設		
備考			特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま		
符号	数量	321 SPT [既設]	2箇所	321 SPT [修繕]	2箇所	322 SPT [既設]	2箇所	322 SPT [修繕]	2箇所	323 SPT [既設]	1箇所	323 SPT [修繕]	1箇所
図													
形状	スチール製学校間仕切 扉のみ撤去		スチール製学校間仕切 扉のみ新設		スチール製学校間仕切 扉のみ撤去		スチール製学校間仕切 扉のみ新設		スチール製学校間仕切		スチール製学校間仕切 扉のみ新設		
室名	3階:普通教室(23)、(24)		3階:普通教室(23)、(24)		3階:普通教室(23)、(24)		3階:普通教室(23)、(24)		3階:前室		3階:前室		
材質	スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		
仕上	焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		
棟見込	80		30		80		30		80		30		
建具見込	30		30		30		30		30		30		
硝子	透明ガラス t=3 スリガラス t=3 一部撤去		学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具'コング' (ガラス共)		アルミ'補' 透明ガラス t=3、スリガラス t=3 一部撤去		学校用強化透明ガラス t=4、学校用強化型板ガラス t=4 新設 建具'コング' (ガラス共)		透明ガラス t=3、スリガラス t=3撤去		学校用強化透明ガラス t=4 新設 学校用強化型板ガラス t=4 新設		
金物等	戸車、クレント、付属金物一式		建付調整一式		戸車、クレント、付属金物一式		建付調整一式		丁番、握玉、シツダ-錠、フナス落し、トアフィック、		建付調整一式		
備考	シツダ-鎌錠、掘込引手 撤去		シツダ-鎌錠、掘込引手、切窓 新設		シツダ-鎌錠、掘込引手 撤去		シツダ-鎌錠、掘込引手、切窓 新設		戸車、クレント、付属金物一式		シツダ-鎌錠、掘込引手、切窓、戸車、クレント 新設		
備考			特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま		
符号	数量	324 SPT [既設]	1箇所	324 SPT [修繕]	1箇所	325 SPT [既設]	1箇所	325 SPT [修繕]	1箇所	326 SPT [既設]	1箇所	326 SPT [修繕]	1箇所
図													
形状	スチール製学校間仕切		スチール製学校間仕切 扉のみ新設		スチール製学校間仕切		スチール製学校間仕切 扉のみ新設		スチール製学校間仕切		スチール製学校間仕切 扉のみ新設		
室名	3階:コピ'ユ'ク準備室		3階:準備室		3階:コピ'ユ'ク室		3階:マルチルーム		3階:コピ'ユ'ク室		3階:マルチルーム		
材質	スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		
仕上	焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		
棟見込	80		30		80		30		80		30		
建具見込	30		30		30		30		30		30		
硝子	透明ガラス t=3、スリガラス t=3撤去		学校用強化透明ガラス t=4 新設 学校用強化型板ガラス t=4 新設		透明ガラス t=3、スリガラス t=3撤去		学校用強化透明ガラス t=4 新設 学校用強化型板ガラス t=4 新設		透明ガラス t=3、スリガラス t=3撤去		学校用強化透明ガラス t=4 新設 学校用強化型板ガラス t=4 新設		
金物等	シツダ-鎌錠、掘込引手、戸車、クレント、付属金物一式		建付調整一式		シツダ-鎌錠、掘込引手、戸車、クレント、付属金物一式		建付調整一式		シツダ-鎌錠、掘込引手、戸車、クレント、付属金物一式		建付調整一式		
備考	シツダ-鎌錠、掘込引手、切窓、戸車、クレント 新設		特記なき箇所は全て現況のまま		シツダ-鎌錠、掘込引手、切窓、戸車、クレント 新設		特記なき箇所は全て現況のまま		シツダ-鎌錠、掘込引手、切窓、戸車、クレント 新設		特記なき箇所は全て現況のまま		
備考			特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま				特記なき箇所は全て現況のまま		

符号	数量	327 SPT [既設撤去]	1箇所	327 SPT [新設]	1箇所	328 SPT [既設撤去]	1箇所	328 SPT [新設]	1箇所
図									
形状	スチール製学校間仕切 枠共撤去		スチール製学校間仕切 枠共新設		スチール製学校間仕切 枠共撤去		スチール製学校間仕切 枠共新設		
室名	3階:普通教室(25)		3階:普通教室(25)		3階:普通教室(26)		3階:普通教室(26)		
材質	スチール製	焼付塗装	スチール製	焼付塗装(指定色)	スチール製	焼付塗装	スチール製	焼付塗装(指定色)	
枠見込	80	30	80	30	80	30	80	30	
硝子	透明ガラス t=3、スリガラス t=3、アルミ'枠 撤去		学校強化透明ガラス t=4、学校強化型板ガラス t=4、アルミ'枠 t=3 新設		透明ガラス t=3、スリガラス t=3、アルミ'枠 撤去		学校強化透明ガラス t=4、学校強化型板ガラス t=4、アルミ'枠 t=3 新設		
金物等	シツク-鍵錠、掘込引手、戸車、ルレット、アルミ'列、付属金物一式 撤去		ルレット、戸車、アルミ'列、掘込引手、引戸錠、切窓、付属金物一式 新設		シツク-鍵錠、掘込引手、戸車、ルレット、アルミ'列、付属金物一式 撤去		ルレット、戸車、アルミ'列、掘込引手、引戸錠、切窓、付属金物一式 新設		
備考			下枠:ステンレス製フラットレール 新設				下枠:ステンレス製フラットレール 新設		
符号	数量	301 LSD [新設]	1箇所						
図									
形状	軽量鋼製片開き戸								
室名	1階:カウンセリングルーム								
材質	焼付塗装鋼板	焼付塗装鋼板							
枠見込	129	30							
硝子	学校強化型板ガラス t=4								
金物等	丁重、シツク-錠、掘込引手、戸車、ルレット、アルミ'列、付属金物一式								
備考									
符号	数量								
図									
形状									
室名									
材質	焼付塗装鋼板	焼付塗装鋼板							
枠見込	129	30							
硝子									
金物等									
備考									

訂正事項	
------	--

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通
 彦根市長 豊原町 443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

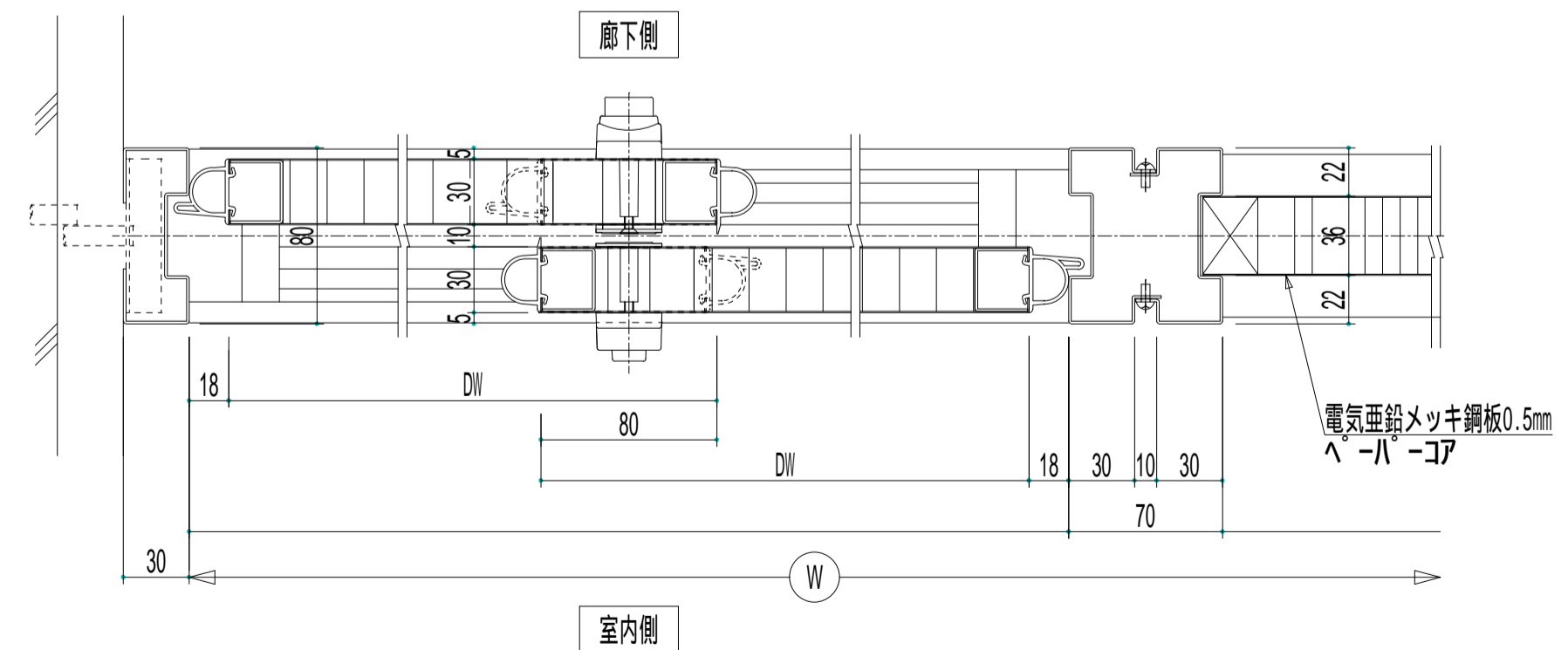
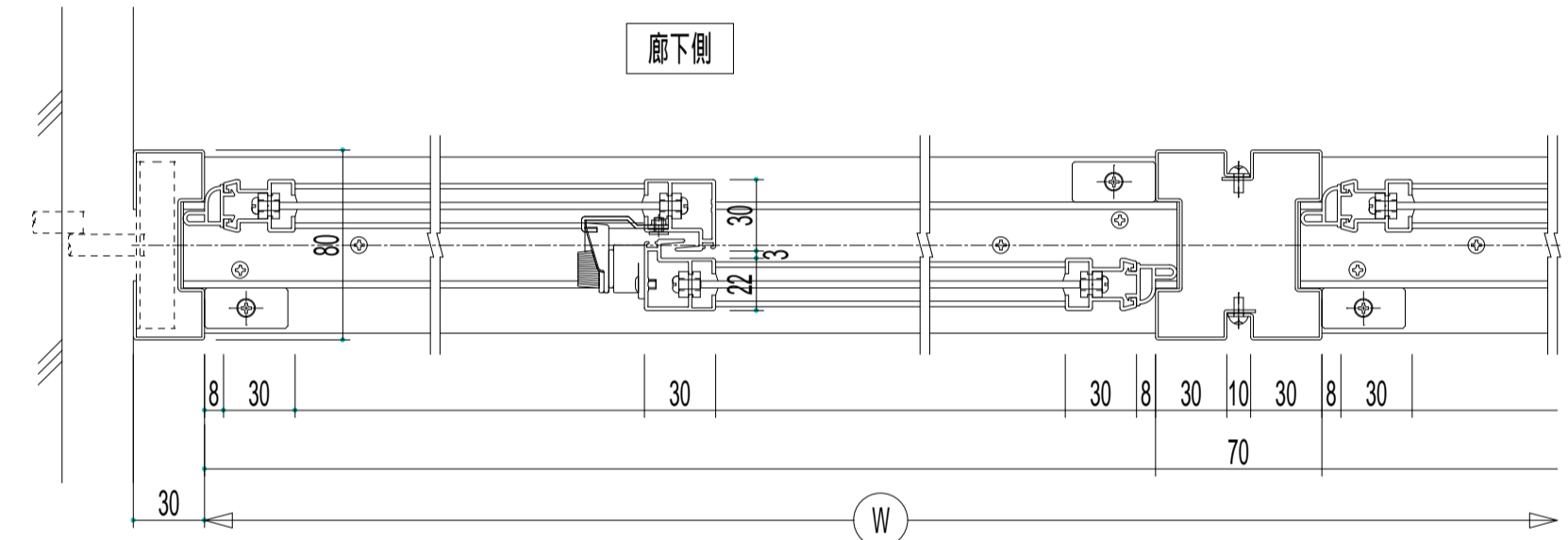
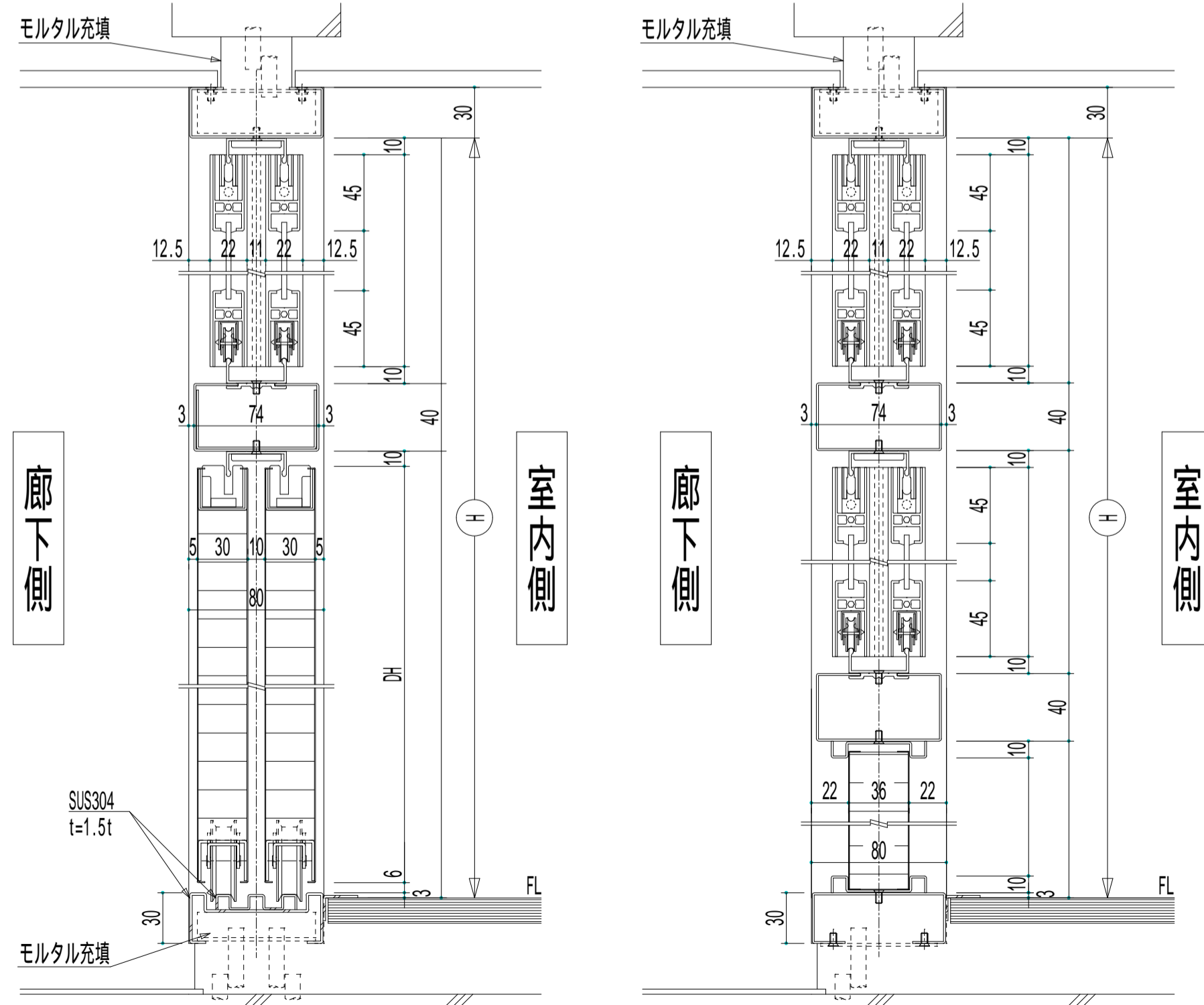
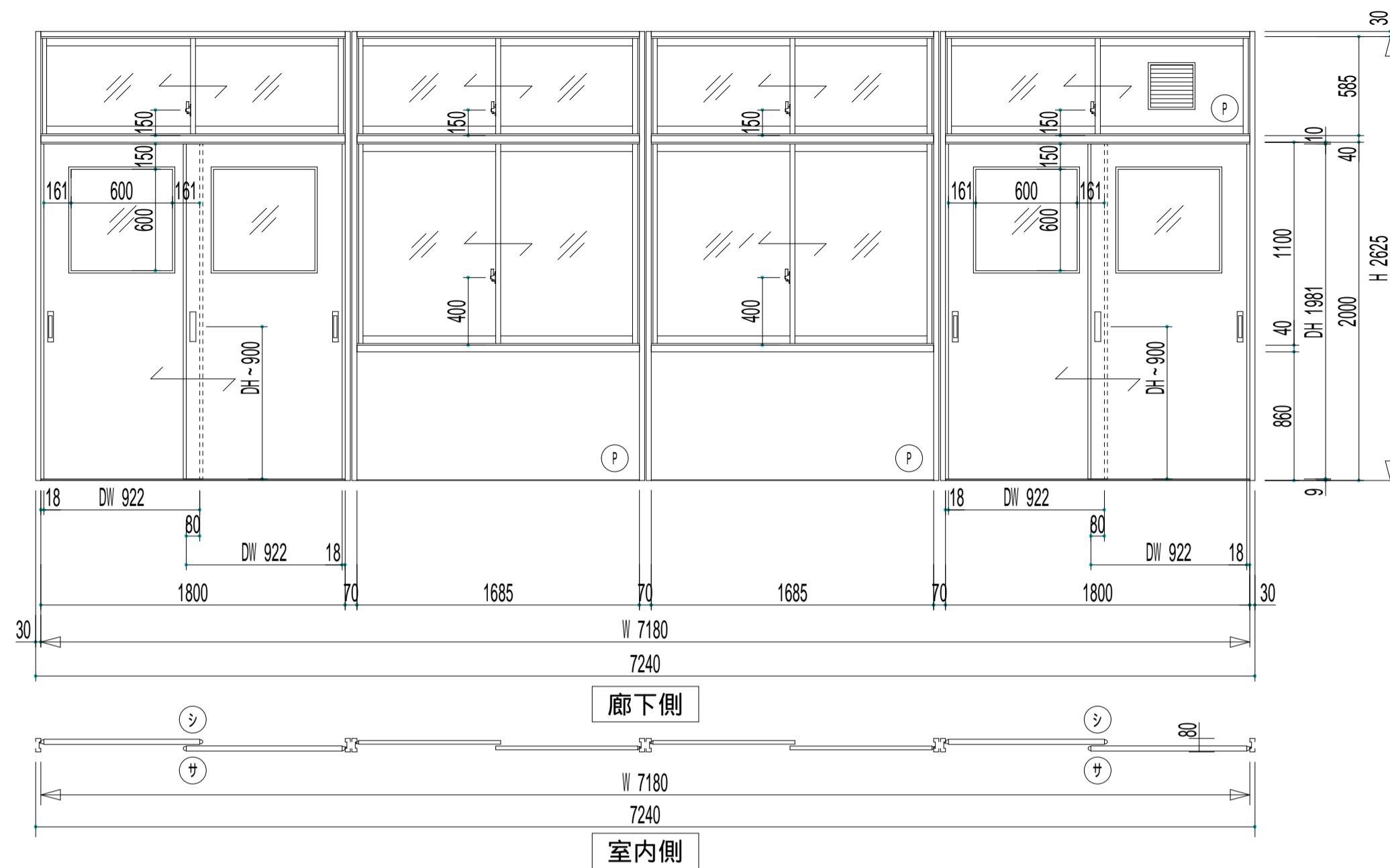
DRAWN BY _____ CHECKED BY _____ SUBMITTED BY _____
 DATE _____ SCALE A2:1/100 A3:70.7%

[新館棟]
 建具リスト(12)

SHEET NO. A - 76

材料仕様 スチール製学校間仕切 仕様書

部品名	部 材 名	材質・規格	板厚	塗 装
枠	上枠・下枠・縦枠・無目レール	溶融亜鉛メッキ鋼板	1.2mm	焼付塗装(指定色)
	レール	アルミ	—	アルマイトシルバー色
	沓 摺り	SUS304	1.5mm	—
	沓 摺りレール	SUS304	1.5mm	—
扉	表面材	電気亜鉛メッキ鋼板	0.5mm	焼付塗装(指定色)
	補強材	溶融亜鉛メッキ鋼板	1.2mm	—
	芯材	ペーパーコア	—	—
	手詰防止パッキン	PVC	—	—
	小窓(アルミ)	JIS H4100.A6063S-T5	1.2mm	アルマイトシルバー色
	ガラリ(アルミ)	JIS H4100.A6063S-T5	1.5mm	—
窓	上框・中框・下框	JIS H4100.A6063S-T5	1.2mm	焼付塗装(指定色)
	縦框・召合框	JIS H4100.A6063S-T5	—	—
	ガラリ(アルミ)	JIS H4100.A6063S-T5	1.5mm	アルマイトシルバー色
	手詰防止パッキン	PVC	—	—
パネル	鋼板	電気亜鉛メッキ鋼板	0.5mm	焼付塗装(指定色)
	補強	溶融亜鉛メッキ鋼板	1.2mm	—
	芯材	ペーパーコア	—	—
ステー・アンカー	ステー・アンカー	特殊溶融亜鉛メッキ鋼板	1.6mm	—



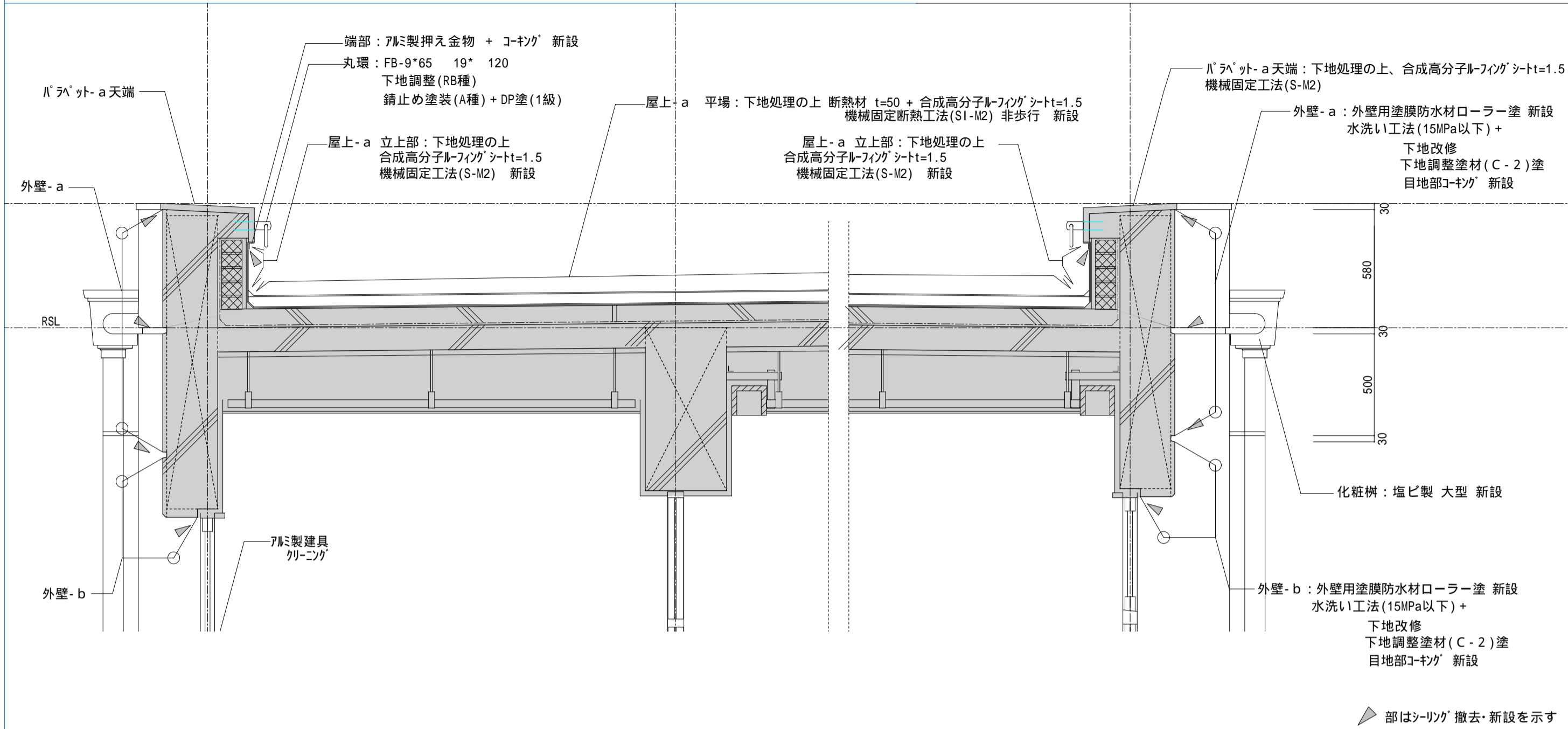
訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号
 北村 通
 彦根市長豊南町443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
 DRAWN BY
 CHECKED BY
 SUBMITTED BY

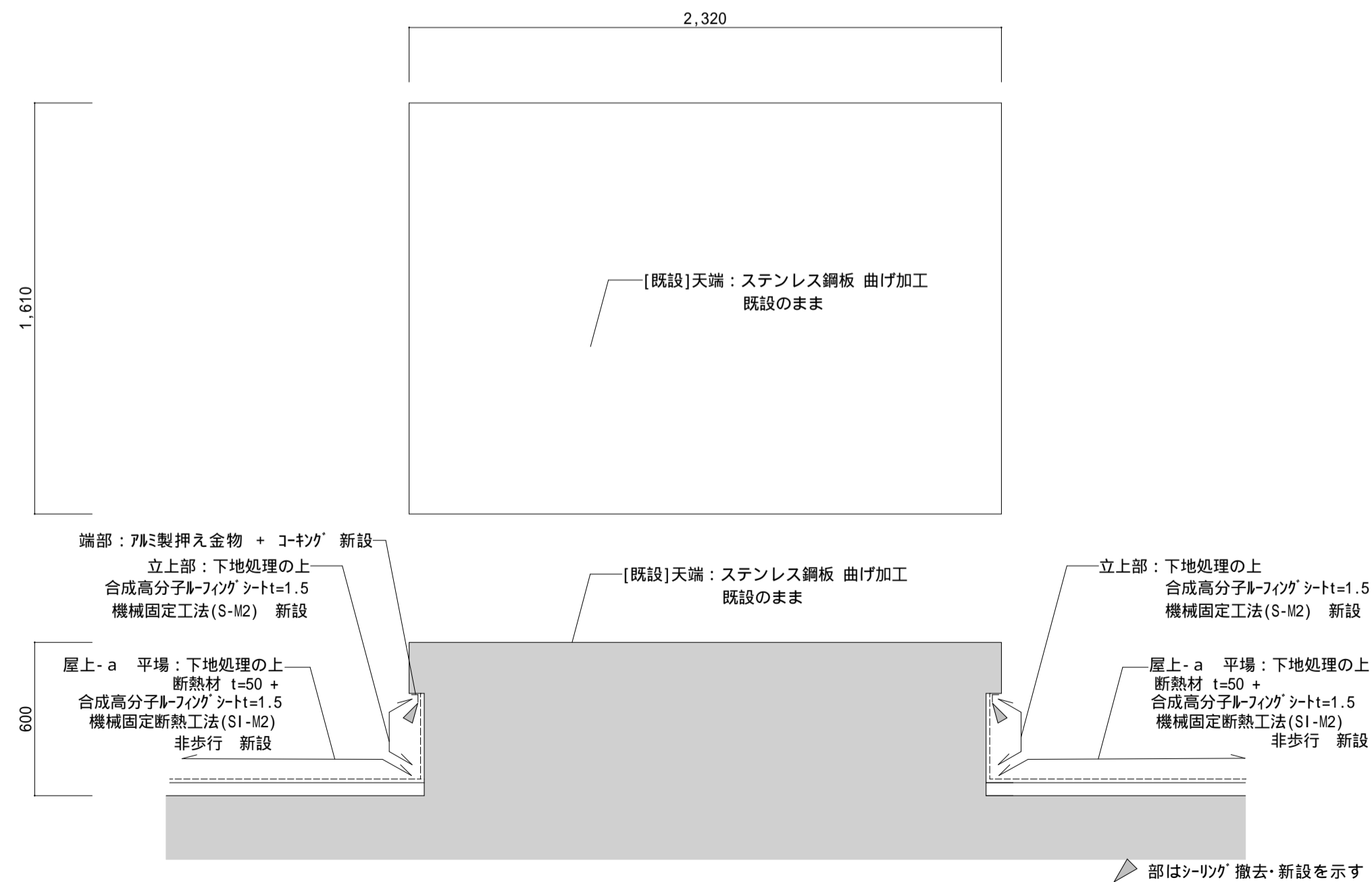
[新館棟]
 建具詳細図(SPT-327)
 DATE
 SCALE A2:1/20
 A3:70.7%
 SHEET NO. A-77

屋上 パラペット - A 詳細図 S=1/20

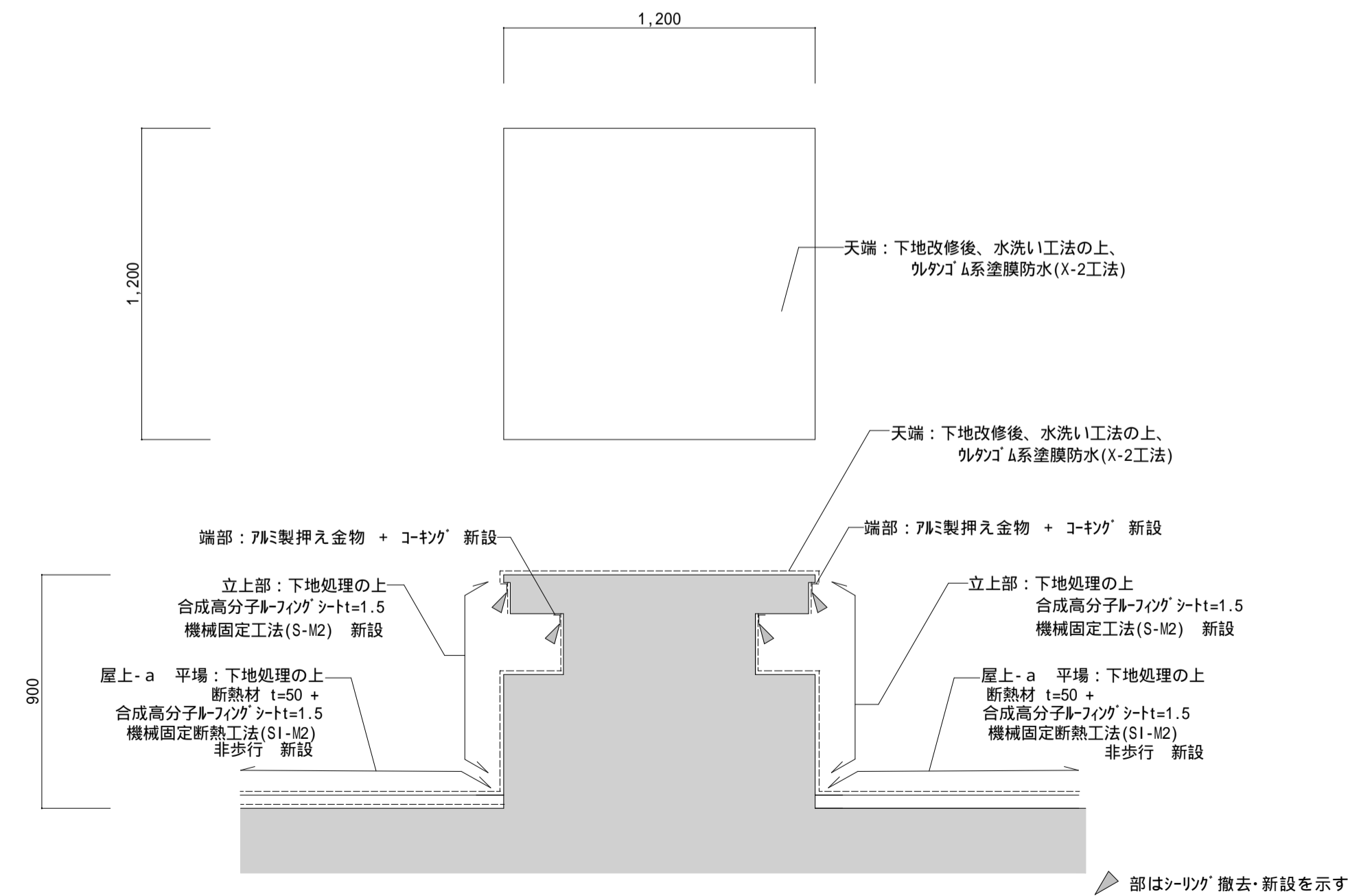


部はシーリング 撤去・新設を示す

屋上 配管取り出し口 - a 詳細図 S=1/20



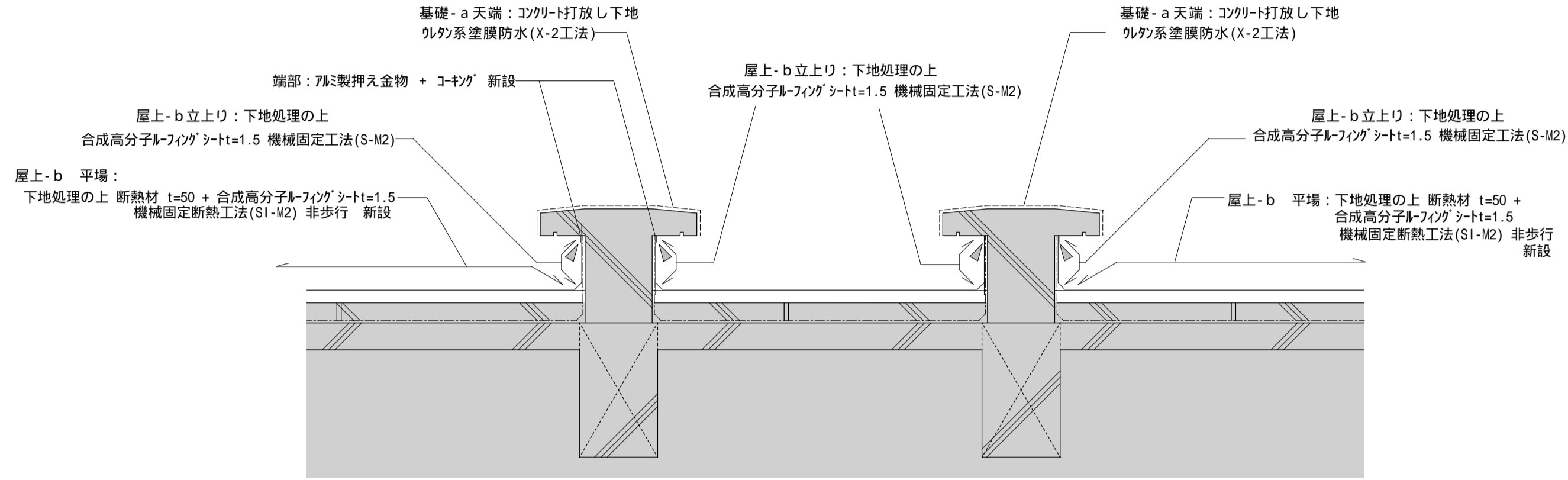
屋上 配管取り出し口 - b 詳細図 S=1/20



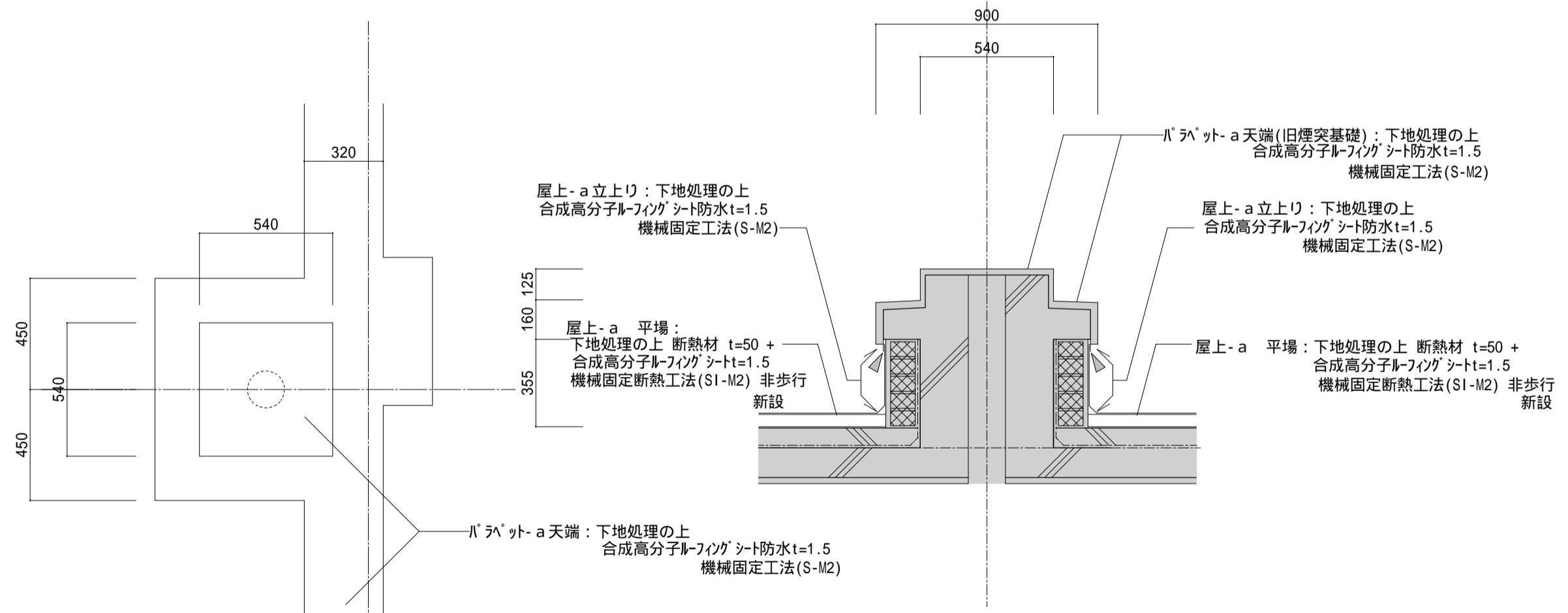
訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号
 北村 通
 彦根市長 彦根南町 443番地 TEL 0749-22-1679

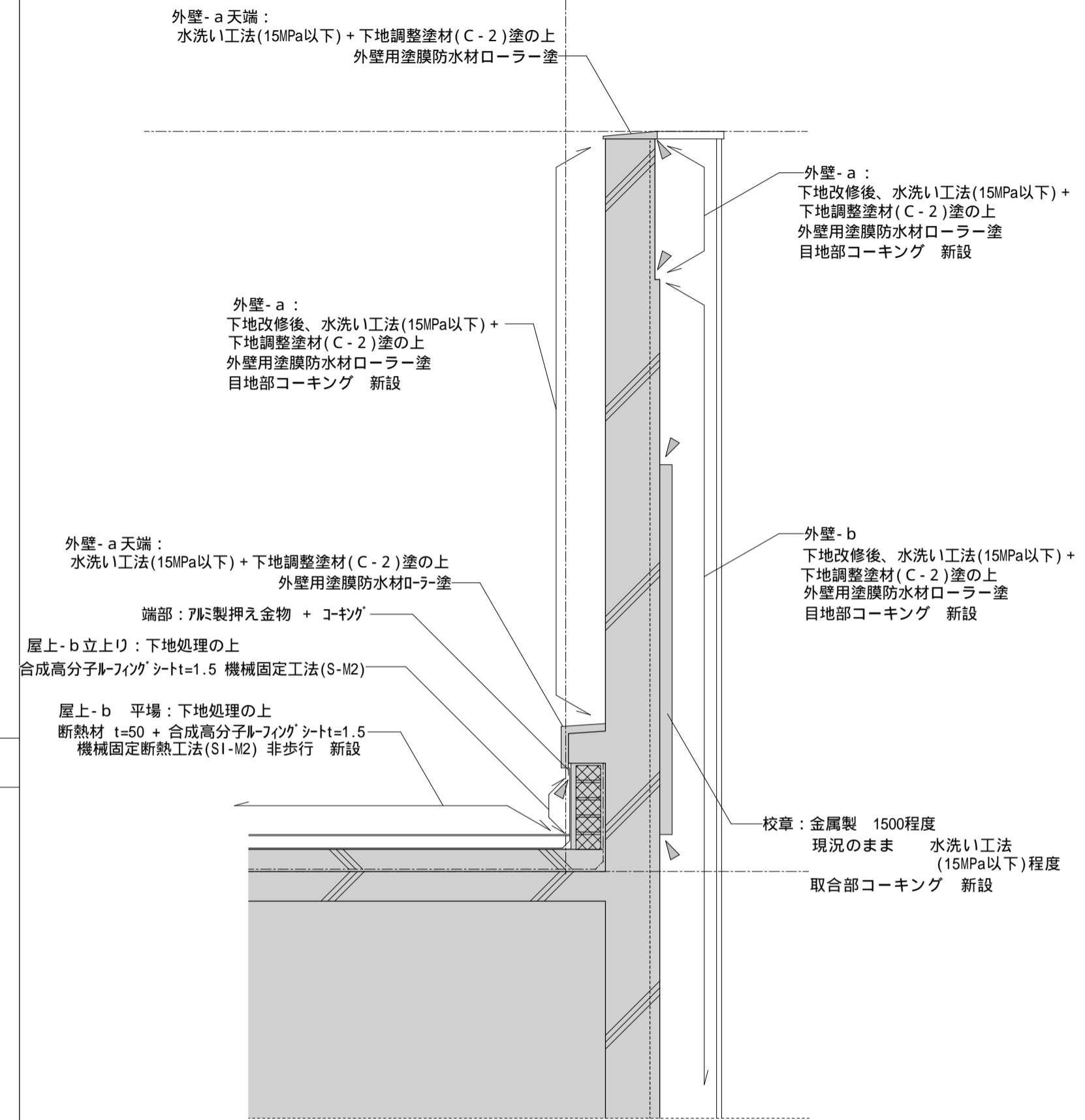
東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)			[新館棟]		SHEET NO.
部分詳細図(1)					A - 78
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE	A2:1/2 1/10 A3:70.7%



部はシーリング 撤去・新設を示す



部はシーリング 撤去・新設を示す

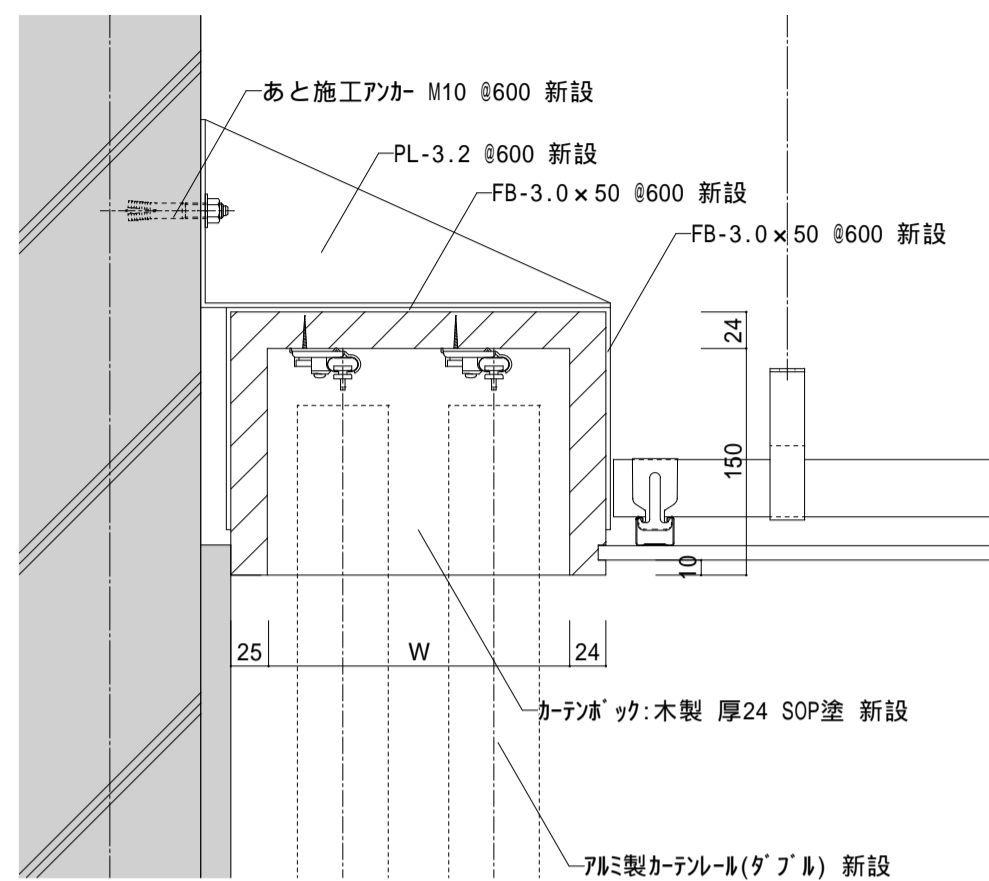


部はシーリング 撤去・新設を示す

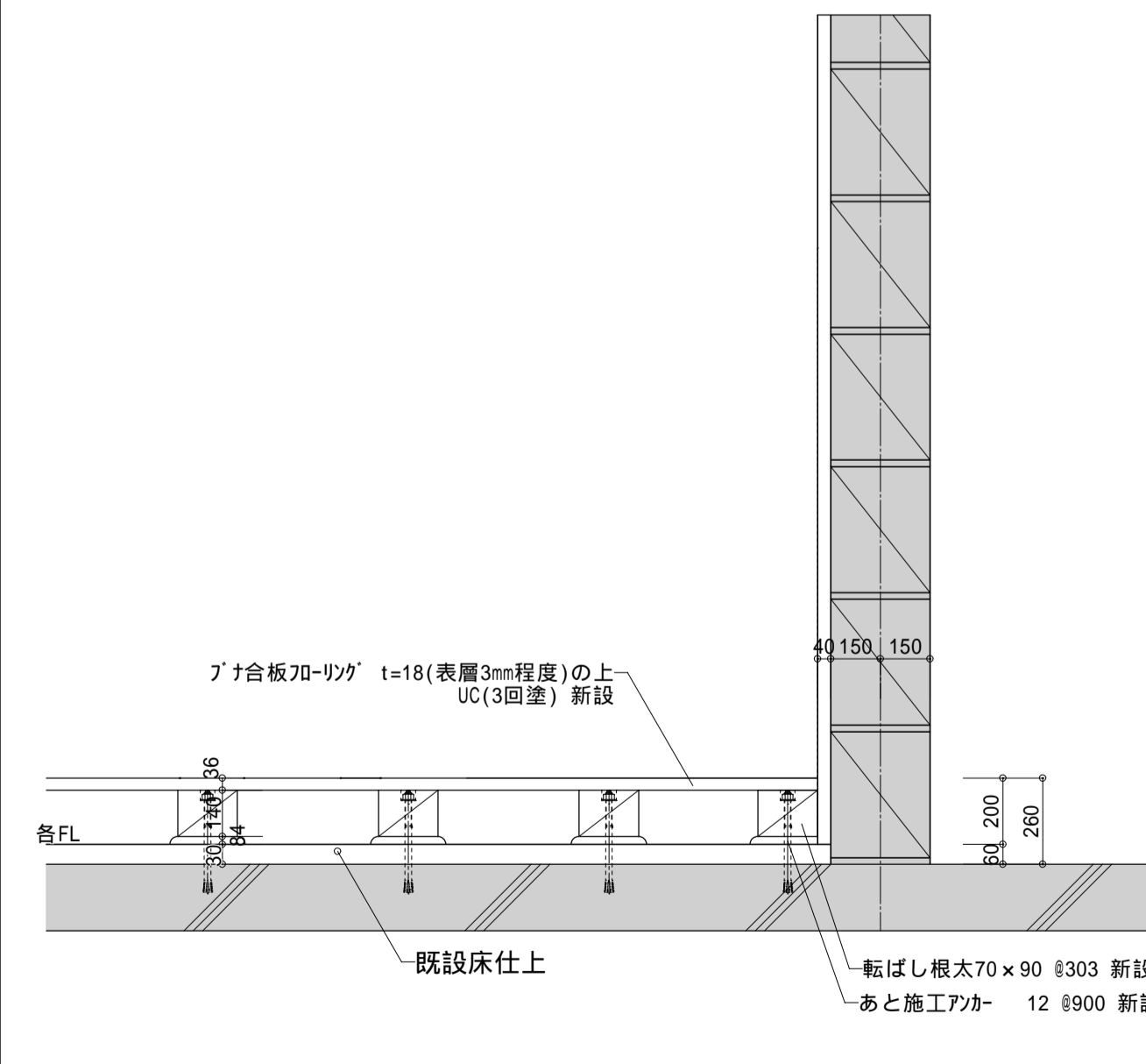
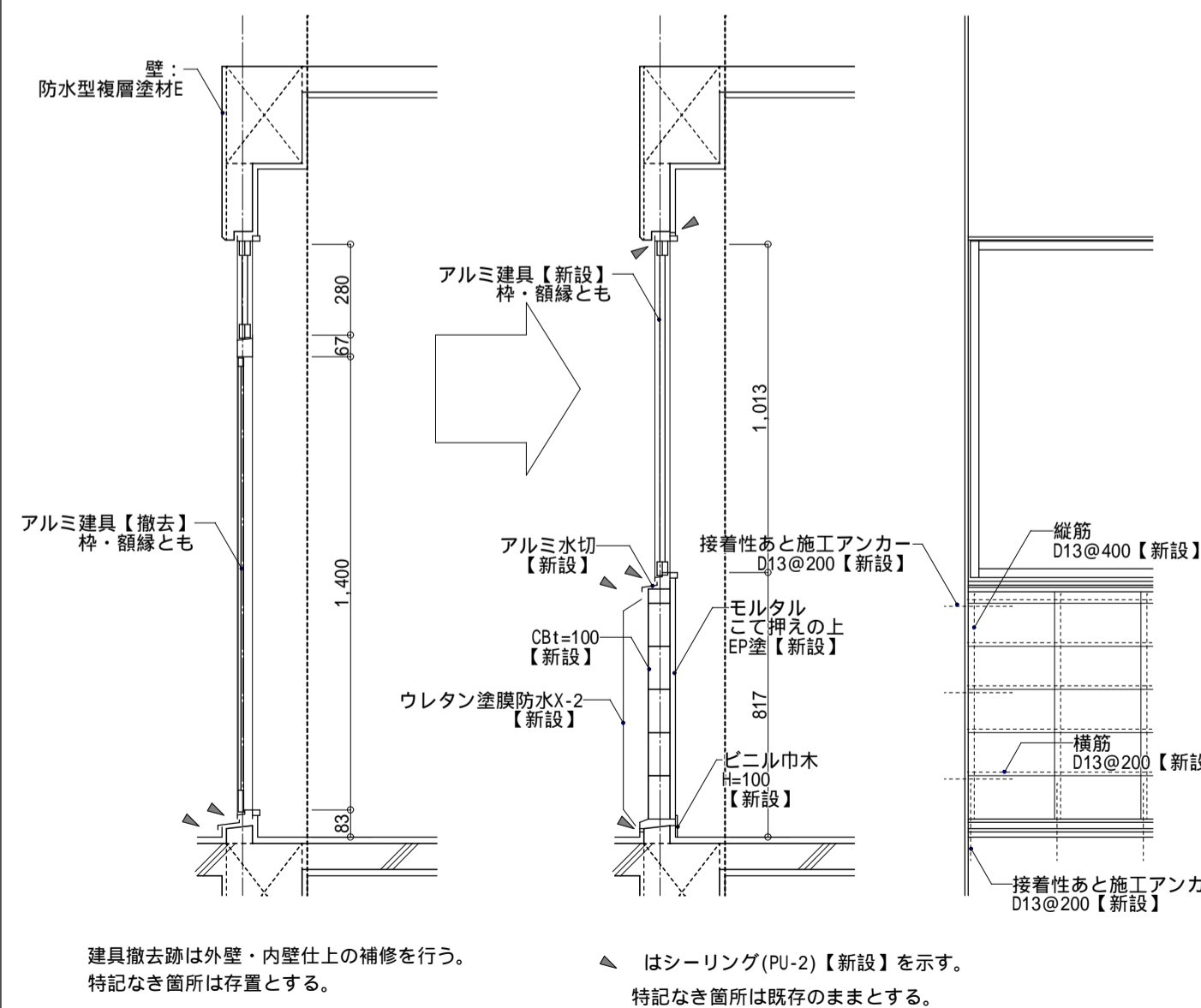
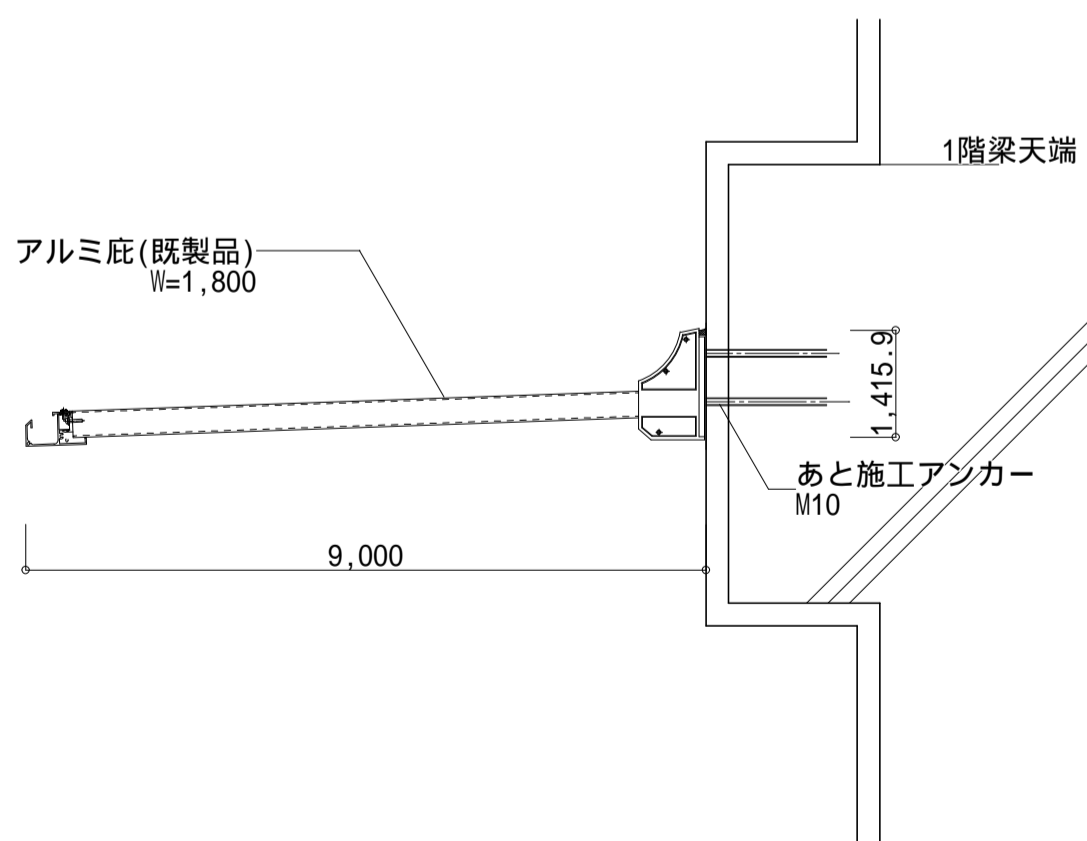
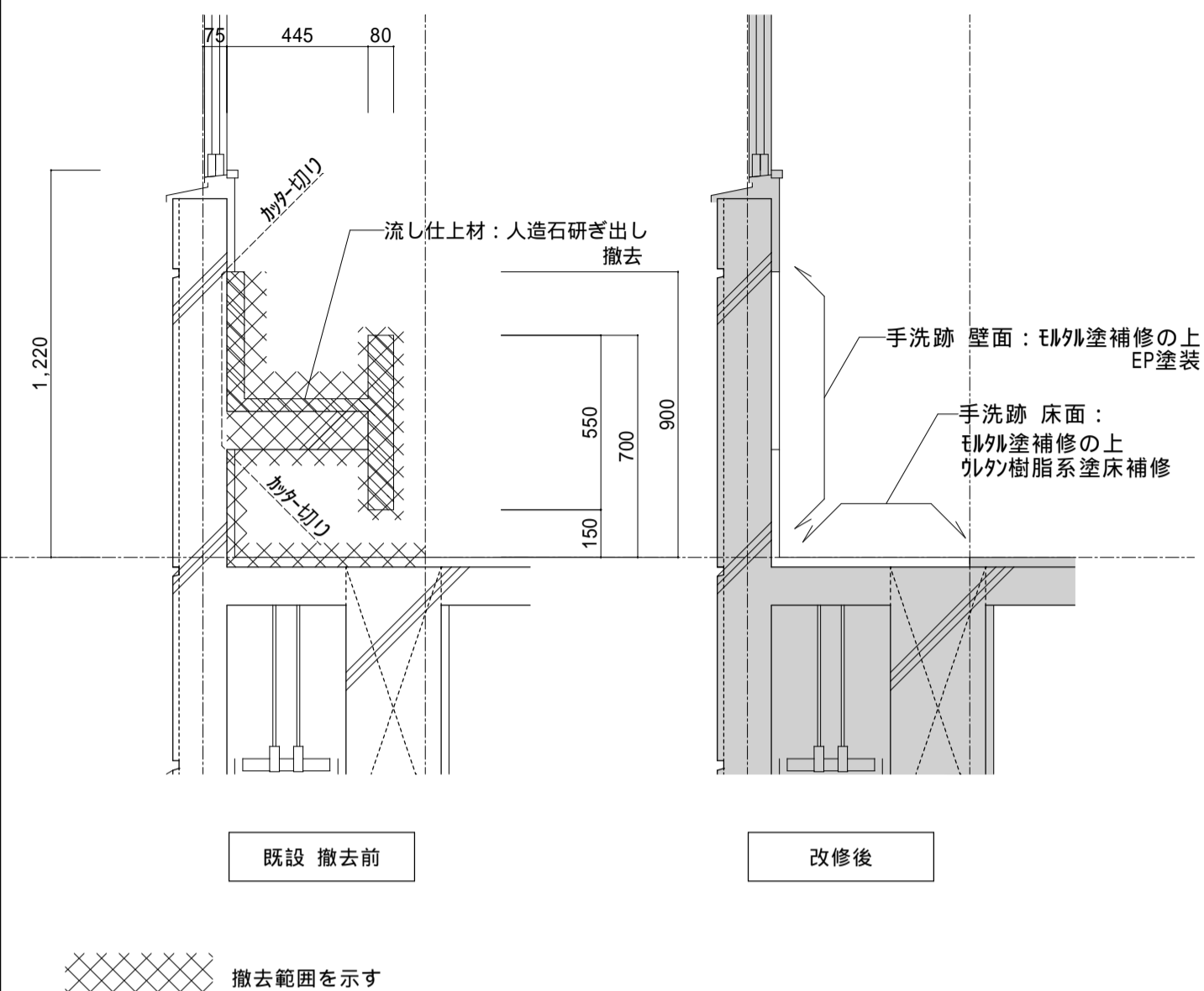
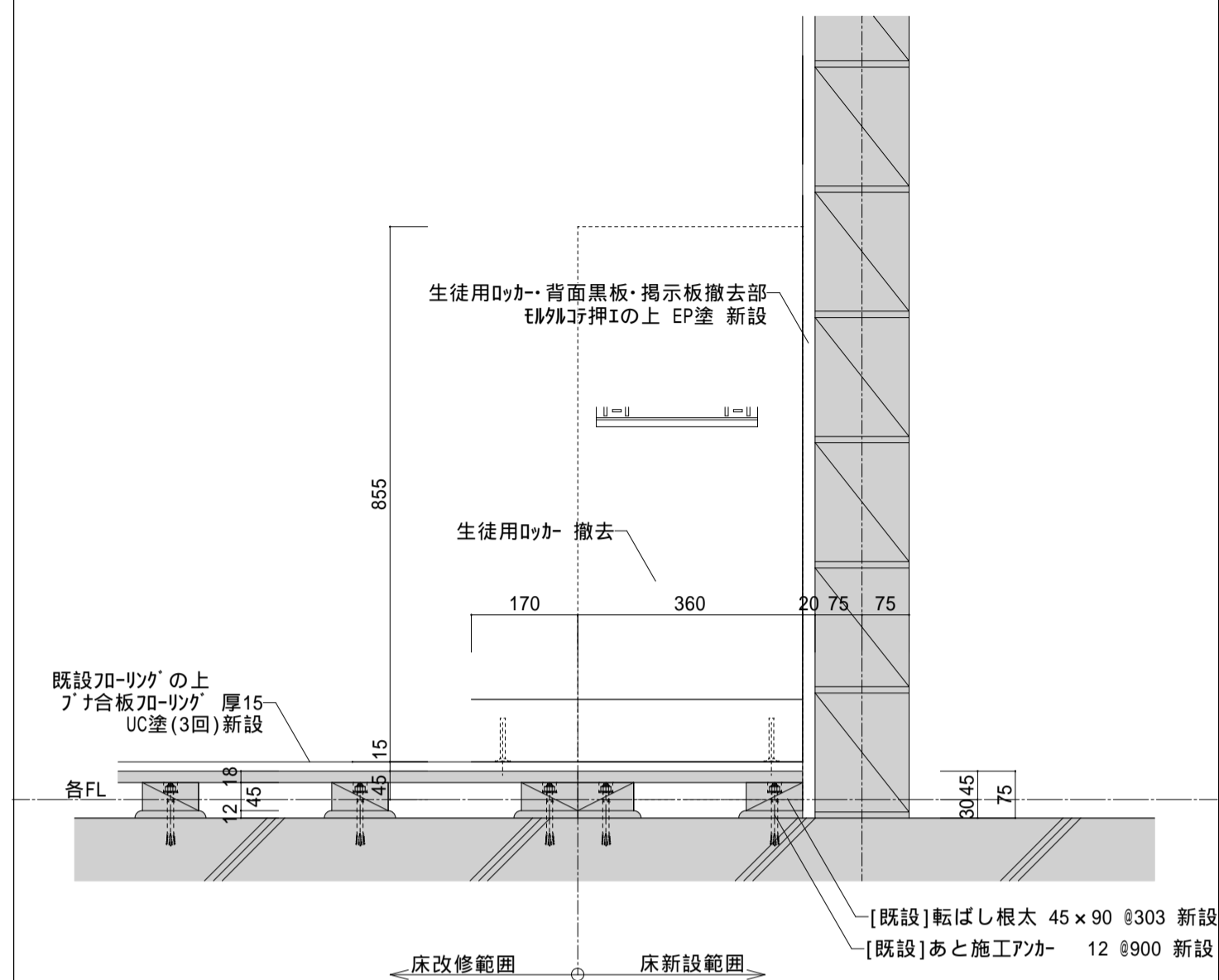
訂正事項	

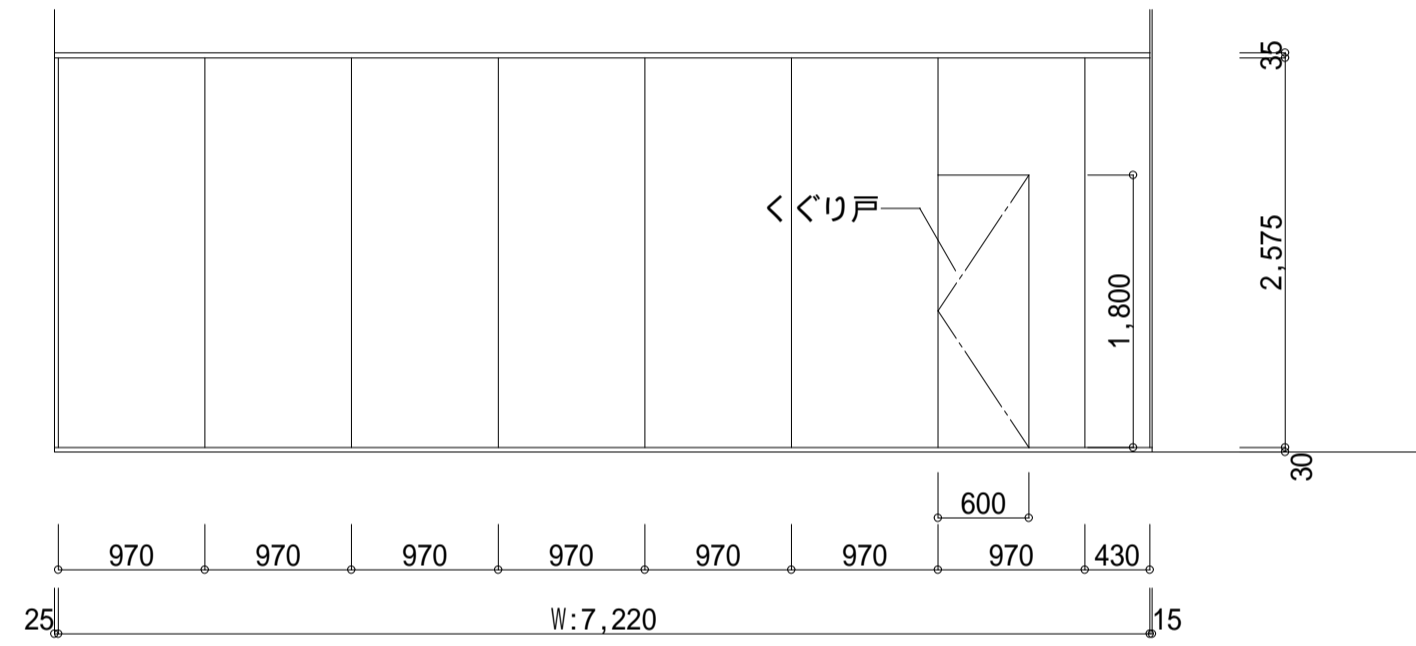
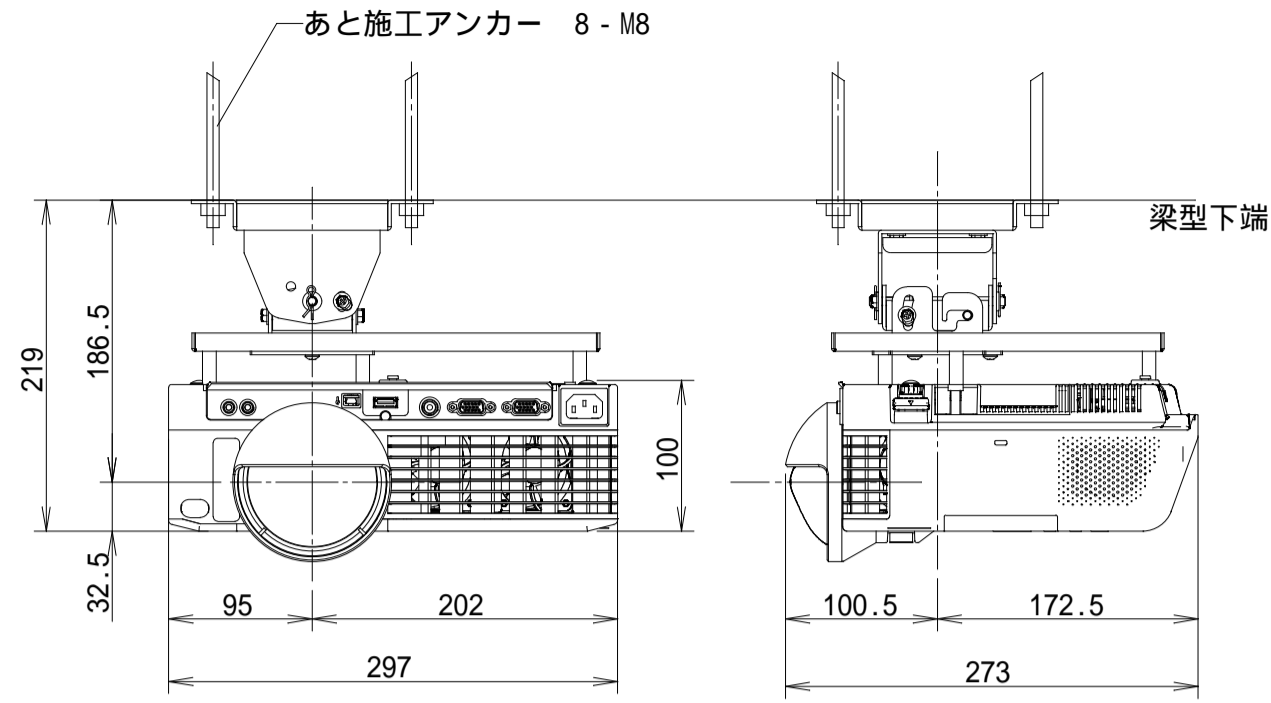
株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号
 北村 通
 彦根市長曾根南町443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事 (その3)			[新館棟]		SHEET NO.
			部分詳細図 (2)		A - 79
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE	A2:1/5 1/20 A3:70.7%

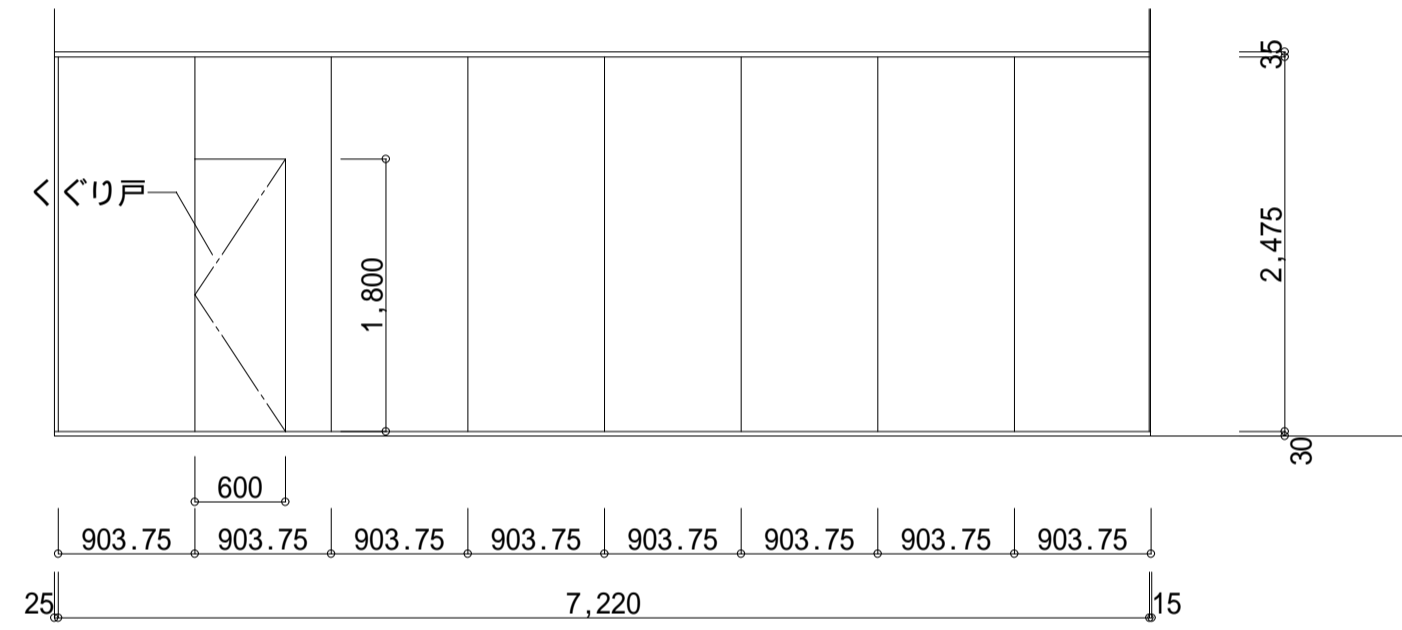


暗幕・カーテンは別途工事
 カーテンボックスW寸法は、暗幕+カーテンはW200、カーテンのみはW150とする。
 撤去のカーテンボックスの仕様は新設に準ずる。

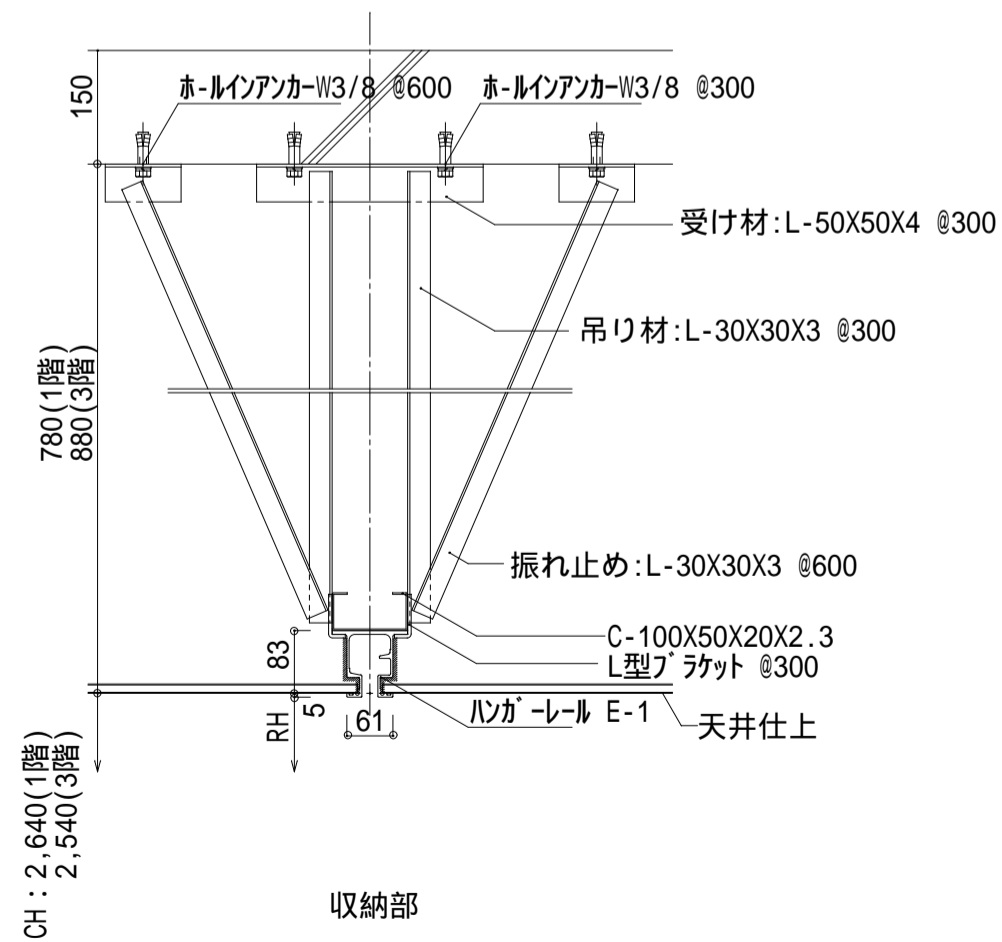




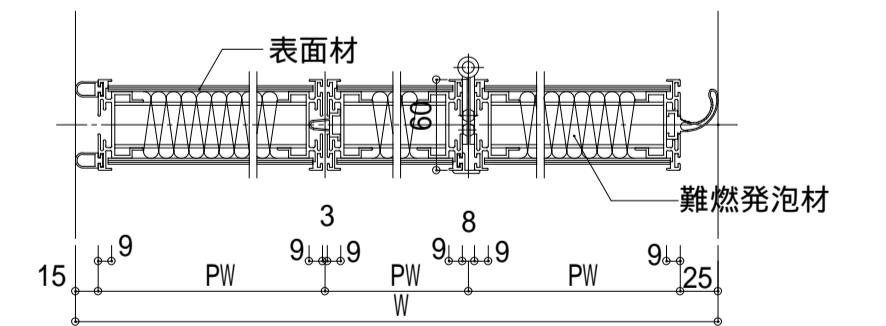
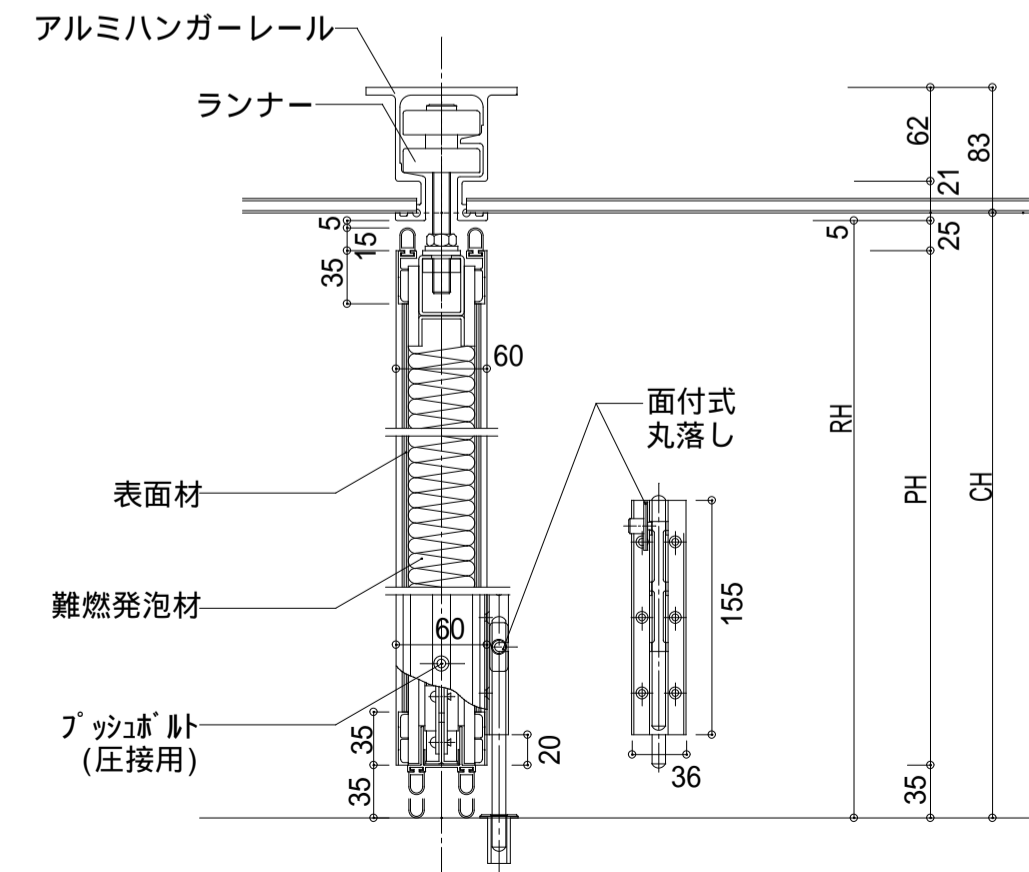
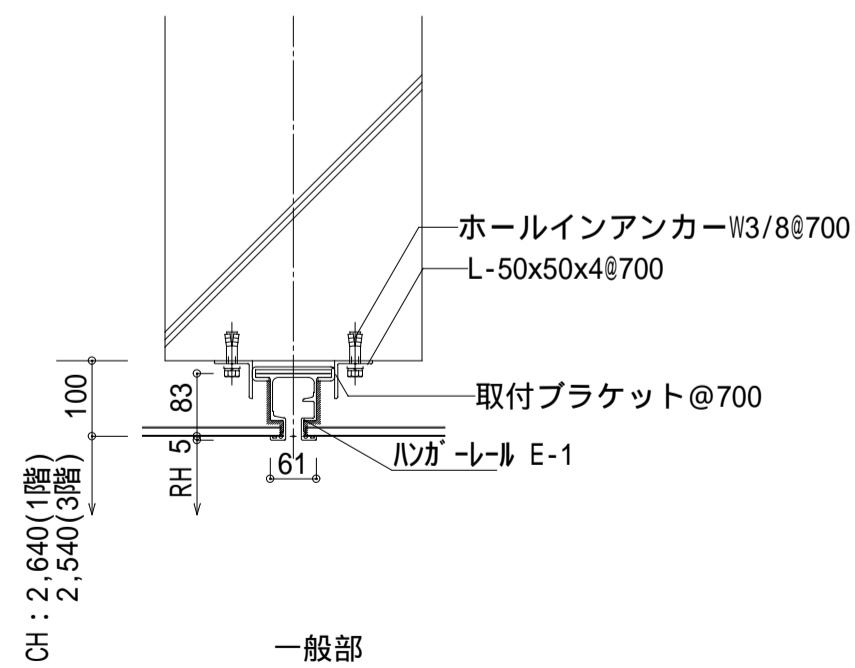
1階姿図 1/50

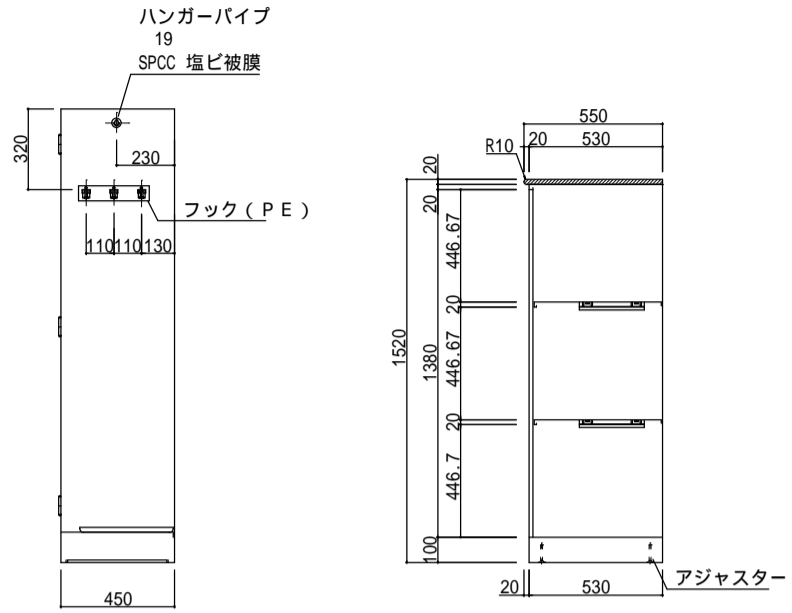
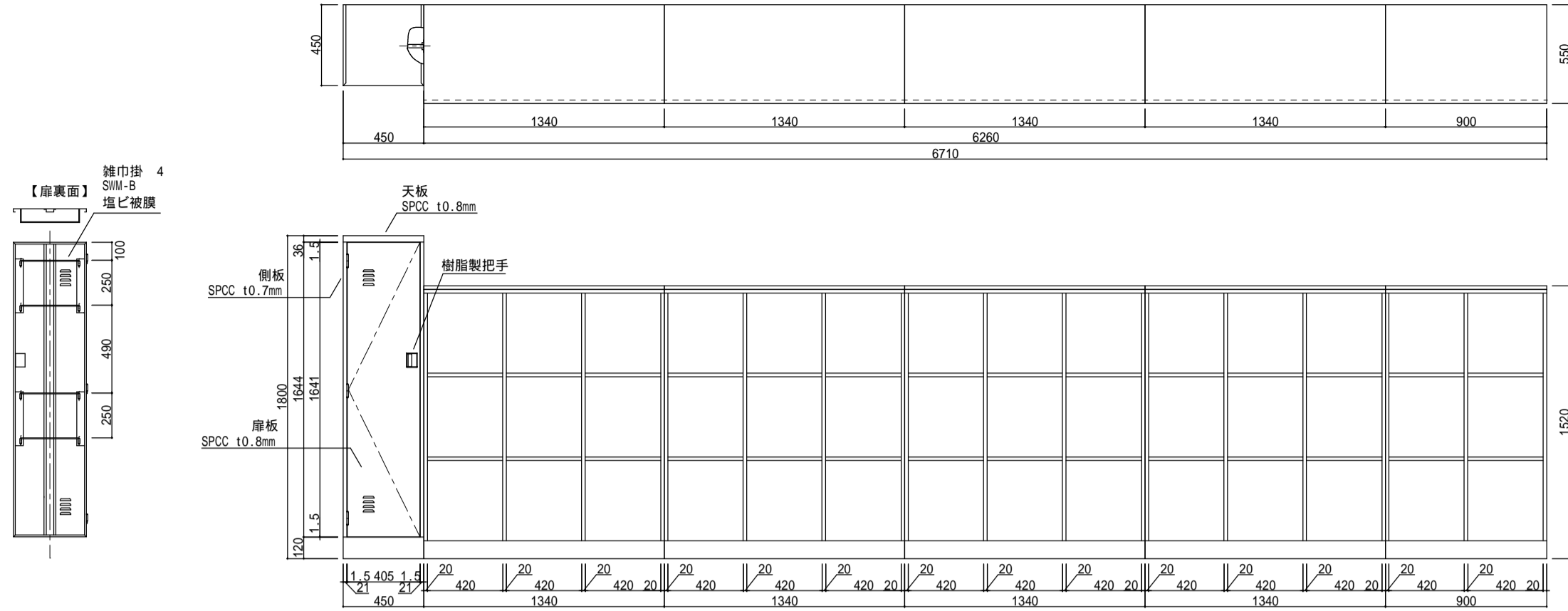


3階姿図 1/50



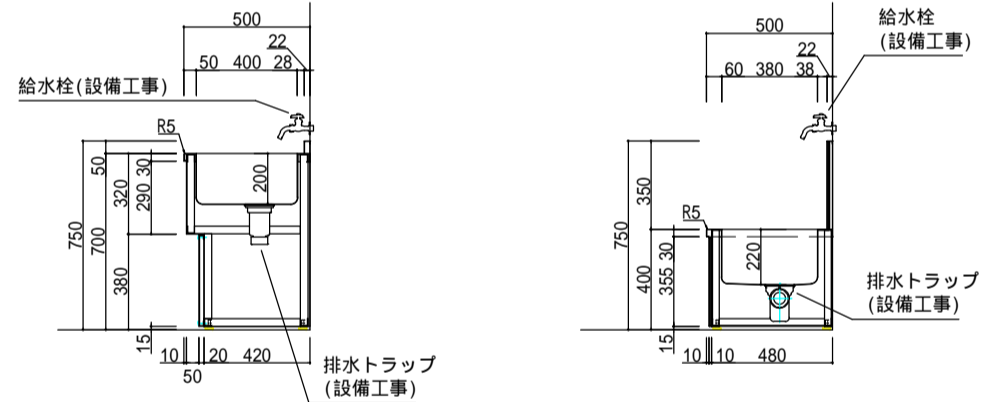
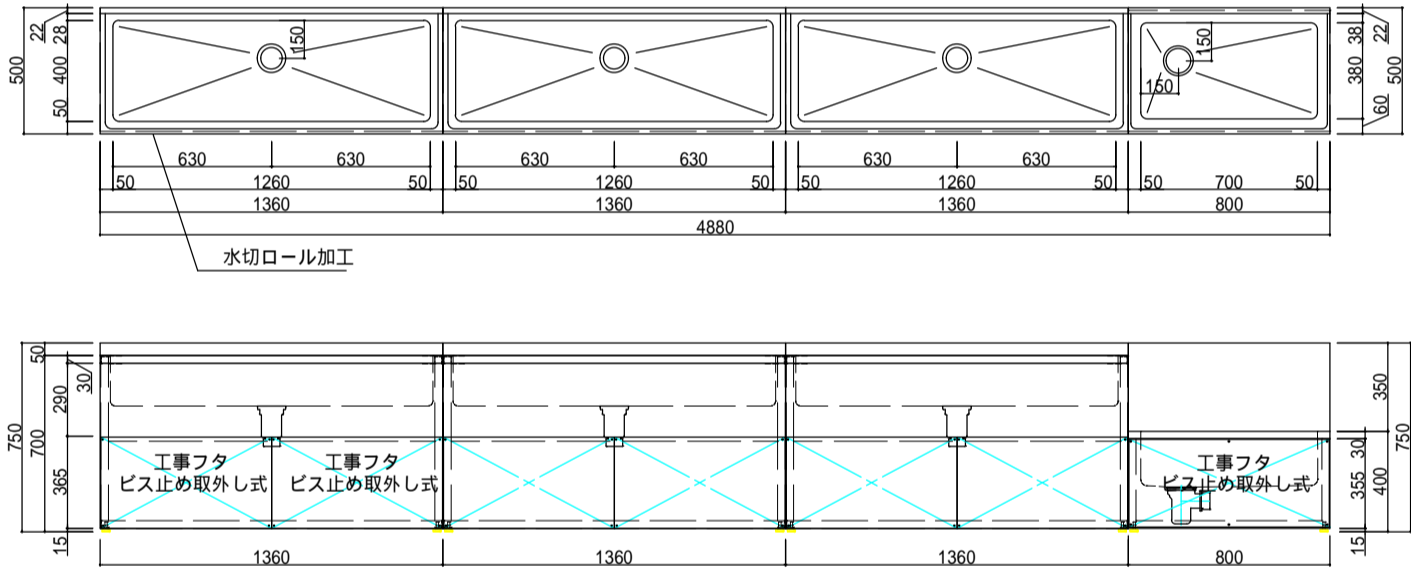
レール取付詳細図 1/10





数量リスト		
階	室名	数量
2	普通教室 (21)	1ヶ所
2	普通教室 (22)	1ヶ所
3	普通教室 (23)	1ヶ所
3	普通教室 (24)	1ヶ所
3	普通教室 (25)	1ヶ所
3	普通教室 (26)	1ヶ所
計		6ヶ所

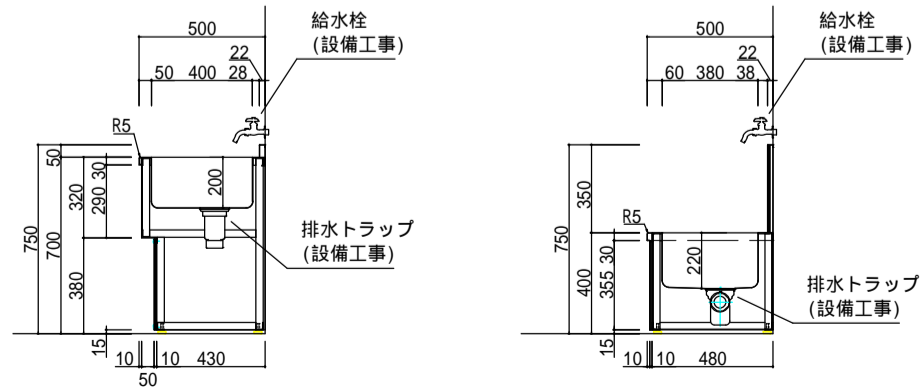
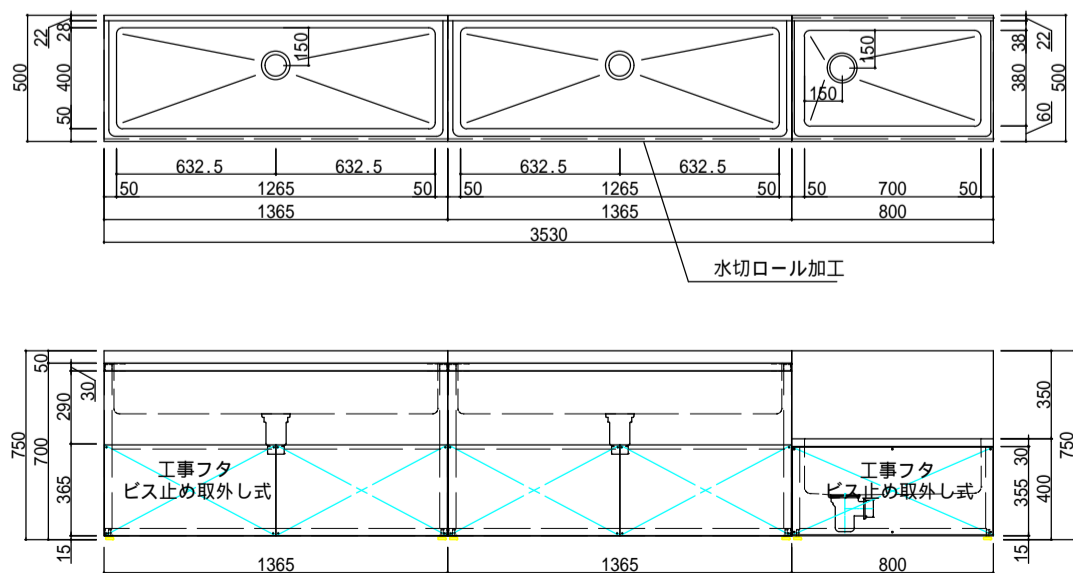
品名	掃除用具入れ	
仕 様		
本体主材	スチール製 (SPCC) 粉体塗装	
扉	スチール製 (SPCC) 粉体塗装 樹脂製把手 (鍵無)	
台 輪	スチール製 (SPCC) 粉体塗装	
附 属 品		
ハンガーパイプ	スチール製SPCC 19 塩ビ被膜 (\$カン6ヶ付)	1
フック	シングルフック PE	6
雑巾掛 (戸裏)	鉄線 SIM-B 4 塩ビ被膜	4
霧取皿	PP製 (435 x 370 x 22)	1
品名	クラスルームロッカー	
仕 様		
天 板	メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工	
本体主材	スチール製 (SPCC t0.7mm) 粉体塗装	
縦仕切板	スチール製 (SPCC t0.6mm) 粉体塗装	
裏 板	スチール製 (SPCC t0.6mm) 粉体塗装	
棚 板	スチール製 (SPCC t0.7mm) 粉体塗装	



数量リスト		
階	室名	数量
1	廊下	1ヶ所
2	廊下	1ヶ所
3	廊下	1ヶ所
計		3ヶ所

品名	ステンレス流し台	
仕 様		
天 板	ステンレス SUS304 t1.0mm (R付) 表面仕上:#400	
シンク	ステンレス SUS304 t1.0mm 表面仕上:#400	
本体主材	ステンレス SUS304 t1.0mm 表面仕上:#400 ステンレスアングル枠組 SUS304 L-13x30x30 工事フタ: ステンレス SUS304 t1.0mm 表面仕上:#400 (取外し式 ビス止)	
脚 端	アジャスター (MN-32)	
附 属 器 具		
排水トラップ	設備工事	
給水栓	設備工事	

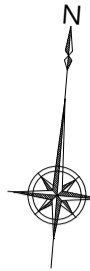
品名	掃除流し台	
仕 様		
天 板	ステンレス SUS304 t1.0mm (R付) 表面仕上:#400	
	水切りロール加工	
シンク	ステンレス SUS304 t1.0mm 表面仕上:#400	
本体主材	ステンレス SUS304 t1.0mm 表面仕上:#400 フレーム: ステンレスLアングル	
工事フタ	ステンレス SUS304 t1.0mm 表面仕上:#400 (ビス止め取外し式)	
脚 端	アジャスター (MN-32)	
附 属 器 具		
排水トラップ	設備工事	
給水栓	設備工事	



数量リスト		
階	室名	数量
1	廊下	1ヶ所
2	廊下	1ヶ所
3	廊下	1ヶ所
計		3ヶ所

品名	ステンレス流し台	
仕 様		
天 板	ステンレス SUS304 t1.0mm (R付) 表面仕上:#400	
	水切りロール加工	
シンク	ステンレス SUS304 t1.0mm 表面仕上:#400	
本体主材	ステンレス SUS304 t1.0mm 表面仕上:#400 フレーム: ステンレスLアングル	
工事フタ	ステンレス SUS304 t1.0mm 表面仕上:#400 (ビス止め取外し式)	
脚 端	アジャスター (MN-32)	
附 属 器 具		
排水トラップ	設備工事	
給水栓	設備工事	

品名	掃除流し台	
仕 様		
天 板	ステンレス SUS304 t1.0mm (R付) 表面仕上:#400	
	水切りロール加工	
シンク	ステンレス SUS304 t1.0mm 表面仕上:#400	
本体主材	ステンレス SUS304 t1.0mm 表面仕上:#400 フレーム: ステンレスLアングル	
工事フタ	ステンレス SUS304 t1.0mm 表面仕上:#400 (ビス止め取外し式)	
脚 端	アジャスター (MN-32)	
附 属 器 具		
排水トラップ	設備工事	
給水栓	設備工事	



No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
140	1階	普通教室(20)	生徒用ロッカー	5450	470	1000	1
140	1階	普通教室(20)	掃除用具入	450	450	2000	1

No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
141	1階	第2技術室	壁面流し台	2390	590	450+260+250	1
142	1階	第2技術室	掃除用具入	450	450	2000	1
143	1階	第2技術室	壁面作業台	11250	500	600	1

No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
144	1階	第2技術準備室	木製棚	1300	450	700	2

No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
145	1階	廊下(1)	壁面流し台	4835	500	730	1
146	1階	廊下(3)	壁面流し台	3490	500	730	1

訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一級建築士登録 第219285号
 北村 通
 彦根市長 鶴巻 南町 443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
 DRAWN BY
 CHECKED BY
 SUBMITTED BY

[新館棟]
 既設撤去家具リスト(1)
 DATE
 SCALE A2:1/200
 A3:70.7%

SHEET NO.
 A - 83



No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
150	2階	普通教室(21)	生徒用ロッカー	5450	470	1000	1
150	2階	普通教室(21)	掃除用具入	450	450	2000	1

No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
151	2階	普通教室(22)	生徒用ロッカー	5450	470	1000	1
151	2階	普通教室(22)	掃除用具入	450	450	2000	1

No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
152	2階	第3理科室	教師用実験台	3000	900	850	1
153	2階	第3理科室	教壇	3600	2210	140	1
154	2階	第3理科室	生徒用実験台	1800	900	760	12
155	2階	第3理科室	掃除用具入	450	450	2000	1

No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
156	2階	第3理科準備室	準備実験台	2400	900	850	1
157	2階	第3理科準備室	木製戸棚	5400	400/500	2700	1
158	2階	第3理科準備室	壁面作業台/流し台	4026	400/570	700	1

No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
159	2階	第2音楽室	掃除用具入	450	450	2000	1

No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
160	2階	廊下(1)	壁面流し台	4835	500	730	1
161	2階	廊下(3)	壁面流し台	3490	500	730	1

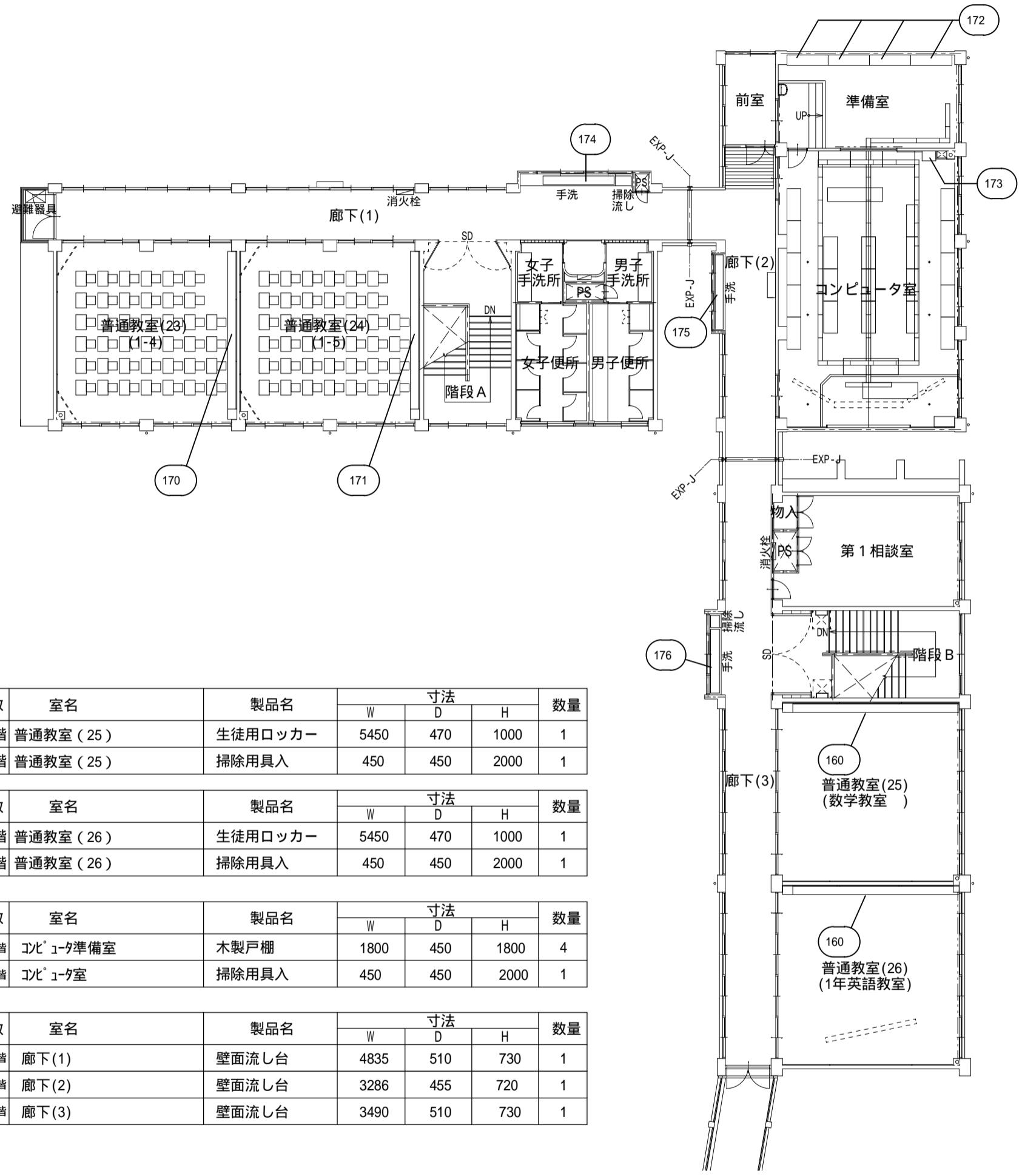
訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号
 北村 通
 彦根市長 鶴巻南町443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
 DRAWN BY
 CHECKED BY
 SUBMITTED BY

[新館棟]
 既設撤去家具リスト(2)
 DATE
 SCALE A2:1/200
 A3:70.7%

SHEET NO.
 A - 8 4



No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
170	3階	普通教室(25)	生徒用ロッカー	5450	470	1000	1
170	3階	普通教室(25)	掃除用具入	450	450	2000	1

No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
171	3階	普通教室(26)	生徒用ロッカー	5450	470	1000	1
171	3階	普通教室(26)	掃除用具入	450	450	2000	1

No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
172	3階	コンピュータ準備室	木製戸棚	1800	450	1800	4
173	3階	コンピュータ室	掃除用具入	450	450	2000	1

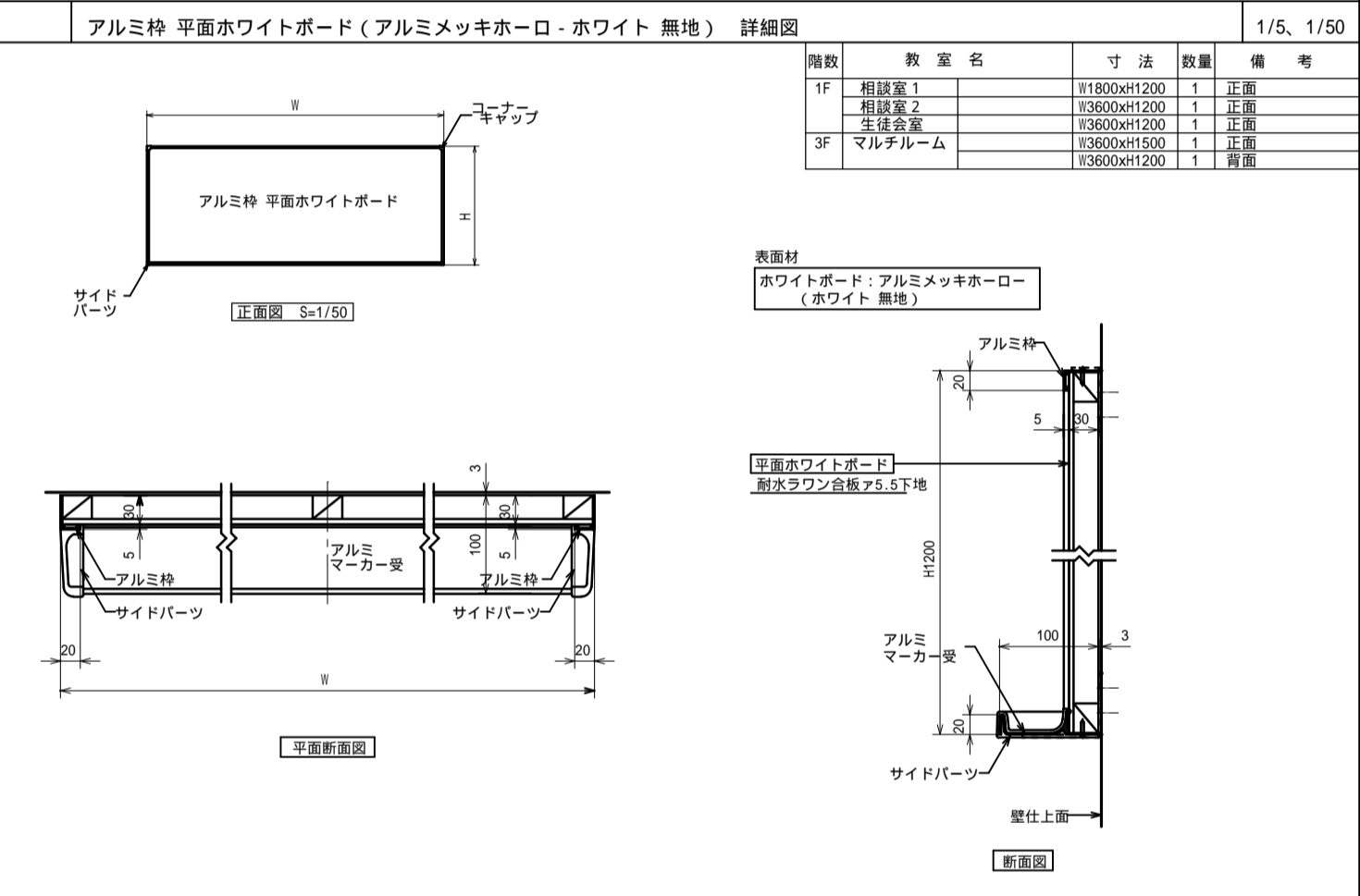
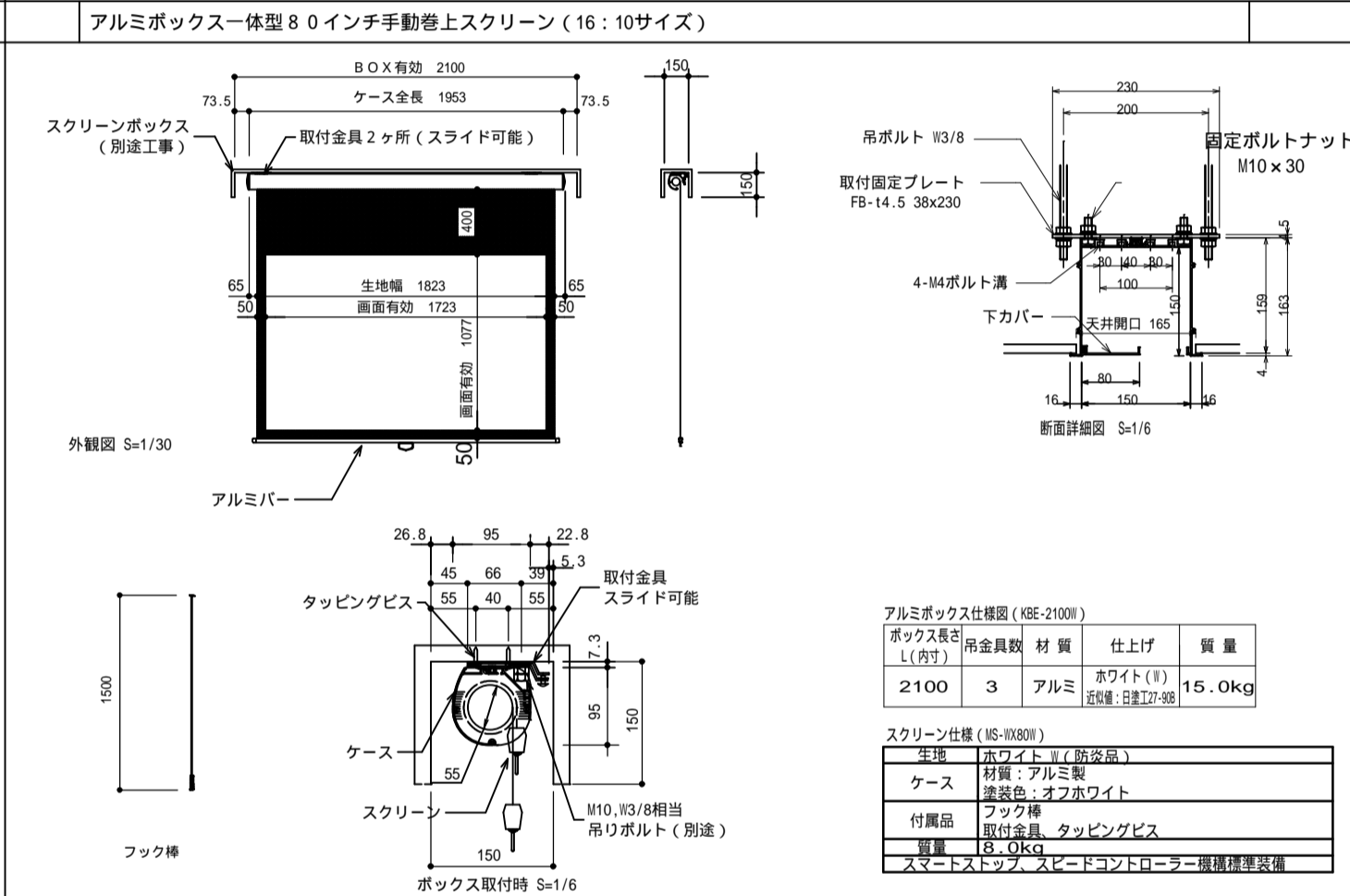
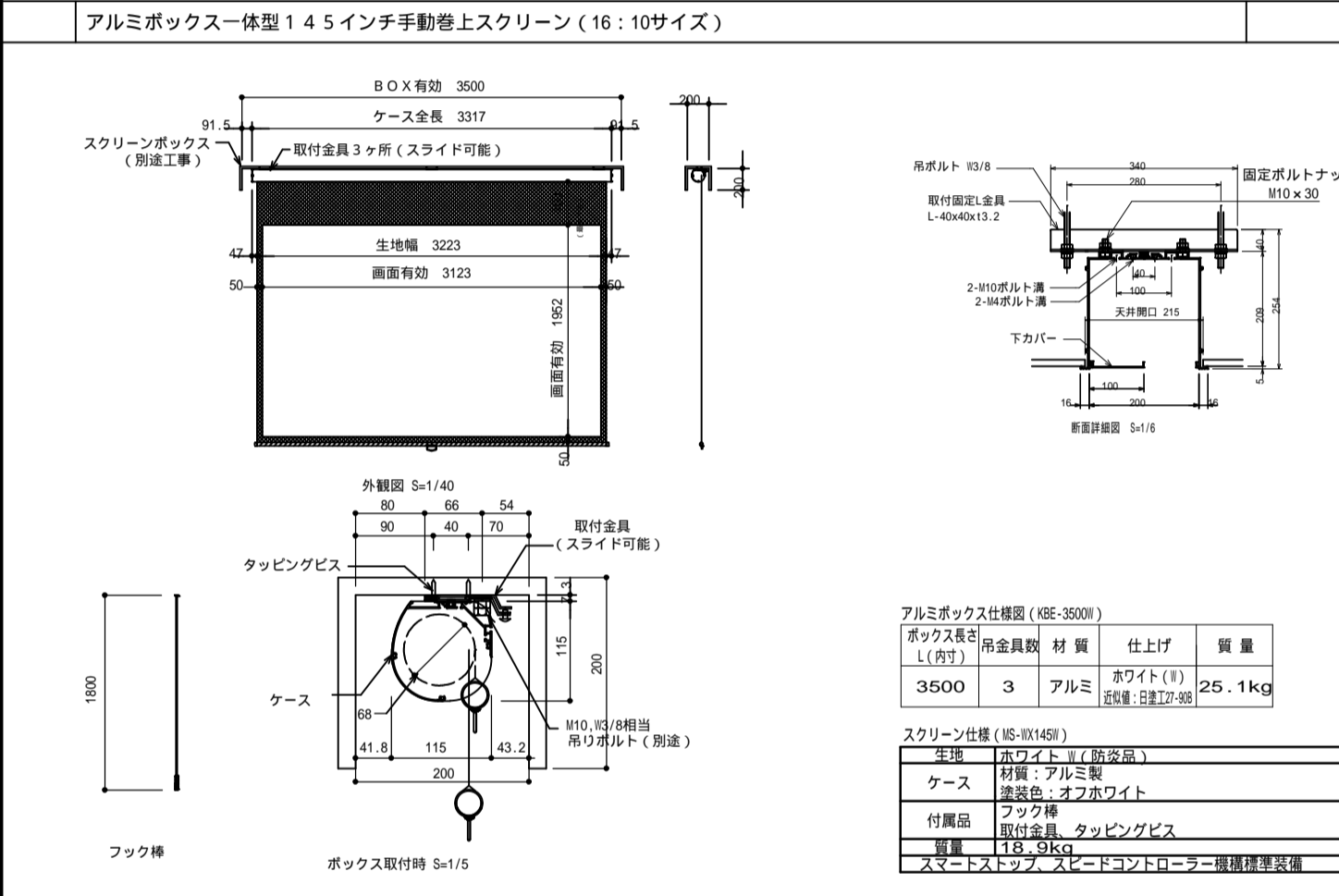
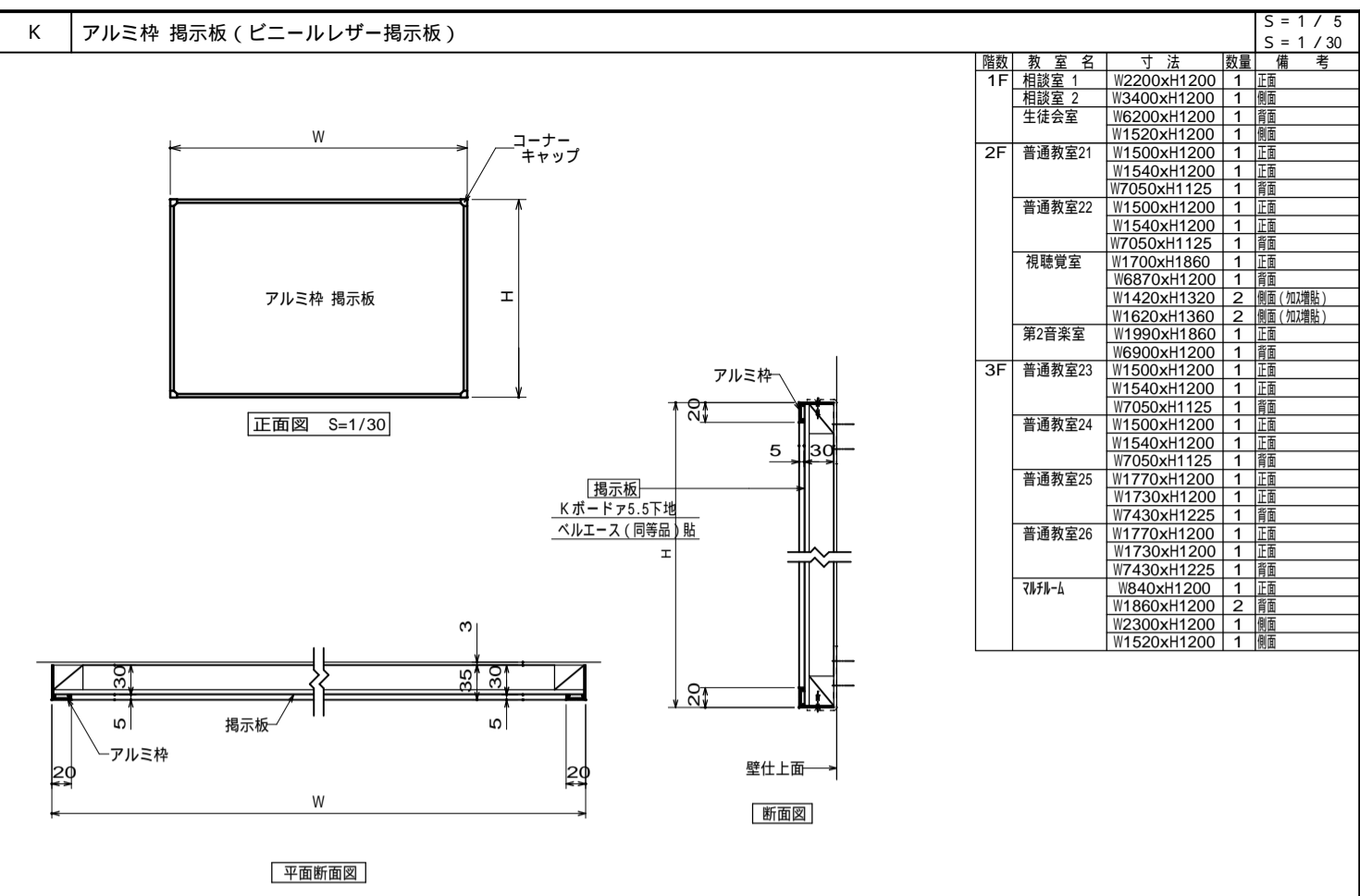
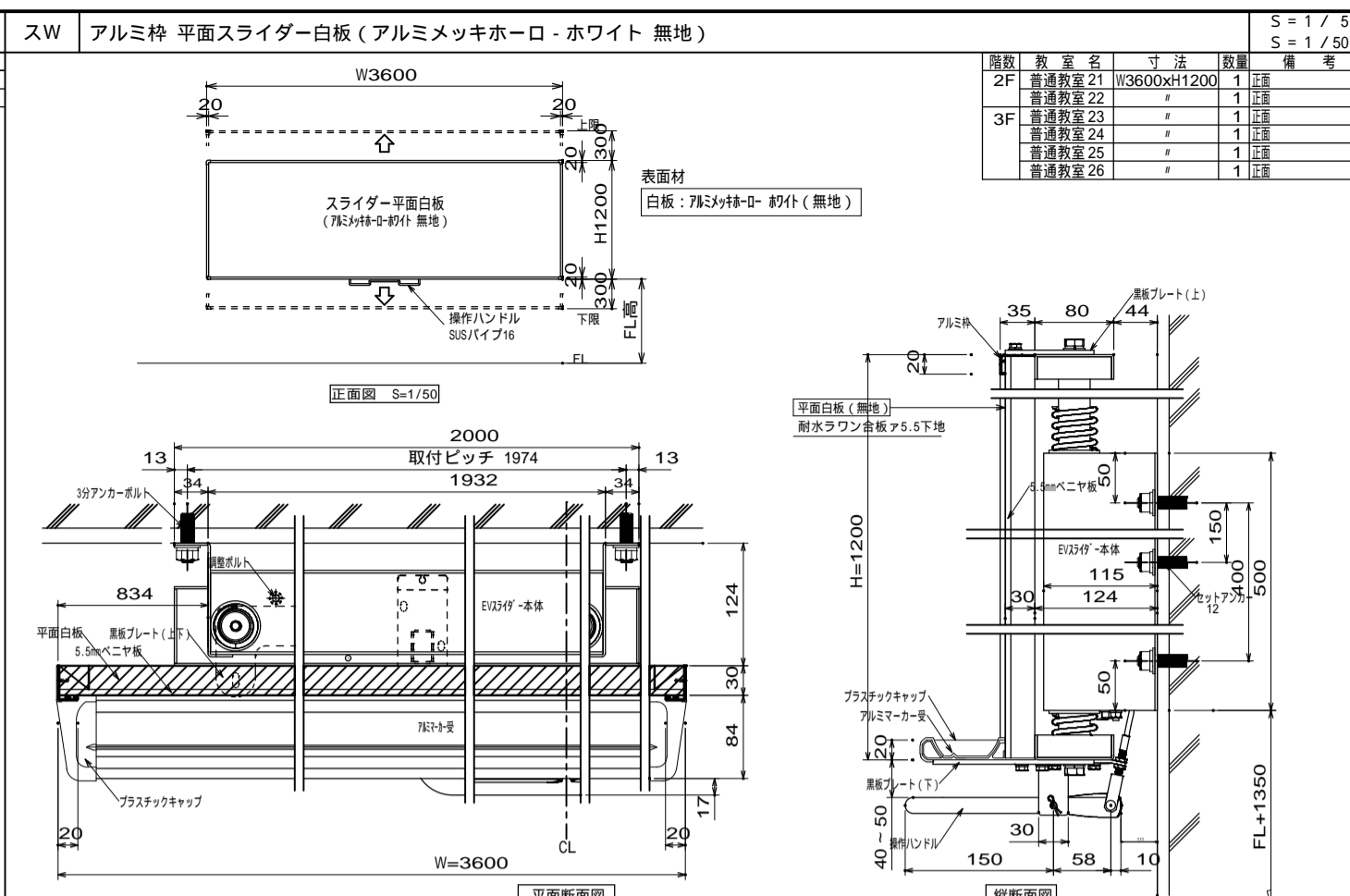
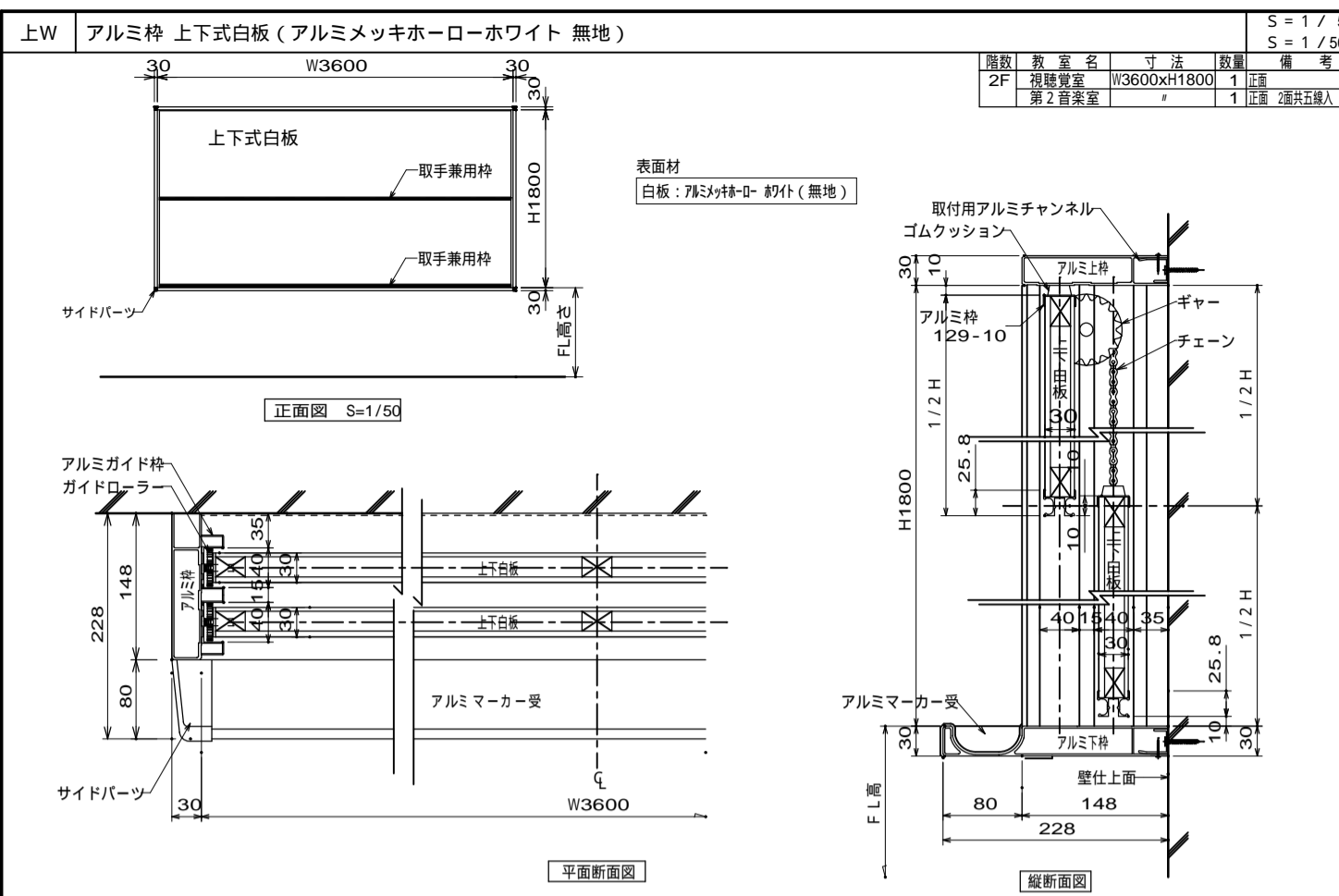
No.	階数	室名	製品名	寸法			数量
				W	D	H	
174	3階	廊下(1)	壁面流し台	4835	510	730	1
175	3階	廊下(2)	壁面流し台	3286	455	720	1
176	3階	廊下(3)	壁面流し台	3490	510	730	1

訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通
 彦根市長 彦根南町443番地 TEL 0749-22-1679

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
 DRAWN BY _____ CHECKED BY _____ SUBMITTED BY _____

[新館棟]
 既設撤去家具リスト(3)
 DATE _____ SCALE A2:1/200 A3:70.7%



階数	教室名	撤去品名	寸法	数量	備考
1F	普通教室20	アルミ特平面黒板	W3600xH1200	1	1 正
	第2技術室	アルミ特上下黒板	W2700xH 900	1	1 正
2F	普通教室21	アルミ特平面黒板	W3600xH1200	1	1 正
	普通教室22	#	W2700xH 900	1	1 正
3F	普通教室23	アルミ特平面黒板	W3600xH1200	1	1 正
	普通教室24	#	W2700xH 900	1	1 正
コンピュータ室	普通教室25	#	W3600xH1200	1	1 正
	普通教室26	#	W2700xH 900	1	1 正
	普通教室27	#	W3600xH1200	1	1 正
	普通教室28	#	W2700xH 900	1	1 正

階数	教室名	撤去品名	寸法	数量	備考
1F	普通教室20	アルミ特掲示板	W1600xH1200	1	1 正
	第2技術室	#	W1710xH1200	1	1 正
2F	普通教室21	#	W7300xH1770	1	1 正
	普通教室22	#	W1600xH1200	1	1 正
3F	普通教室23	#	W1710xH1200	1	1 正
	普通教室24	#	W7300xH1770	1	1 正
	普通教室25	#	W1600xH1200	1	1 正
	普通教室26	#	W1710xH1200	1	1 正

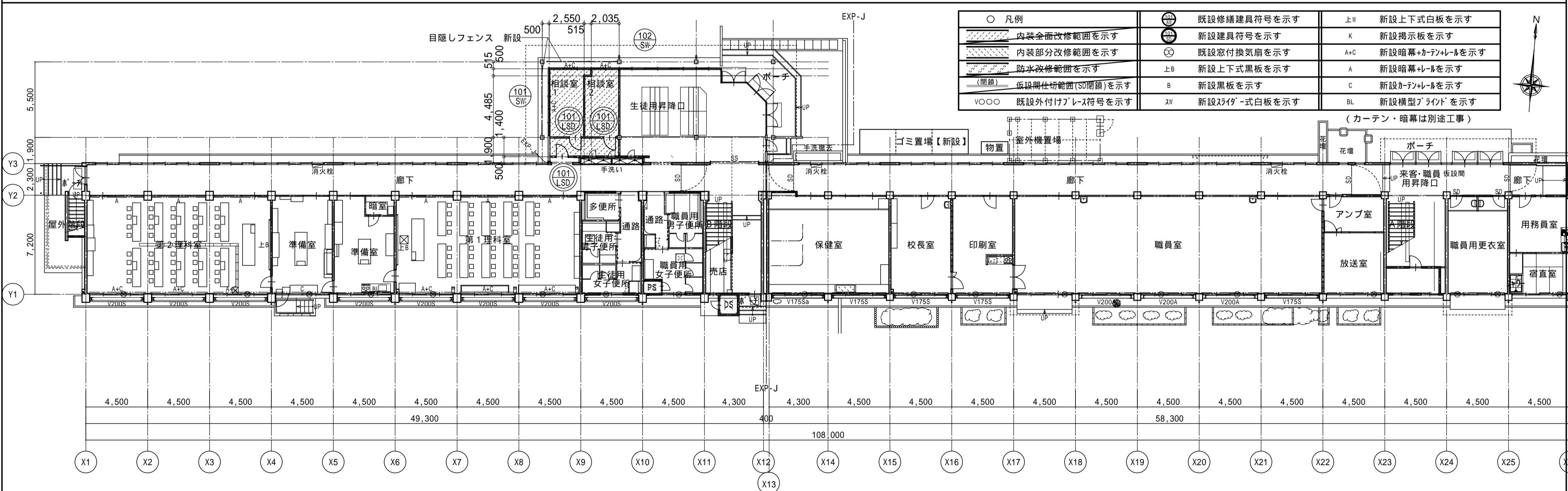
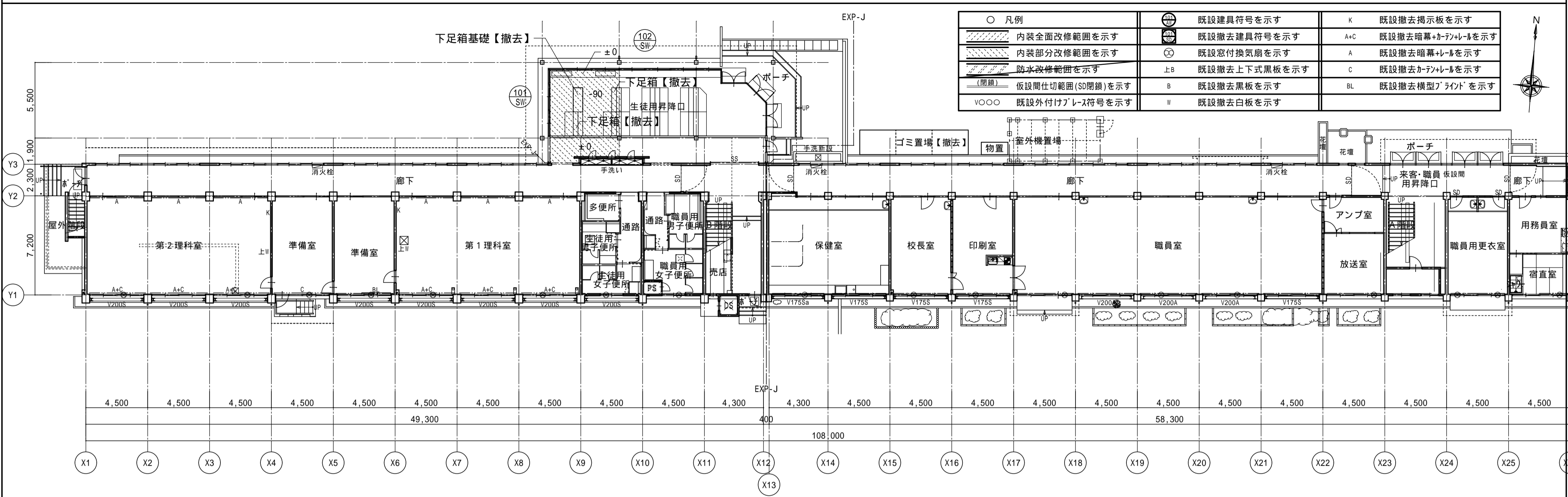
内部仕上表 改修前仕上の [] 文字はアスベスト含有建材を示す。

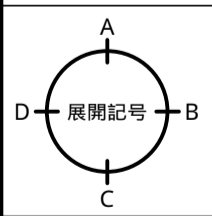
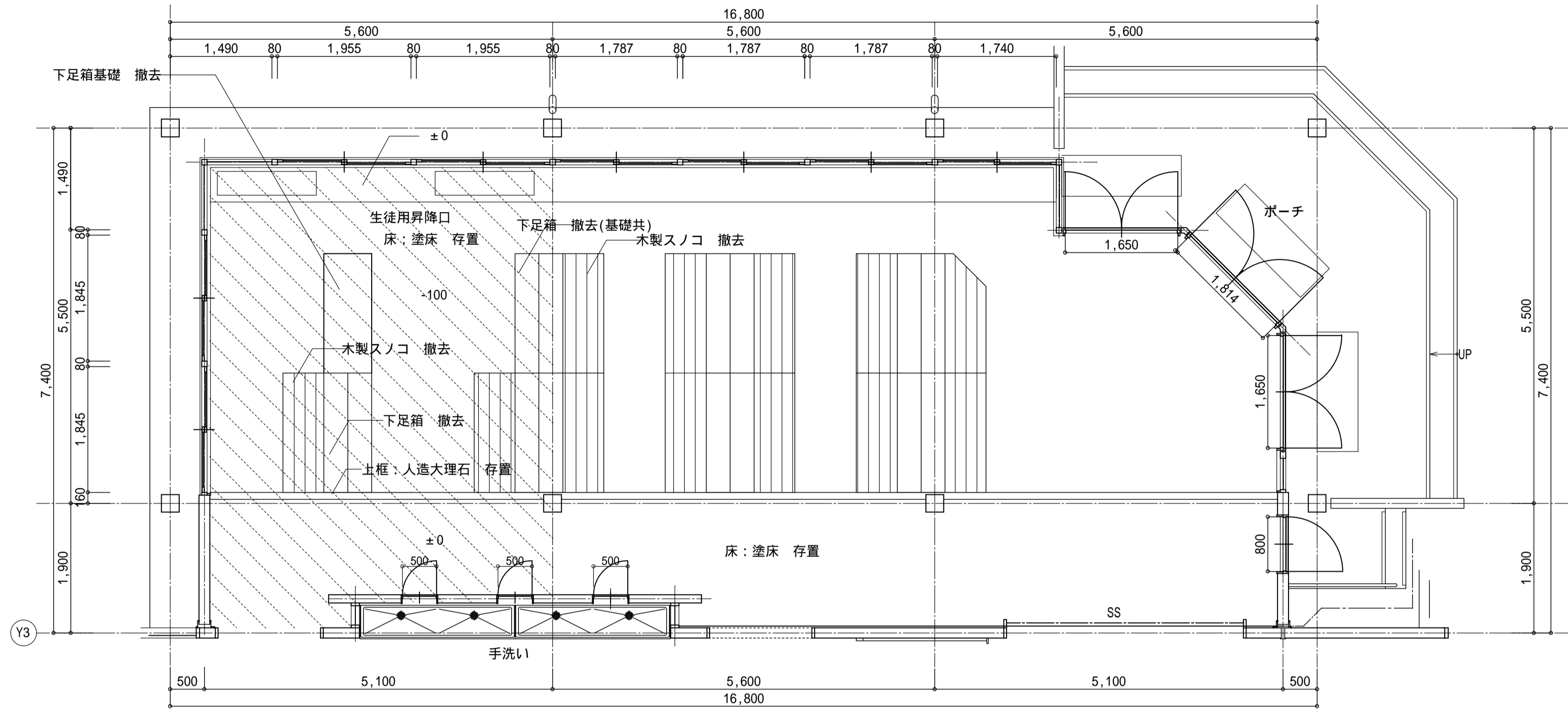
階	改修前室名	廊下FL±0	天井高	床			巾木			腰・壁・柱型			天井・梁型			廻縁	造り付け家具類その他				
	改修後室名	コンクリート天端		下地	仕上	塗装	仕上	高さ	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装						
1階	昇降口	-100	2,700	モルタルこて押え 現況のまま	塗床(ノンスリップ)	—	モルタルこて押え	90	VP塗	RC	EIL外圧押I	EP塗	LGS 19型	ケイ酸カルシウム板 t=8	撤去	EP塗	樹脂製見切 (コの字型) 撤去	下足箱、下足箱基礎	撤去		
		±0											2,600	RC						下地調整(RB種)	EP塗 新設
	-130	2,600	根太 45×90 @303新設 構造用合板 t=24新設 (7ヶ所 12 @900)新設	長尺塩ビシートt=2.0 SUS製の字型床見切	新設	—	木製 t=20 新設	100	SOP塗 新設	RC 現況のまま LGS65型新設	GB-R t=12.5+9.5 グラスウール24K t=50	新設	EP塗 新設	LGS 19型 新設	RC	GB-D t=9.5	新設	—	樹脂製見切 (コの字型) 新設 新設	カーテンボックス、カーテンレール	新設
	-30																				
前室	±0	2,600	モルタルこて押え 現況のまま	長尺塩ビシートt=2.0 SUS製の字型床見切	新設	—	木製 t=20 新設	100	SOP塗 新設	RC 現況のまま LGS65型新設	下地調整(RB種)	EP塗 新設	LGS 19型 新設	RC	GB-D t=9.5	新設	—	樹脂製見切 (コの字型) 新設 新設			
		-30									GB-R t=12.5+9.5	新設	EP塗 新設	RC		EP塗 新設					

東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

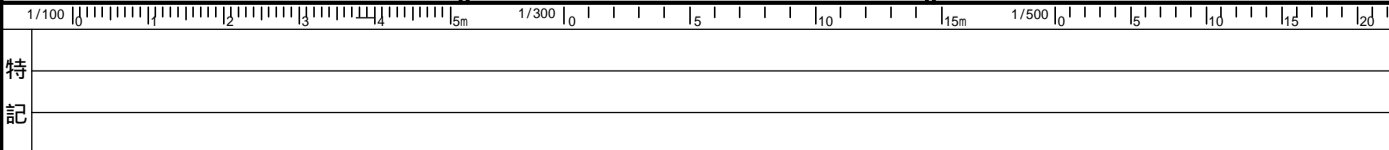
【本館棟】
内部仕上表

A2 _____
A3 _____
A - 87



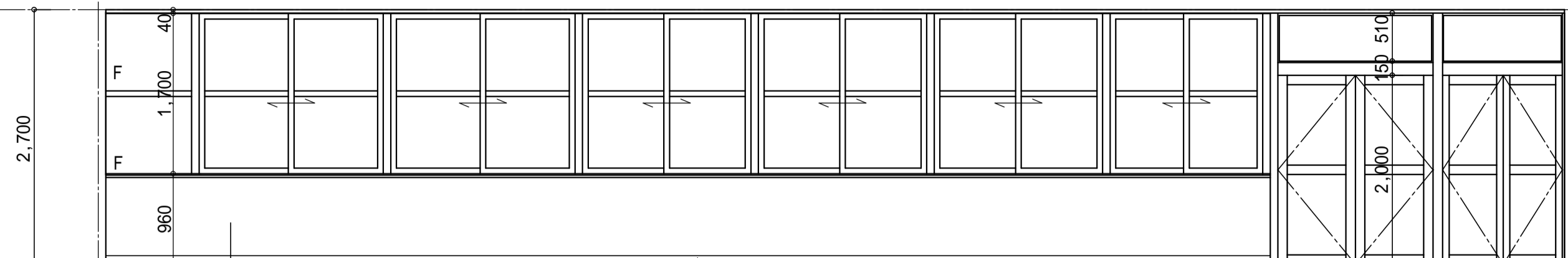


○ 凡例	[昇降口]
内装全面改修範囲を示す	下足箱【撤去】
内装部分改修範囲を示す	下足箱基礎【撤去】
防水改修範囲を示す	
(閉鎖) 仮設閉鎖切替範囲(SO閉鎖)を示す	
VOOO 既設外付けプレス符号を示す	



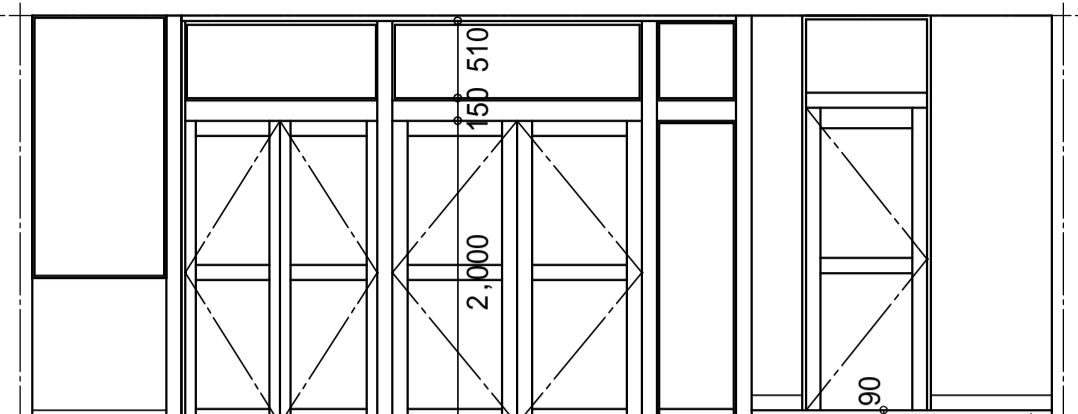
株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也				設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
設計番号	設計年度	令和	年	月					東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	【本館棟】 【現況・撤去】1階 相談室 平面詳細図	A2 1/50 A3 70.7%	A-89

生徒用昇降口



巾木：モルタルこて押え H=90 存置
壁：モルタルこて押え EP塗 存置

A面



巾木：モルタルこて押え H=90 存置

巾木：モルタルこて押え H=100 存置

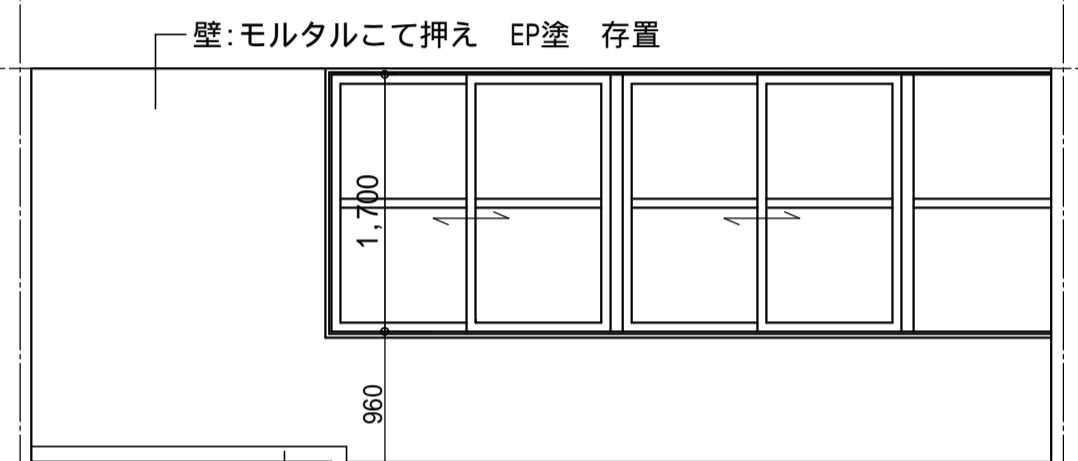
B面



壁：モルタルこて押え EP塗 存置

モルタルこて押え 巾木 H=100 存置

C面




壁：モルタルこて押え EP塗 存置

巾木：モルタルこて押え H=100 存置

巾木：モルタルこて押え H=90 存置

D面

1/100	1/300	1/500	1/750	1/1000	1/1500	1/2000	1/2500
-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------

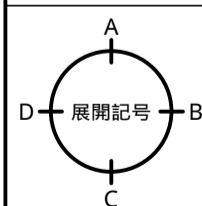
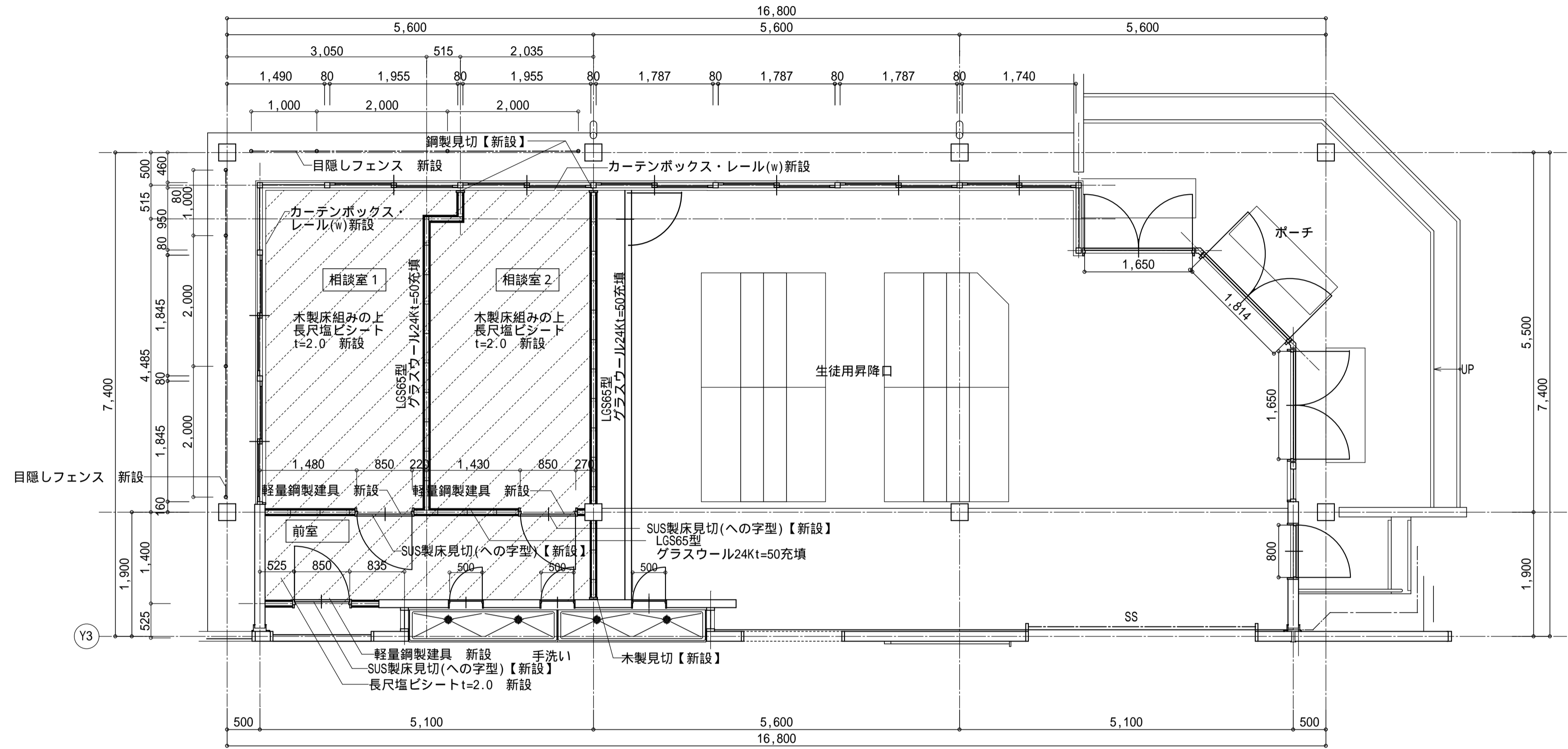

株式会社山崎設計
 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号
 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也
 設計番号 _____ 設計年度 _____ 令和 ____年 ____月

設計	課長	係長	係
決裁欄			

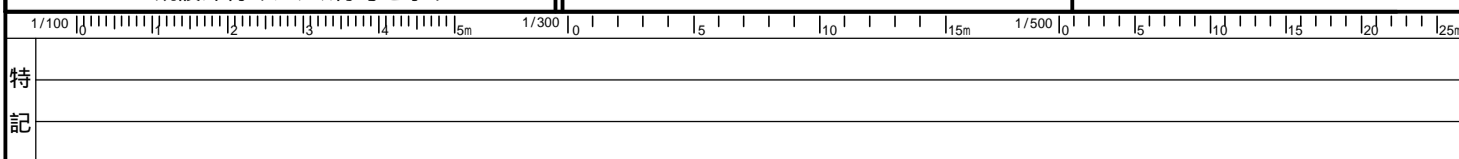
工事名
 東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

図名	縮尺	図番
【本館棟】 【現況・撤去】1階 相談室 展開図	A2 1/50 A3 70.7%	A - 90

特記

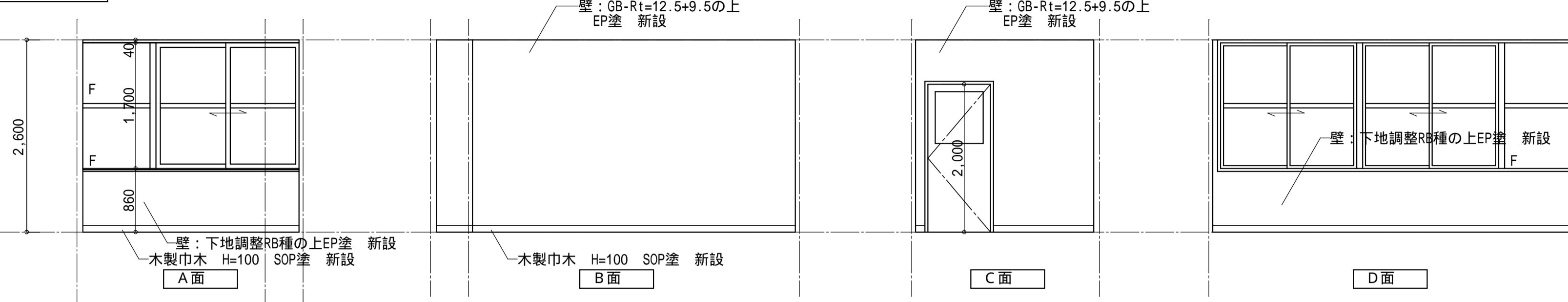


○ 凡例	[相談室]
内装全面改修範囲を示す	カーテンボックス(SOP塗)【新設】
内装部分改修範囲を示す	カーテンレール(w)【新設】
防水改修範囲を示す	
仮設間仕切壁(LGS65形+PBt12.5)を示す	
VOOO 既設外付けプレス符号を示す	

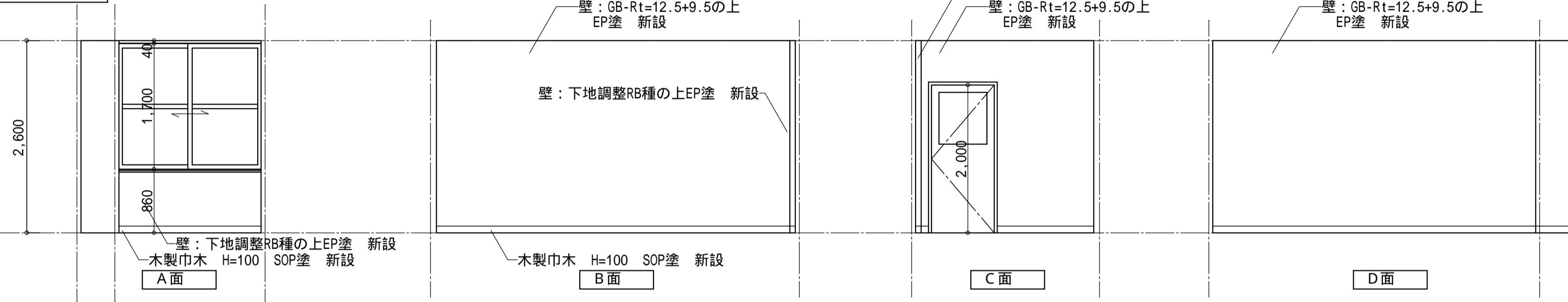


株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(064)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也				設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
設計番号	設計年度	令和	年	月					東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	【本館棟】 【改修】1階 相談室 平面詳細図	A2 1/50 A3 70.7%	A - 9 1

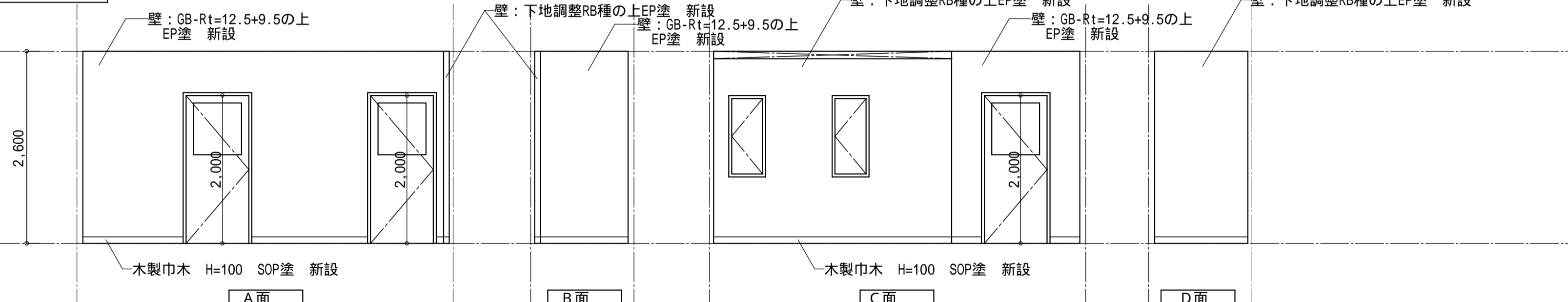
相談室1



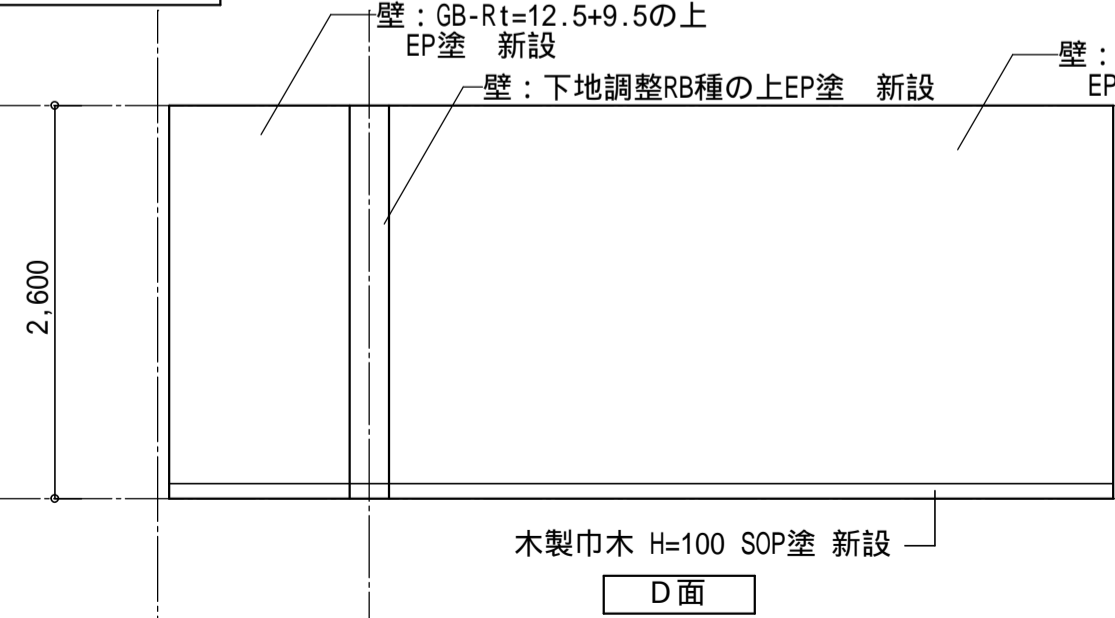
相談室2




前室



生徒用昇降口



1/100	1/300	1/500	1/250
-------	-------	-------	-------


株式会社山崎設計
 一級建築士事務所 京都府知事登録(064)第02439号
 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也
 設計番号 _____ 設計年度 _____ 令和 ____年 ____月

設計	決	課長	係長	係
	裁			
	欄			

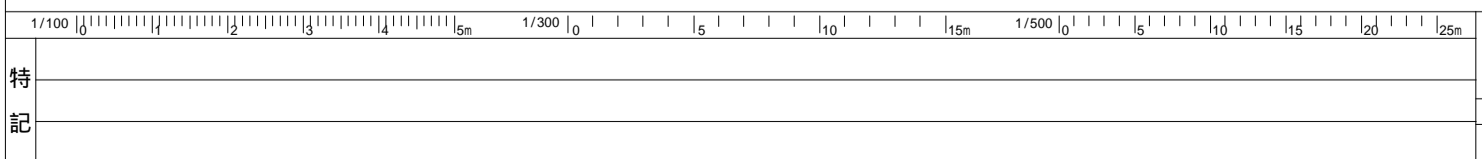
工事名	東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
-----	-----------------------

図名	【本館棟】 【改修】1階 相談室 展開図
----	----------------------------

縮尺	図番
A2 1/50	A - 9 2
A3 70.7%	

符号	数量	101 SW [既設]	1箇所	101 SW [修繕]	1箇所	102 SW [既設]	1箇所	102 SW [修繕]	1箇所	101 LSD [新設]	3箇所
窓	図										
形状	室名	スチール製FIX付2連引違い窓		スチール製FIX付2連引違い窓		スチール製FIX付6連引違い窓		スチール製FIX付6連引違い窓		軽量鋼製片開きフラッシュ戸	
材質	仕上	スチール製		スチール製		スチール製		スチール製		1階:相談室1、相談室2、前室	
枠見込	建具見込	100		100		100		100		焼付塗装鋼板	
硝子	金物等	透明ガラスt=3 撤去		学校用強化透明ガラスt=4 新設 建具刈込(ガラス共)		透明ガラスt=3 撤去		学校用強化透明ガラスt=4 新設 アルミパネルt=3 新設建具刈込(ガラス共)		学校用強化型板ガラス-厚4	
備考	備考	クレセント、引手、戸車、スチール水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え 特記なき箇所は全て現況のまま		クレセント、引手、戸車、スチール水切、付属金物一式		建付調整一式 外部:建具枠廻りコーキング 打替え 特記なき箇所は全て現況のまま		丁番、レバーハンドル、シリンダー錠、サムターン、戸当り、付属金物一式 アンダーカット 25mm	
符号	数量										
窓	図										
形状	室名										
材質	仕上										
枠見込	建具見込										
硝子	金物等										
備考	備考										
符号	数量										
窓	図										
形状	室名										
材質	仕上										
枠見込	建具見込										
硝子	金物等										
備考	備考										
符号	数量										

ガラス撤去・新設不要箇所を示す。



株式会社山崎設計
 一級建築士事務所京都府知事登録(064)第02439号
 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也
 設計番号 設計年度 令和 年 月

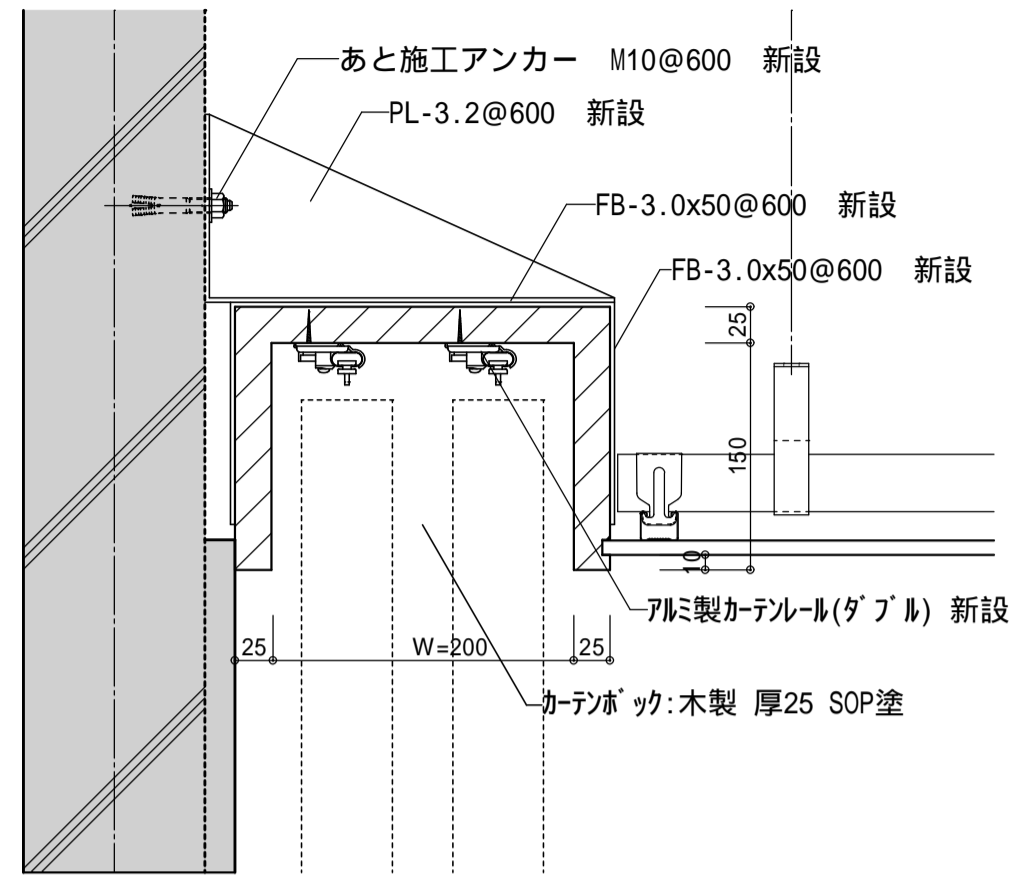
設計 決 課長 係長 係
 職 欄

工事名
 東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)

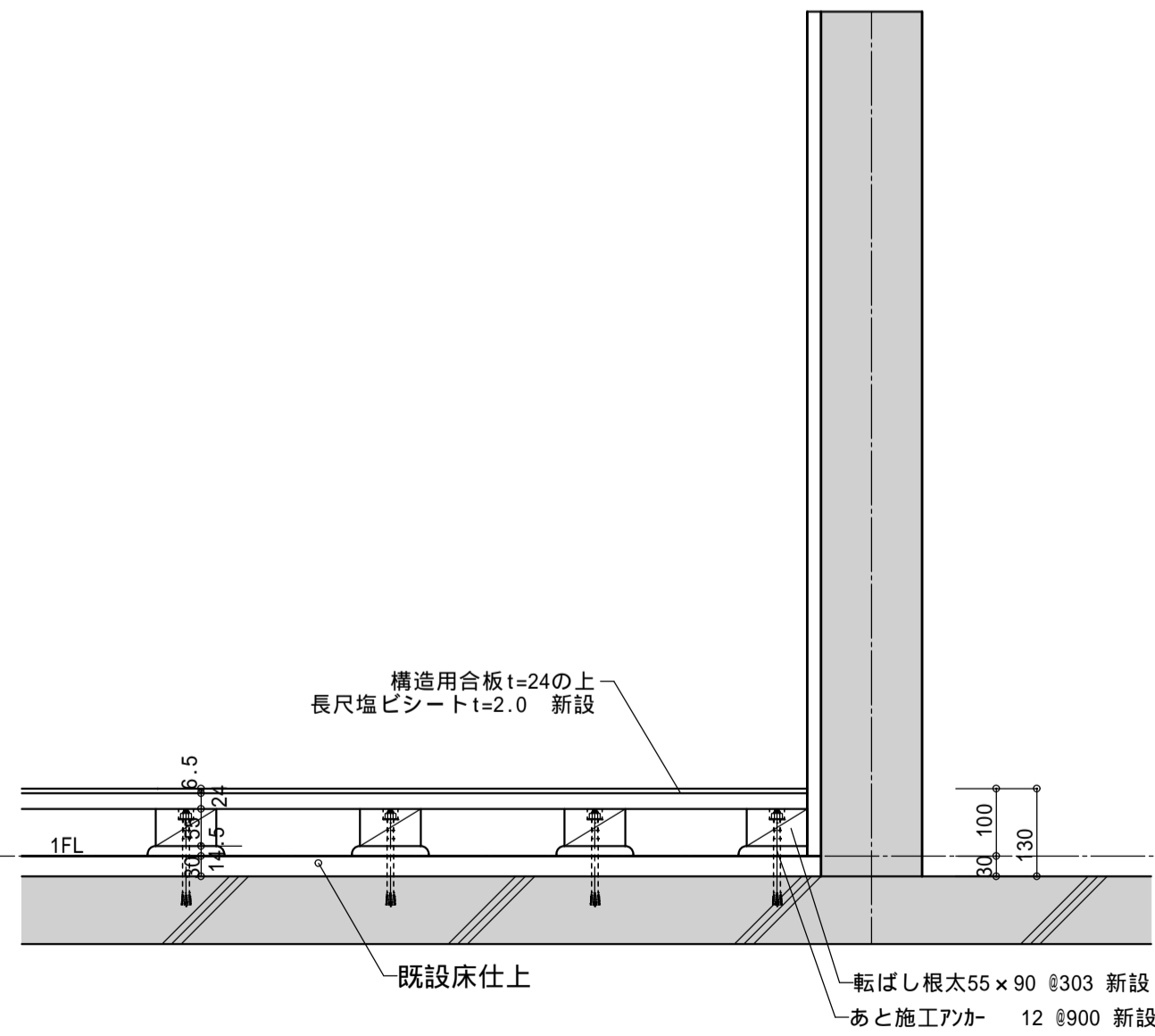
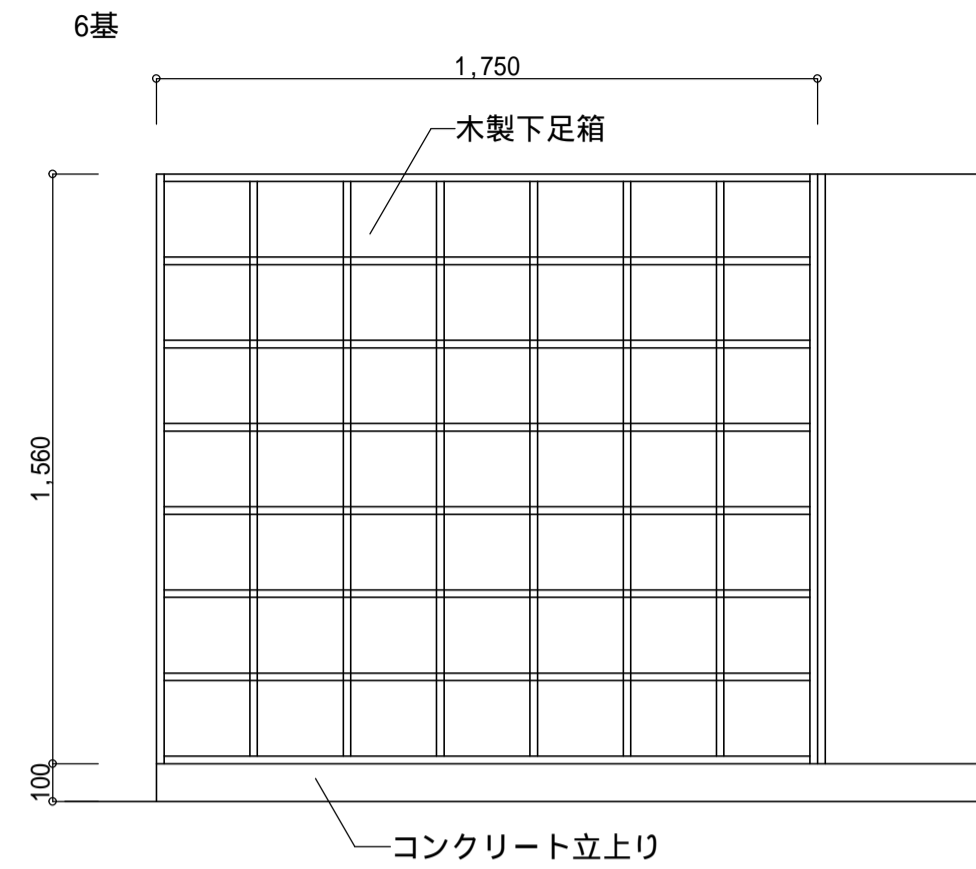
図名
 【本館棟】
 建具表

縮尺 図番
 A2 1/100
 A3 70.7%
 A - 9 4

特記

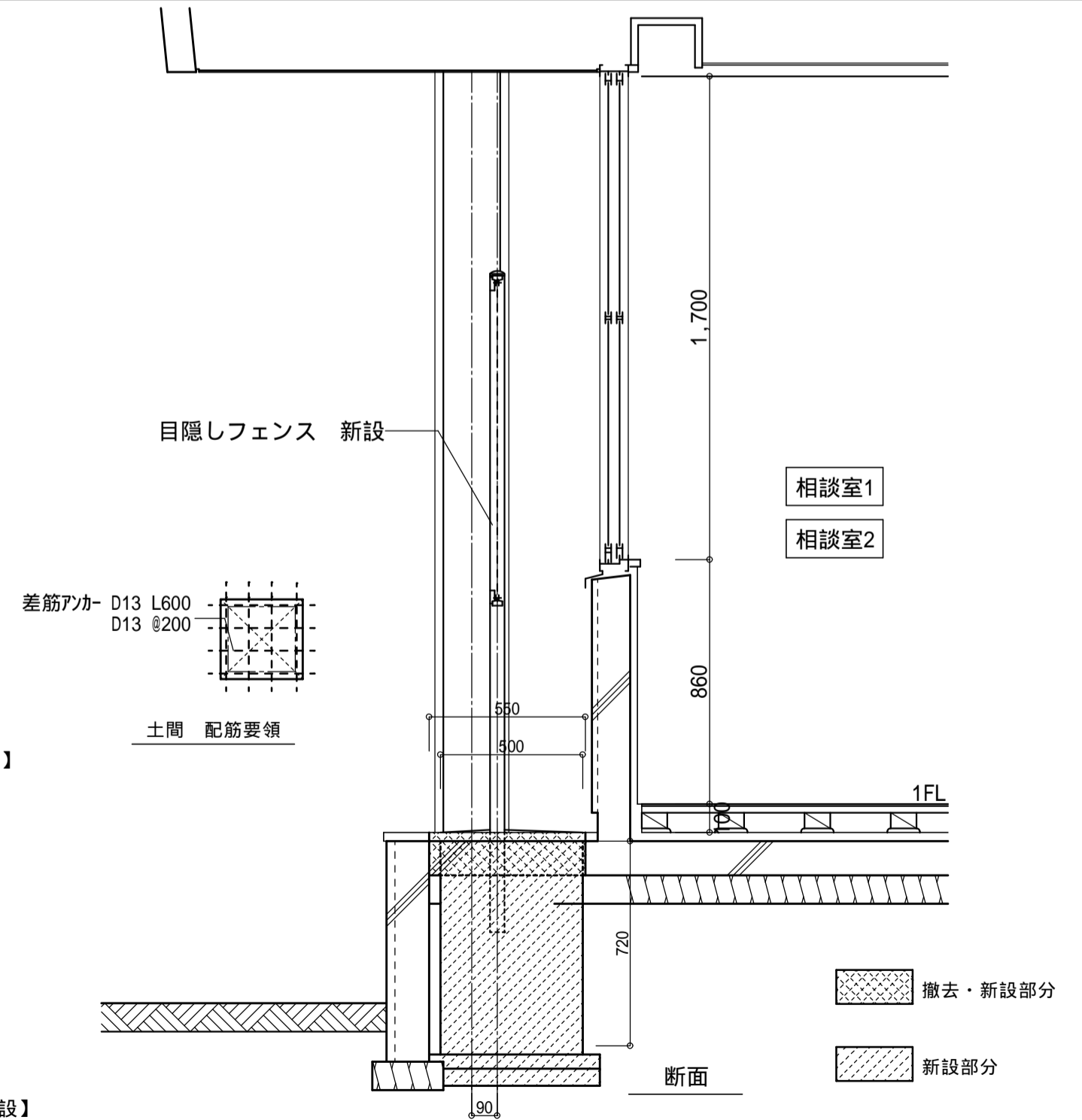
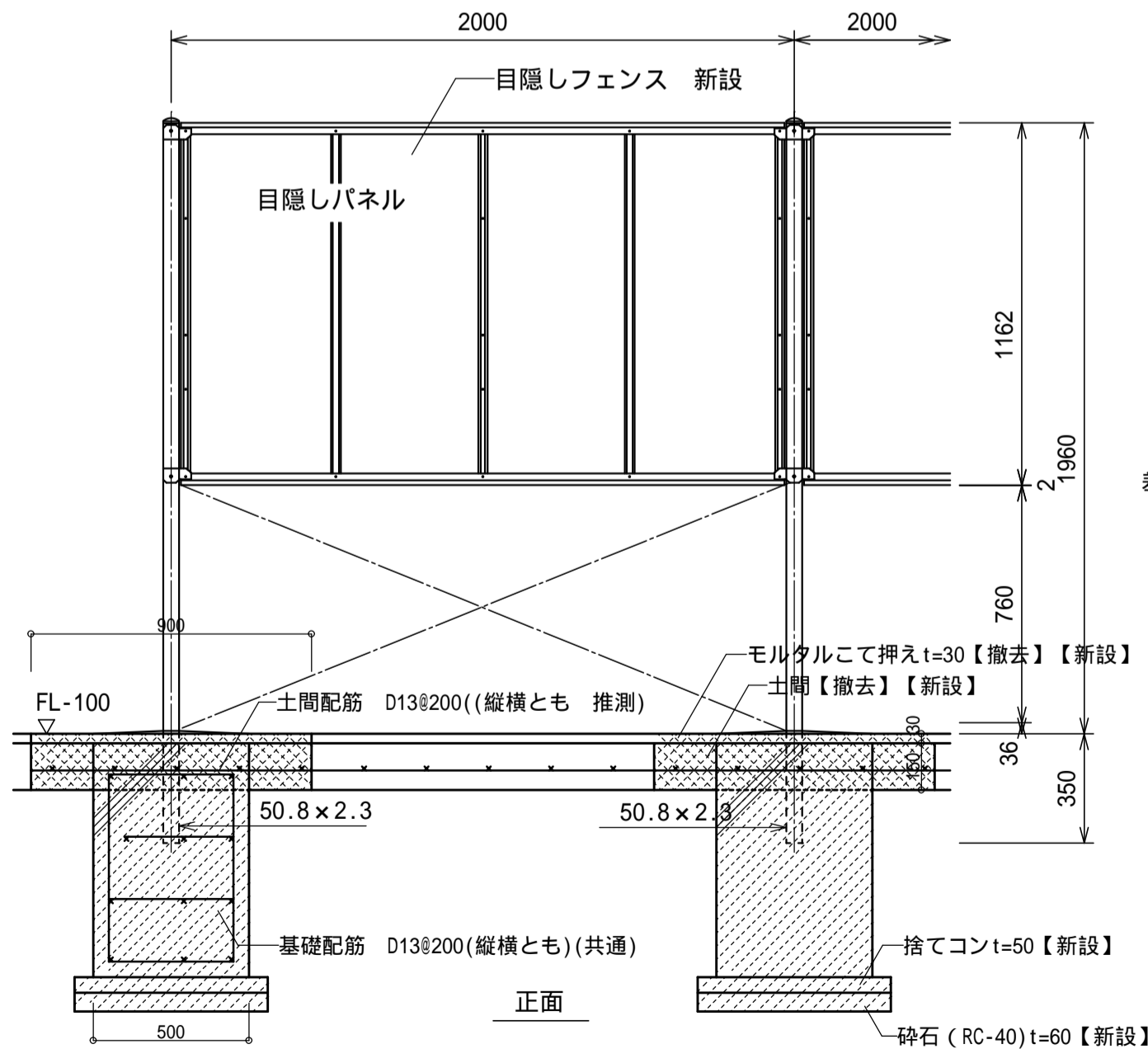


暗幕・カーテンは別途工事



転ばし根太 桧1等 三方防腐剤2回塗とする。

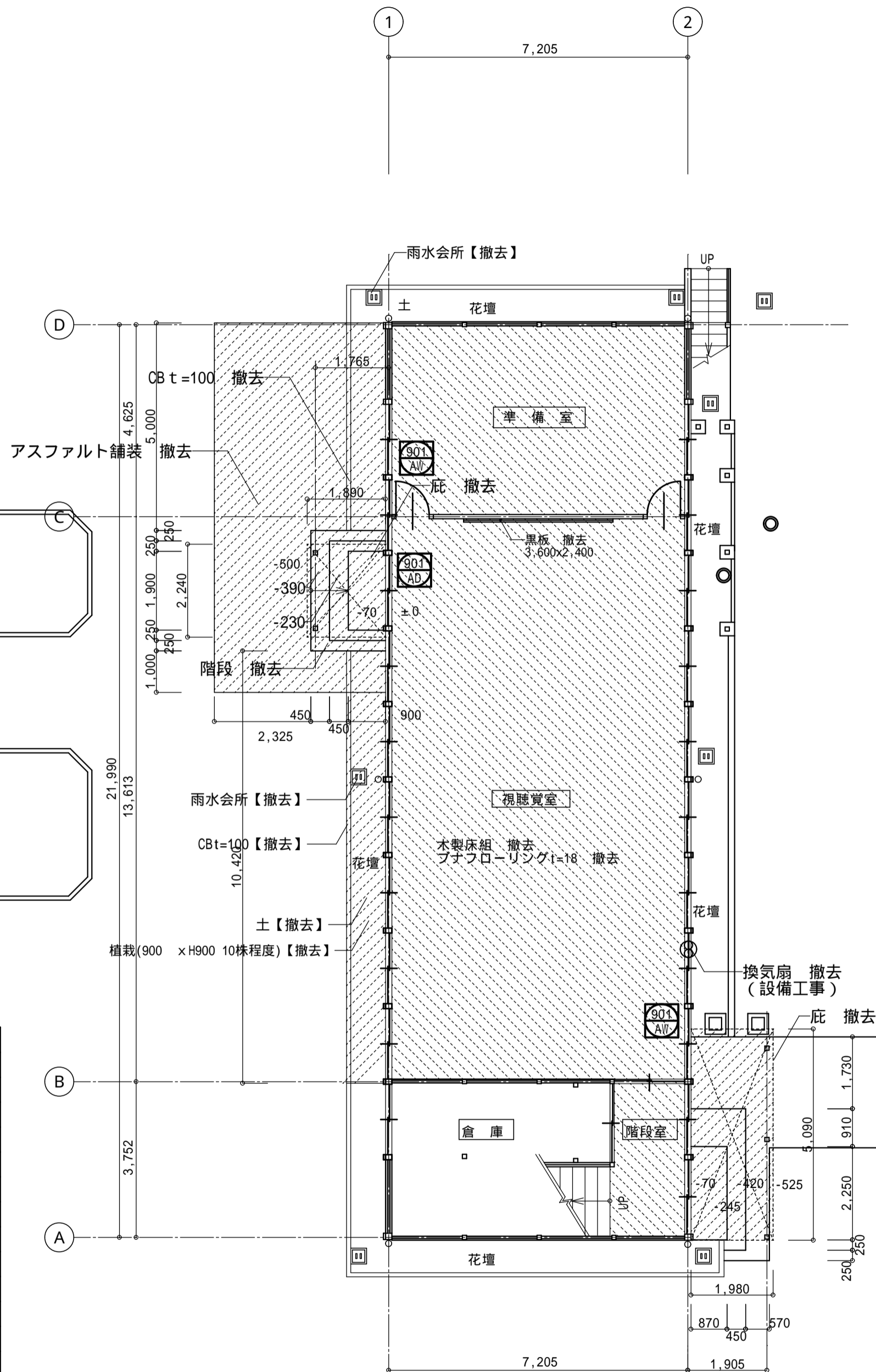
特記なき部分の改修内容は別図による。
 フェンス設置に当たっては、必ず鉄筋探査を行い、鉄筋を切らない位置で支柱を決定のこと。
 躯体形状は推測
 朝日スチール工業㈱ 目かくしフェンス AM-2000-M 同等品以上



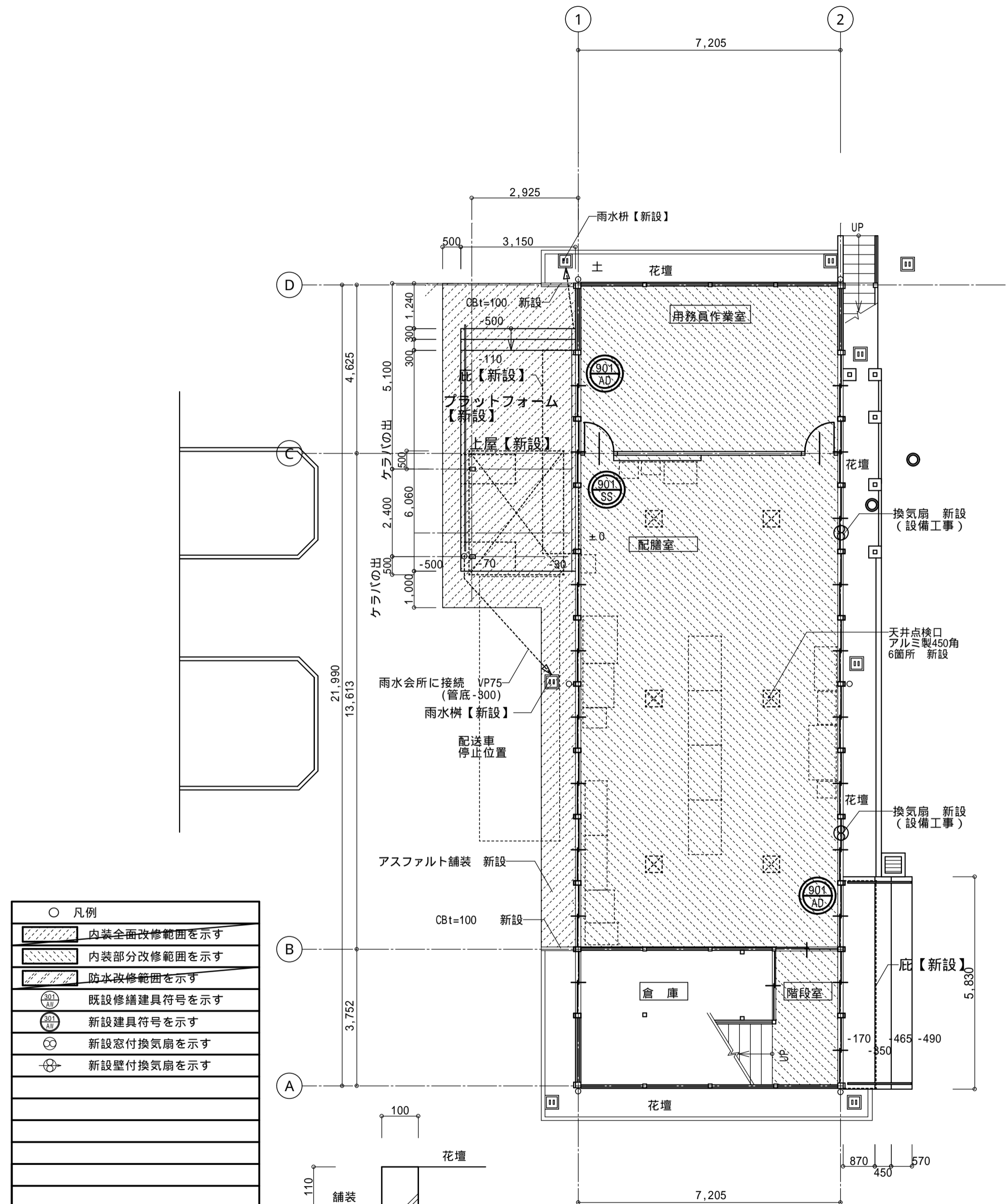
特記	1/100	1/300	1/500	1/1000	1/2000	1/3000	1/4000	1/5000	1/6000	1/7000	1/8000	1/9000	1/10000	1/12000	1/15000	1/20000	1/25000	1/30000	1/40000	1/50000	1/60000	1/70000	1/80000	1/90000	1/100000
	株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也 設計番号 設計年度 令和 年 月															設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番	
	東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)															【本館棟】 部分詳細図	A2 図示 A3 70.7%	A-95							

内部仕上表 改修前仕上の文字はアスベスト含有建材を示す。

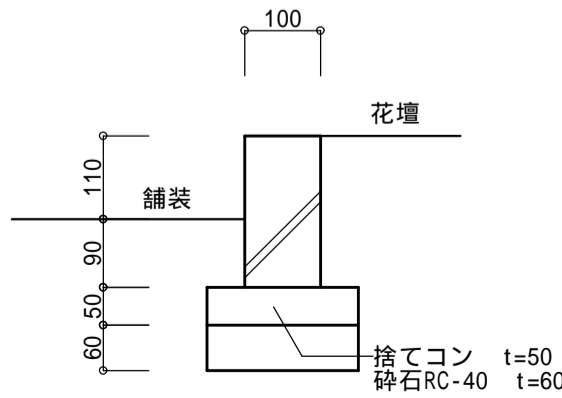
階	改修前室名	廊下FL±0	天井高	床			巾木			腰・壁・柱型			天井・梁型			廻縁	造り付け家具類その他			
	改修後室名	コンクリート天端		下地	仕上	塗装	仕上	高さ	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装					
1階	視聴覚室	±0	3,040	床パネルt=105 大引80x80@900 床束80x80@900	撤去 撤去 撤去	構造用合板 t=12の上 ブナフローリングt=18	撤去	---				LGS	SUSパネル	焼付塗装	LGS	ラワンベニヤt=5.5+ 化粧石こうボードt=9.5	撤去	木製 カーテン受	引き違い扉 腰窓パネル 黒板	撤去 撤去 撤去
	配膳室	±0	3,040	土間コンt=150 配筋D10@200 砕石t=100	新設 新設 新設	モルタル t=30 エポキシ樹脂塗床	新設 新設	---				LGS 現況のまま	SUSパネル 一部合板 t=12	焼付塗装 現況のまま EP塗 新設	LGS 現況のまま	ラワンベニヤt=5.5+ GB-D t=9.5	新設	木製 カーテン受	シャッター(軽量・手動) 引き違い扉 SUS製壁見切	新設 新設 新設
	準備室	±0	3,040	床パネルt=105 大引80x80@900 床束80x80@900	撤去 撤去 撤去	構造用合板 t=12の上 ブナフローリングt=18	撤去	---				LGS	SUSパネル	焼付塗装	LGS	ラワンベニヤt=5.5+ 化粧石こうボードt=9.5		木製 カーテン受	引き違い扉 腰窓パネル	撤去 撤去
	用務員作業室	±0	3,040	土間コンt=150 配筋D10@200 砕石t=100	新設 新設 新設	モルタル t=30 エポキシ樹脂塗床	新設 新設	---				LGS 現況のまま	SUSパネル	焼付塗装 現況のまま	LGS 現況のまま	ラワンベニヤt=5.5+ 化粧石こうボードt=9.5	現況のまま	木製 カーテン受	シャッター(軽量・手動) 引き違い扉	新設 新設
	階段室	±0 -30	3,040	モルタルこて押え		モルタル t=30 エポキシ樹脂塗床		---				LGS	SUSパネル	焼付塗装	LGS	ラワンベニヤt=5.5+ 化粧石こうボードt=9.5		木製 カーテン受		
	階段室	±0 -30	3,040	モルタルこて押え 現況のまま		下地調整R8種 エポキシ樹脂塗床	新設	---				LGS 現況のまま	SUSパネル	焼付塗装 現況のまま	LGS 現況のまま	ラワンベニヤt=5.5+ 化粧石こうボードt=9.5	現況のまま	木製 カーテン受		



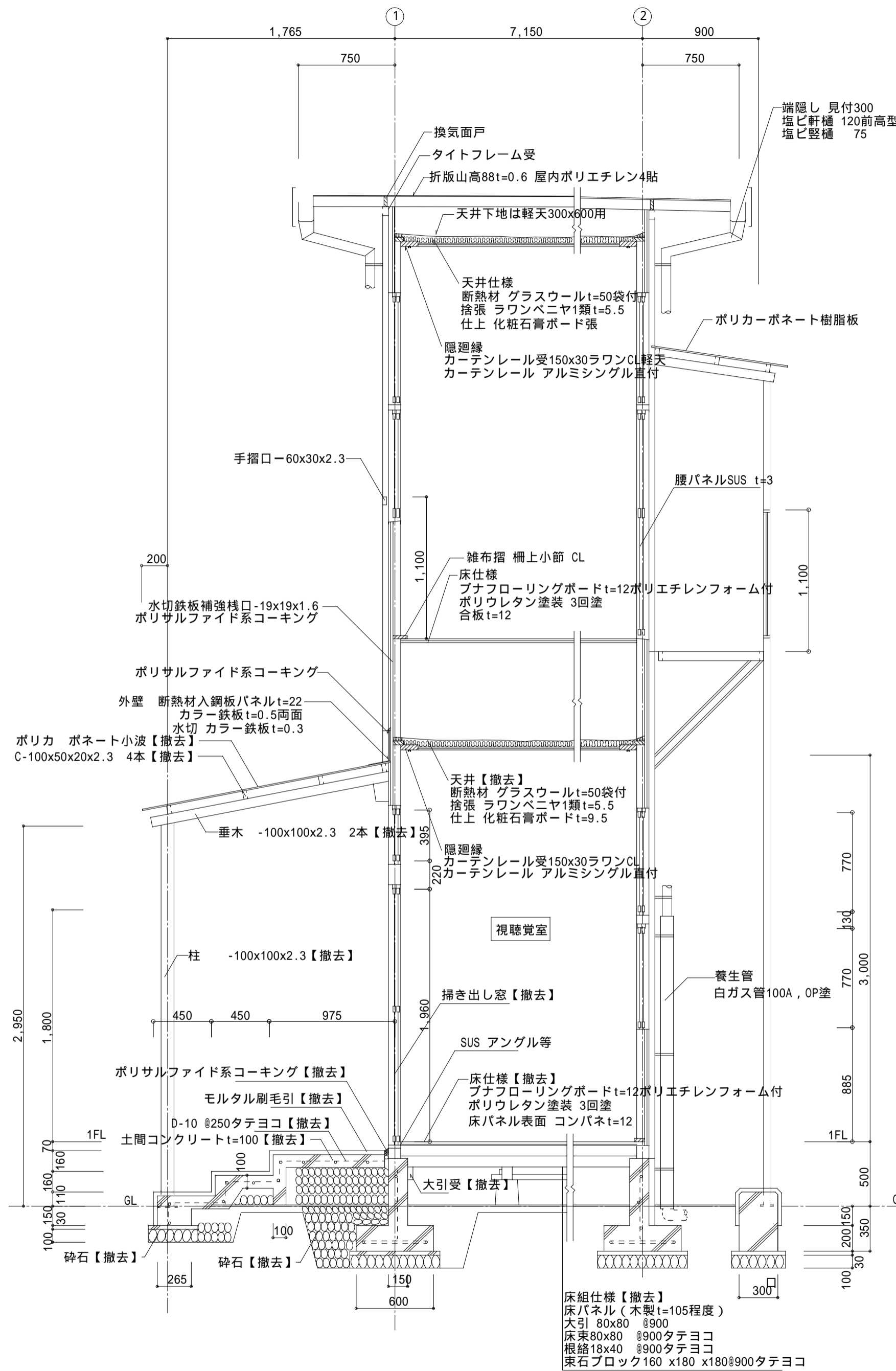
○ 凡例
内装全面改修範囲を示す
内装部分改修範囲を示す
防水改修範囲を示す
既設建具符号を示す
既設撤去建具符号を示す
既設窓付換気扇を示す
既設壁付換気扇を示す



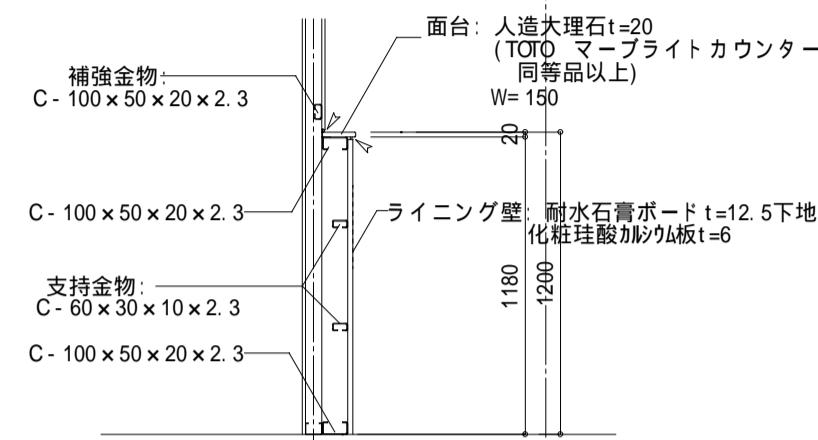
○ 凡例
内装全面改修範囲を示す
内装部分改修範囲を示す
防水改修範囲を示す
既設修繕建具符号を示す
新設建具符号を示す
新設窓付換気扇を示す
新設壁付換気扇を示す



CB積 撤去・新設 詳細図 1/10

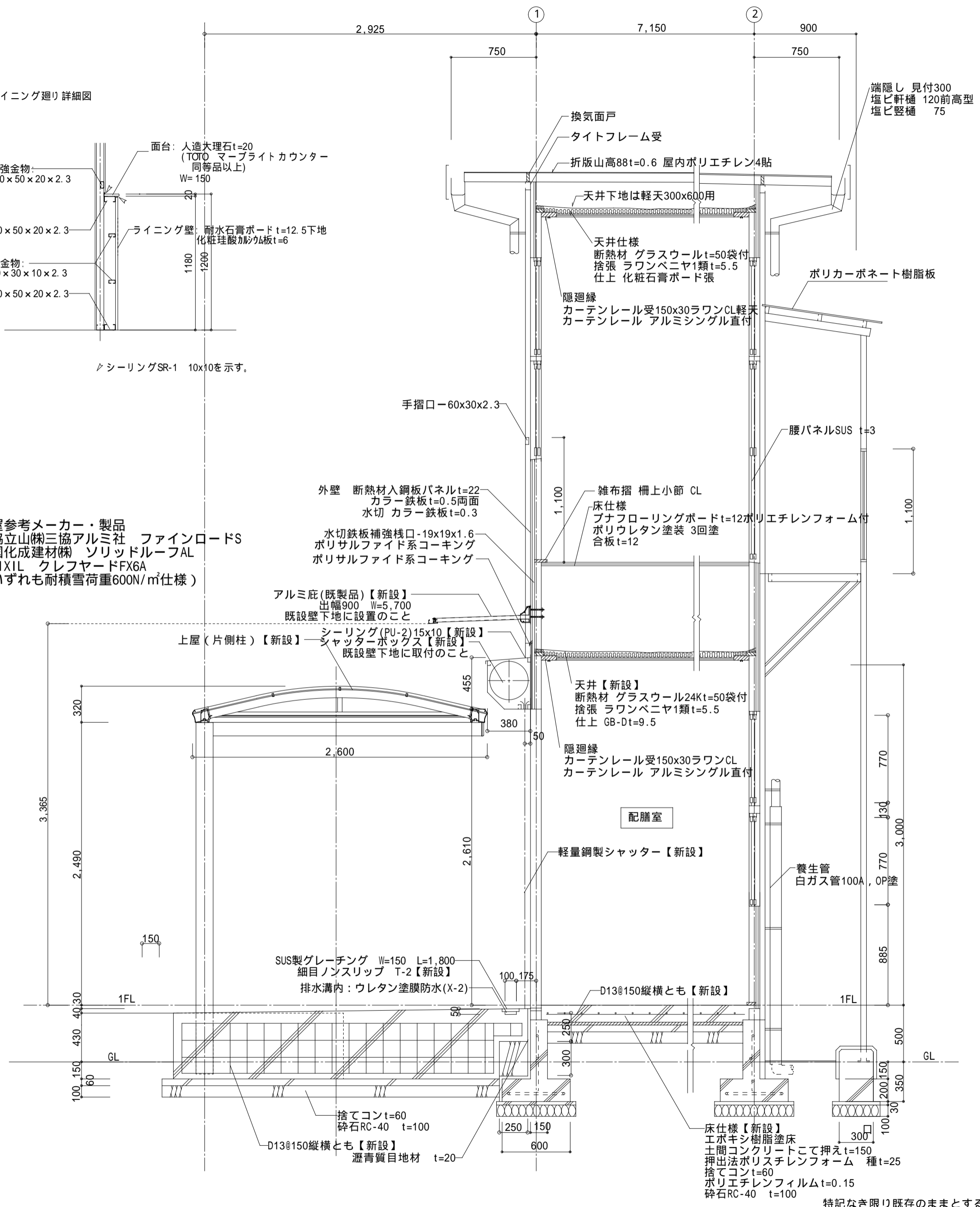


ライニング廻り詳細図

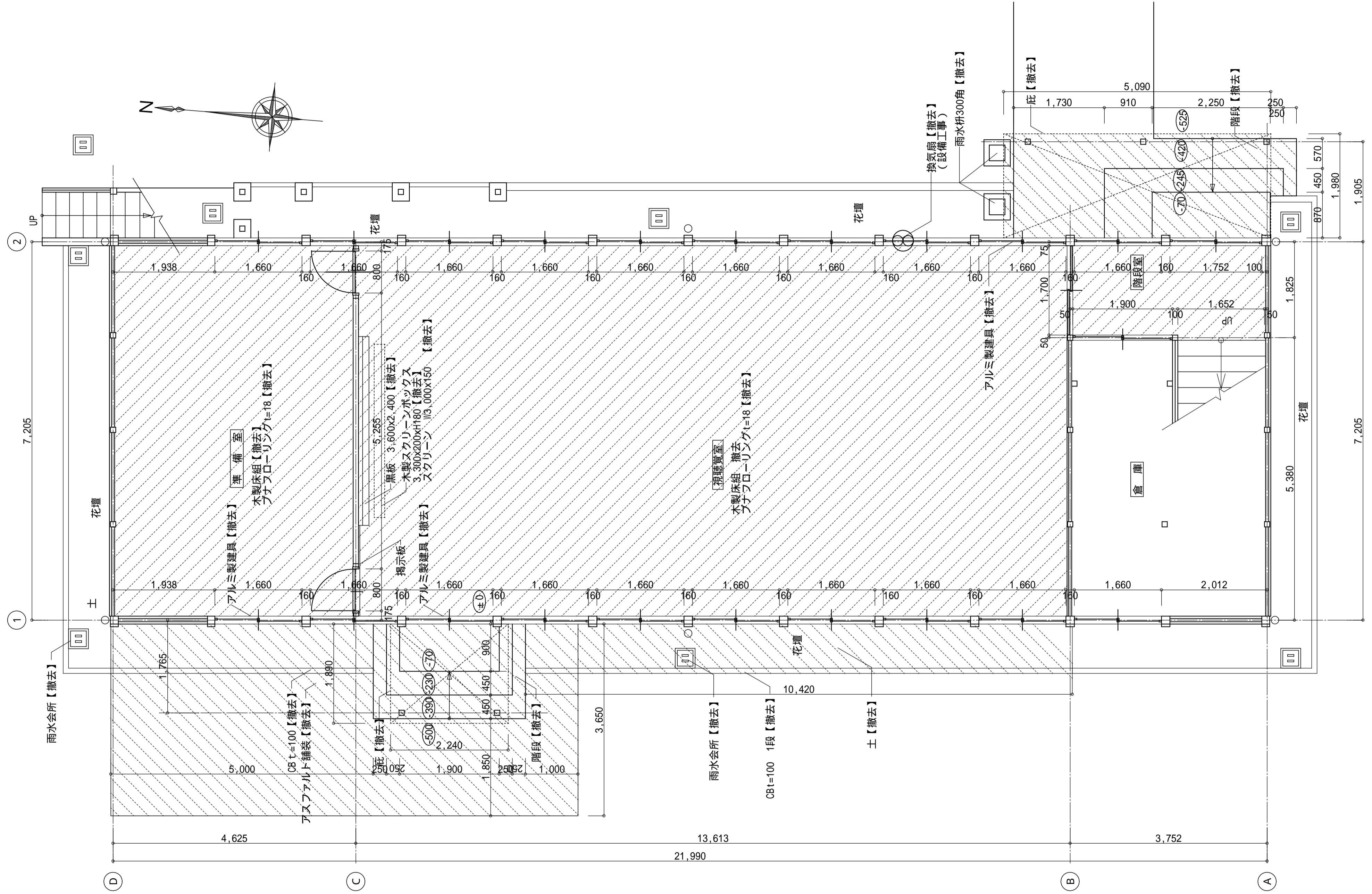


シリーングSR-1 10x10を示す。

上屋参考メーカー・製品
三協立山(株)三協アルミ社 ファインロードS
四国化成建材(株) ソリッドルーラル
(株)LIXIL クレフヤードFX6A
(いずれも耐積雪荷重600N/m仕様)



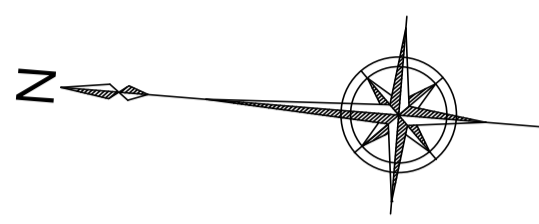
1/100	1/300	1/500	1/1000	1/1500	1/2000	1/2500
特記	<p>株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎友也</p> <p>設計 課長 係長 係 工事名 図名 縮尺 図番</p> <p>東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3) 【プレハブ棟】 【現況・撤去】【改修】断面詳細図 A2 1/30 A3 70.7% A-98</p>					
設計	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺
設計年度	令和	年月				



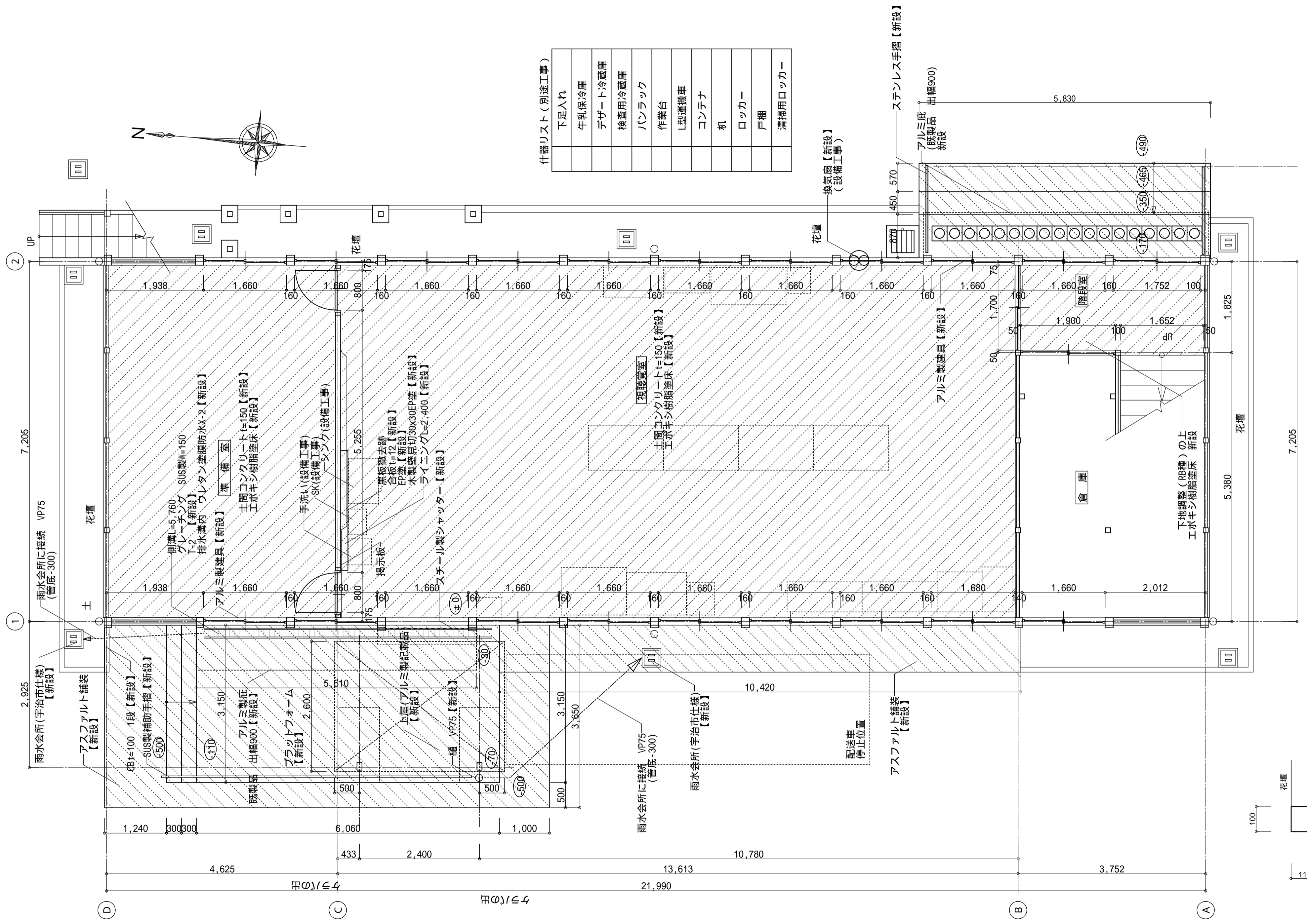
○*** はFLからのレベルを示す。
 特記なき箇所は存置とする。

ポーチ廻り、余分にアスファルトをこわした場合は現況復旧する。

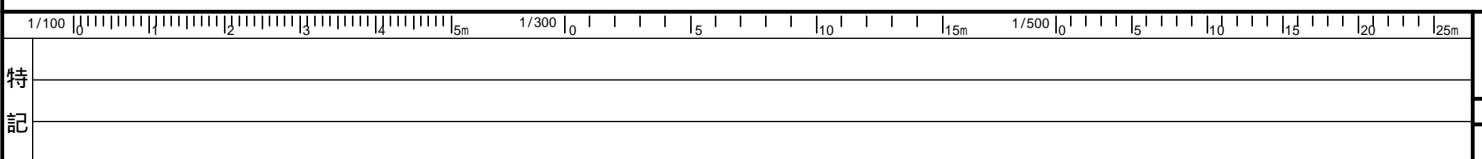
特記	1/100	1/300	1/500	1/250	株式会社山崎設計 一級建築士事務所 京都府知事登録(064)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也			設計 課長 係長 係	工事名 東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	図名 【プレハブ棟】 【現況・撤去】平面詳細図	縮尺 A2 1/50 A3 70.7%	図番 A-99
	設計番号				設計年度				令和 年 月			
	ポーチ廻り、余分にアスファルトをこわした場合は現況復旧する。											



下足入れ
牛乳保冷庫
デザート冷蔵庫
検査用冷蔵庫
パンラック
作業台
L型運搬車
コンテナ
机
ロッカー
戸棚
清掃用ロッカー



*** はFLからのレベルを示す。
 特記なき箇所は既存のままとする。



株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号 一級建築士大臣登録 第219288号 山崎友也			
設計	主任	課長	係長
設計番号	設計年度	令和	年月

工事名	東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)
図名	【プレハブ棟】 【改修】平面詳細図

縮尺	A2 1/50 A3 70.7%
図番	A - 100

符号	数量	901 AD [撤去]	1箇所	901 SS [新設]	1箇所	901 AW [撤去]	2箇所	901 AD [新設]	2箇所		
姿 図		(枠とも)		(枠とも)		(枠とも)		(枠とも)			
形 状		アルミ製欄間付引き違い戸		手動スチール製シャッター		アルミ製欄間付引き違い戸		アルミ製欄間付引き違い戸			
室 名		1階:視聴覚室		1階:配膳室		1階:視聴覚室、準備室		1階:配膳室、用務員作業室			
材 質	仕 上	アルミ製	アルマイト処理	鋼製	焼付塗装	アルミ製	アルマイト処理	アルミ製	アルマイト処理		
枠見込	建具見込	100	-	枠: 40	-	100	-	100	-		
硝 子		透明ガラス-厚3 撤去				透明ガラスt=3 撤去		学校用強化透明ガラスt=4 新設			
金 物 等		クレント、引手、戸車、スチール水切、付属金物一式		SUSガイドレール、SUSまぐさ、SUS座金 シャッターボックス 付属金物一式		クレント、引手、戸車、スチール水切、付属金物一式		クレント、引手、戸車、スチール水切、付属金物一式			
備 考											
符 号	数 量										
姿 図											
形 状											
室 名											
材 質	仕 上										
枠見込	建具見込										
硝 子											
金 物 等											
備 考											
符 号	数 量										
姿 図											
形 状											
室 名											
材 質	仕 上										
枠見込	建具見込										
硝 子											
金 物 等											
備 考											
符 号	数 量										

1/100	1/300	1/500
-------	-------	-------

株式会社山崎設計
一級建築士事務所京都府知事登録(064)第02439号
一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也
 設 計 番 号 設 計 年 度 令 和 年 月

設 計	決 裁	課 長	係 長	係

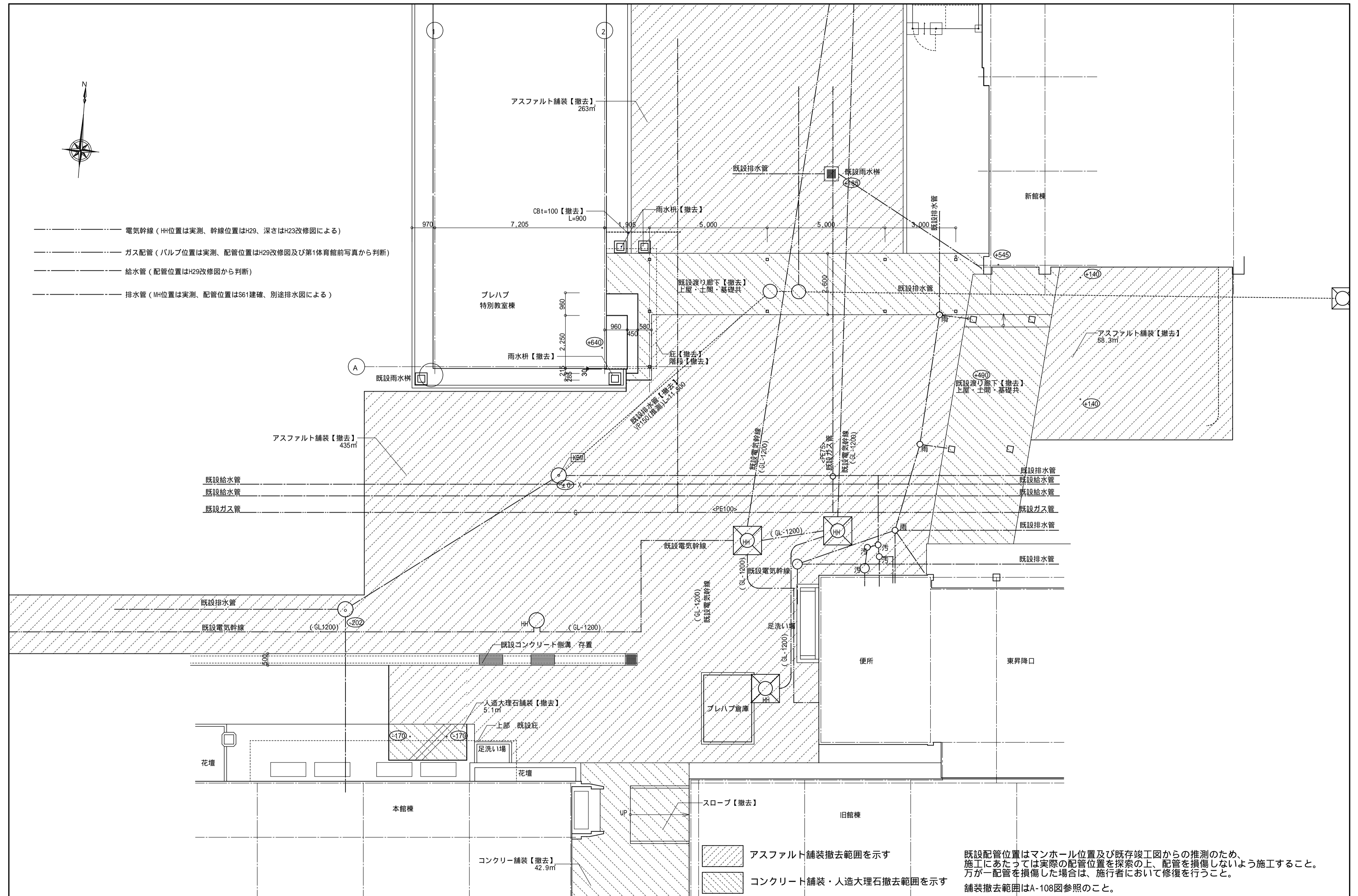
工 事 名 東 宇 治 中 学 校 施 設 長 寿 命 化 改 修 工 事 (そ の 3)

図 名 【プレハブ棟】
 建具表

縮 尺	図 番
A2 1/100	A - 101
A3 70.7%	



- 電気幹線 (HH位置は実測、幹線位置はH29、深さはH23改修図による)
- ガス配管 (バルブ位置は実測、配管位置はH29改修図及び第1体育館前写真から判断)
- 給水管 (配管位置はH29改修図から判断)
- 排水管 (MH位置は実測、配管位置はS61建確、別途排水図による)



- アスファルト舗装撤去範囲を示す
- コンクリート舗装・人造大理石撤去範囲を示す

既設配管位置はマンホール位置及び既存竣工図からの推測のため、施工にあたっては実際の配管位置を探索の上、配管を損傷しないよう施工すること。方が一配管を損傷した場合は、施工者において修復を行うこと。
舗装撤去範囲はA-108図参照のこと。

1/100	1/300	1/500	1/1000	1/2000	1/5000	1/10000	1/20000	1/50000	1/100000	1/200000	1/500000	1/1000000																							
<p style="text-align: center;">株式会社山崎設計</p> <p style="text-align: center;">一級建築士事務所京都府知事登録(064)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也</p> <p style="text-align: center;">設計番号 設計年度 令和 年 月</p>																																			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">設計</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">決</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">課</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">長</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">係</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">長</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">係</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">工</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">事</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">名</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">図</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">名</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>												設計	決	課	長	係	長	係	工	事	名	図	名												
設計	決	課	長	係	長	係	工	事	名	図	名																								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>																																			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>																																			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>																																			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>																																			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>																																			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>																																			

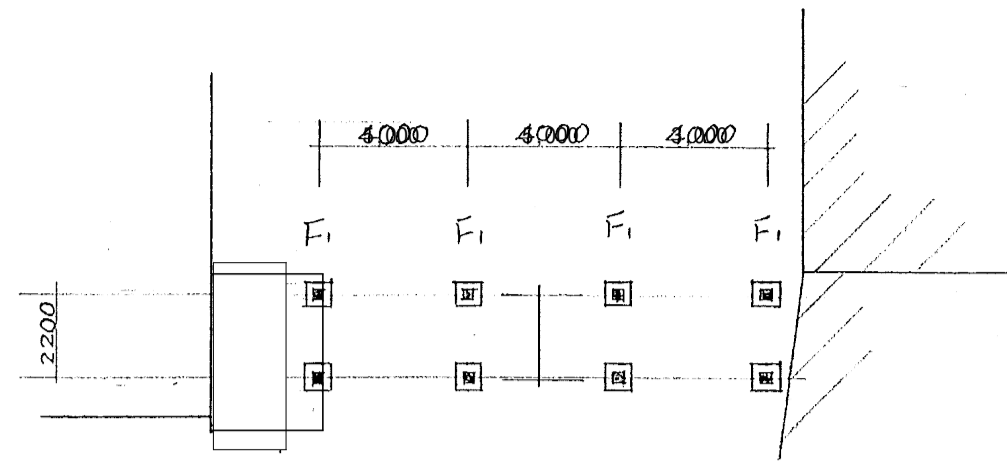
特記

縮尺 図番

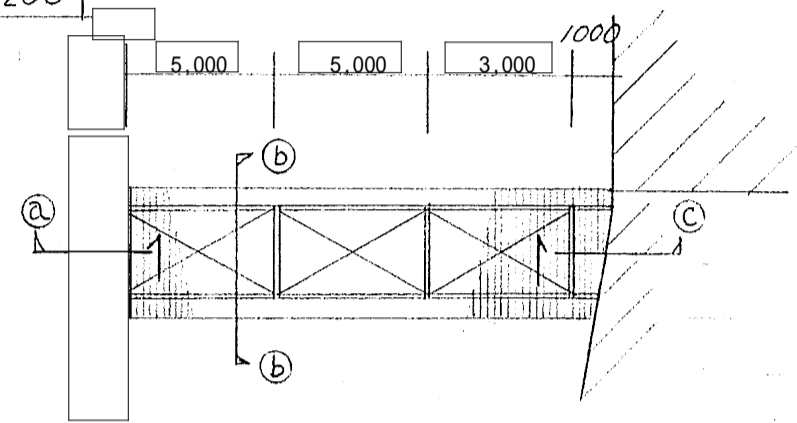
A2 1/100

A3 70.7%

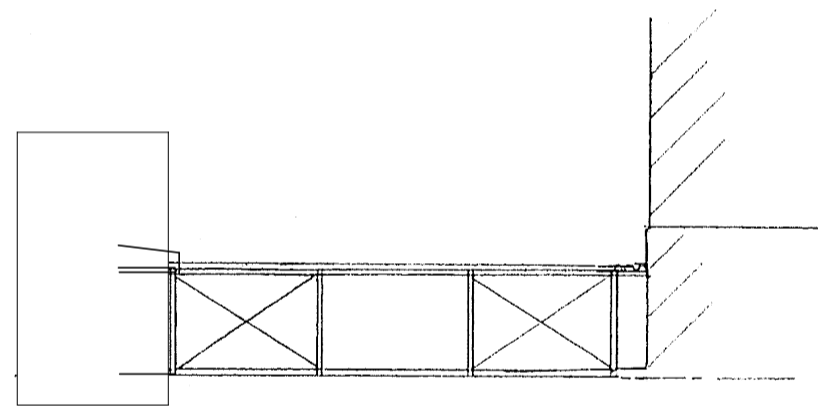
A - 102



基礎伏図 S=1:200

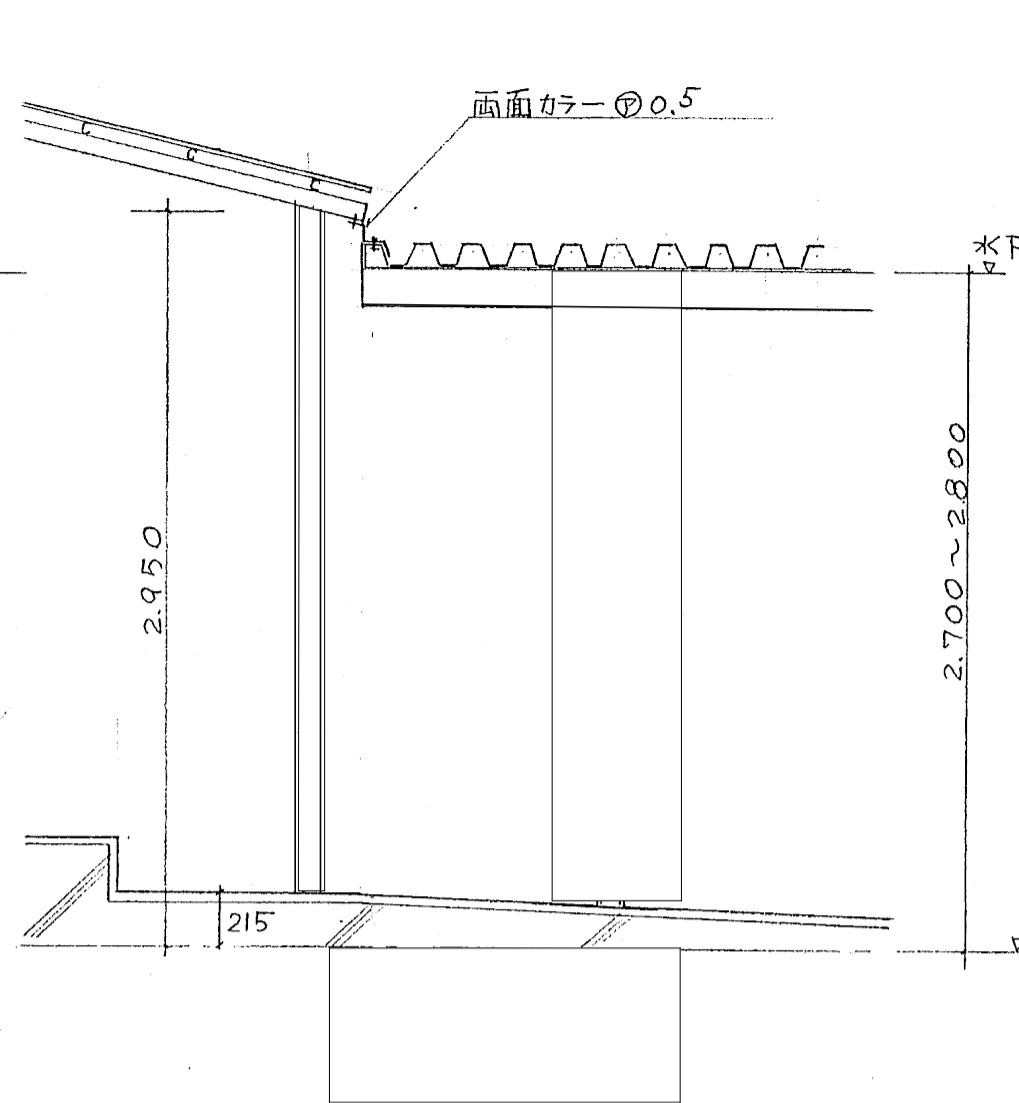
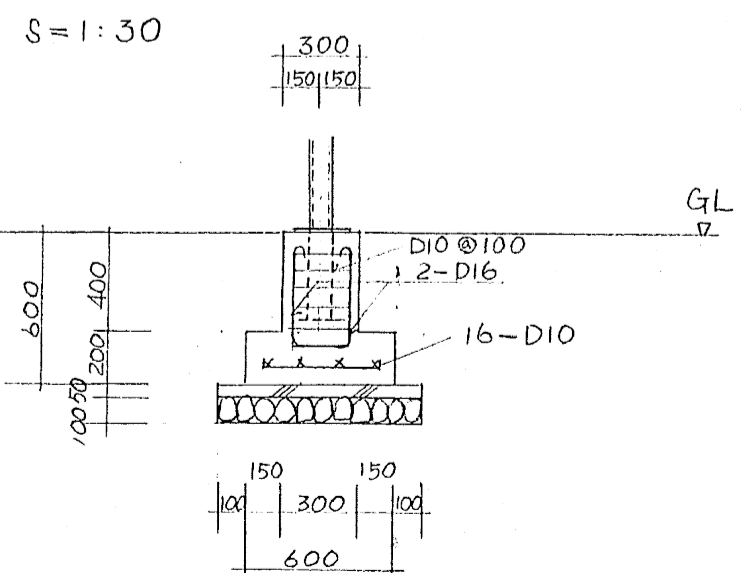


屋根伏図 S=1:200

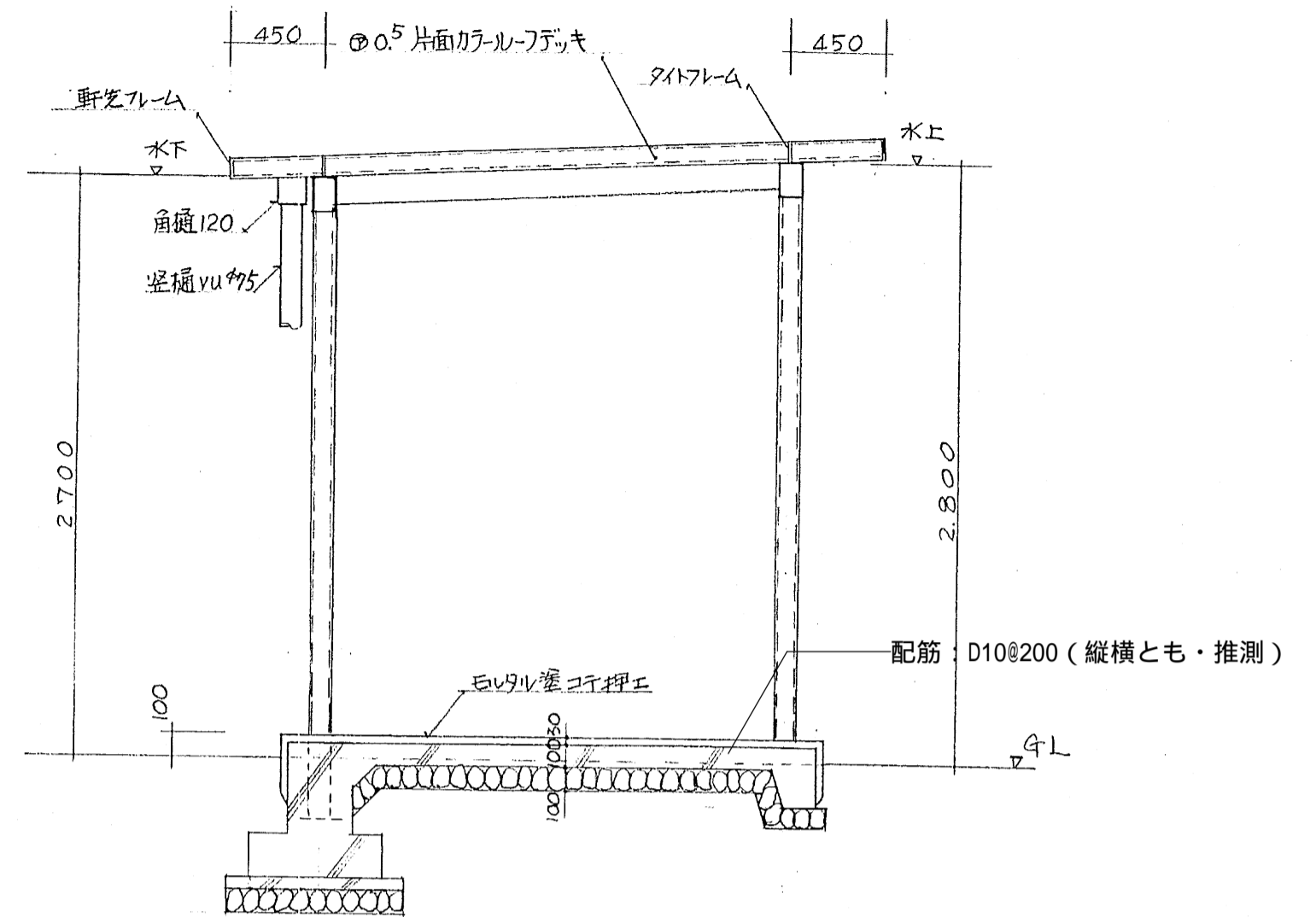


軸組図 S=1:200

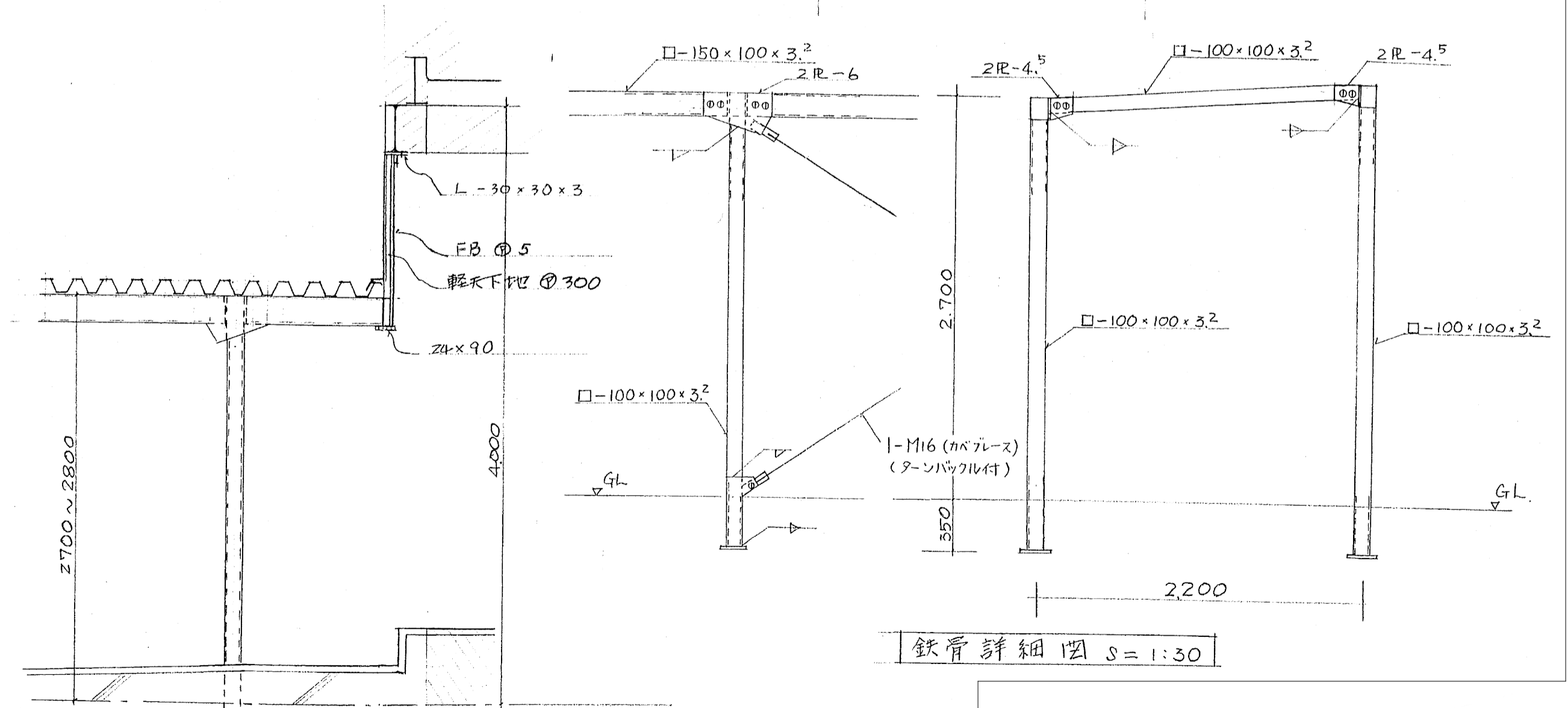
F1基礎



A-A断面詳細図 S=1:30



B-B断面詳細図 S=1:30



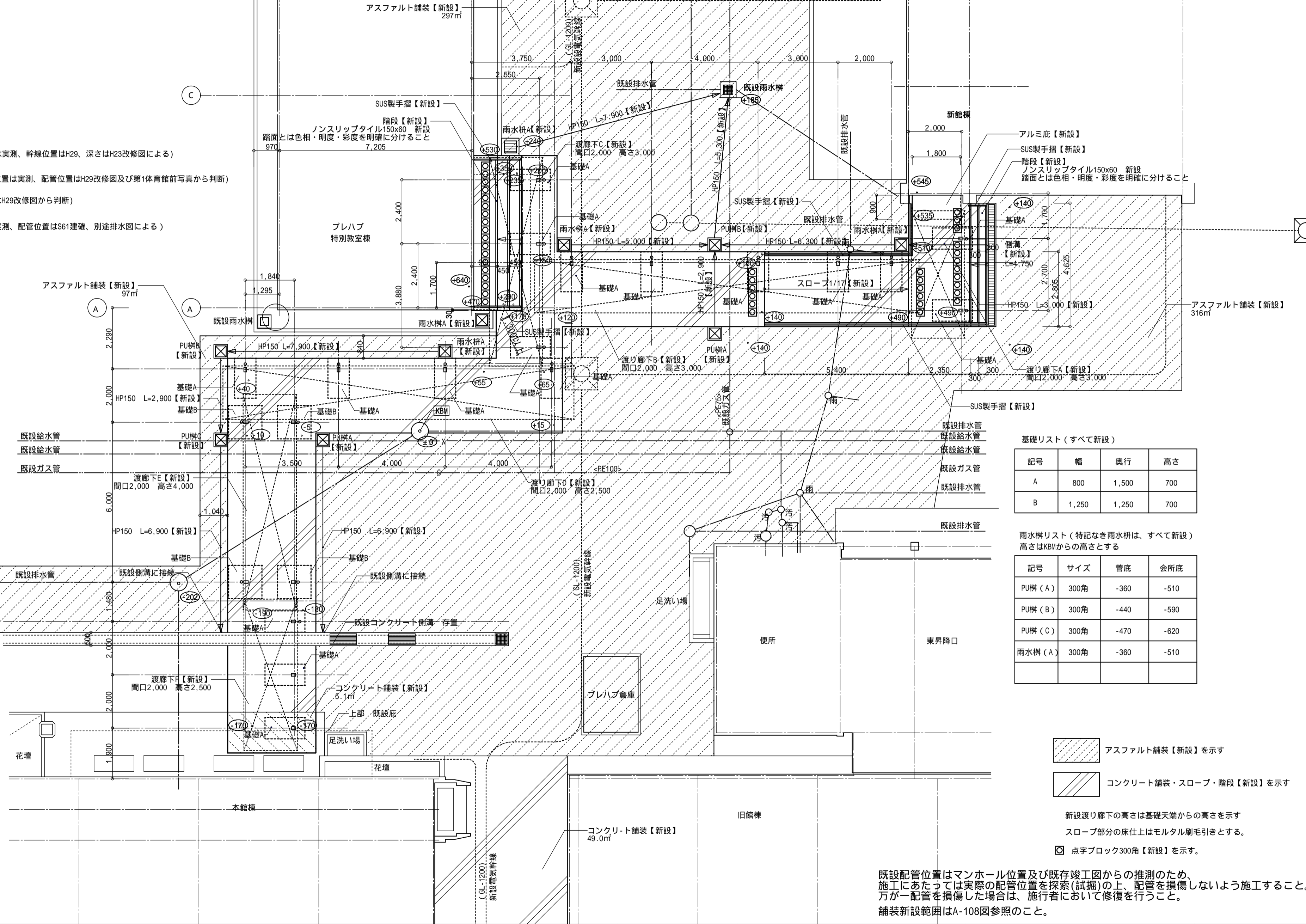
鉄骨詳細図 S=1:30

C-C断面詳細図 S=1:30

特記	1/100	1/300	1/500	1/750	1/1000	1/1500	1/2000	1/3000	1/4000	1/5000	1/7000	1/10000	1/15000	1/20000	1/30000	1/40000	1/50000	1/70000	1/100000
	<p>株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也 設計番号 設計年度 令和 年月</p>																		
設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番											
	裁				東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	【渡り廊下棟】 【現況・撤去】詳細図	A2 1/30、1/200 A3 70.7%	A-103											



- 電気幹線（HH位置は実測、幹線位置はH29、深さはH23改修図による）
- ガス配管（バルブ位置は実測、配管位置はH29改修図及び第1体育館前写真から判断）
- 給水管（配管位置はH29改修図から判断）
- 排水管（MH位置は実測、配管位置はS61建確、別途排水図による）



基礎リスト（すべて新設）

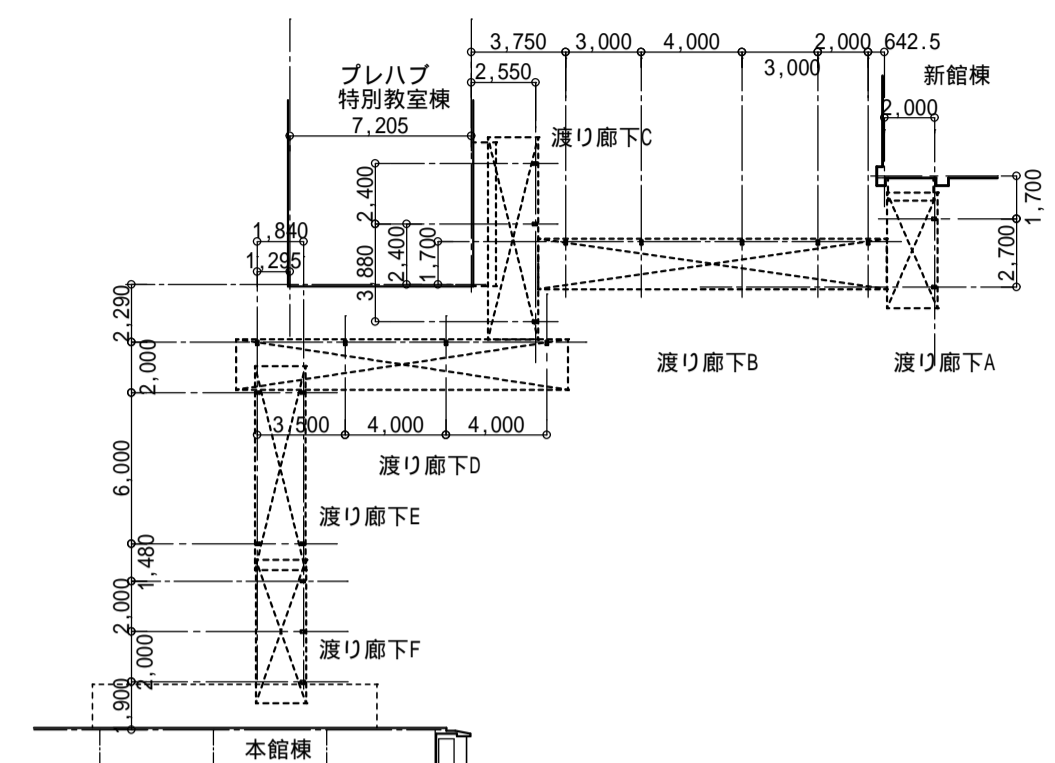
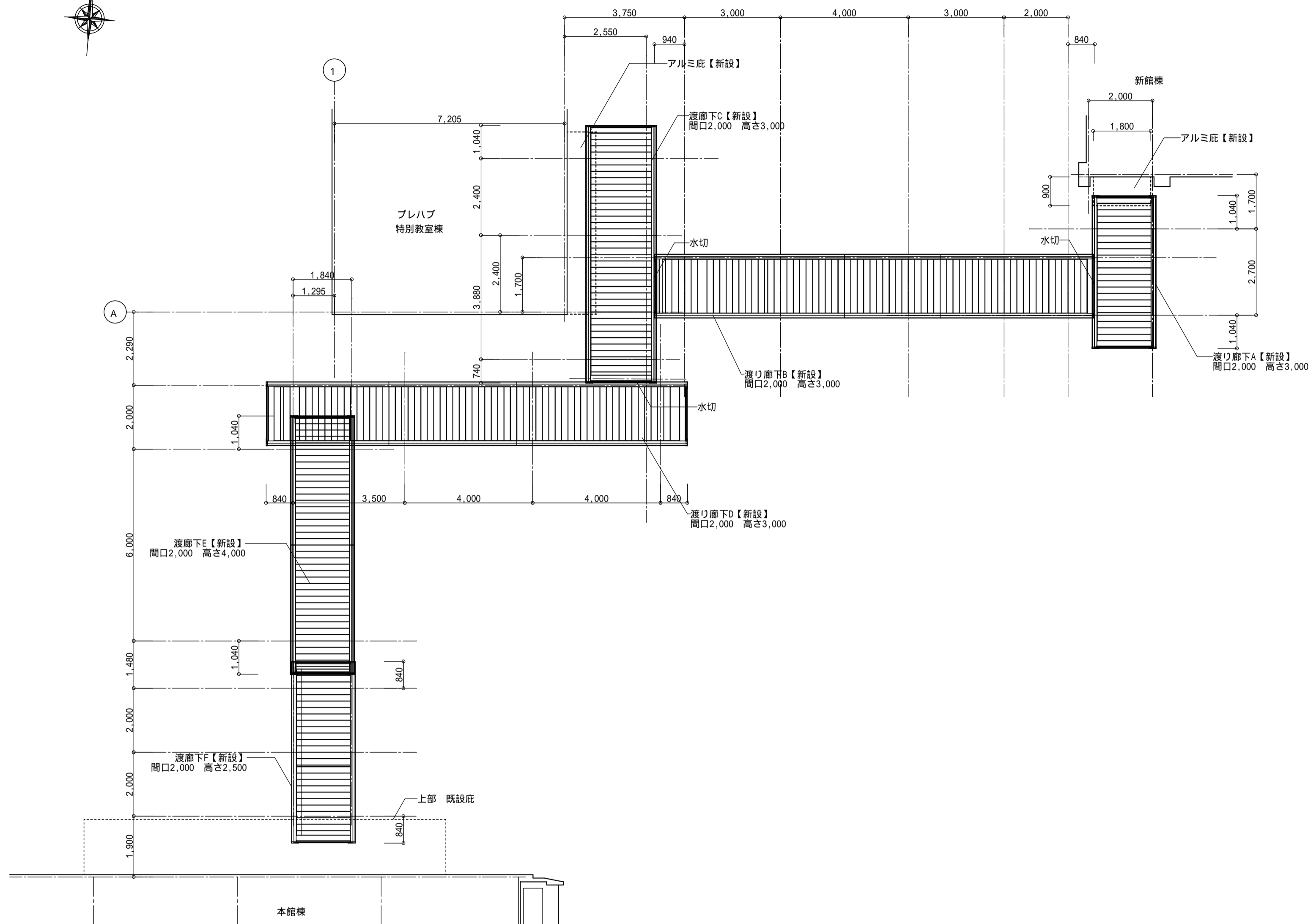
記号	幅	奥行	高さ
A	800	1,500	700
B	1,250	1,250	700

雨水樹リスト（特記なき雨水樹は、すべて新設）
高さはKBMからの高さとする

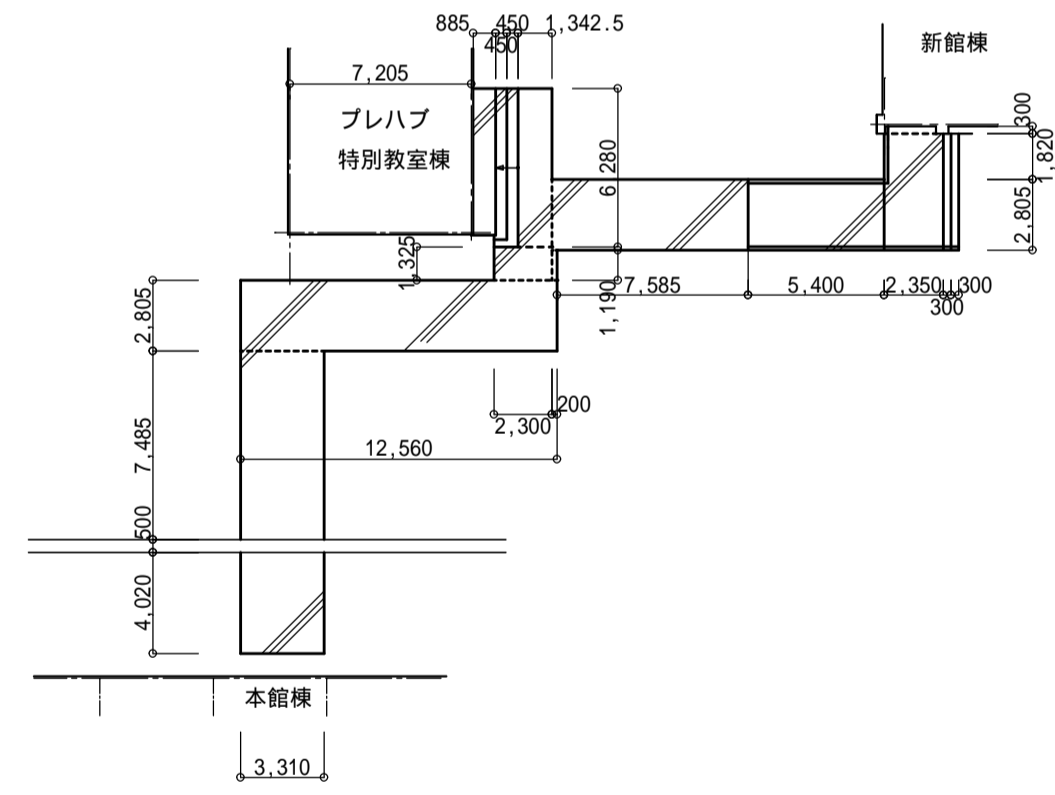
記号	サイズ	菅底	会所底
PU樹(A)	300角	-360	-510
PU樹(B)	300角	-440	-590
PU樹(C)	300角	-470	-620
雨水樹(A)	300角	-360	-510

- アスファルト舗装【新設】を示す
- コンクリート舗装・スロープ・階段【新設】を示す
- 新設渡り廊下の高さは基礎天端からの高さを示す
- スロープ部分の床仕上はモルタル刷毛引きとする。
- 点字ブロック300角【新設】を示す。

既設配管位置はマンホール位置及び既存竣工図からの推測のため、施工にあたっては実際の配管位置を探索（試掘）の上、配管を損傷しないよう施工すること。方が配管を損傷した場合は、施工者において修復を行うこと。
舗装新設範囲はA-108図参照のこと。



柱位置図 1/300

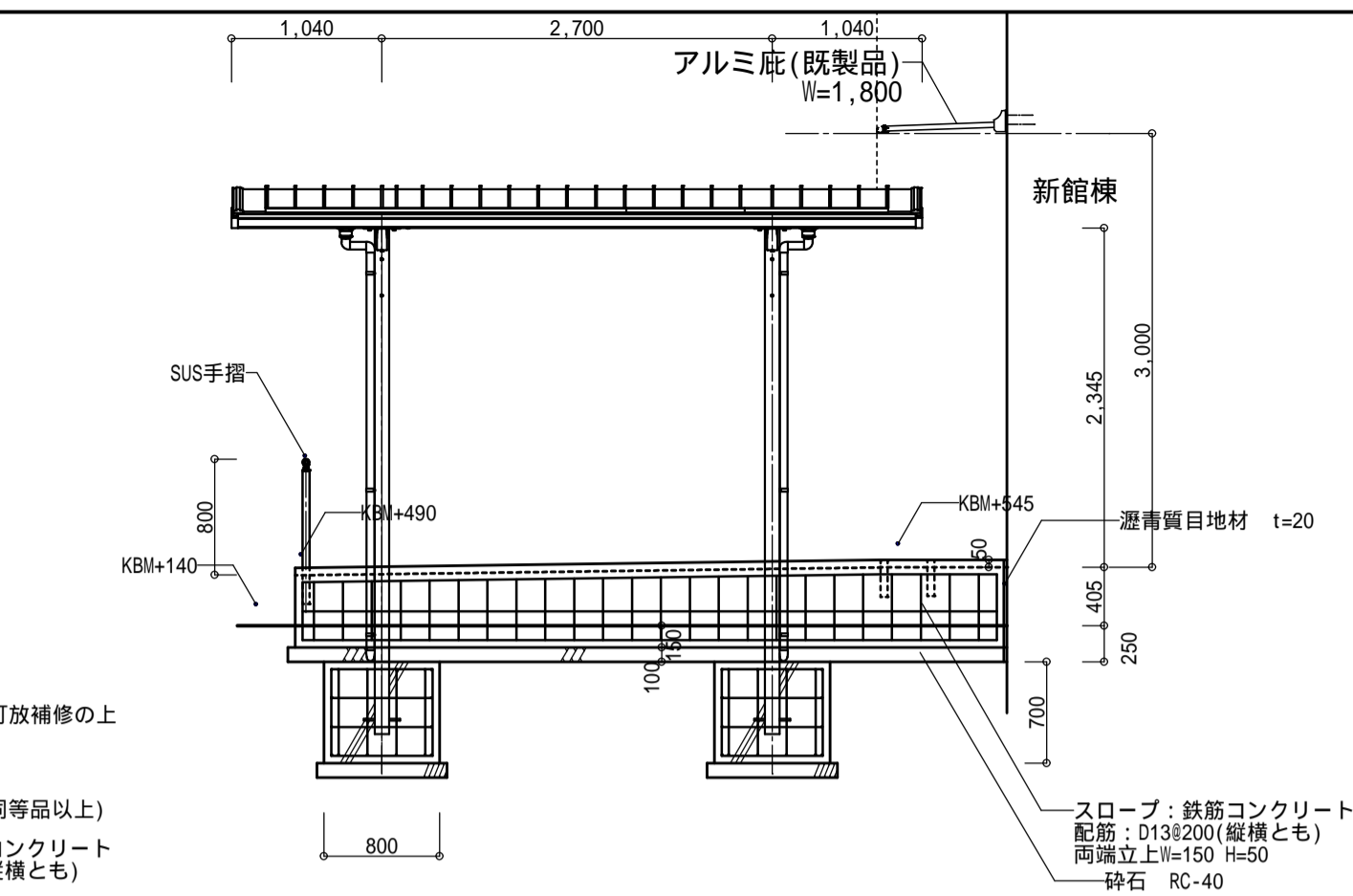
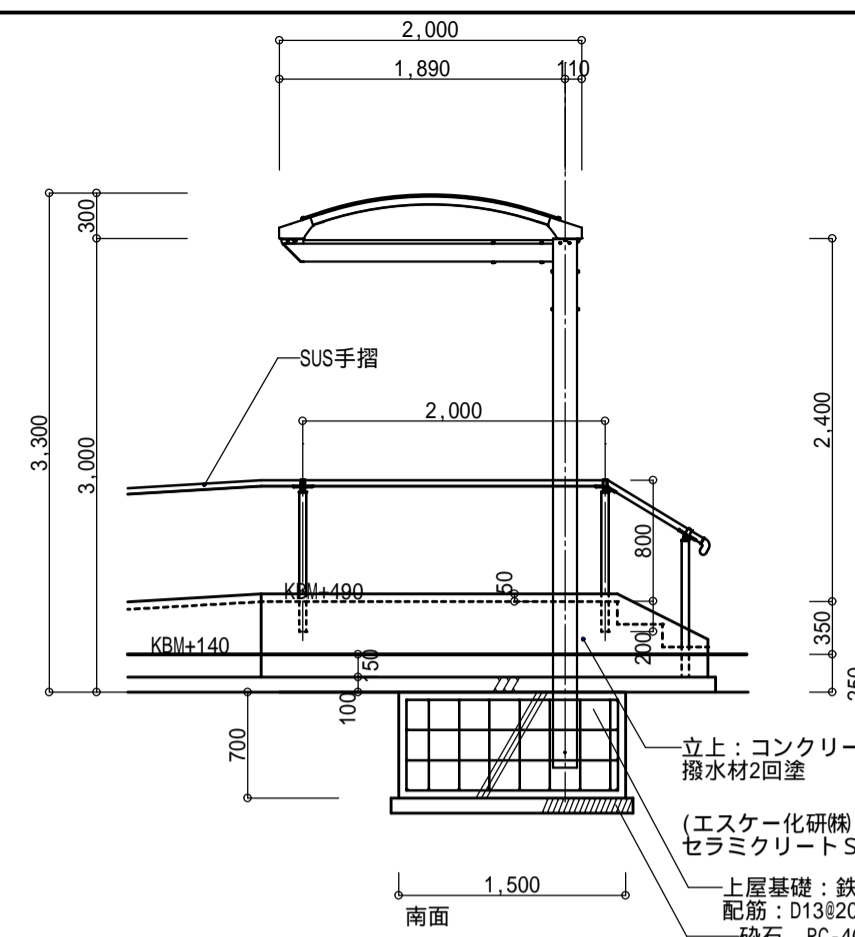


コンクリート舗装寸法図 1/300

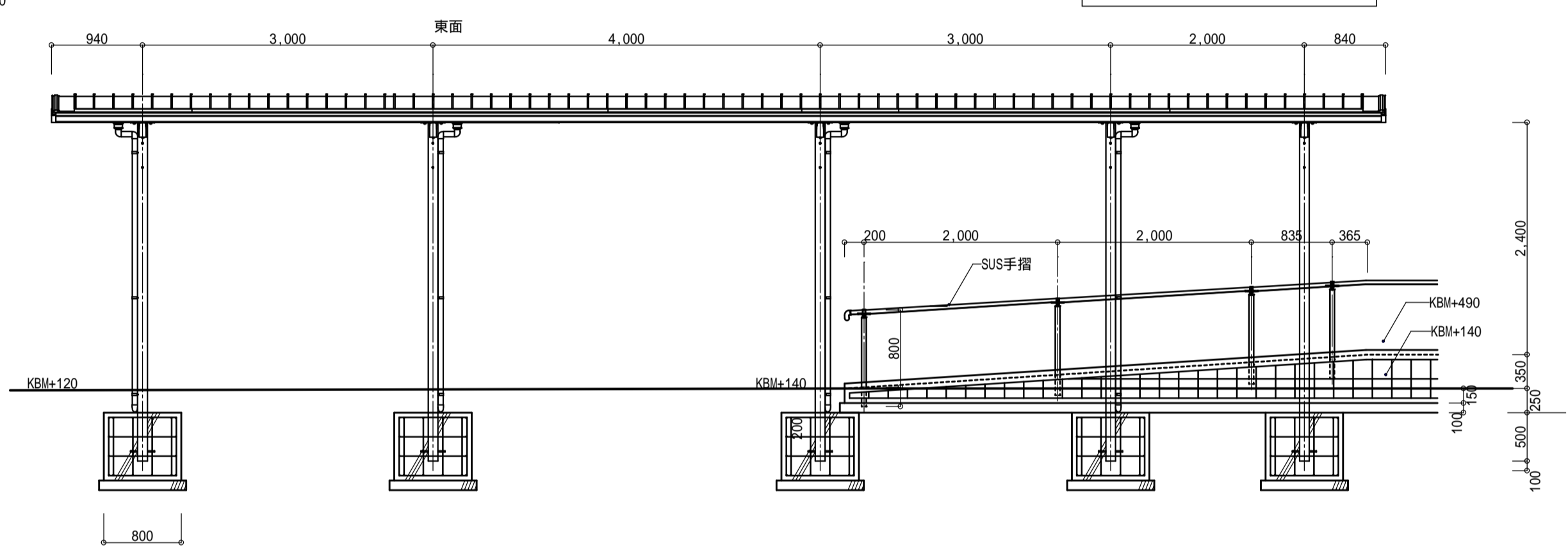
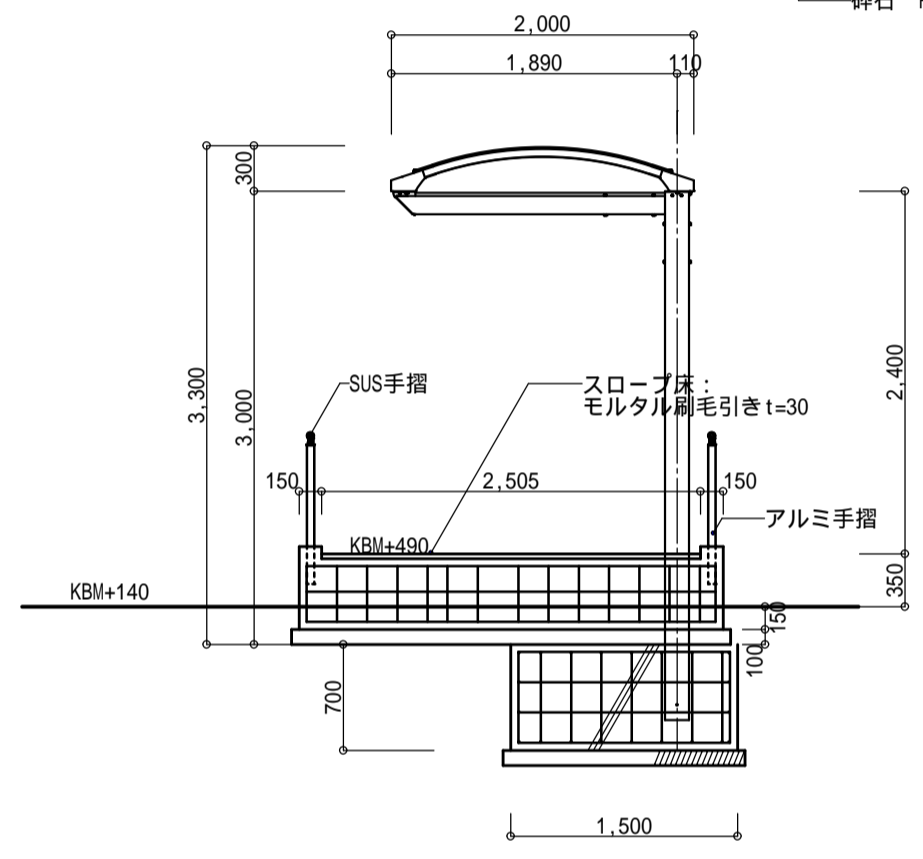
屋根仕上はすべてアルミ押出型材とする。
 部材寸法はメーカー仕様による。
 新設渡り廊下の高さは基礎天端からの高さを示す

特記	1/100	1/300	1/500	1/900	1/1500	1/2500	1/5000	1/10000	1/20000	1/50000	1/100000	1/200000	1/500000	1/1000000	1/2000000	1/5000000	1/10000000	1/20000000	1/50000000	1/100000000
	株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号 一級建築士大臣登録 第219288号 山崎友也											設計	決裁	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
	設計番号			設計年度			令和 年月		欄		東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)		【渡り廊下棟】 【改修】屋根伏図		A2 1/100 A3 70.7%		A-105			

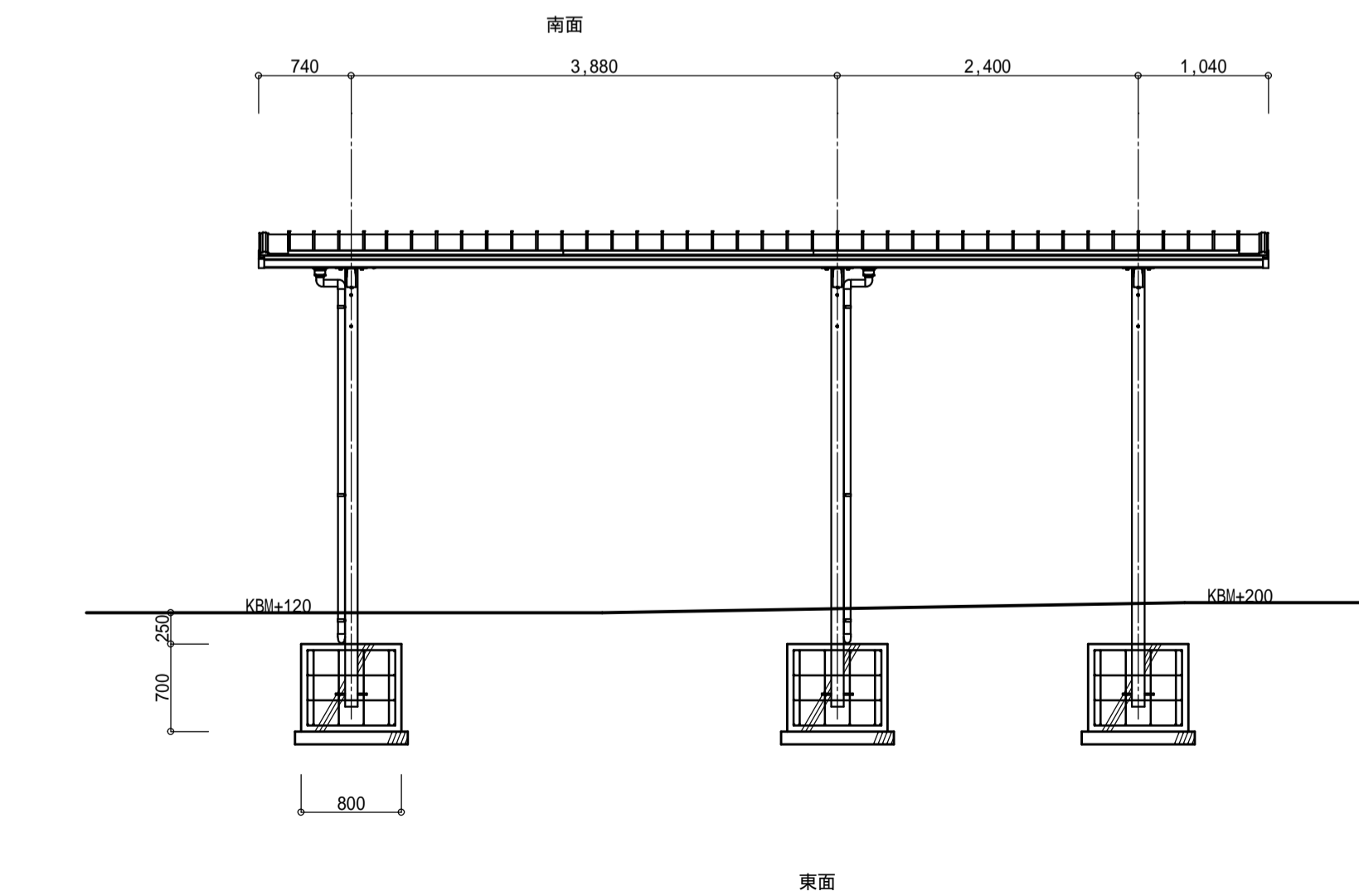
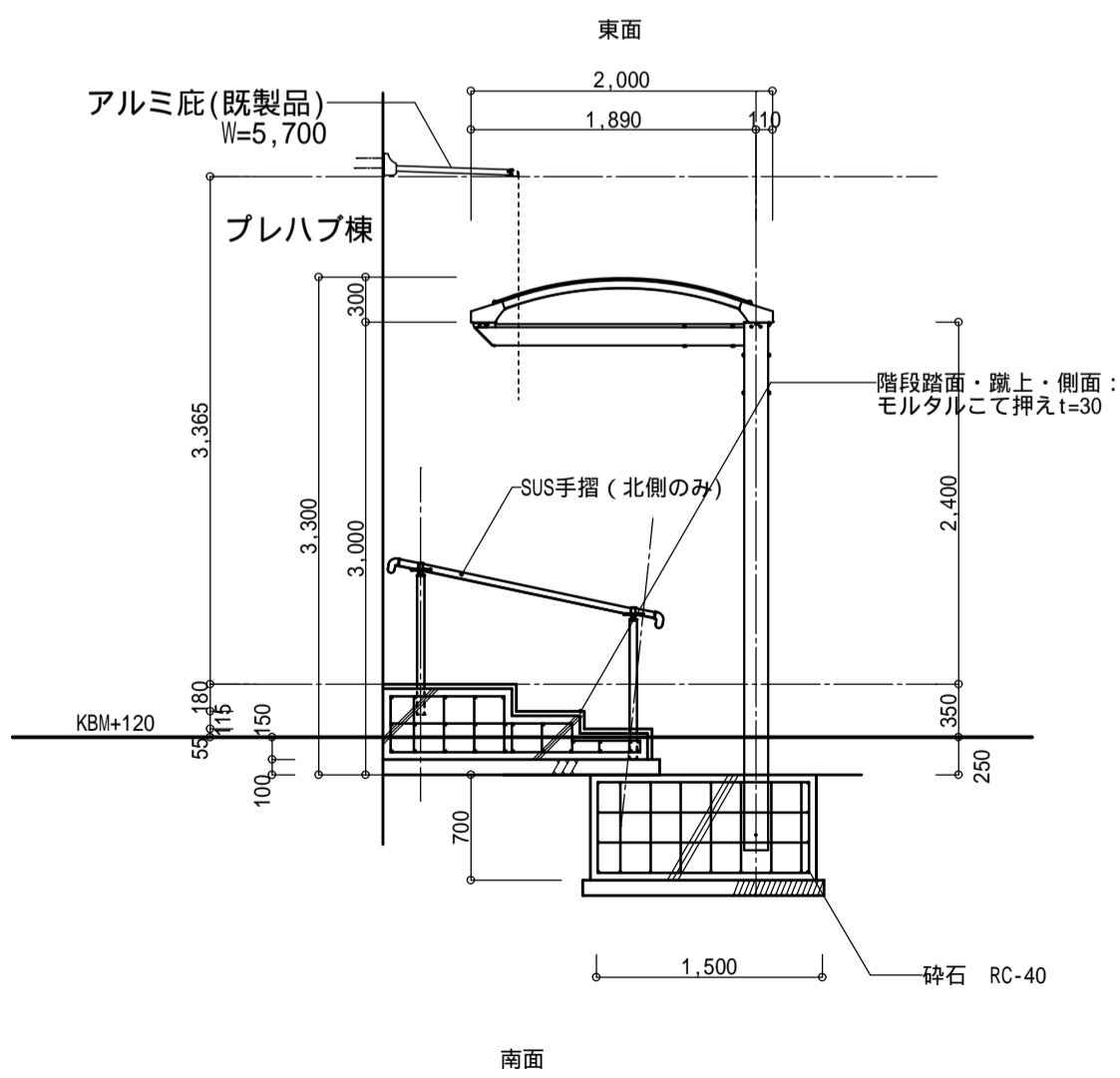
仕上材料
屋根・柱・梁：アルミ押出型材(不燃材料 H16告示第1178号)



渡り廊下A 立面図 1/50



渡り廊下B 立面図 1/50

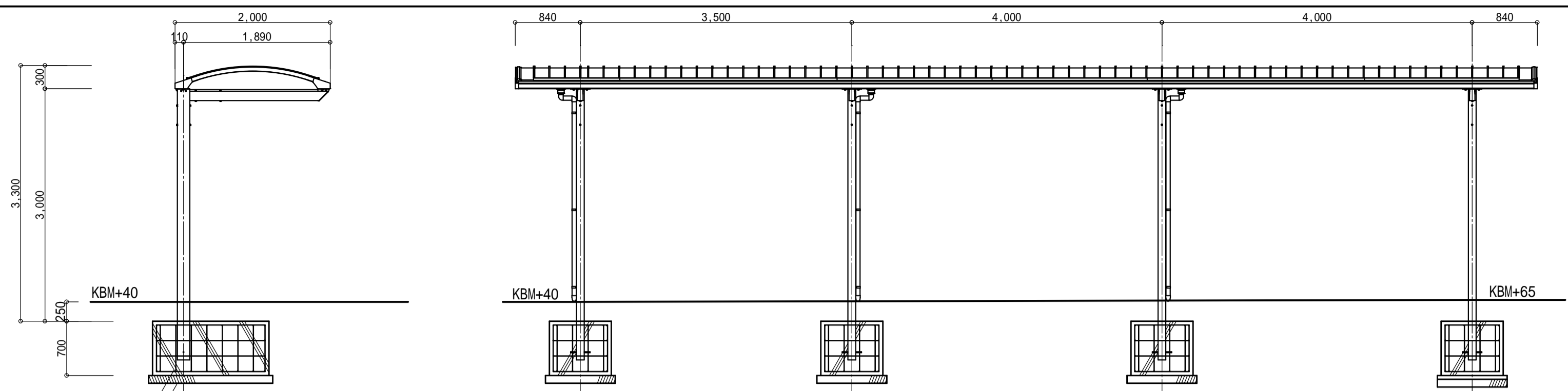


渡り廊下C 立面図 1/50

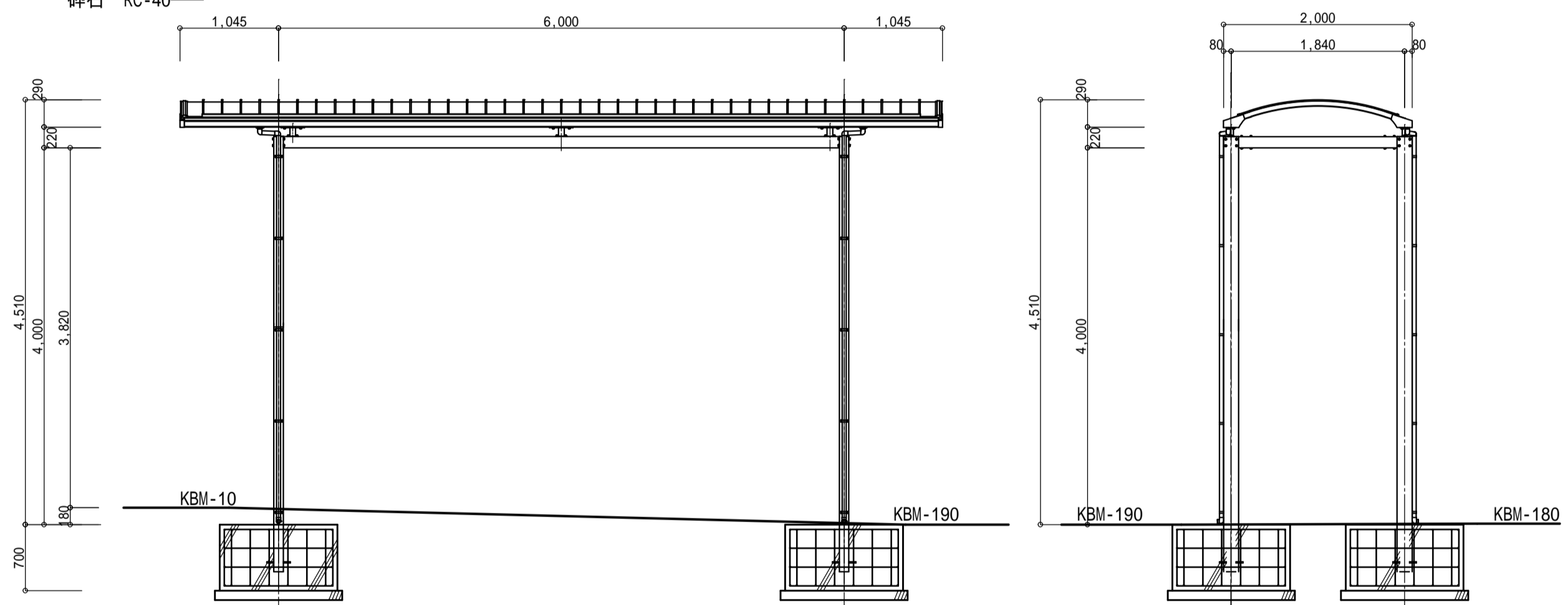
本図記載の内容はすべて新設
基礎・スロープ配筋は各渡り廊下共通
参考メーカー・製品
三協立山(株)三協アルミ社 ファインロードS
四国化成建材(株) ソリッドルーファル
(株)LIXIL クレフヤードFX6A
(いずれも耐積雪荷重600N/m²仕様)

特記					株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(064)第02439号 一級建築士大臣登録 第219288号 山崎 友也			設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
	設計番号		設計年度		令和 年 月		欄						東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	【渡り廊下棟】 【改修】立面図(1)	A2 1/50 A3 70.7%	A-106

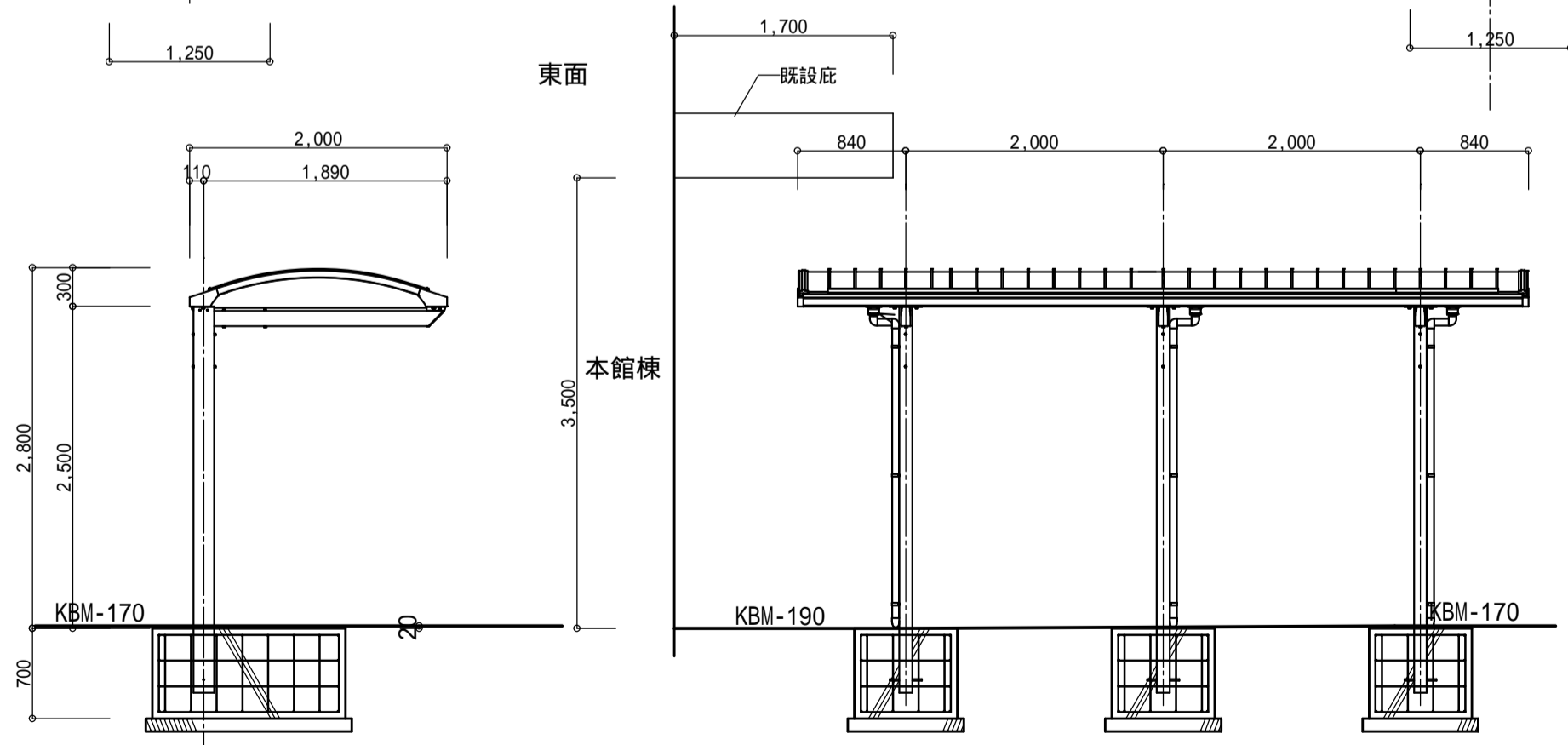
上屋基礎：鉄筋コンクリート
配筋：D13@200(縦横とも)
砕石 RC-40



渡り廊下D 立面図 1/50



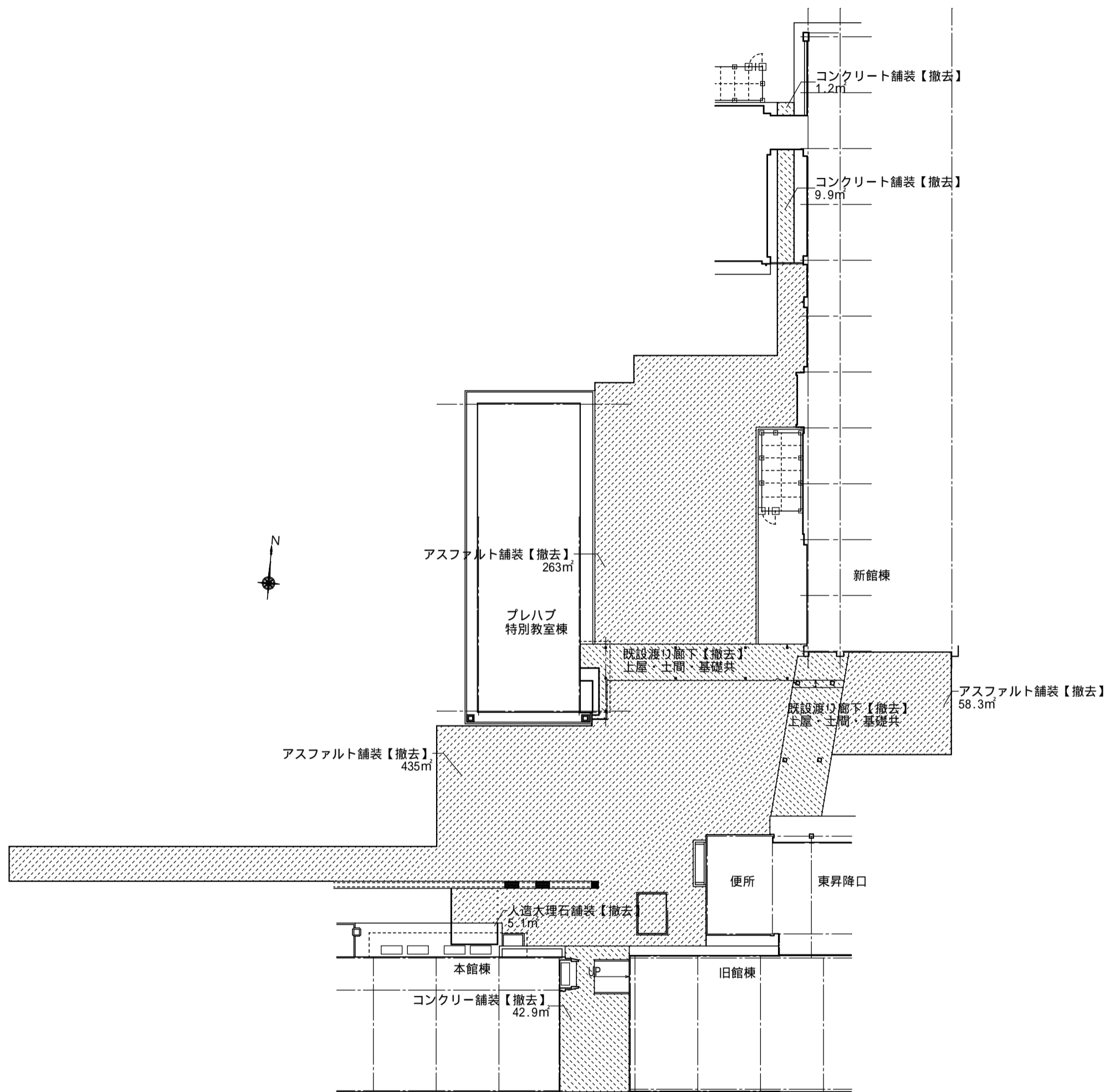
渡り廊下E 立面図 1/50



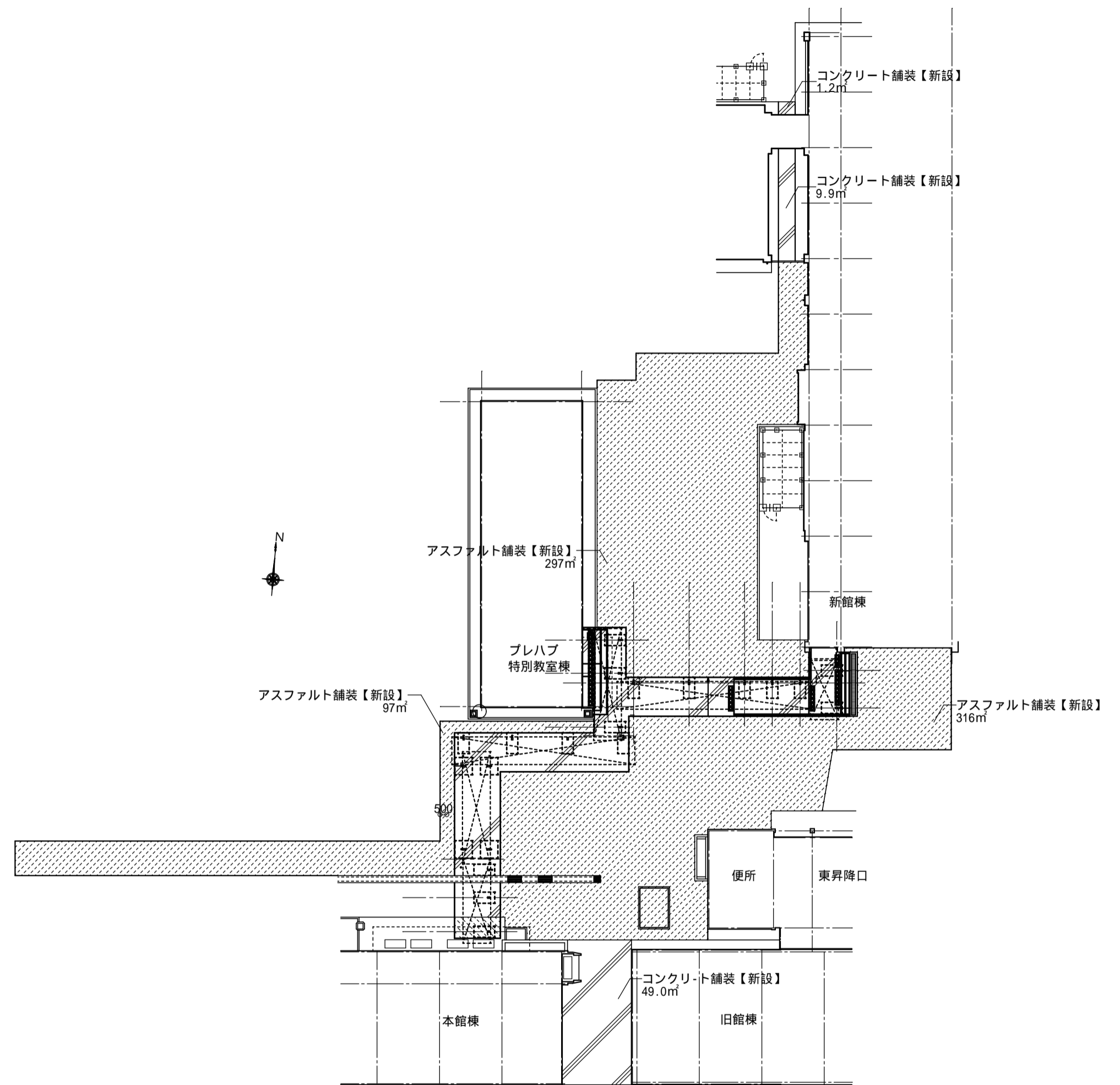
渡り廊下F 立面図 1/50

本図記載の内容はすべて新設
基礎・スロープ配筋は各渡り廊下共通
参考メーカー・製品
三協立山(株)三協アルミ社 ファインロードS
四国化成建材(株) ソリッドルーフAH
(株)LIXIL クレフヤードFX6A
(いずれも耐積雪荷重600N/m仕様)

特記	1/100	1/300	1/500	1/900	1/1500	1/2500	1/5000	1/10000	1/20000	1/50000	1/100000	1/200000	1/500000	1/1000000
	<p>設計 決 課長 係長 係 工事名 図名 縮尺 図番</p> <p>株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也</p> <p>設計番号 設計年度 令和 年月</p> <p>東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)</p> <p>【渡り廊下棟】 【改修】立面図(2)</p> <p>A2 1/50 A3 70.7%</p> <p>A - 107</p>													

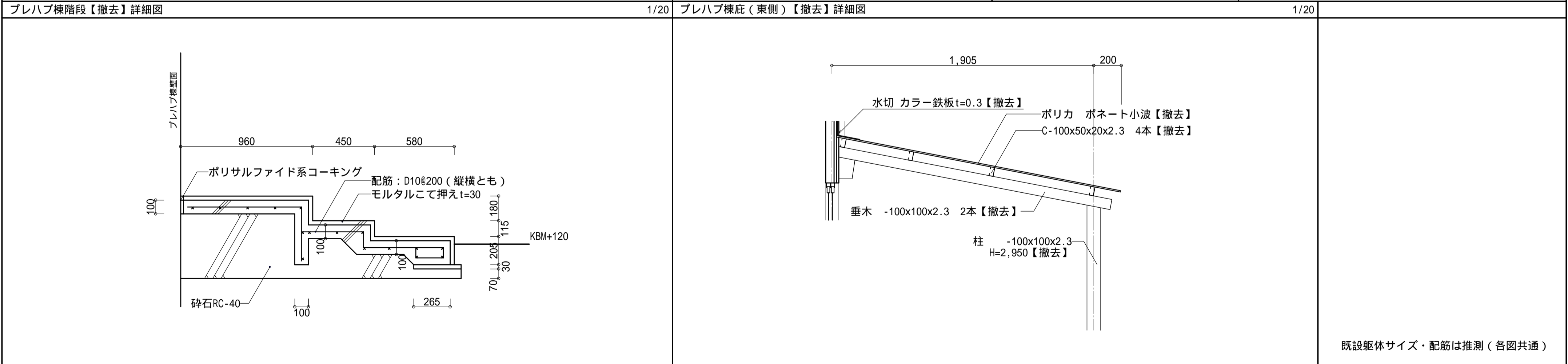
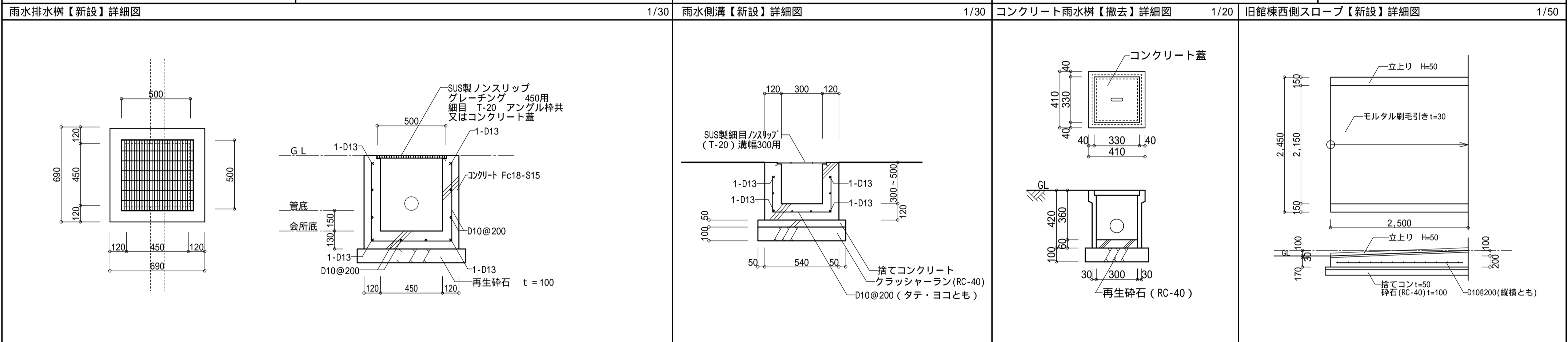
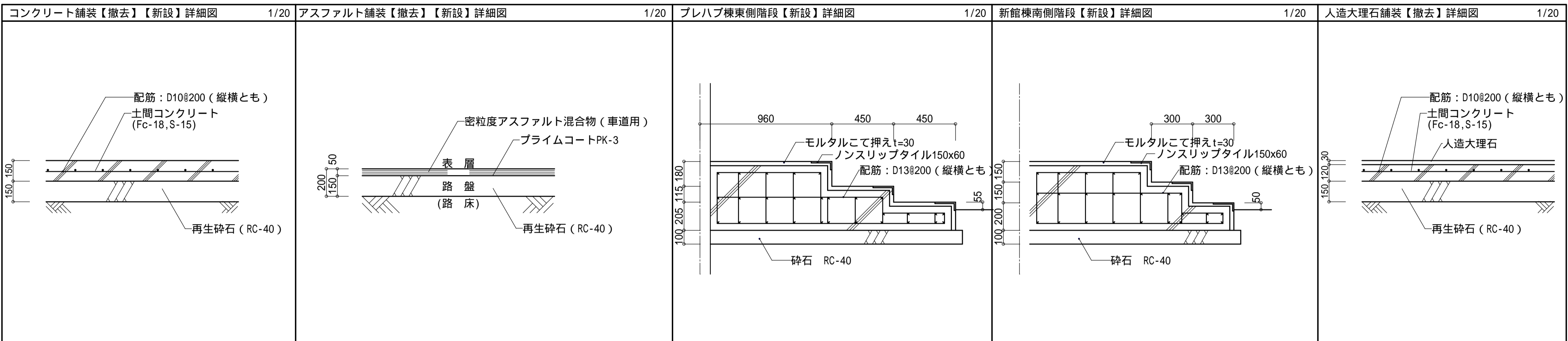


【現況・撤去】



【改修】

特記	1/100	1/300	1/500	1/900	設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
	株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号 一級建築士大臣登録 第219288号 山崎友也				設計番号	設計年度	令和	年	月	東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	【渡り廊下】【現況・撤去】【改修】舗装範囲図	A2 1/300 A3 70.7%	A-108

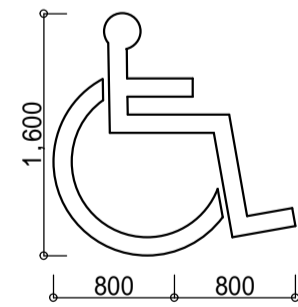
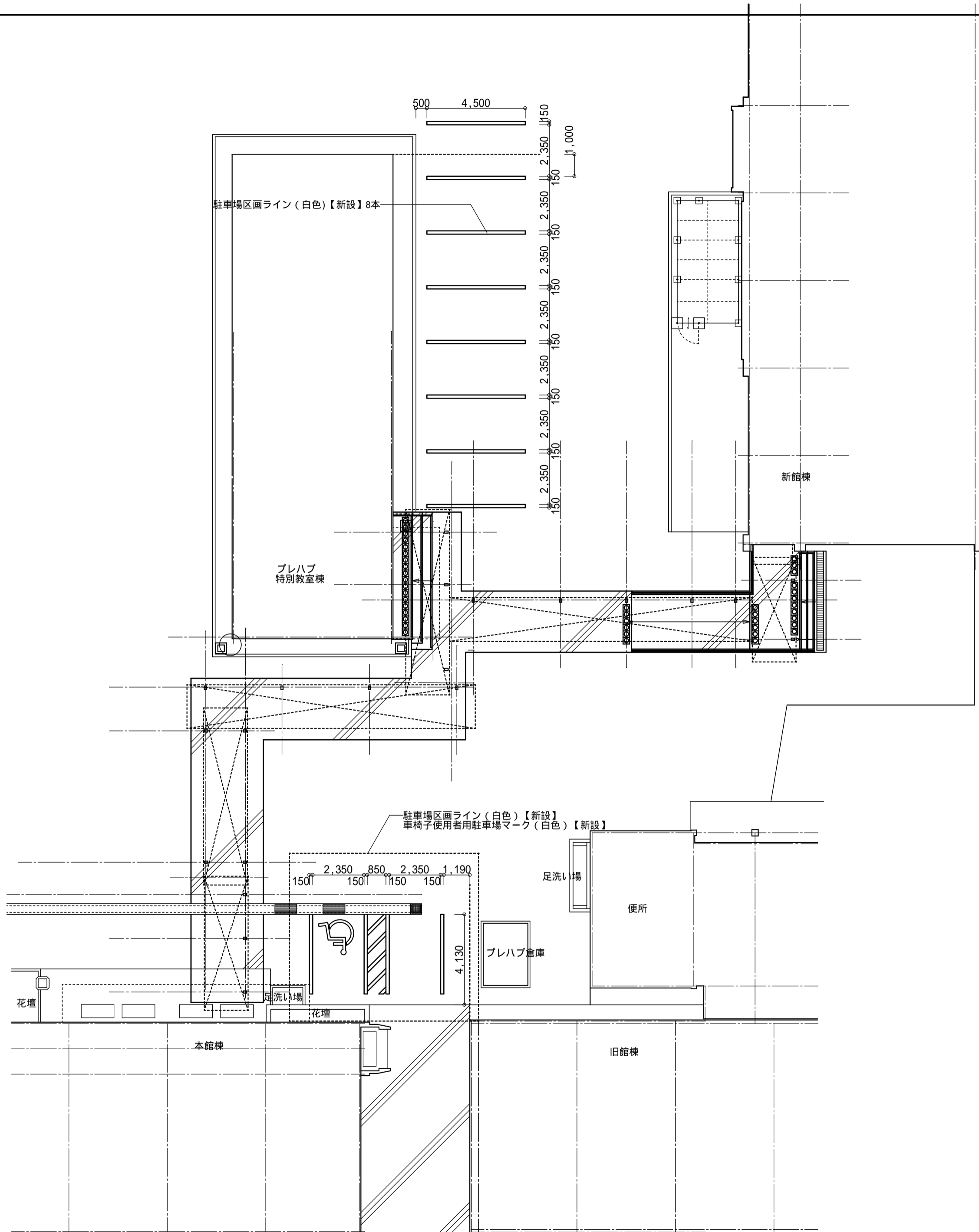


既設躯体サイズ・配筋は推測（各図共通）

特記	株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(064)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎友也				設計	決裁欄	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
	設計番号	設計年度	令和 年 月	A2								A - 109	
													A3

東宇治中学校施設長寿命化改修工事（その3）

【渡り廊下棟】
【改修】部分詳細図(1)



車椅子使用者用駐車場マーク 詳細図 1/50

特 記	1/100	1/300	1/500	1/1000	1/2000	1/3000	1/5000	1/10000	1/20000	1/30000	1/50000	1/100000	1/200000	1/300000	1/500000	1/1000000	1/2000000	1/3000000	1/5000000	1/10000000	1/20000000	1/30000000	1/50000000	1/100000000	1/200000000	1/300000000	1/500000000	1/1000000000	1/2000000000	1/3000000000	1/5000000000	1/10000000000	1/20000000000	1/30000000000	1/50000000000	1/100000000000	1/200000000000	1/300000000000	1/500000000000	1/1000000000000	1/2000000000000	1/3000000000000	1/5000000000000	1/10000000000000	1/20000000000000	1/30000000000000	1/50000000000000	1/100000000000000	1/200000000000000	1/300000000000000	1/500000000000000	1/1000000000000000	1/2000000000000000	1/3000000000000000	1/5000000000000000	1/10000000000000000	1/20000000000000000	1/30000000000000000	1/50000000000000000	1/100000000000000000	1/200000000000000000	1/300000000000000000	1/500000000000000000	1/1000000000000000000	1/2000000000000000000	1/3000000000000000000	1/5000000000000000000
	株式会社山崎設計		設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番																																																								
	一級建築士事務所京都府知事登録(064)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎 友也		設計	決	課長	係長	係	東宇治中学校施設長寿命化改修工事(その3)	【渡り廊下棟】 【改修】部分詳細図(2)	A2 1/150、1/50 A3 70.7%	A - 110																																																								

大梁リスト

番号	RG1	RG2	RG2	3G1	2G1	3G2
断面	I					
部材	H-346・174・6・9	H-250・125・6・9	H-350・175・7・11	H-300・150・6.5・9		
仕口	溶接 2R-6・65×200	溶接 2R-6・105×200	溶接 2R-6・135×200	溶接 2R-6・150×150		
フランジ	2R-6 HTB6-M16	2R-6 HTB4-M16	2R-9 HTB6-M16	2R-6 HTB4-M16		
ウェブ	2R-6 HTB3-M16	2R-6 HTB2-M16	2R-6 HTB4-M16	2R-6 HTB3-M16		
備考						

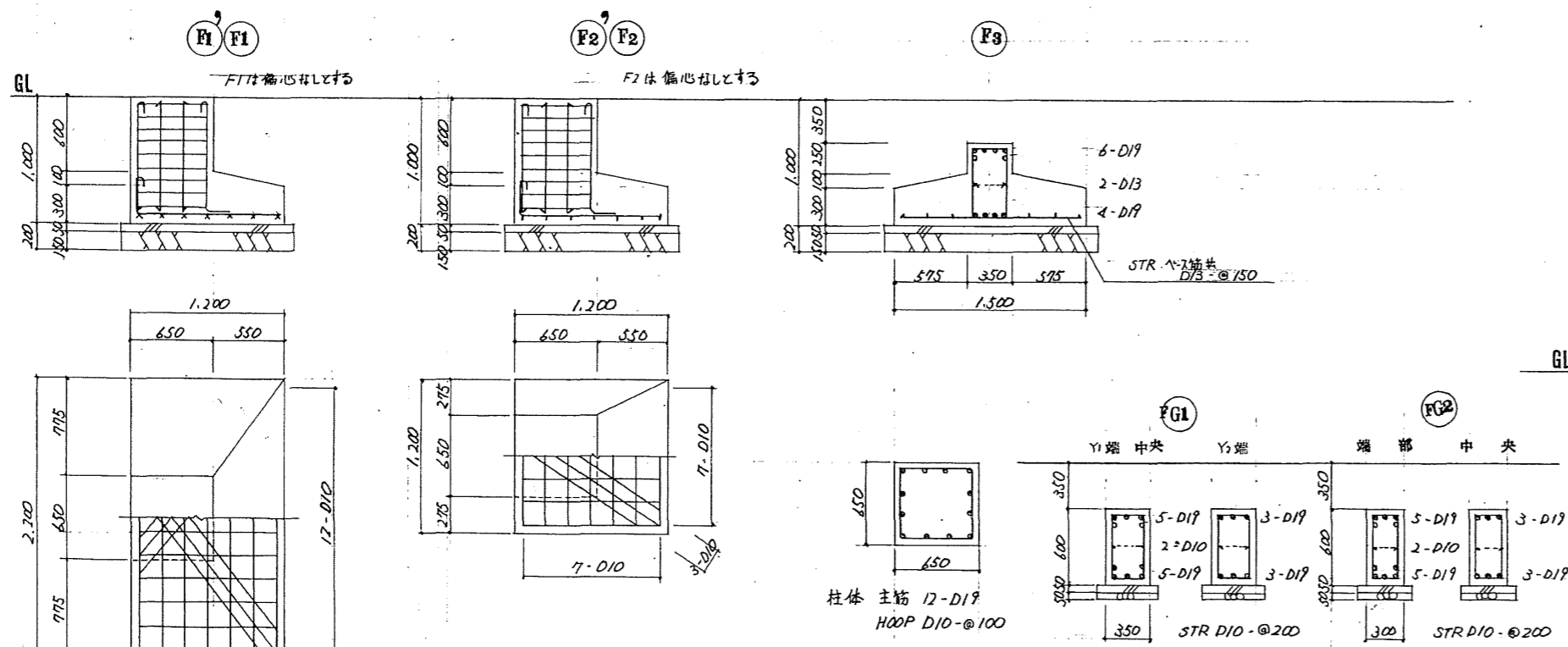
柱リスト

番号	3C1	1C1
断面	□	
部材	□-250・250・9	□-250・250・12
パネルソー	□-250・250・12	□-250・250・12
通しプレート	R-300・300・19	R-300・300・19
備考		

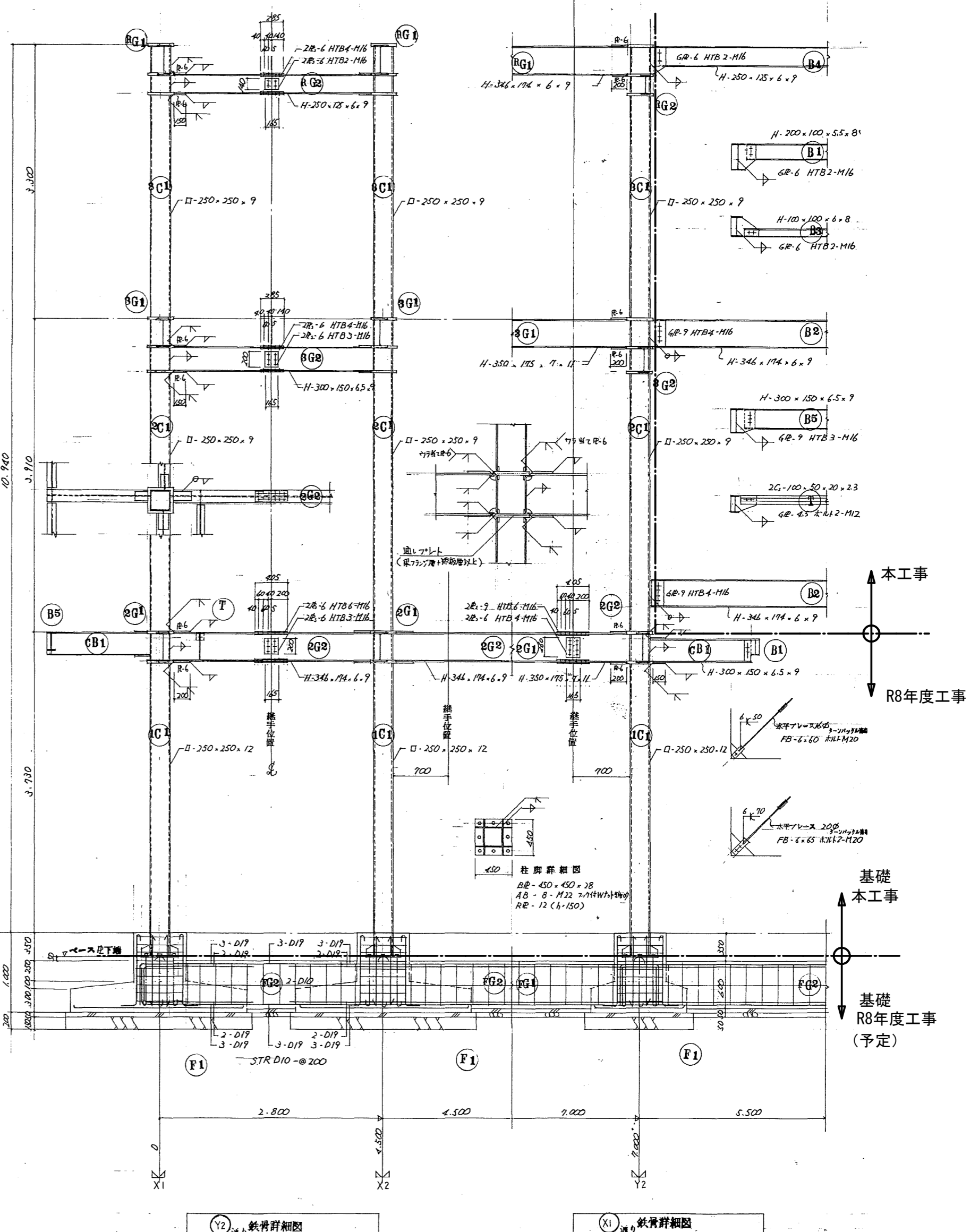
小梁リスト

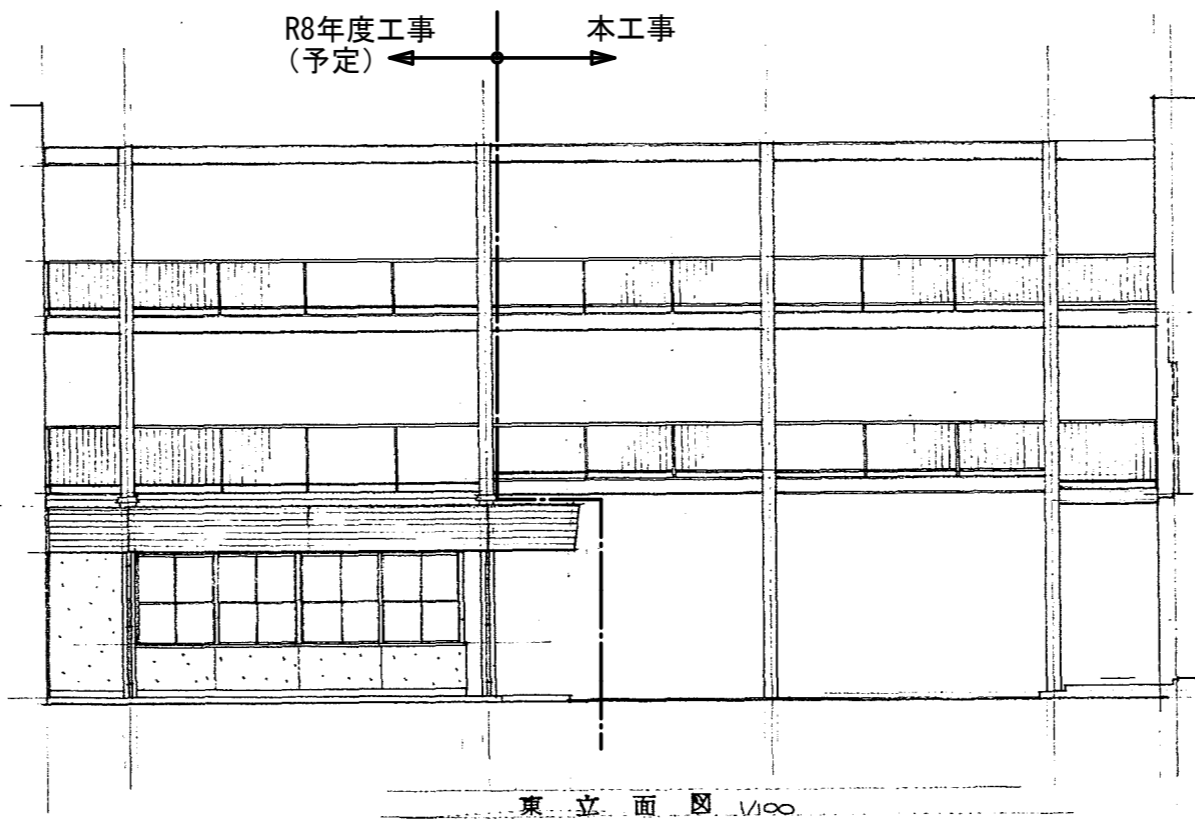
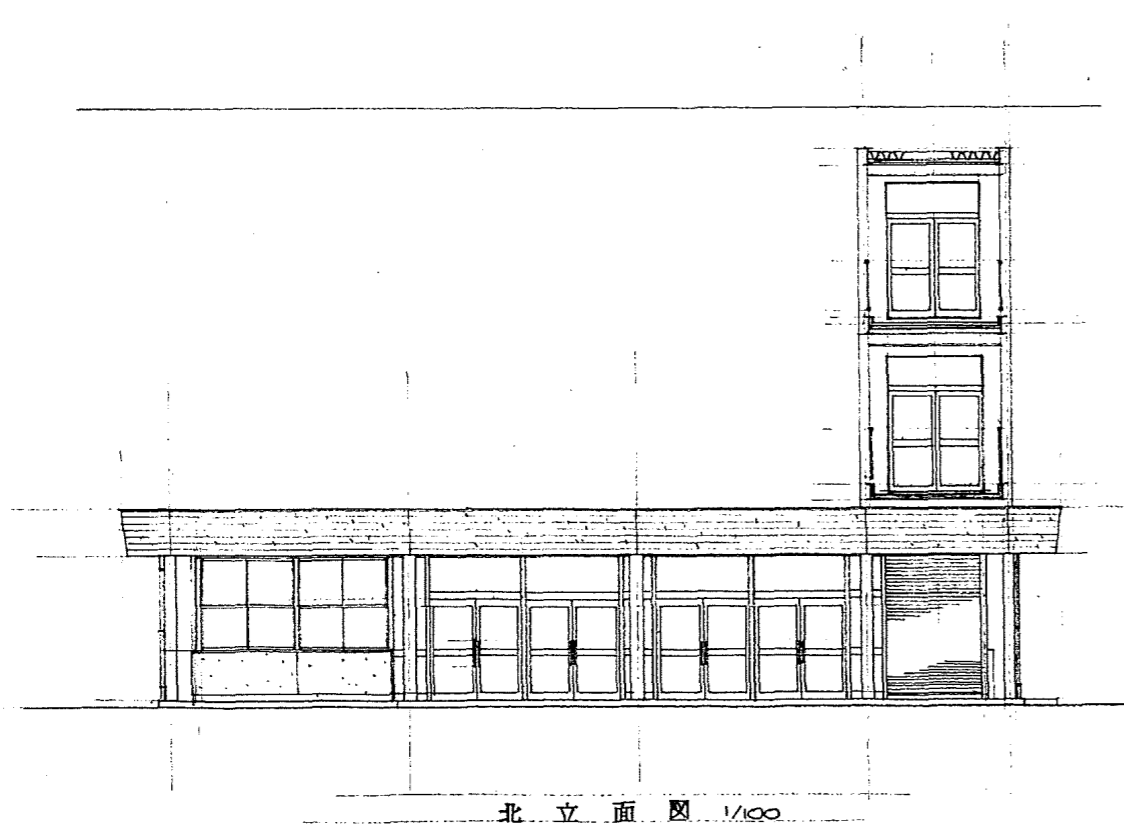
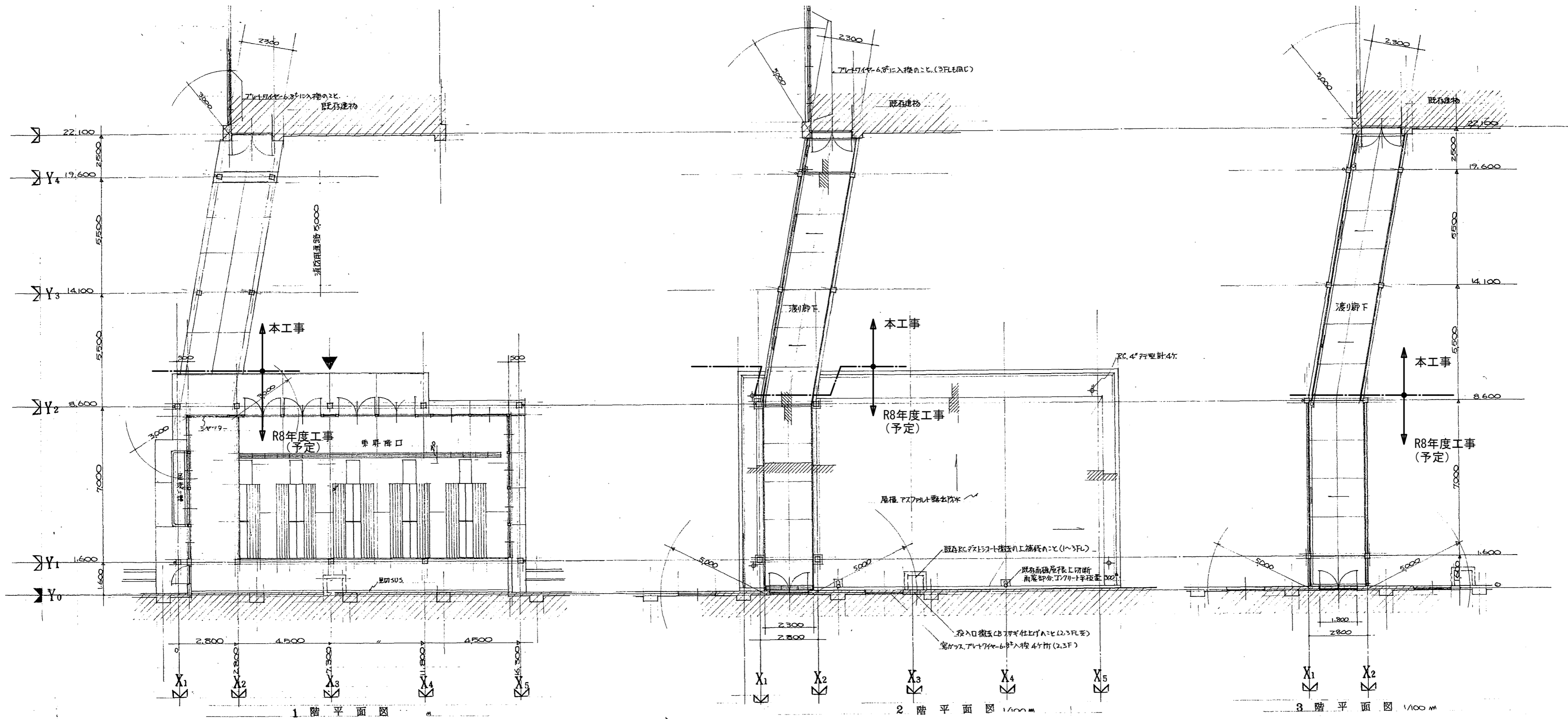
番号	B1	B2	B3	B4	B5	CB1	T
断面	I						
部材	H-200・100・5.5・8	H-346・174・6・9	H-100・100・6・8	H-250・125・6・9	H-300・150・6.5・9	H-300・150・6.5・9	ZC-100・50・20・23
仕口	GR-6 HTB2-M16	GR-7 HTB4-M16	GR-6 HTB2-M16	GR-6 HTB2-M16	GR-7 HTB3-M16	溶接 2R-6・130×130	GR-4.5 #HT-M12
フランジ	GR-6 HTB2-M16	GR-7 HTB4-M16	GR-6 HTB2-M16	GR-6 HTB2-M16	GR-7 HTB3-M16		
ウェブ							
備考							

基礎地中梁リスト



- 共通事項
- コンクリート 28Fc=180 kg/m²以上
 - 鉄筋 S5030
 - 鋼材 STKR41 S541 S50C41
 - 溶接 T-7溶接とし仕口は全て工場溶接による
 - HTB FIOT (J-9-25)
 - ボルト 中芯外 (二重ナット付)
 - 耐力 地耐力 Nc=107/m² (長期) 未測時設計変更する





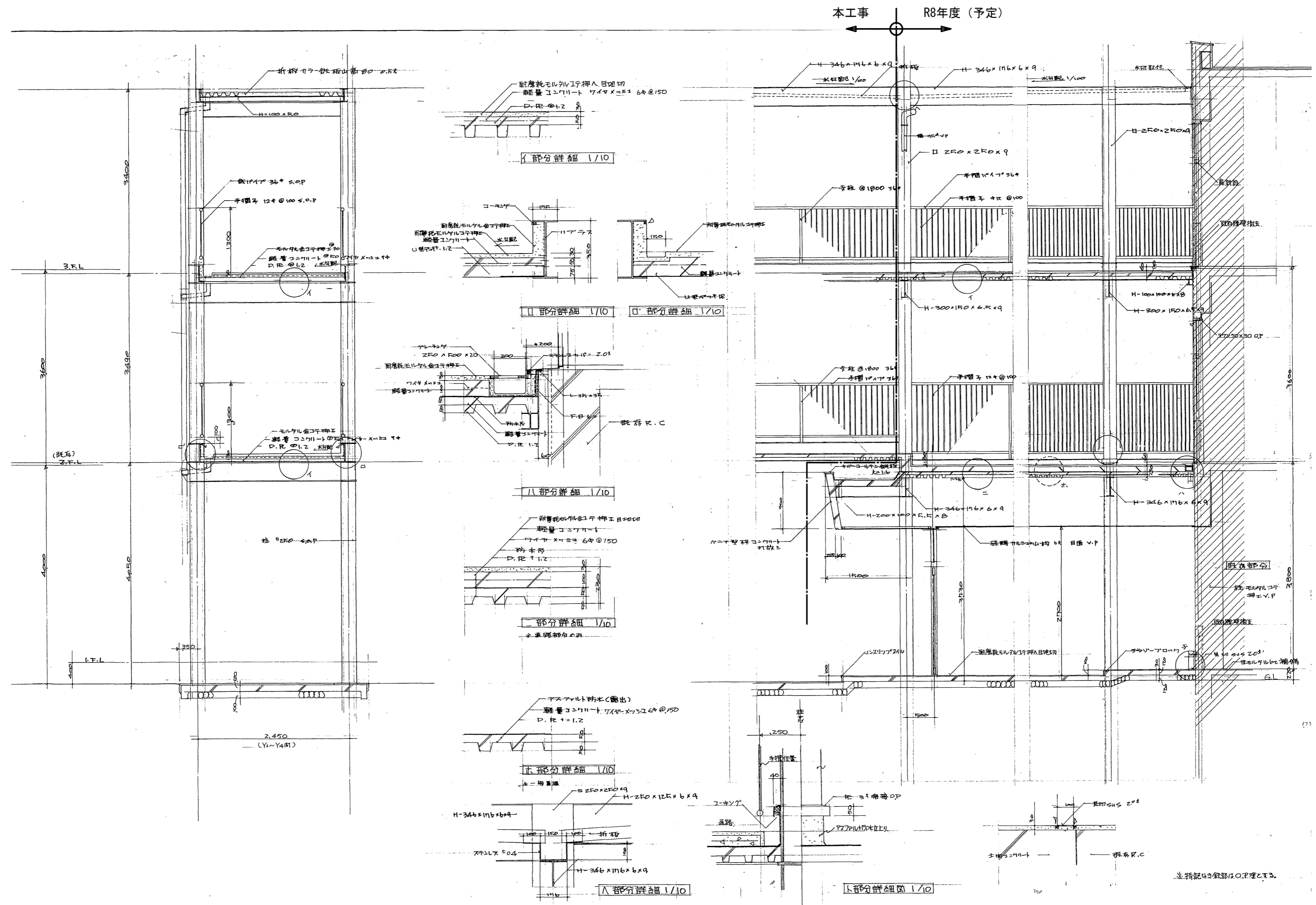
特記	1/100	1/300	1/500	1/900	1/1500	1/2500	1/5000	1/10000
----	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	---------

株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎友也				設計	決	課長	係長	係
設計番号	設計年度	令和	年	月	欄			

工事名	東宇治中学校施設長寿命化改修工事 (その3)
-----	------------------------

図名	【旧館棟】 【解体・撤去】渡り廊下 平面詳細図・立面図
----	-----------------------------------

縮尺	図番
A2 1/150	A-114
A3	



1/100	1/300	1/500	1/1000	1/2000	1/3000	1/5000	1/10000
-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	---------

株式会社山崎設計
 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A) 第02439号
 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎友也
 設計番号 設計年度 令和 年 月

設計	決裁	課長	係長	係
----	----	----	----	---

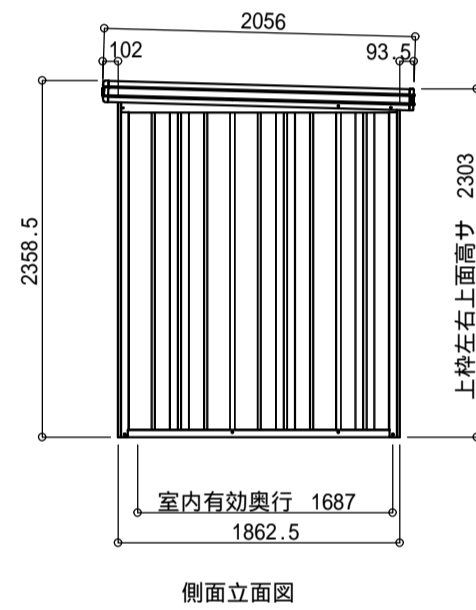
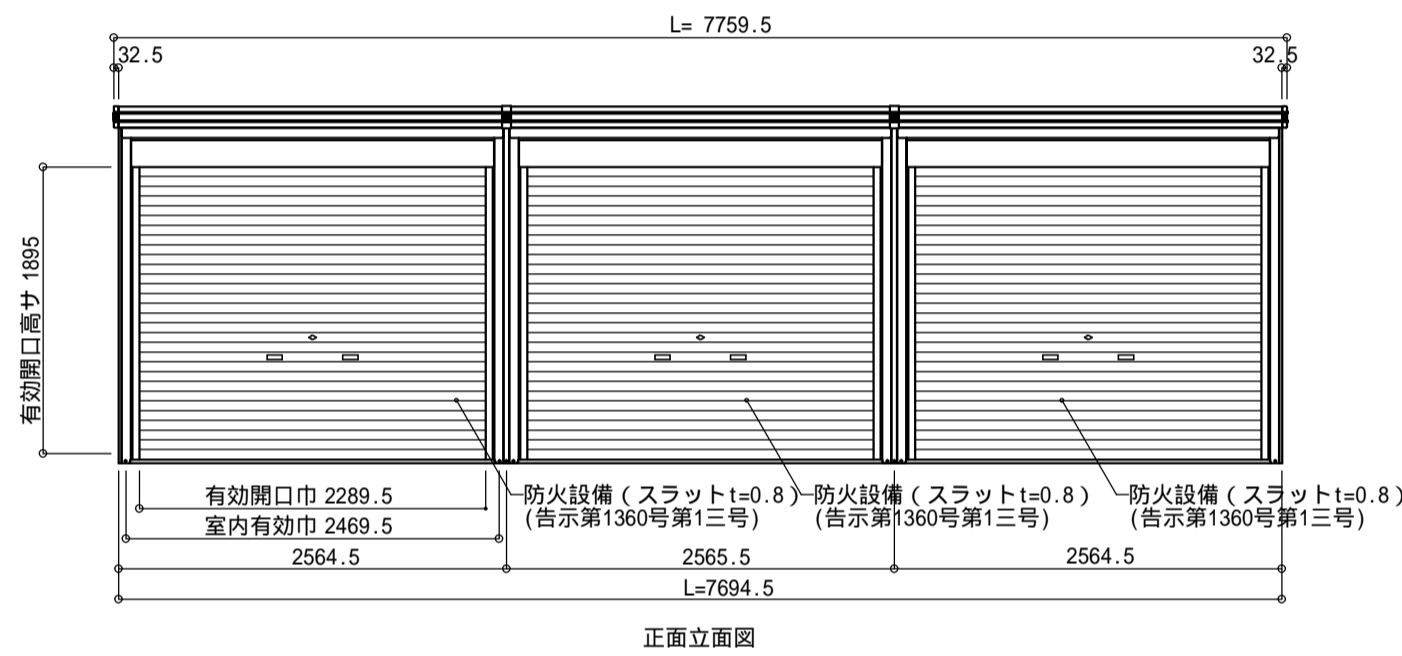
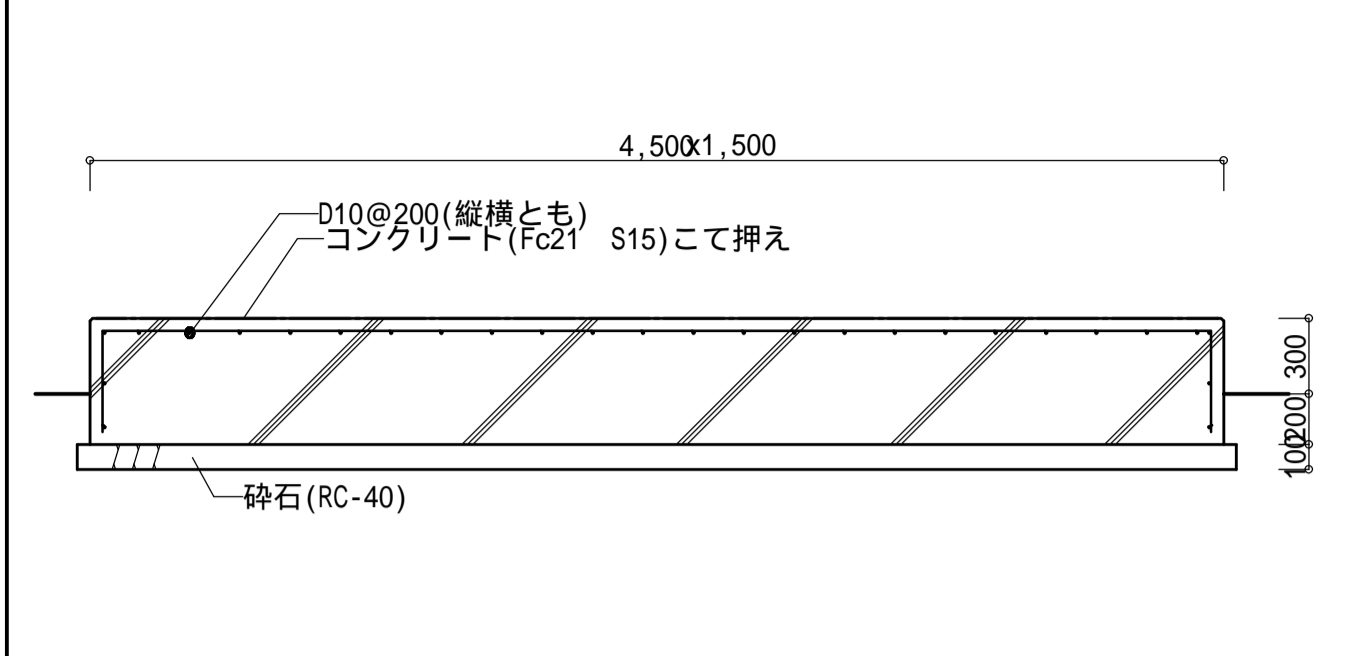
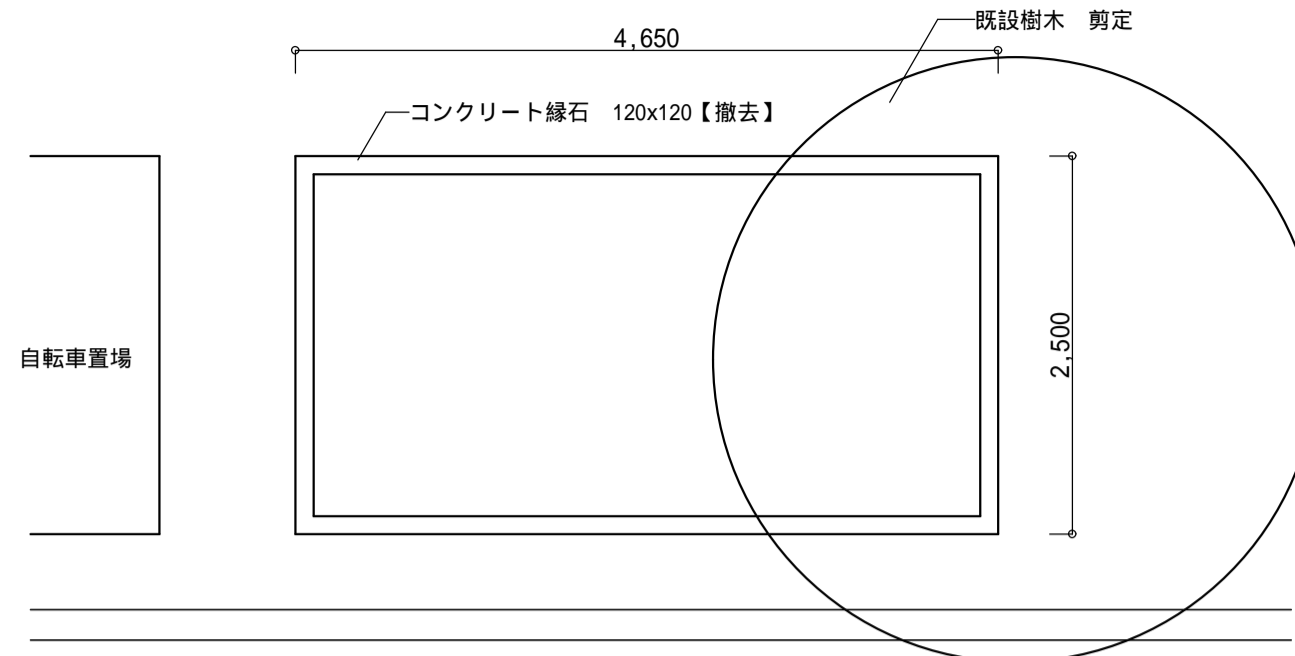
工事名
 東宇治中学校施設長寿命化改修工事 (その3)

図名
 【旧館棟】
 【解体・撤去】渡り廊下 断面詳細図

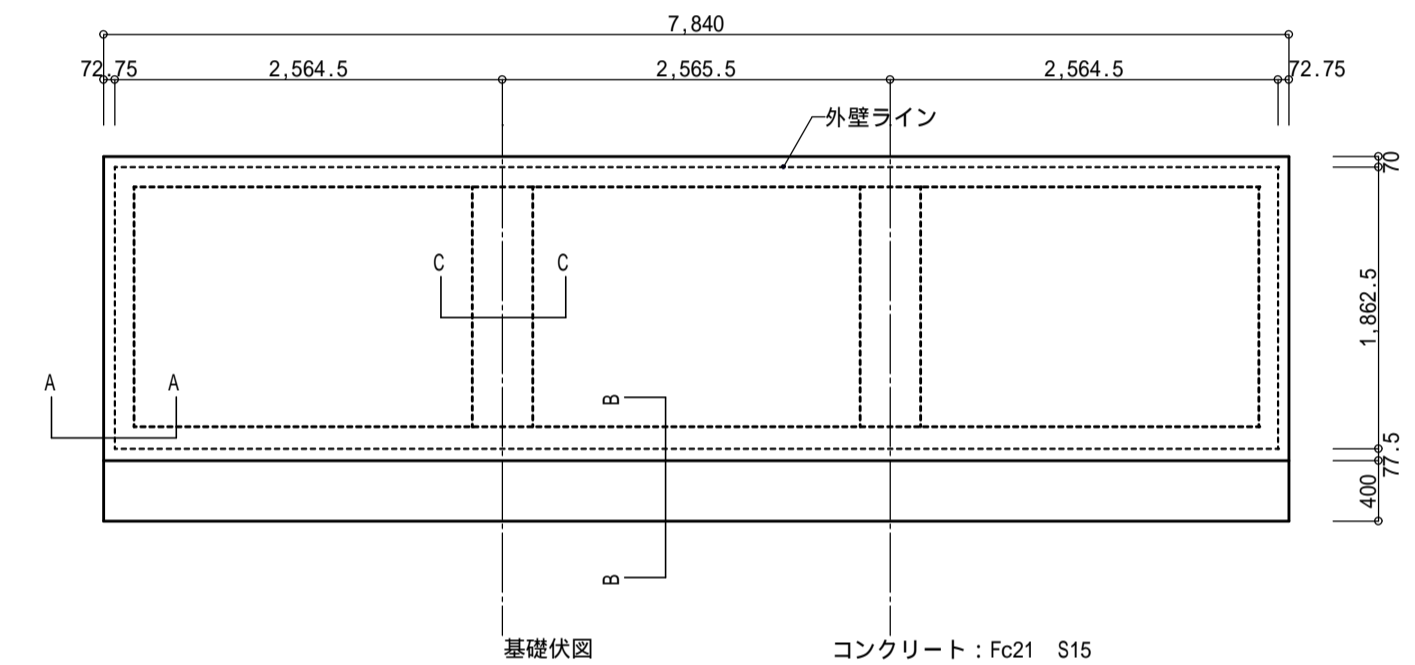
縮尺	図番
A2 1/50	A-115
A3	

解体撤去建築物リスト (すべて軽量鉄骨プレハブ造)

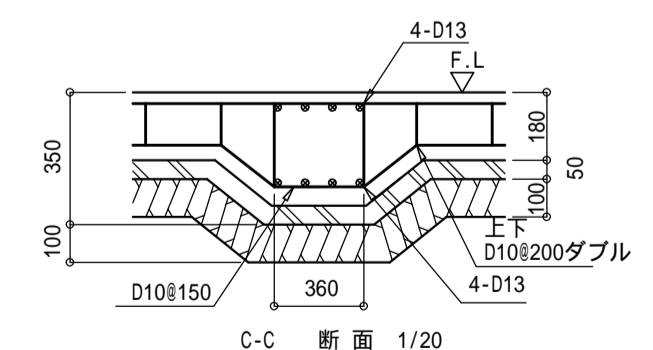
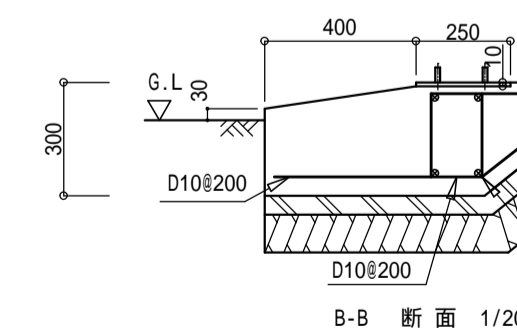
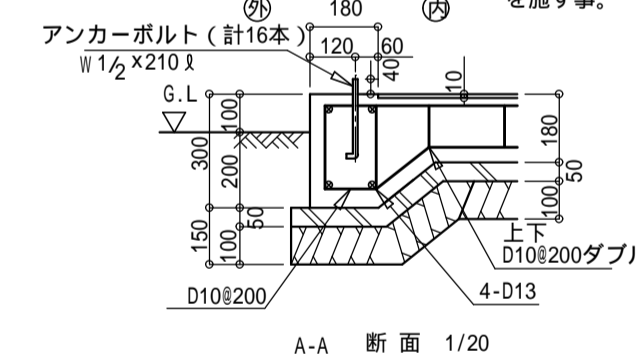
記号	幅	奥行	高さ
A	2,700	2,400	2,100
B	2,700	2,400	2,100
C	5,500	5,500	2,550
D	3,100	2,400	2,400
E	3,100	2,400	2,400
F	2,700	2,400	2,100
G	2,700	2,400	2,100
H	2,700	2,400	2,100
I	2,700	2,400	2,100
J	2,700	2,400	2,100
K	7,800	1,800	2,550



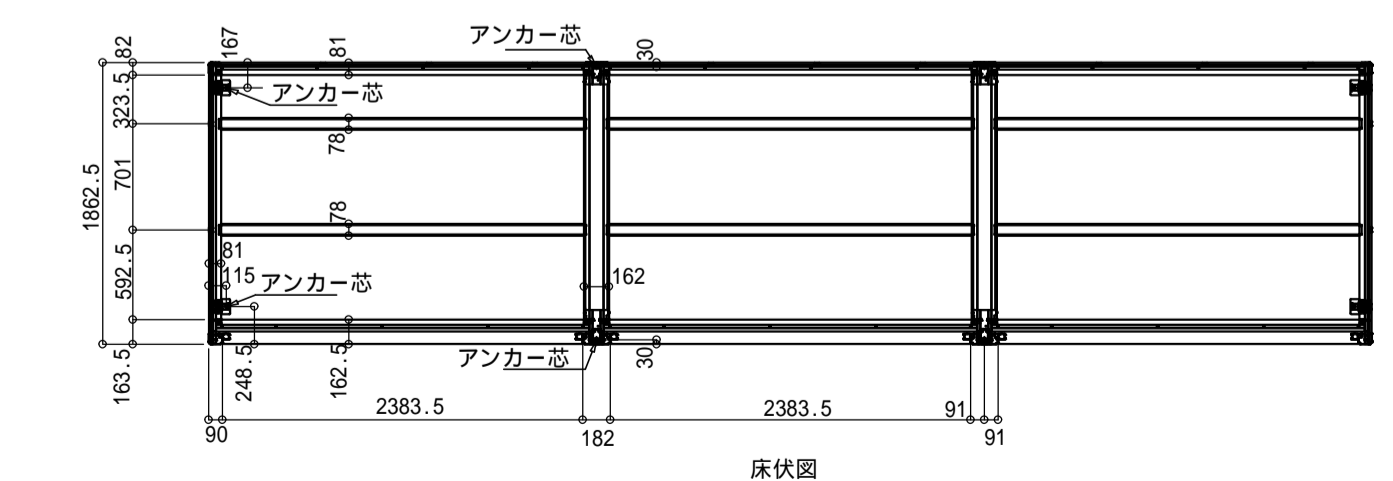
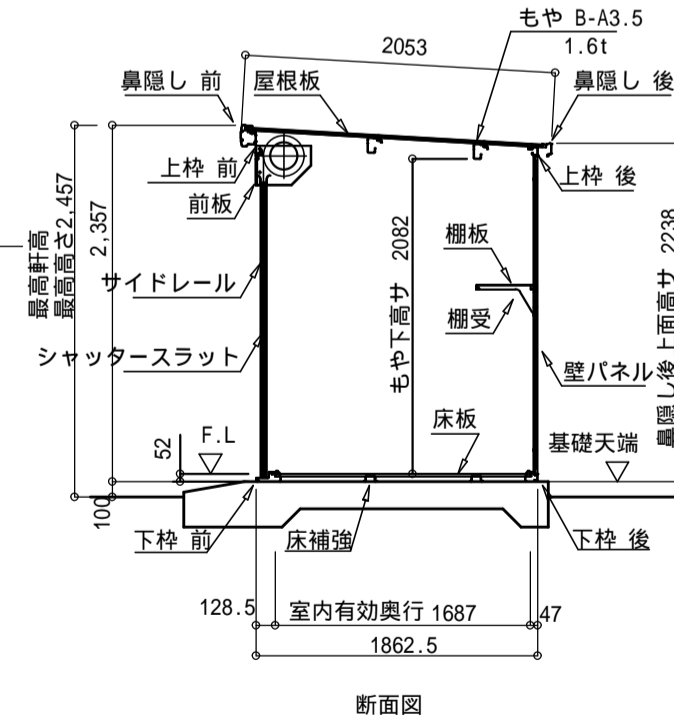
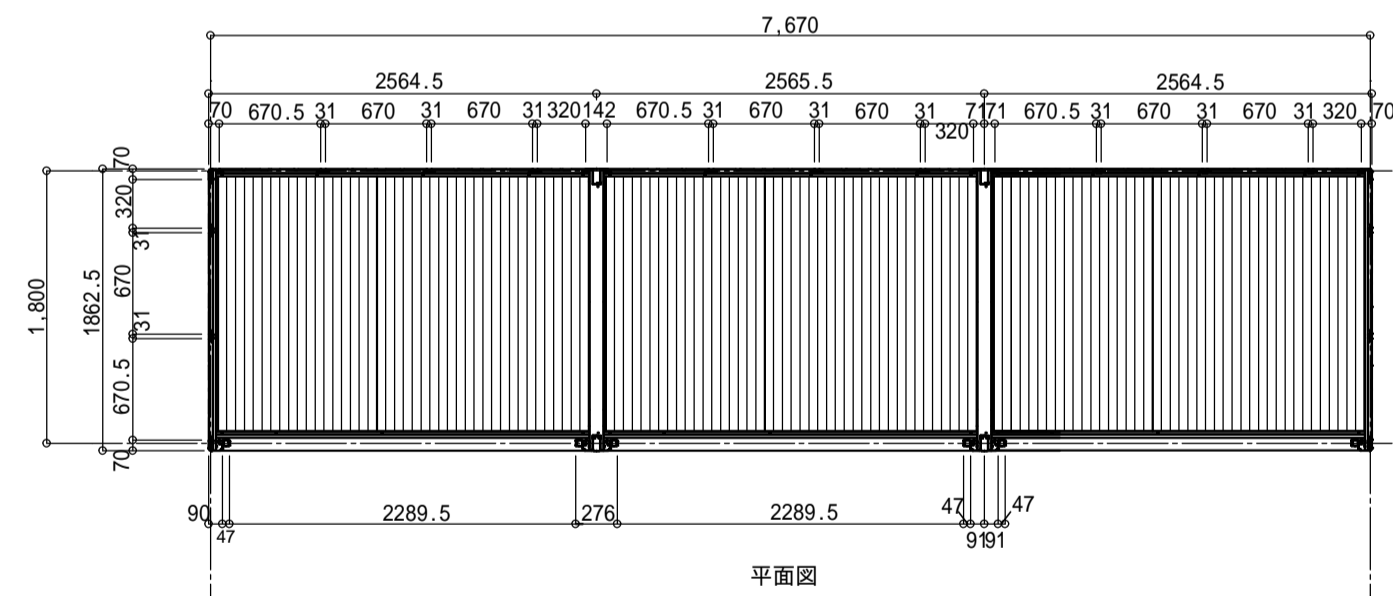
部 材 名	厚さ(φ/mm)	材 質
屋根板	0.4	JIS G3322 塗装溶融アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
床補強	1.2	JIS G3321 溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
<一般型>もや B-A3.5	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<積層型>もや D-A3.5S	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
<積層型>もや E-A3.5SW	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
下枠前(側・後・中)	1.2(1.0)	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
上枠前(後)	1.0(0.8)	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
上枠前補強(豪雪型のみ)	1.2	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
上枠左右	0.8	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC(シートカー)
<一般型>上枠中	1.2	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
<積層型>上枠中S	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
鼻隠し前	0.5	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
鼻隠し後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
前板	0.5	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
中柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
シャッタースラット	0.8	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
シャッター水切り	-	アルミニウム合金押出成形材
壁パネル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
間柱後・側	1.0	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
床板	0.6	JIS G3322 塗装溶融55アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CG/LCC
内アンカー金具(L)	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC



アンカーボルトの止結は、ダブルナット等の戻り止めを施す事。



ベタ基礎断面図
 <下記条件での参考図>
 (地耐力 50k N/m² 以上、コンクリート設計基準強度 21N/mm² 以上)
 (基準風速 34 m/s、地表面相度区分Ⅱ)



㈱淀川製鋼所 LOD-2518HF (3連・シャッター防火設備) 同等品以上